

# 第45回 市政世論調査

(平成30年度)



「新潟開港150周年」

新 潟 市



# < 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 区（行政区）の範囲	4
7. 回答者の特性	6
8. 回答者の特性（地区別集計）	7
II 調査結果	9
1. 新潟市に対する誇りや愛着について	11
（1）誇りや愛着を感じているもの	11
（2）特に誇りや愛着を感じているもの	37
2. 消費生活について	43
（1）消費者問題への関心	43
（2）消費生活での不安【商品について】	45
（3）消費生活での不安【サービスについて】	48
（4）被害や不安の相談先	51
（5）相談しなかった理由	53
（6）消費教育活動についての考え	55
（7）消費者教育の場	63
（8）消費教育活動への関心	66
（9）消費生活での市への期待	68
（10）消費行動への心がけ	72
（11）エシカル消費の認知度	75
3. 新潟市の公共施設のこれからについて	77
（1）公共施設の利用回数	77
（2）公共施設への交通手段	95
（3）新潟市の現状の認知度	113
（4）公共施設維持への取り組み	119

(5) 公共施設に関する説明会の参加有無	127
(6) 公共施設に関する説明会の参加意向	129
(7) 公共施設の再編についての考え	131
(8) ワークショップ等への参加意向	133
4. 新潟市のコミュニティについて	135
(1) 地域コミュニティ協議会の認知度	135
(2) 地域コミュニティ協議会についての情報の入手先	137
(3) 区自治協議会の認知度	140
(4) 区自治協議会についての情報の入手先	142
5. 市政全般と区政について	145
(1) 新潟市として良くなっているもの	145
(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの	153
(3) 区として良くなっているもの	161
(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの	169
6. 市の取り組みについて	177
(1) 取り組みへの感想	177
(2) 取り組みへの満足度	199
Ⅲ 調査票様式	221

# I 調 査 概 要



## 1. 調査の目的

この調査は、市民生活の現状、市民の市政に対する要望、意識、関心度などを把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施する。

## 2. 調査の項目

(1) 新潟市に対する誇りや愛着について	本質問	2問
(2) 消費生活について	本質問	10問
(3) 新潟市の公共施設のこれからについて	本質問	6問
(4) 新潟市のコミュニティについて	本質問	4問
(5) 市政全般と区政について	本質問	1問
(6) 市の取り組みについて	本質問	1問
(7) 対象者属性	本質問	5問

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：平成30年6月末現在の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000人
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出）
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）
- (6) 調査期間：平成30年7月17日～8月3日

## 4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

## 5. 回収結果

### (1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

### (2) 回収結果

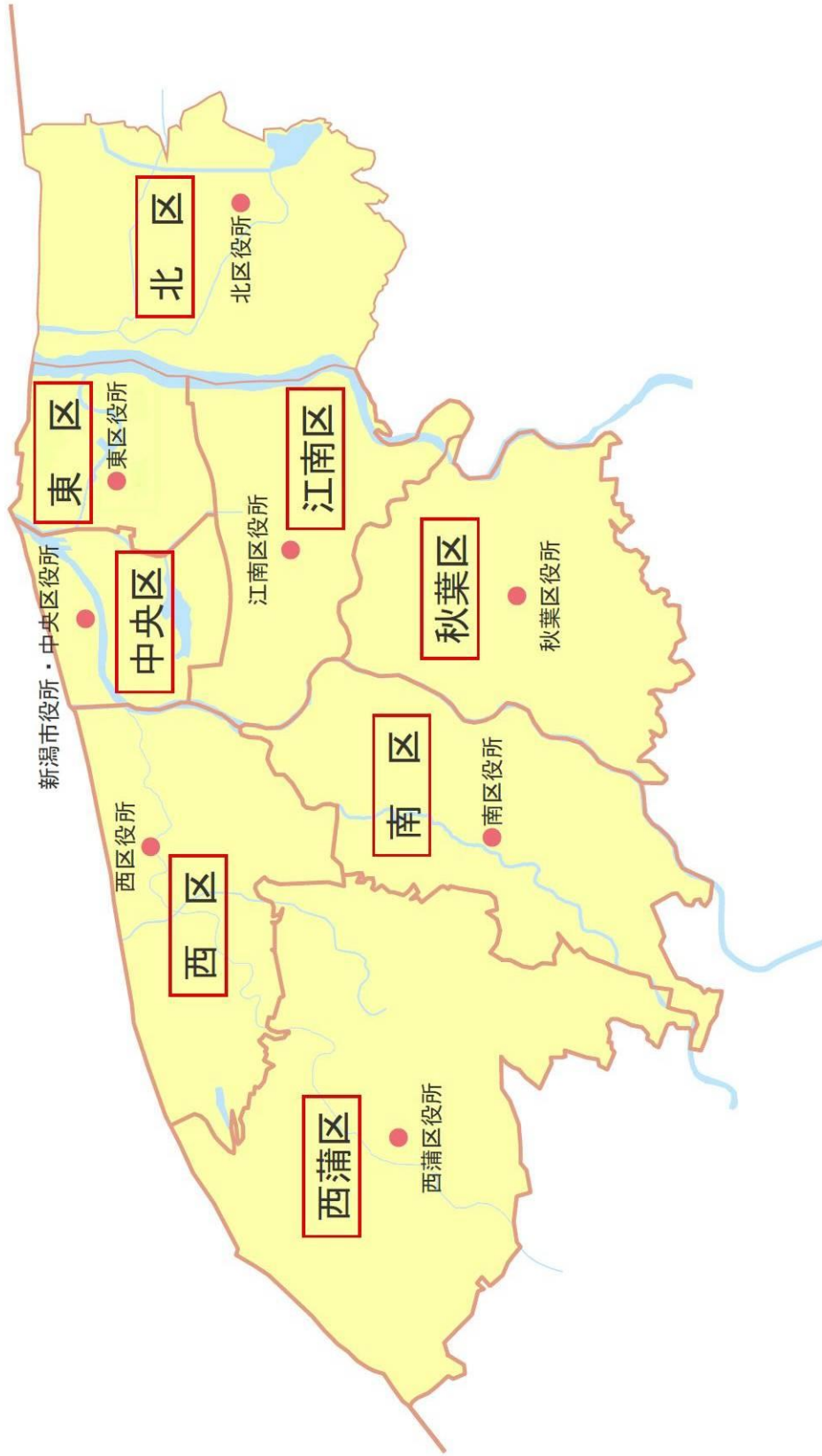
	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	671,077	100.0%	4,000	1,655	41.4%
北 区	62,935	9.4%	375	137	36.5%
東 区	116,005	17.3%	691	271	39.2%
中央区	149,328	22.3%	890	385	43.3%
江南区	57,691	8.6%	344	155	45.1%
秋葉区	65,130	9.7%	388	173	44.6%
南 区	38,414	5.7%	229	78	34.1%
西 区	132,086	19.7%	788	345	43.8%
西蒲区	49,488	7.4%	295	89	30.2%
区名無回答				22	

## 6. 区（行政区）の範囲

次頁区分図参照。

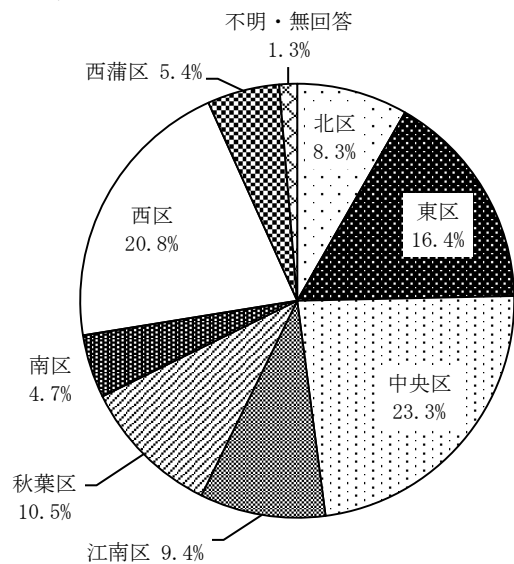


<区分图>

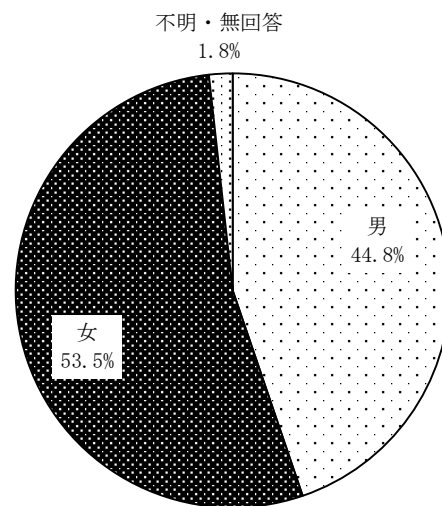


## 7. 回答者の特性

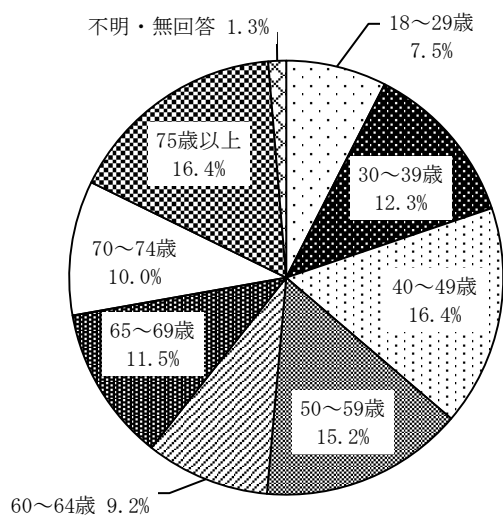
### ◆地区別



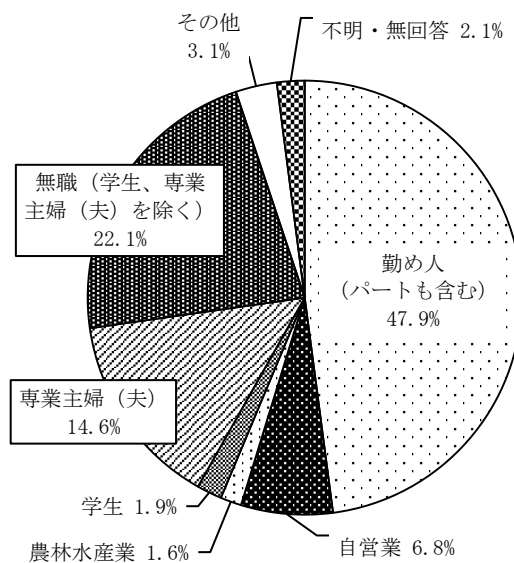
### ◆性別



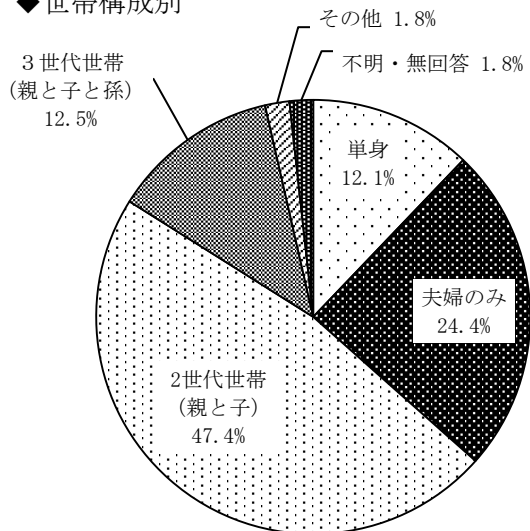
### ◆年齢別



### ◆職業別

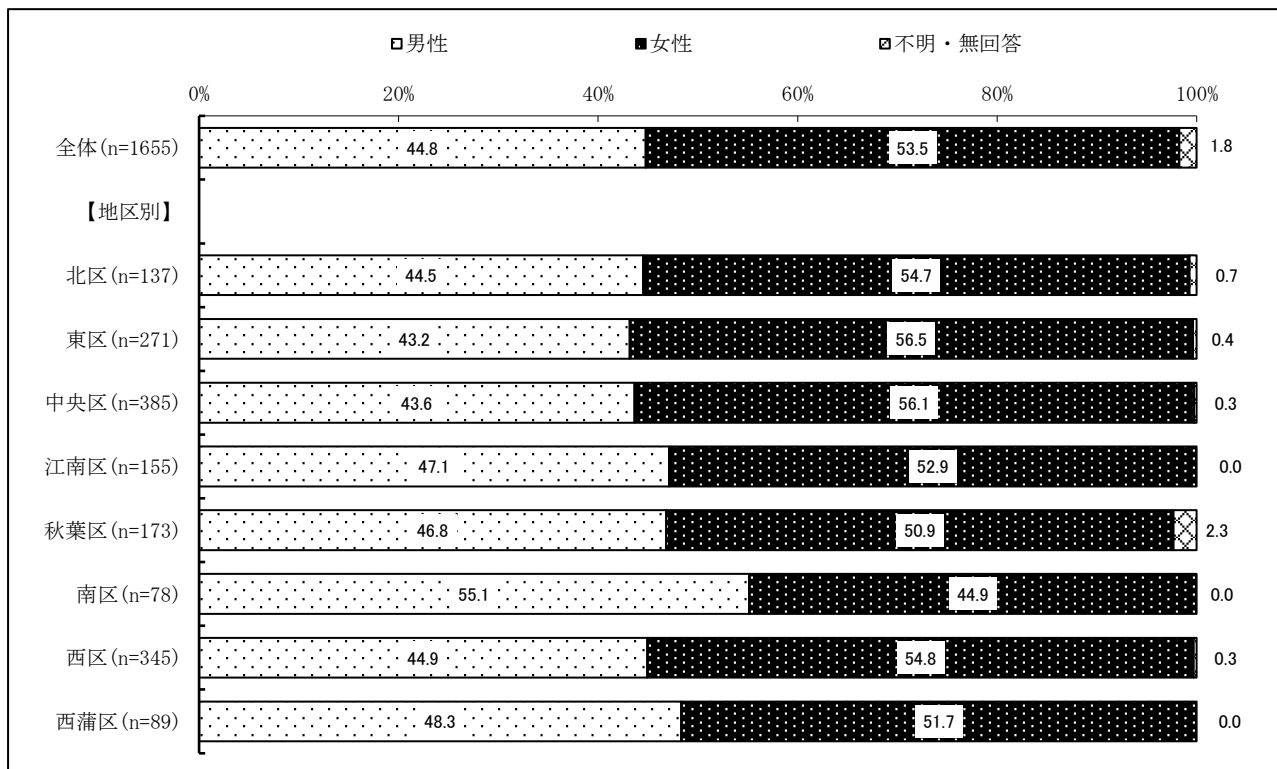


### ◆世帯構成別

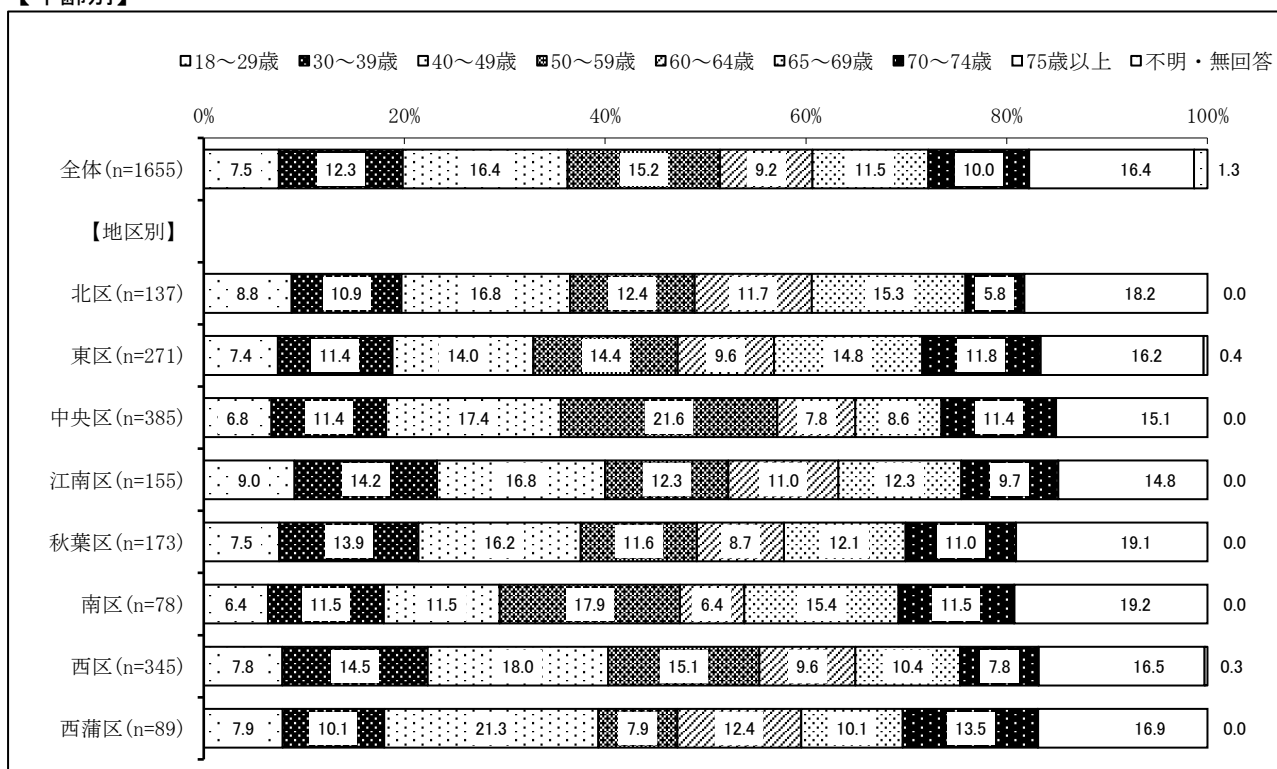


## 8. 回答者の特性（地区別集計）

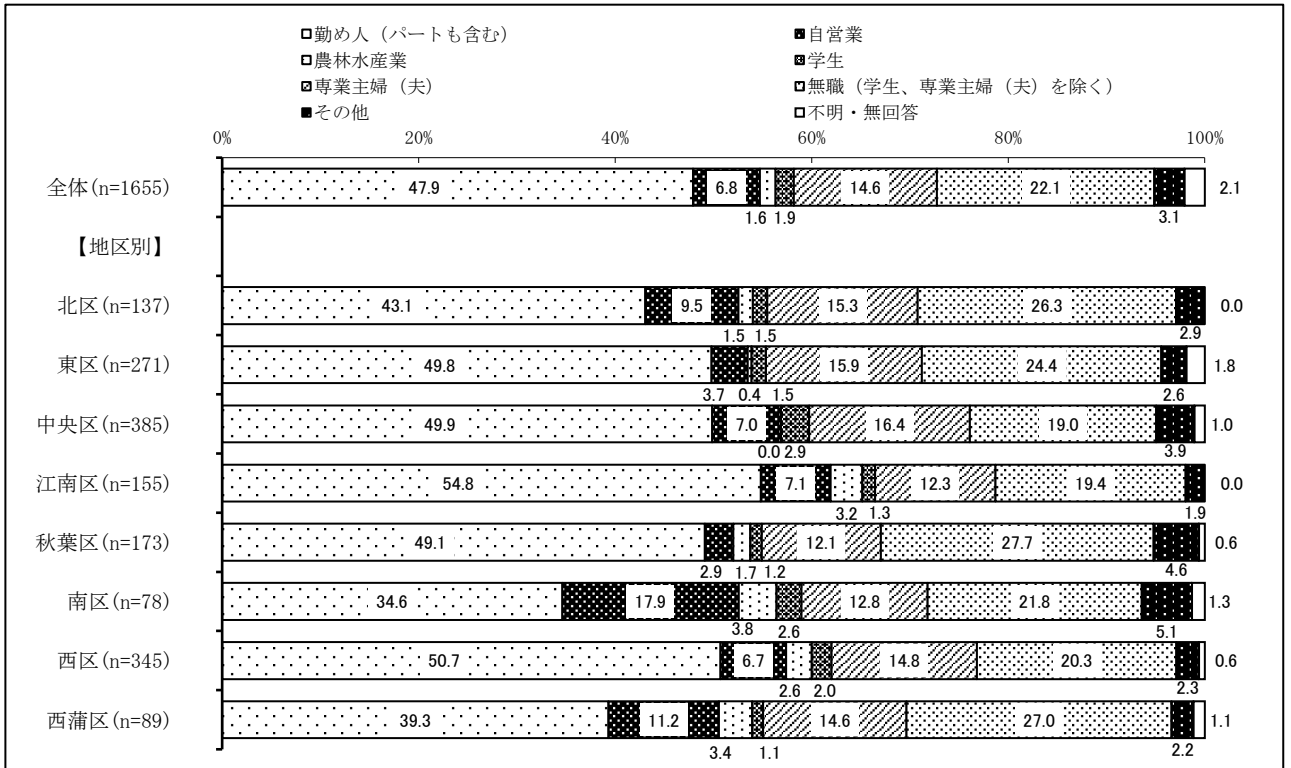
### 【性別】



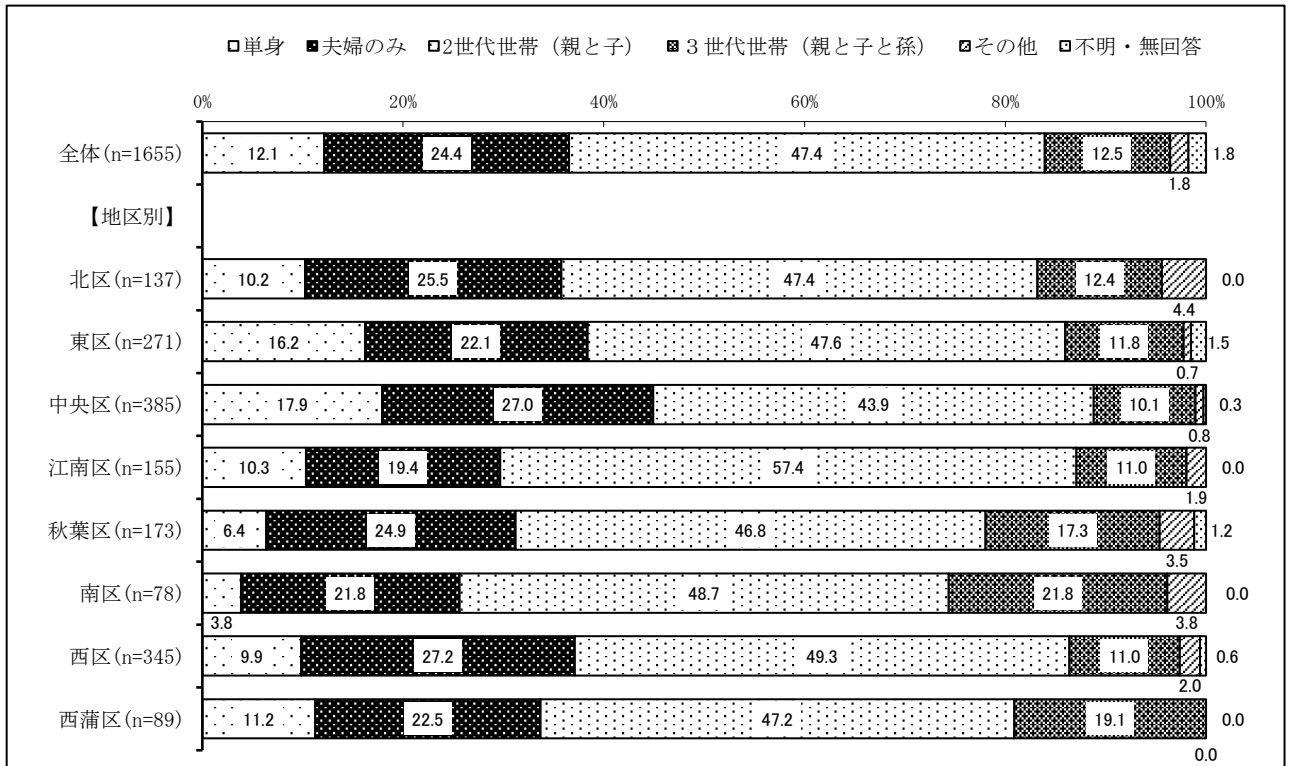
### 【年齢別】



【職業別】



【世帯構成別】



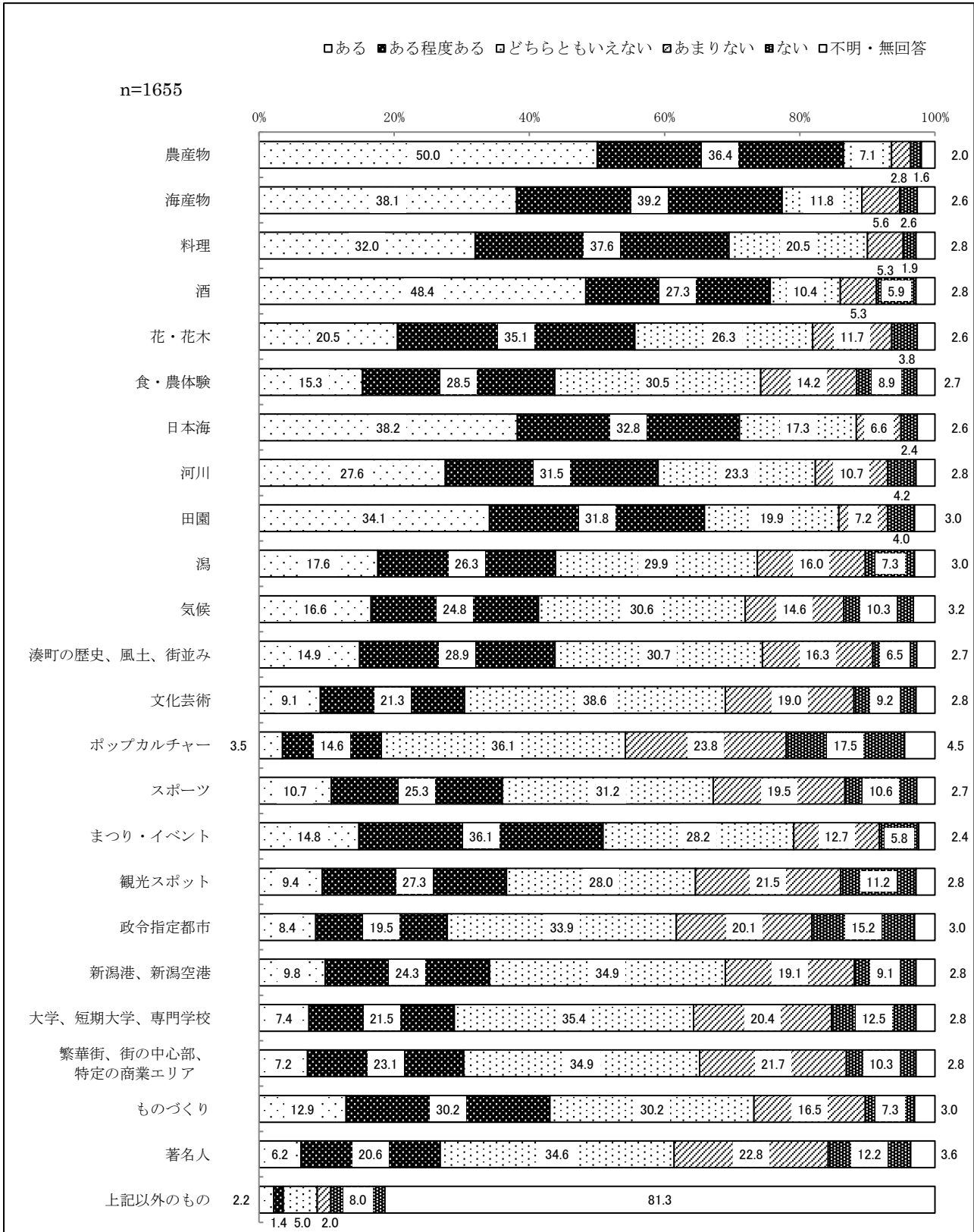
## II 調查結果



# 1. 新潟市に対する誇りや愛着について

## (1) 誇りや愛着を感じているもの

問1 あなたは次の24の項目に対して、どの程度誇りや愛着を感じていますか。  
それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。



## — 8割以上が「農産物」に誇りや愛着があると感じている —

### 【全体結果】

誇りや愛着について、「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、「農産物」(86.5%)で最も高く、8割を超えた。次いで「海産物」(77.3%)、「酒」(75.6%)、「日本海」(71.1%)、「料理」(69.6%)、の順に続く。「ある」と答えた割合が最も高い項目は、「農産物」(50.0%)、「酒」(48.4%)、「日本海」(38.2%)「海産物」(38.1%)。特に「農産物」では、5割もの人が「ある」と回答した。

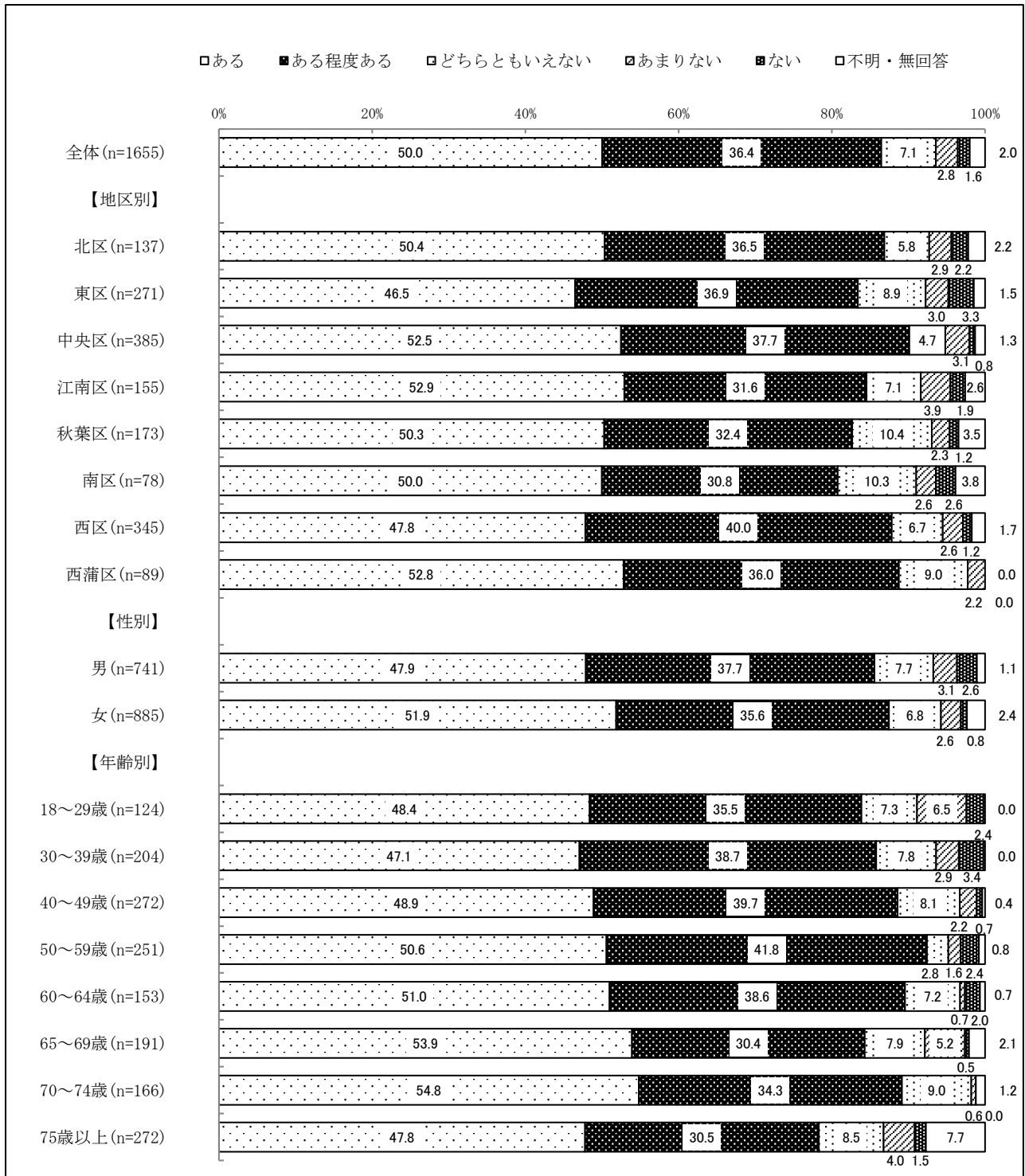
誇りや愛着が「あまりない」、「ない」を合わせた割合では、「ポップカルチャー」(41.3%)で最も高く、約4割となった。次いで「政令指定都市」(35.3%)、「著名人」(35.0%)、「大学、短期大学、専門学校」(32.9%)、「観光スポット」(32.6%)、「繁華街、街の中心部、特定の商業エリア」(32.0%)、「スポーツ」(30.1%)で3割台となった。

### 【属性別結果】

次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。



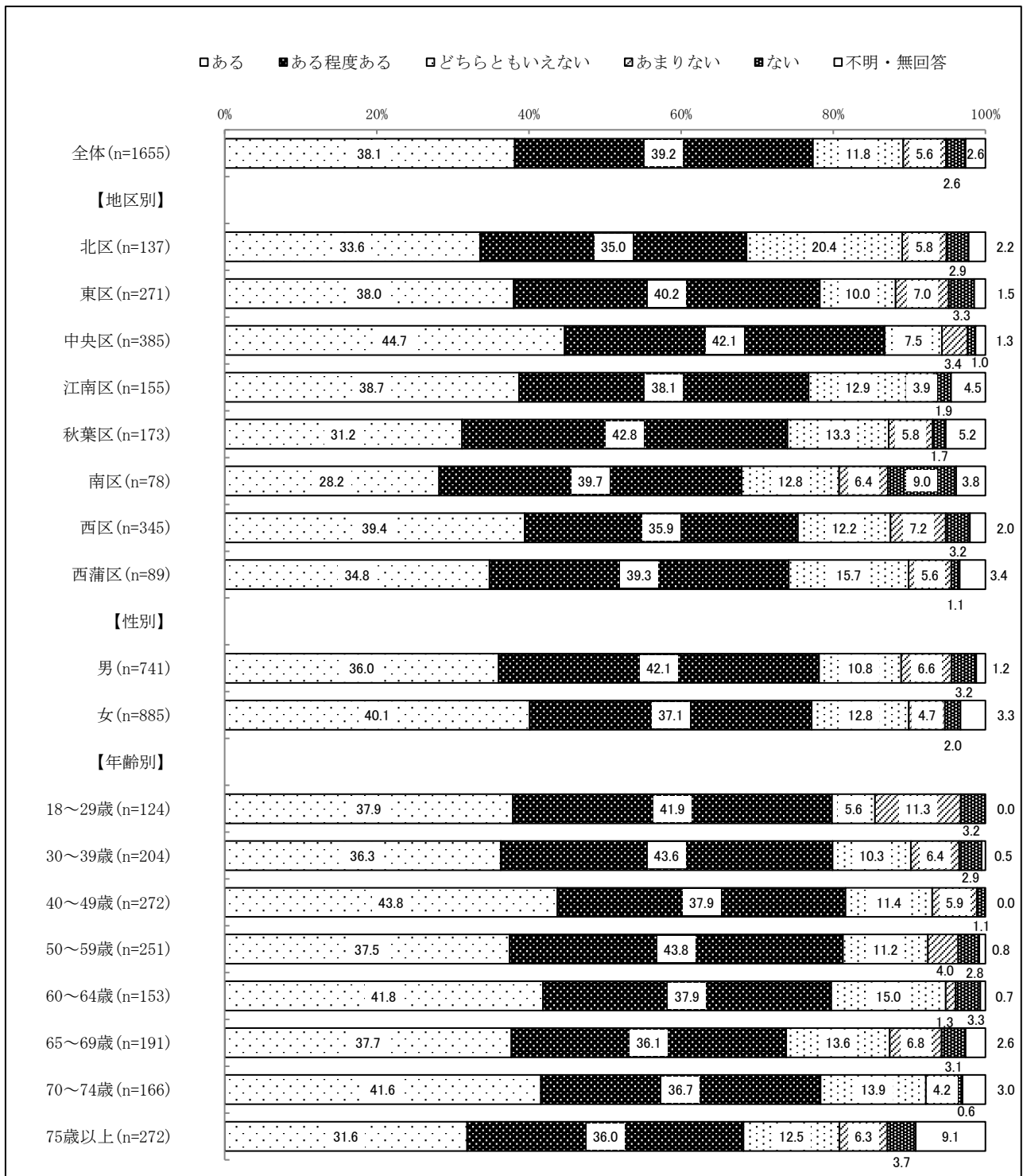
①農産物



「ある」と「ある程度」を合わせた割合は、地区別では中央区(90.1%)、西蒲区(88.8%)、西区(87.8%)でやや高い。性別では、男性(85.6%)と比べて女性(87.5%)で割合が高い。年齢別では、50代(92.4%)で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、すべての項目で1割未満となった。

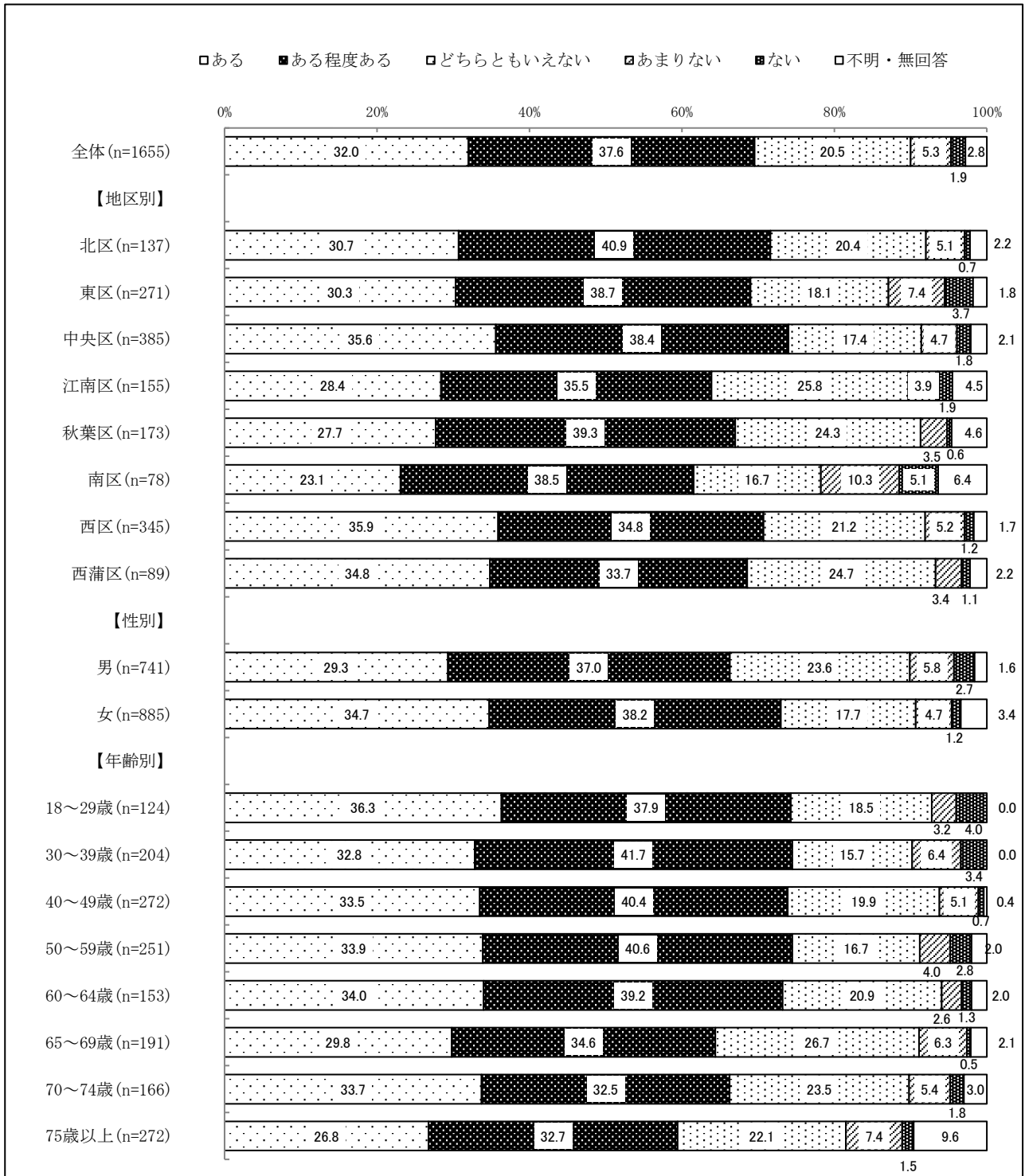
②海産物



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（86.8%）で最も高く8割を超えた。東区（78.2%）、江南区（76.8%）、西区（75.4%）、西蒲区（74.2%）で7割台となった。性別では、ほぼ差が無い。年齢別では、65～69歳（73.8%）、75歳以上（67.6%）を除く年齢で約8割となった。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では南区（15.4%）でやや割合が高い。年齢別では18～29歳（14.5%）で最も高い。

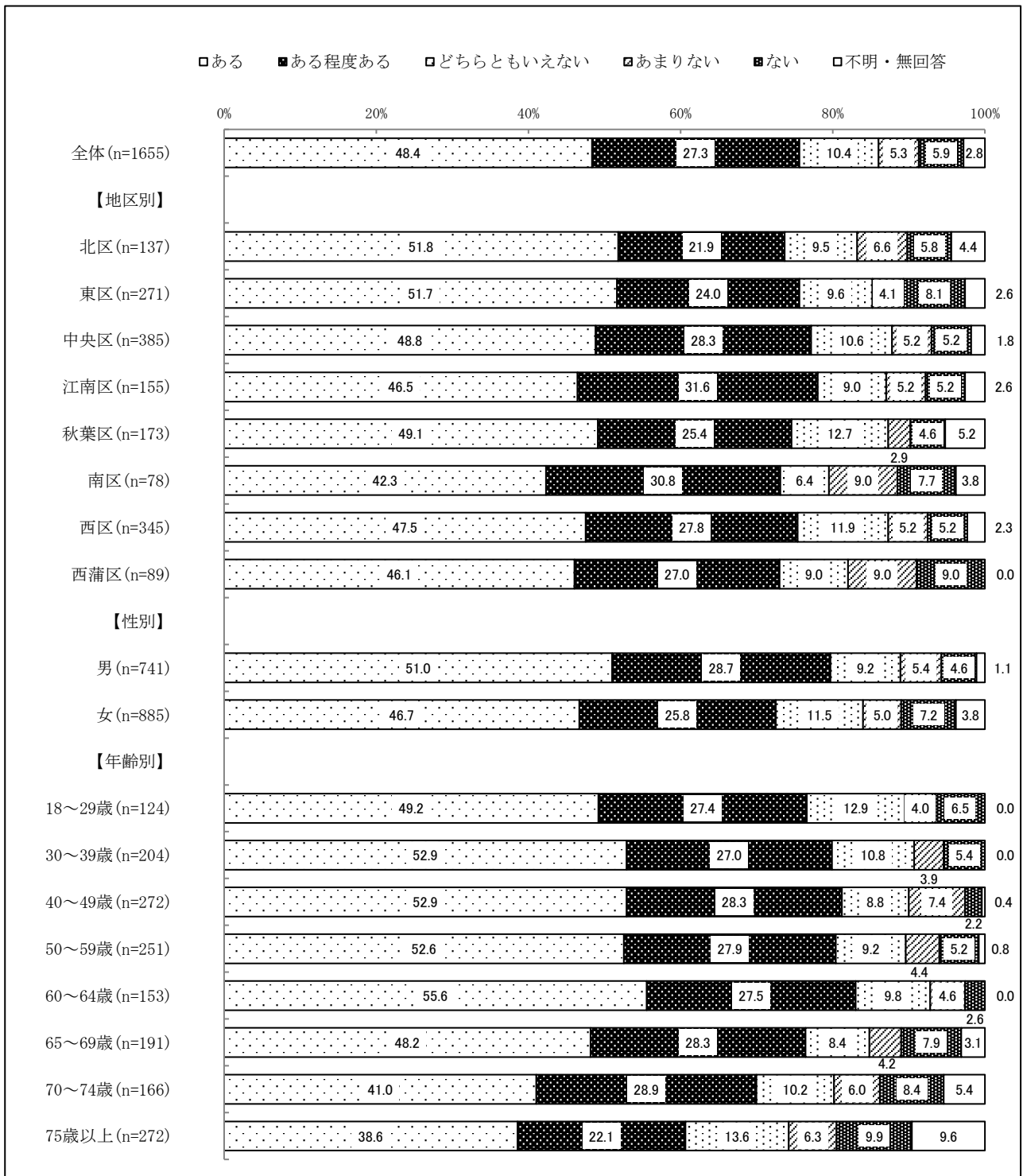
### ③料理



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、中央区（74.0%）、北区（71.5%）、西区（70.7%）で高く、7割を超えた。性別では、男性（66.3%）と比べて女性（72.9%）で割合が高い。年齢別では、18～64歳で7割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、南区（15.4%）最も高い。年齢別では、30代（9.8%）で最も高いものの、全年齢で1割未満となった。

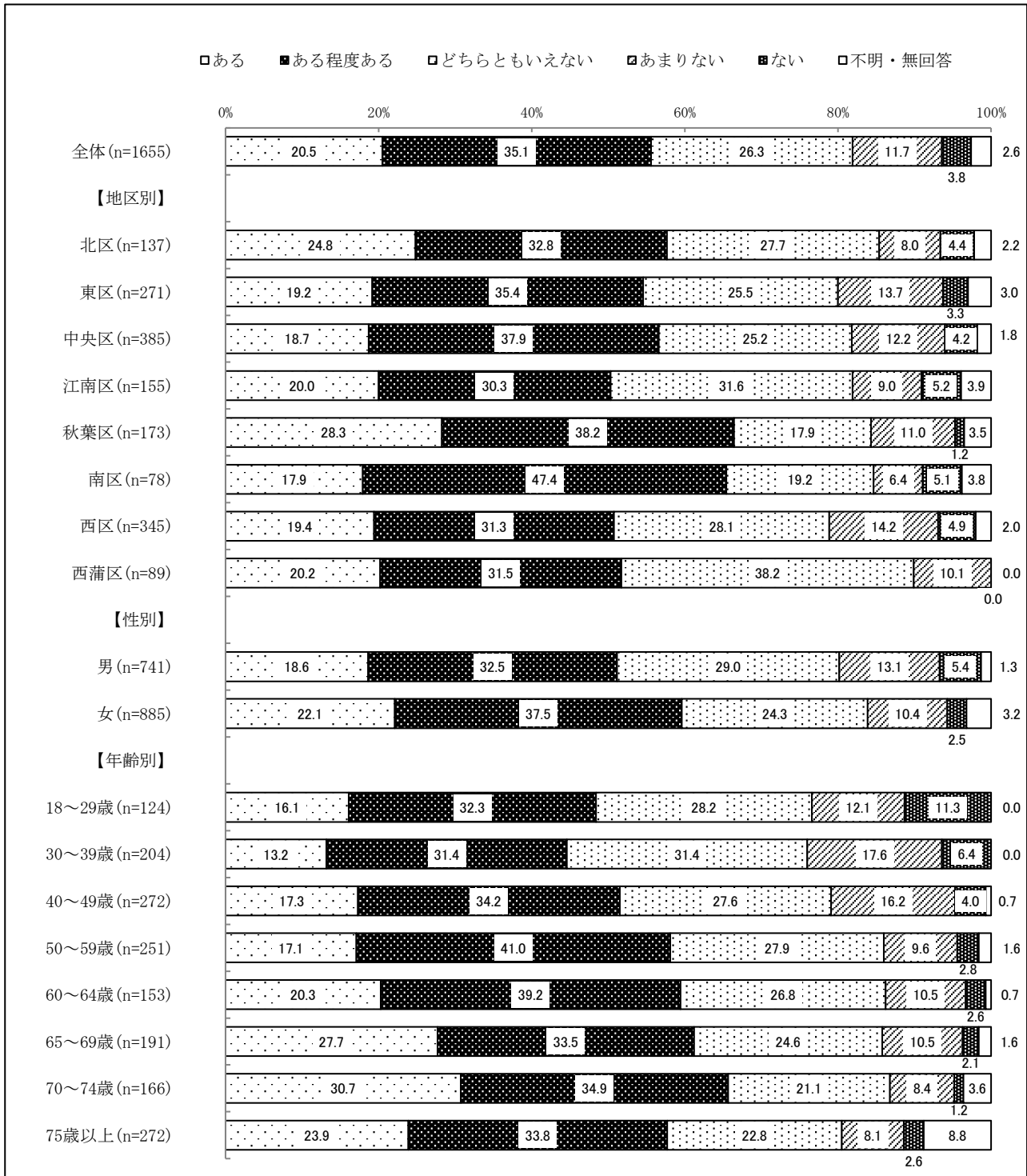
④酒



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では江南区（78.1%）で最も高く、どの地区も7割を超えた。性別では、女性（72.4%）と比べて男性（79.8%）で割合が高い。年齢別では、60～64歳（83.0%）で最も高い。60～64歳をピークに、以降の年齢では割合が低くなる傾向がみられる。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（7.5%）を除く地区で1割台となった。年齢別では75歳以上（16.2%）で最も高い。

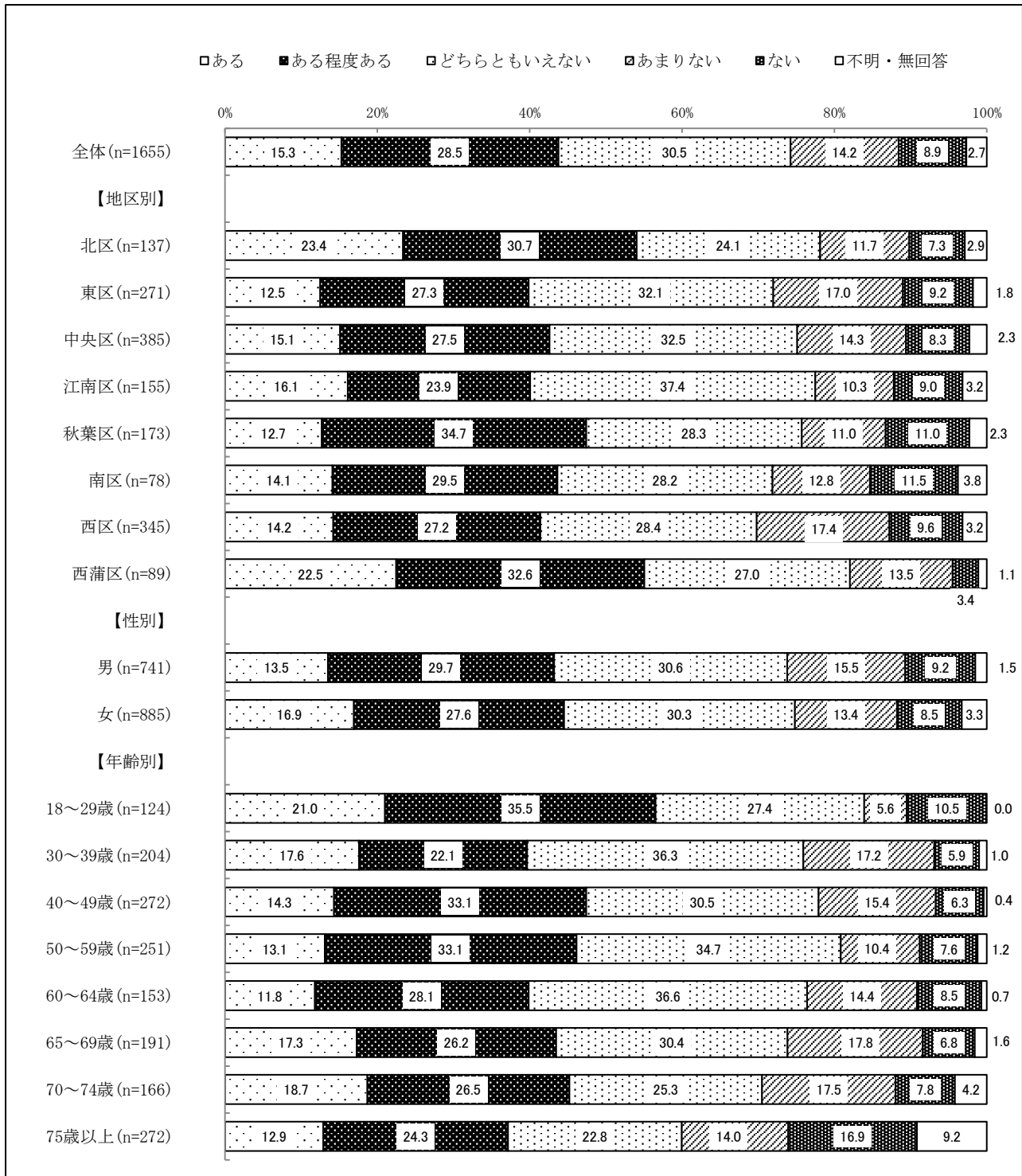
⑤花・花木



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、他の地区と比べて秋葉区（66.5%）、南区（65.4%）で割合が高く、6割を超えた。性別では、男性（51.1%）と比べて女性（59.7%）で割合が高い。年齢別では、70～74歳（65.7%）で最も高く、概ね年齢が上がるほど割合が高い傾向がみられる。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区（19.1%）、年齢別では30～39歳（24.0%）で最も高い。

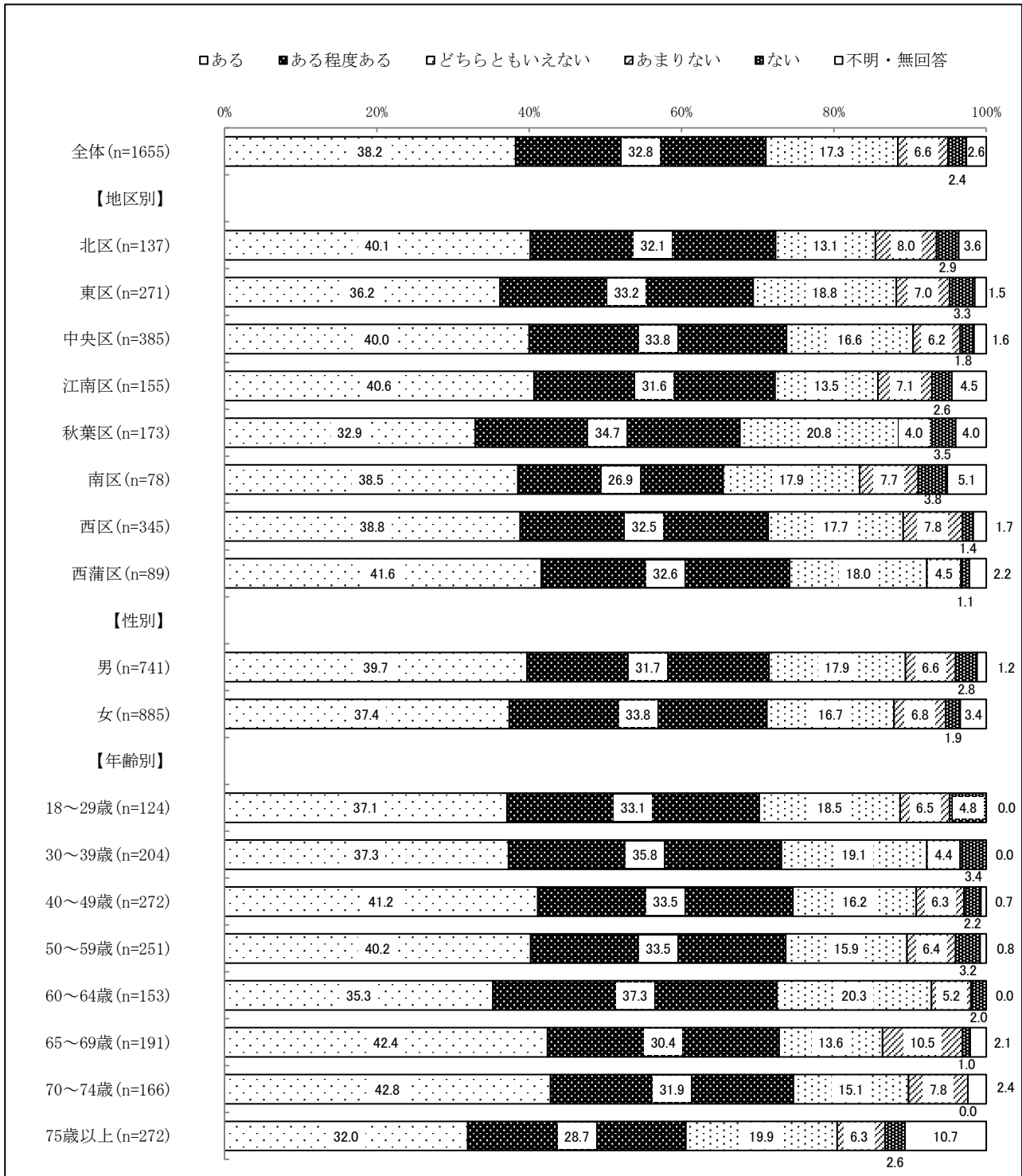
⑥食・農体験



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (55.1%)、北区 (54.0%) で高く、5割を超えた。性別では、あまり差が見られない。年齢別では、18～29歳 (56.5%) で最も高く、75歳以上 (37.1%) で最も低い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区 (27.0%)、年齢別では75歳以上 (30.9%) で最も高い。

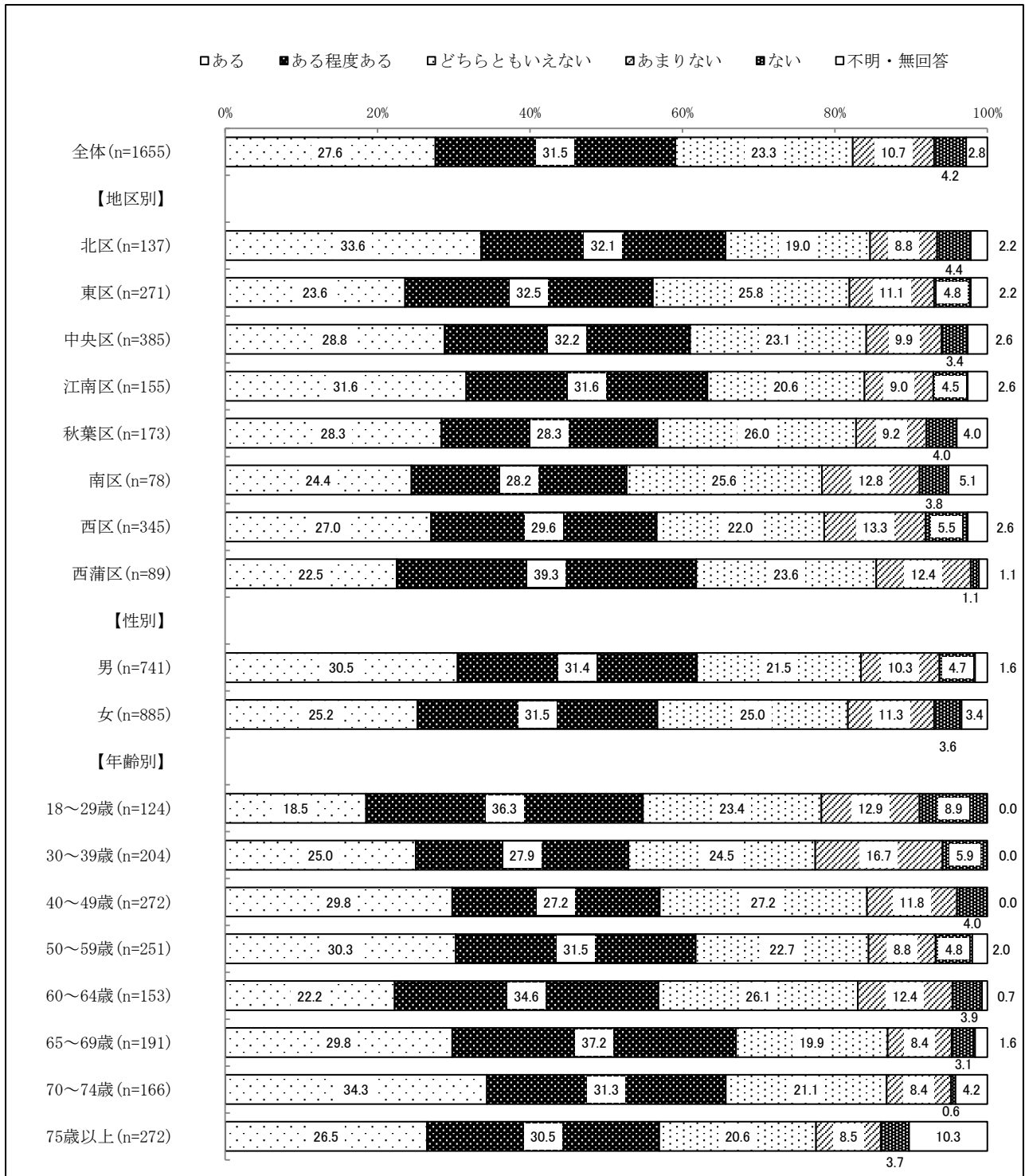
⑦日本海



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では東区（69.4%）、秋葉区（67.6%）、南区（65.4%）を除く地区7割を超えた。性別で差はない。年齢別では、75歳以上（60.7%）を除く年齢で7割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、北区（10.9%）、東区（10.3%）、南区（11.5%）で高く、1割を超えた。年齢別では18歳～29歳（11.3%）、65～69歳（11.5%）で高く、1割を超えた。

⑧河川

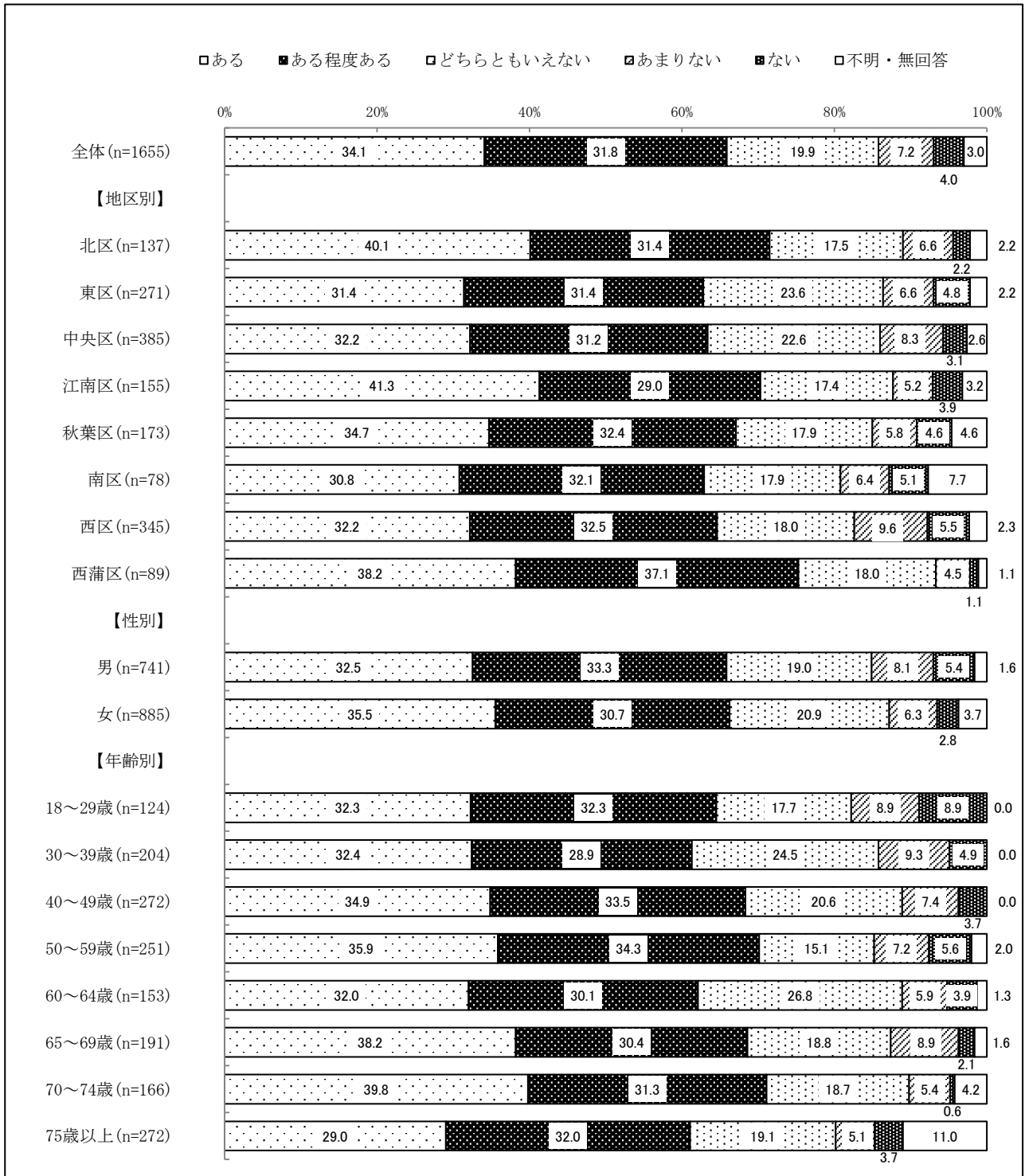


「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区 (65.7%) で最も高く、南区 (52.6%) で最も低い。性別では、女性 (56.7%) と比べて男性 (61.9%) で割合が高い。年齢別では、65～69歳 (67.0%) で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区 (18.8%)、年齢別では30～39歳 (22.5%) で最も高くなっている。



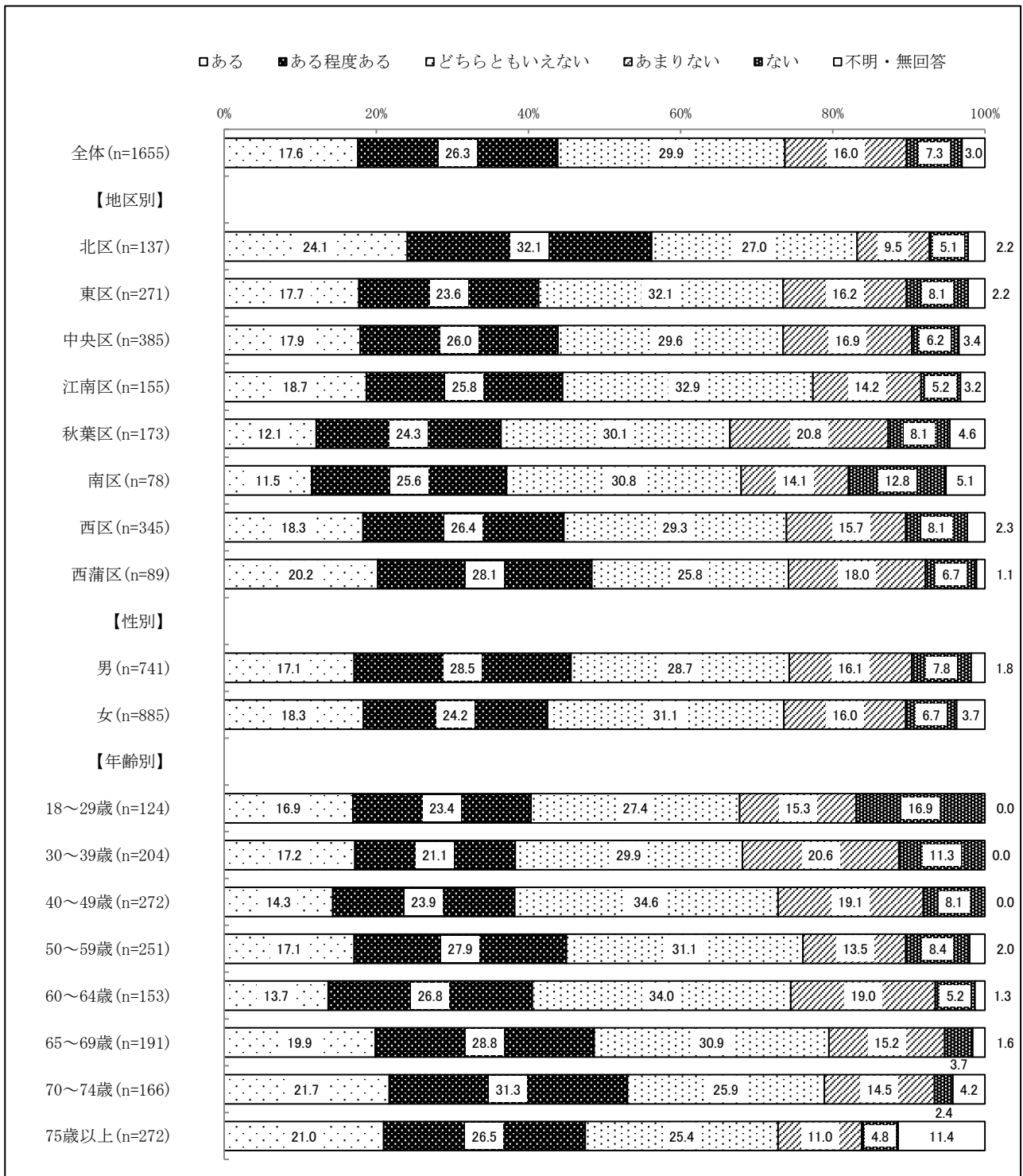
⑨田園



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（75.3%）で最も高い。性別での差は見られない。年齢別では、50～59歳（70.1%）、70～74歳（71.1%）で割合が高く、7割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区（15.1%）、年齢別では18～29歳（17.7%）で最も高い。

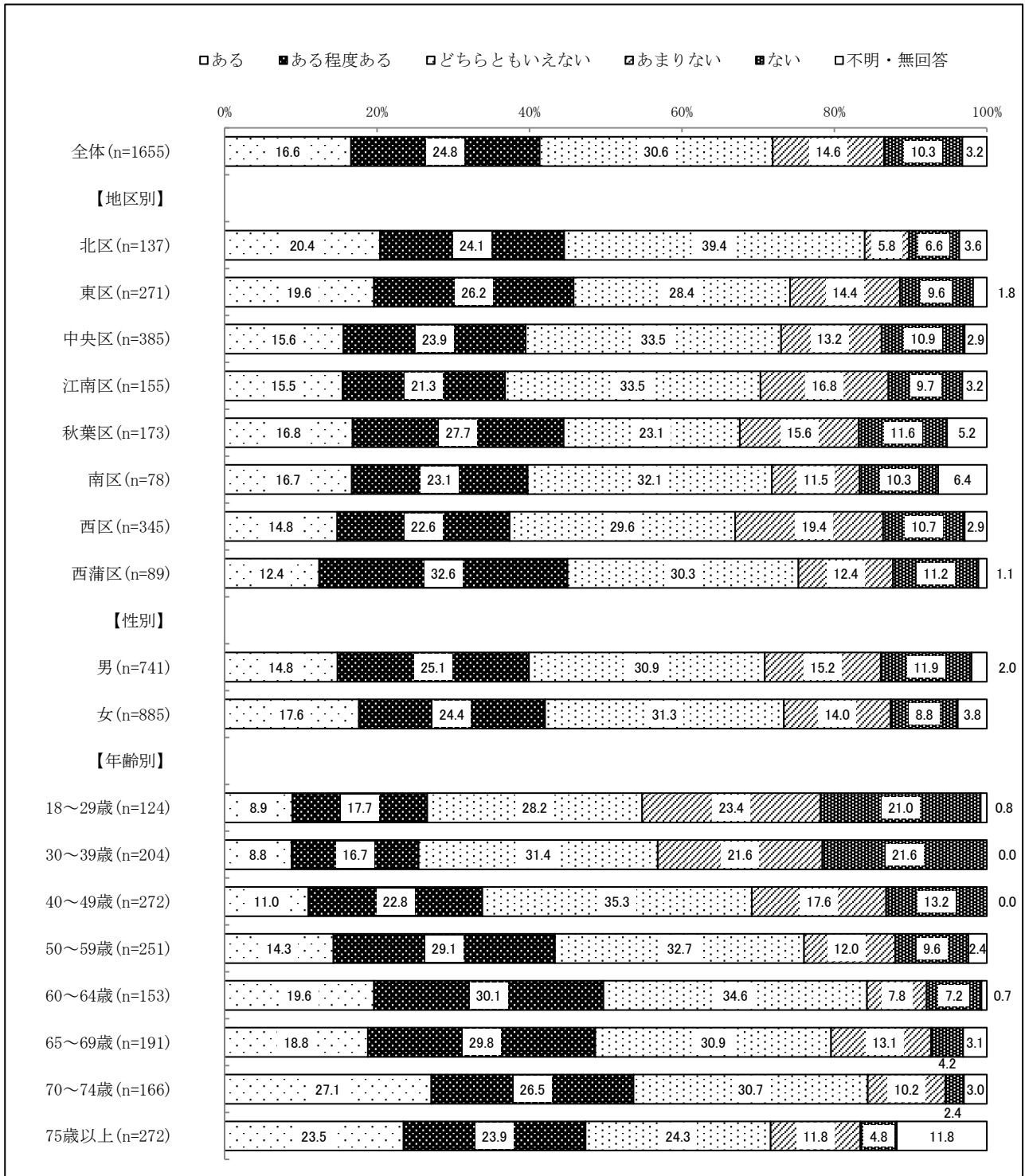
⑩ 湯



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区 (56.2%) で最も高く、秋葉区 (36.4%) で最も低い。性別では、女性 (42.5%) と比べて男性 (45.6%) でやや高い。年齢別では、70～74 歳 (53.0%) で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、北区 (14.6%)、江南区 (19.4%) を除く地区で 2 割を超えた。年齢別では 18～29 歳 (32.3%)、30～39 歳 (31.9%) で割合が高く、3 割を超えた。

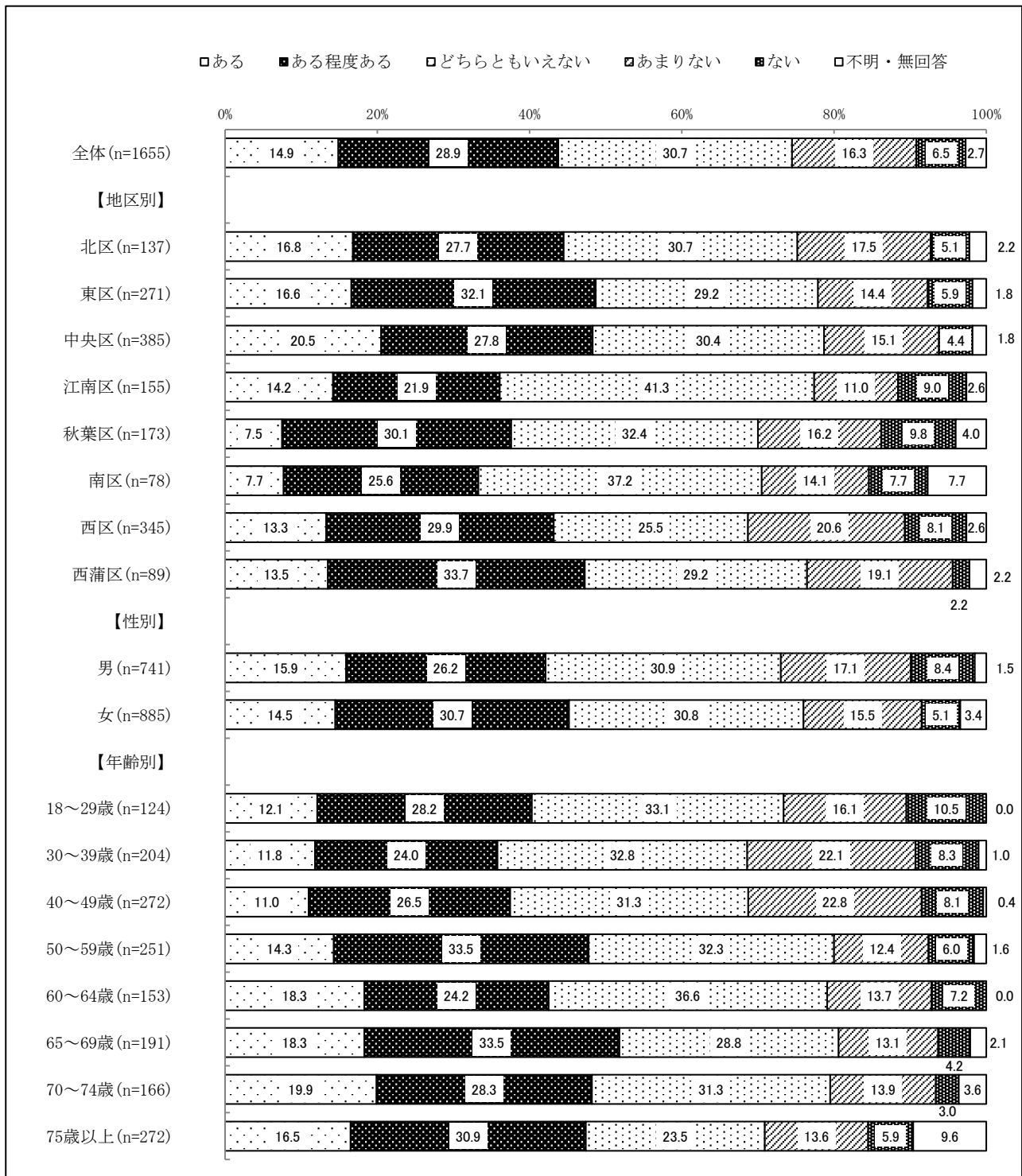
⑪気候



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、北区（44.5%）、東区（45.8%）、秋葉区（44.5%）、西蒲区（44.9%）で高く、4割を超えた。性別ではあまり差はみられない。年齢別では、70～74歳（53.6%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区（30.1%）で最も高く、3割を超えた。年齢別では18～29歳（44.4%）、30～39歳（43.1%）で4割を超え、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

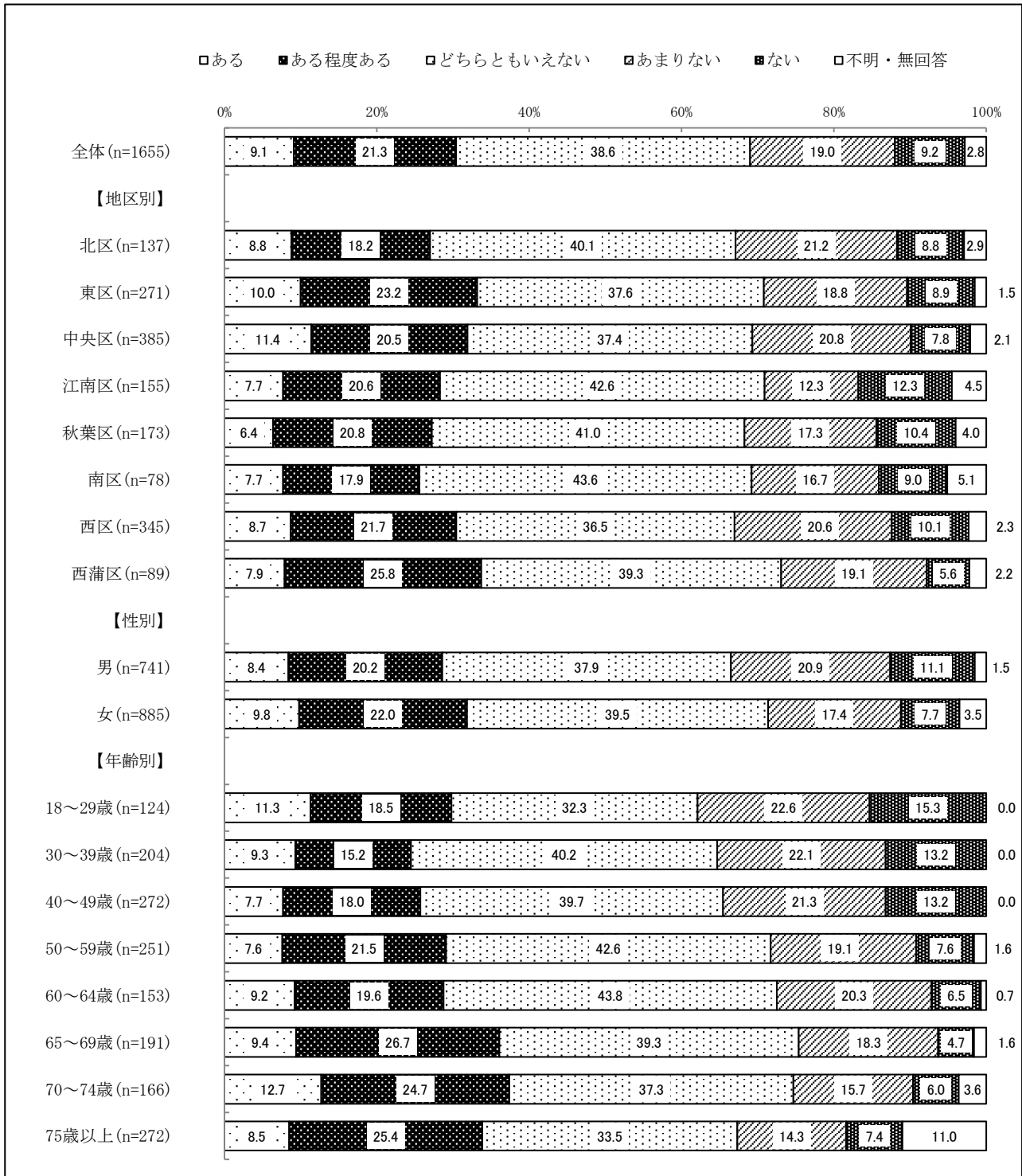
⑫ 湊町の歴史、風土、街並み



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、江南区（36.1%）、秋葉区（37.6%）、南区（33.3%）を除く地区で4割を超えた。性別では男性（42.1%）と比べて女性（45.2%）で割合がやや高い。年齢別では、65～69歳（51.8%）で最も高く、5割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区（28.7%）で最も高い。年齢別では30～39歳（30.4%）と40～49歳（30.9%）で割合が高く、3割を超えた。

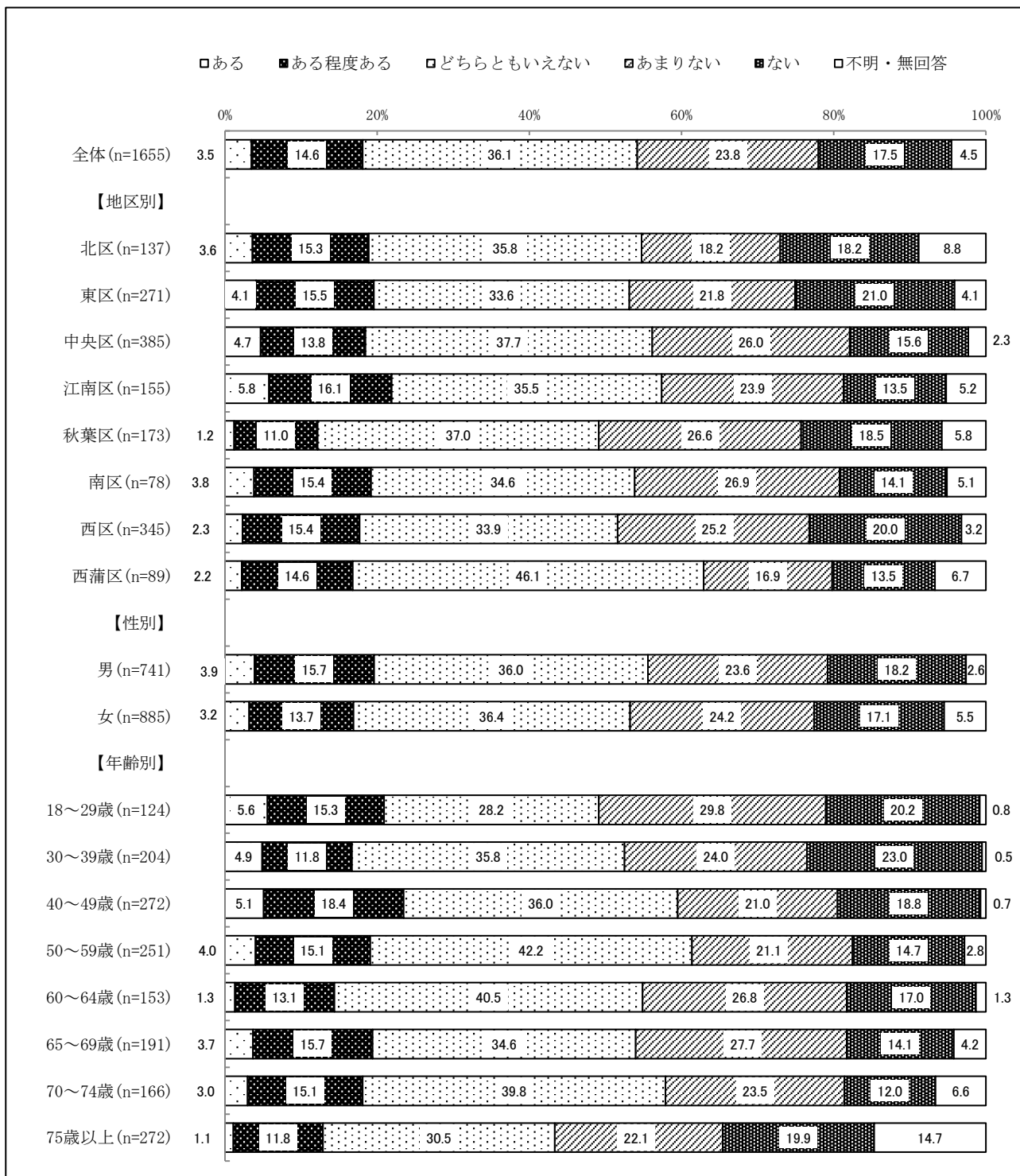
⑬文化芸術



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では東区（33.2%）、中央区（31.9%）、西区（30.4%）、西蒲区（33.7%）で3割を超えた。性別では男性（28.6%）と比べて女性（31.9%）で割合が高い。年齢別では、65歳以上で3割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区（30.7%）で3割を超えた。年齢別では18～29歳（37.9%）で最も高く、概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。地区別では北区、秋葉区、西区、性別では男性、年齢別では18～49歳で、「あまりない」「ない」を合わせた割合が「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

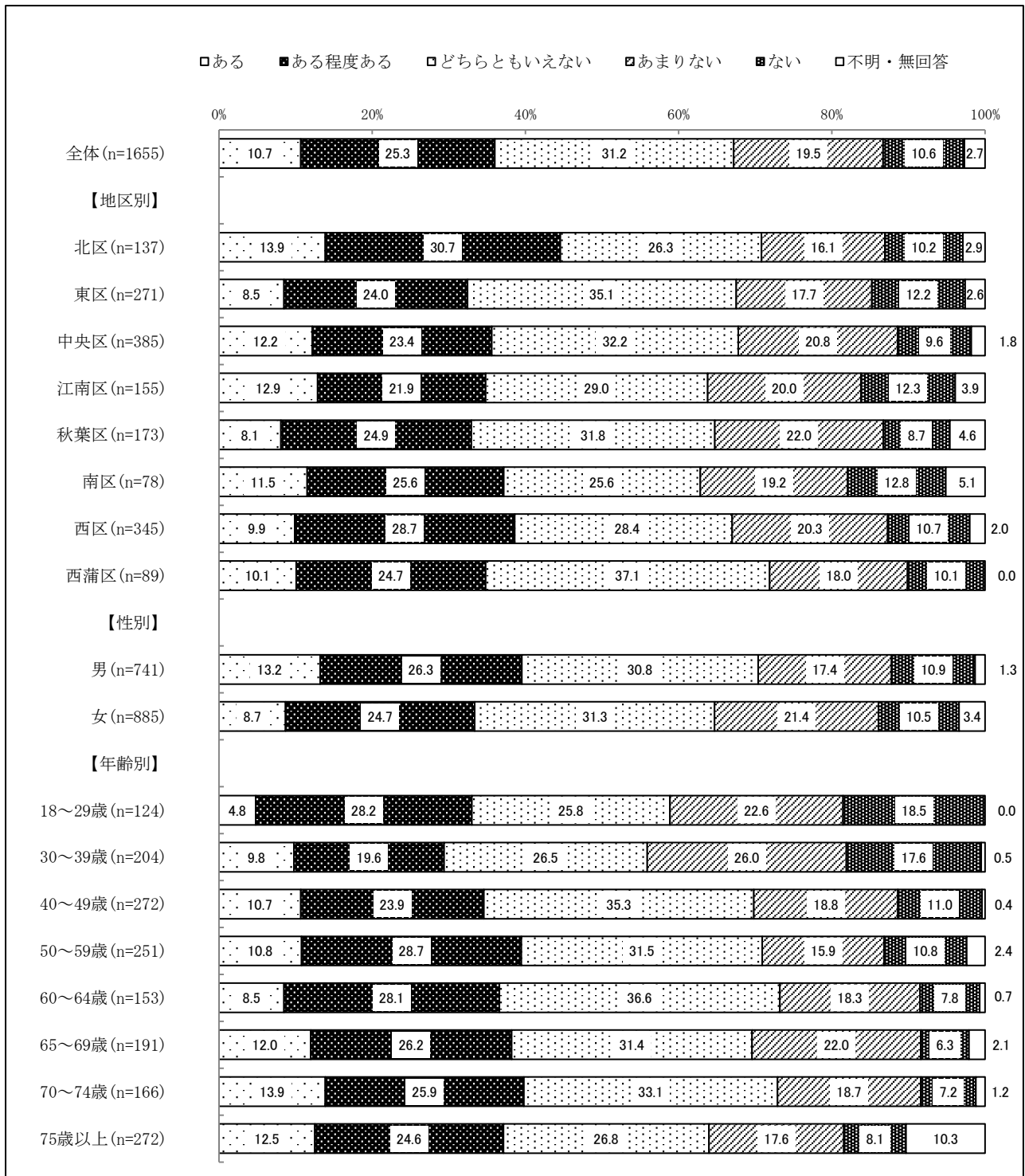
⑭ポップカルチャー



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では江南区（21.9%）で最も高く、2割を超えた。性別では女性（16.8%）と比べて男性（19.6%）で割合がやや高い。年齢別では、18～29歳（21.0%）、40～49歳（23.5%）で2割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区（45.2%）、秋葉区（45.1%）で他の地区と比べて割合がやや高い。年齢別では18～29歳（50.0%）で最も高く、半数を占めた。すべての項目で、「あまりない」「ない」を合わせた割合が、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

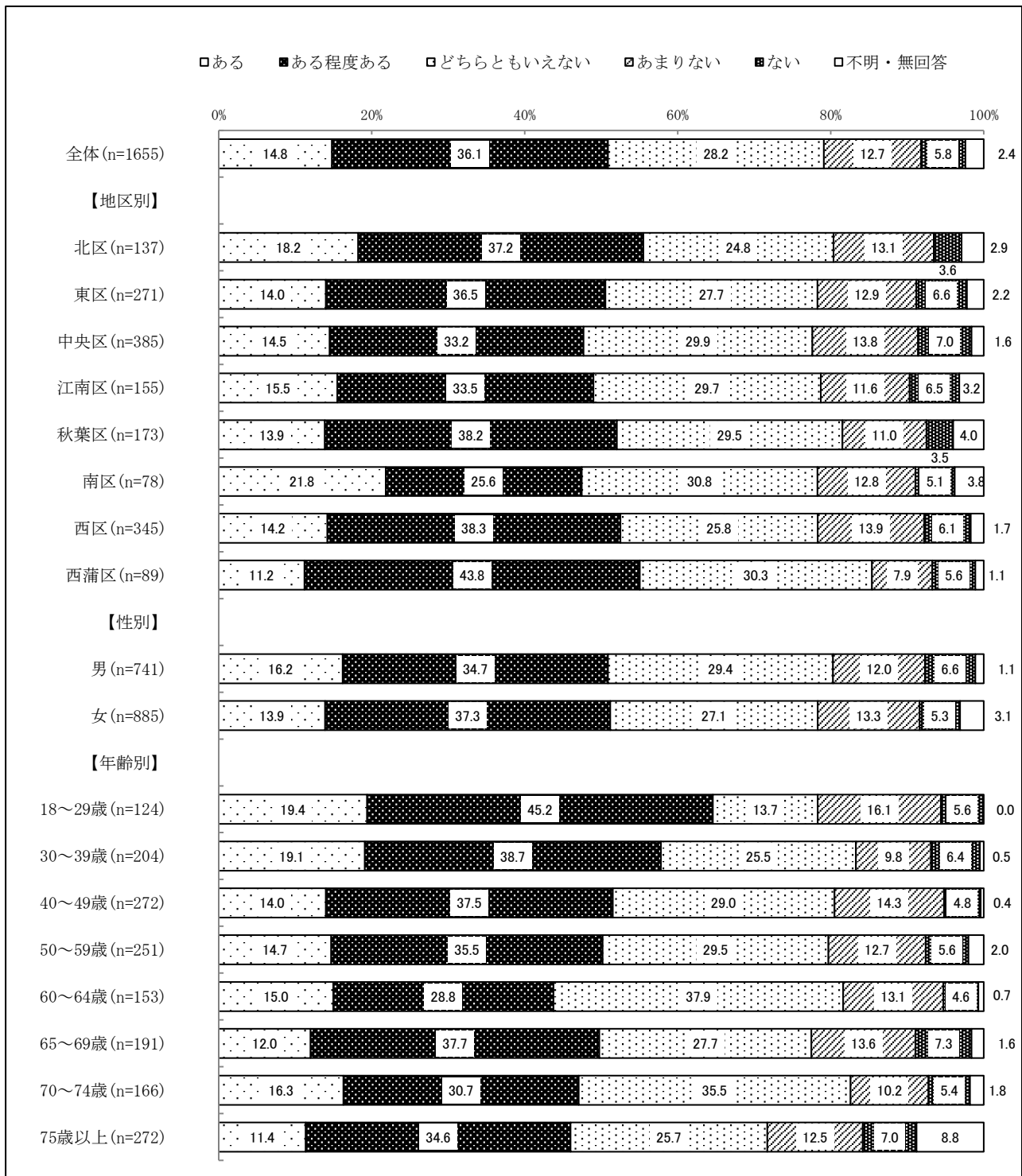
⑮スポーツ



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区（44.5%）で高く、4割を超えた。性別では女性（33.4%）と比べて男性（39.5%）で割合が高い。年齢別では、70～74歳（39.8%）で最も高く、30～39歳（29.4%）を除くすべての年齢で3割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では江南区（32.3%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（41.1%）、30～39歳（43.6%）で4割を超え、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

⑩まつり・イベント

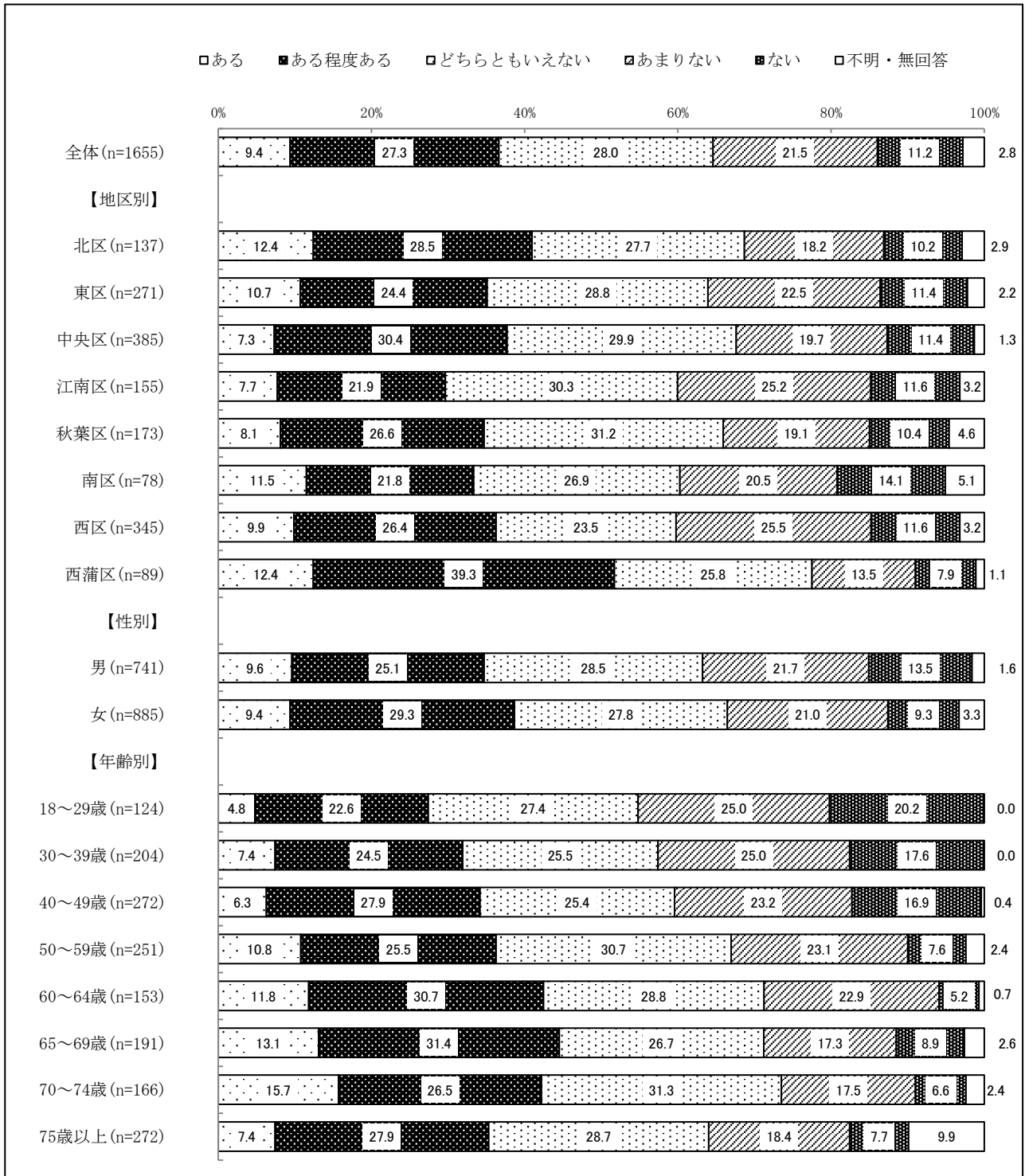


「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区(55.5%)で最も高い。中央区(47.8%)、江南区(49.0%)、南区(47.4%)を除く地区で5割を超えた。性別では差が見られない。年齢では、18～29歳(64.5%)で最も高く、60～64歳(43.8%)で最も低い。概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では中央区(20.8%)、西区(20.0%)で2割を超えた。年齢別では18～29歳(21.8%)、65～69歳(20.9%)で2割を超えた。



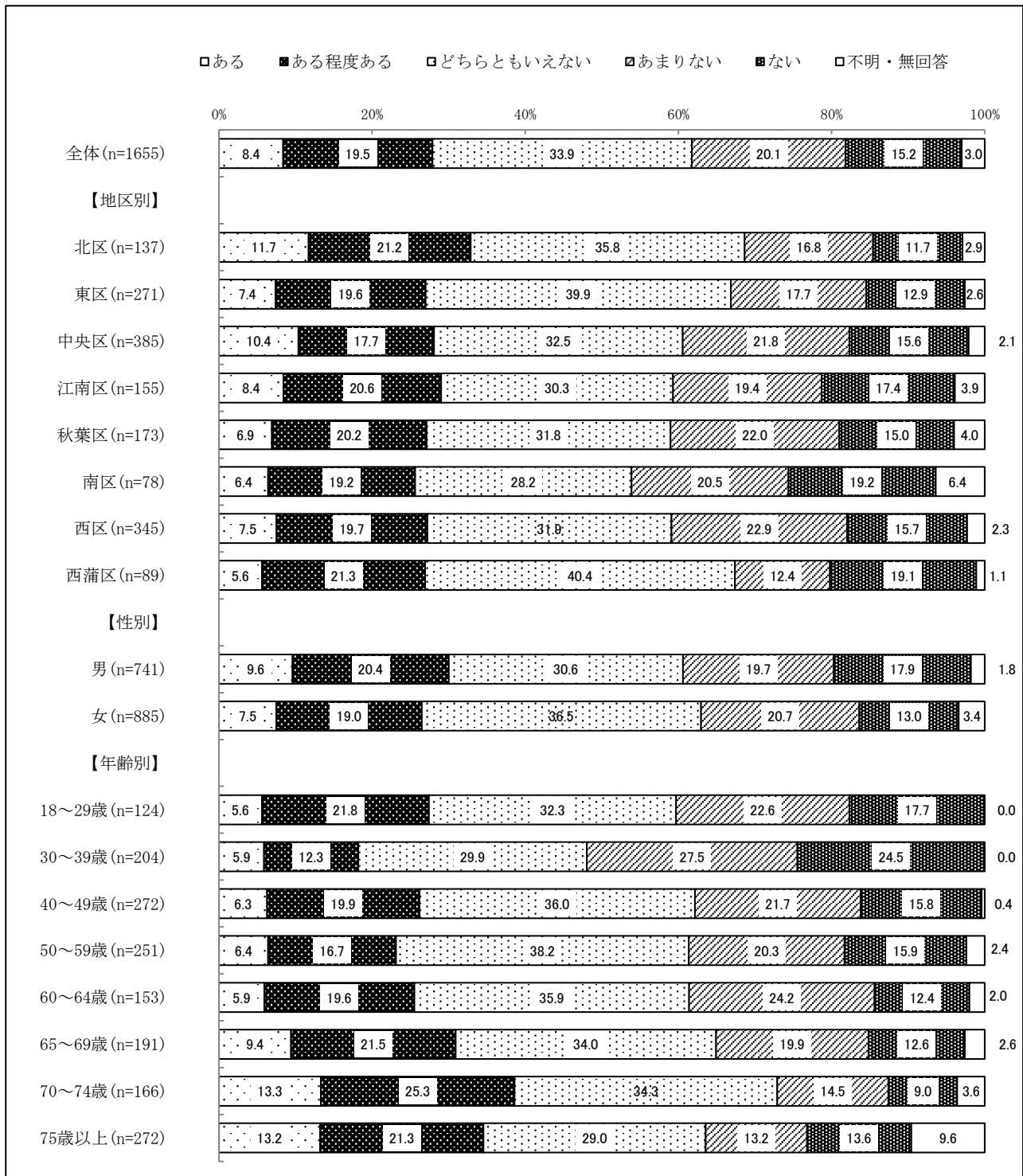
⑰観光スポット



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（51.7%）で最も高く5割を超えた。性別では、男性（34.7%）と比べて女性（38.6%）で割合がやや高い。年齢別では、65～69歳（44.5%）で最も高く、概ね高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区（37.1%）、年齢別では18～29歳（45.2%）で最も高い。

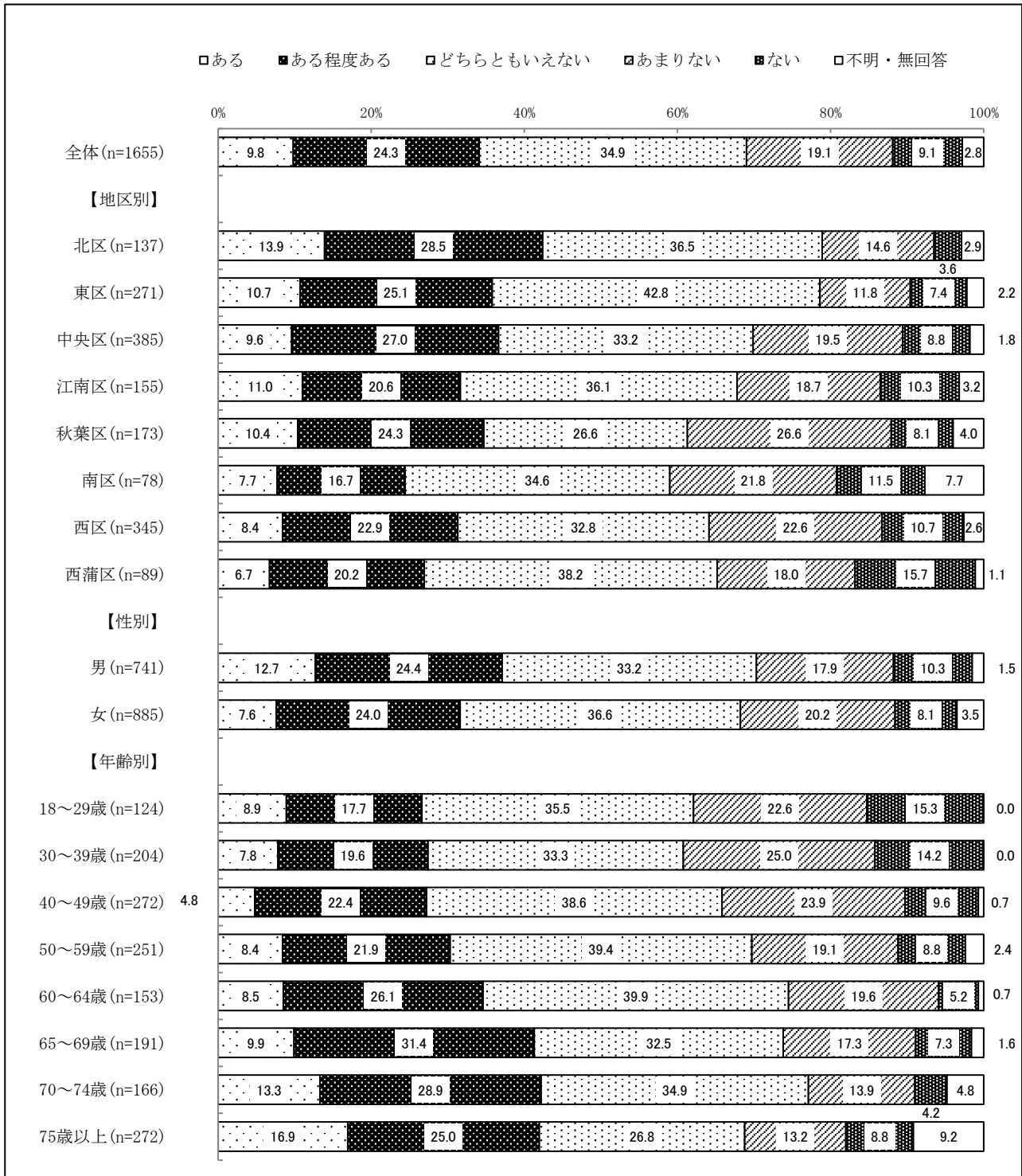
⑱政令指定都市



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区（32.8%）で最も高く、3割を超えた。性別では、女性（26.4%）と比べて男性（30.0%）で割合がやや高い。年齢別では、70～74歳（38.6%）で最も高く、30～39歳（18.1%）で最も低い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では南区（39.7%）で最も高い。年齢別では30代（52.0%）で最も高く5割を超えた。地区別では北区を除く地区で、年齢別では70歳以上を除く年齢で、「あまりない」「ない」を合わせた割合が、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

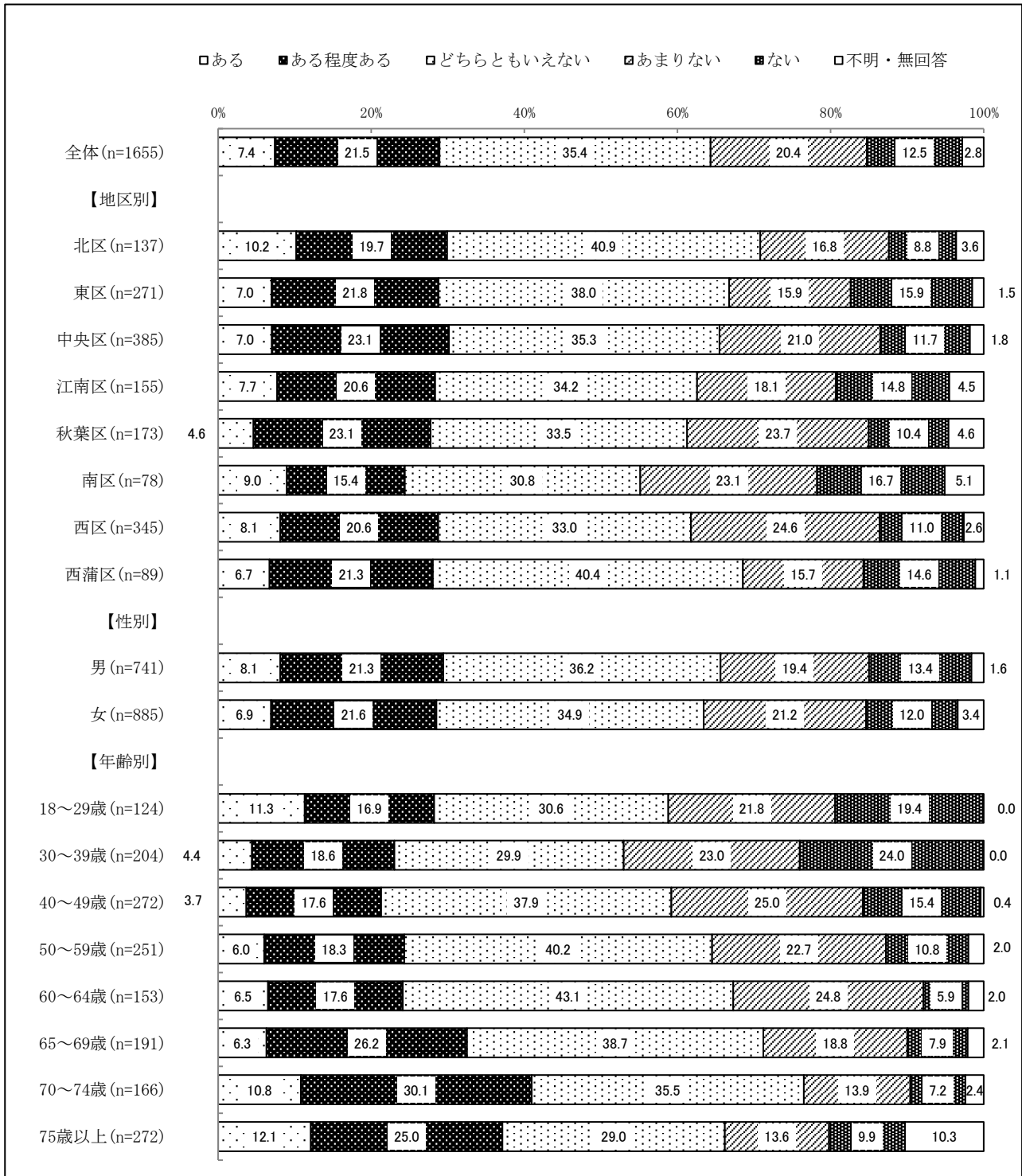
①新潟港、新潟空港



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区（42.3%）で最も高く、4割を超えた。性別では、女性（31.5%）と比べて男性（37.1%）で割合が高い。年齢別では、70～74歳（42.2%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（34.7%）、年齢別では30代（39.2%）で最も高い。地区別では南区、西区、西蒲区で、年齢別では49歳以下で、「あまりない」「ない」を合わせた割合が、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

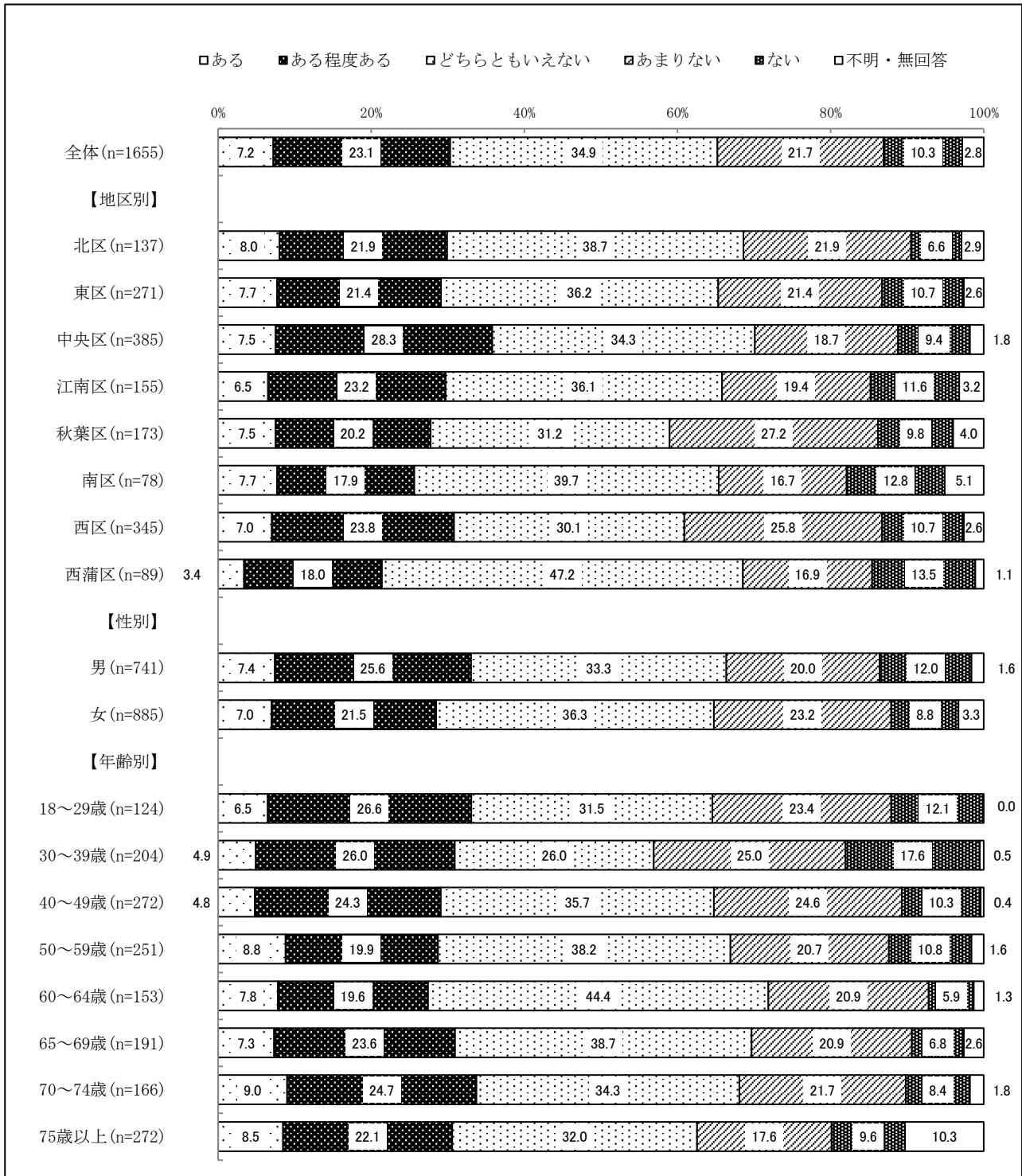
⑳大学、短期大学、専門学校



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（30.1%）で最も高く、3割を超えた。性別では、ほとんど差がない。年齢別では、70～74歳（41.0%）で割合が最も高く、4割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、南区（39.7%）で最も高い。北区（25.5%）を除く地区で3割を超えた。年齢別で見ると、40歳以下で4割を超えた。概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。地区別では北区を除く地区で、年齢別では64歳以下で、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

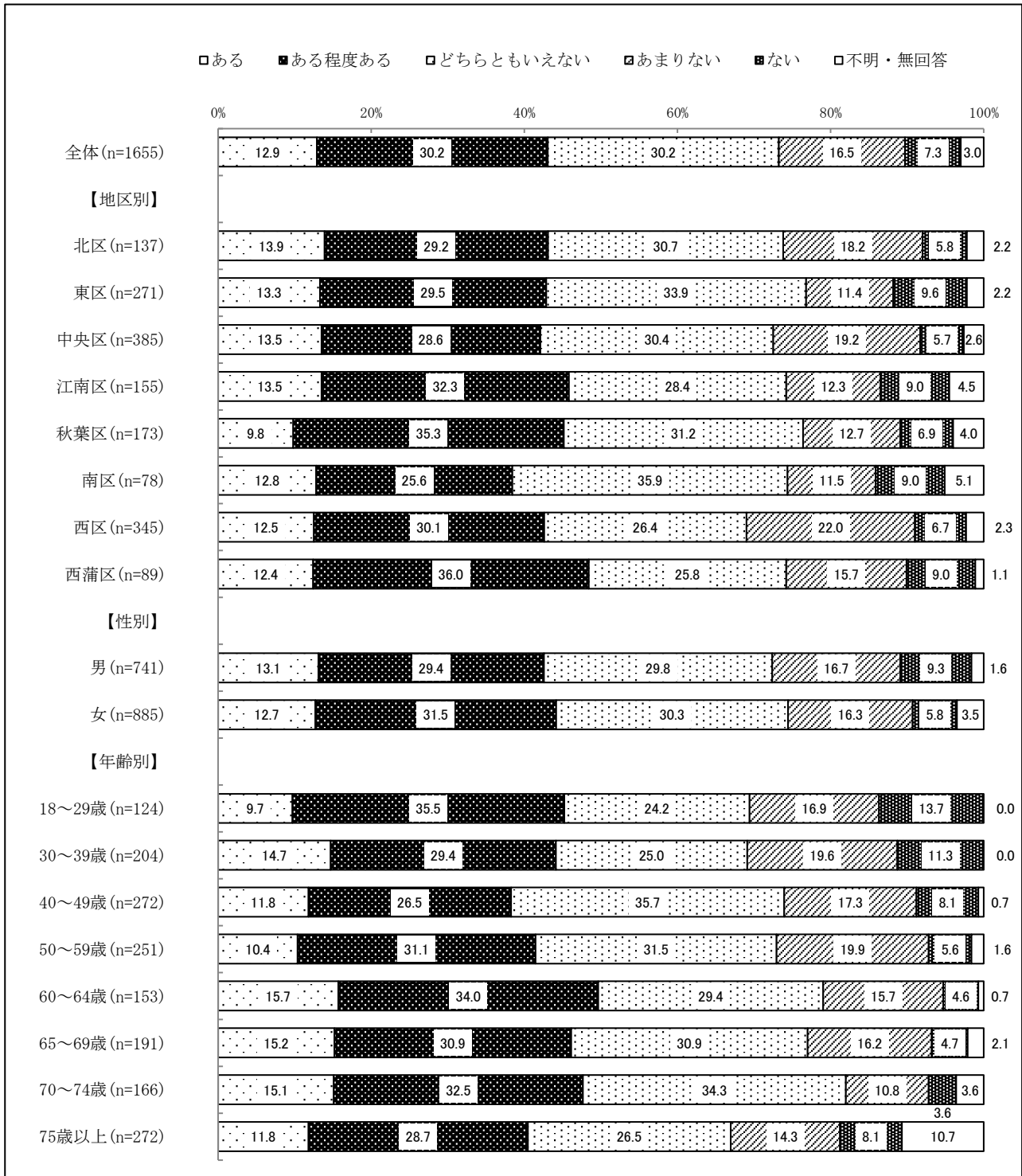
②1 繁華街、街の中心部、特定の商業エリア



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（35.8%）で最も高い。性別では女性（28.5%）と比べて男性（33.1%）で割合が高い。年齢別では、39歳以下、65歳以上で3割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（37.0%）で最も高い。年齢別では30代（42.6%）で最も高い。地区別では北区、中央区を除く地区で、年齢別では59歳以下で、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

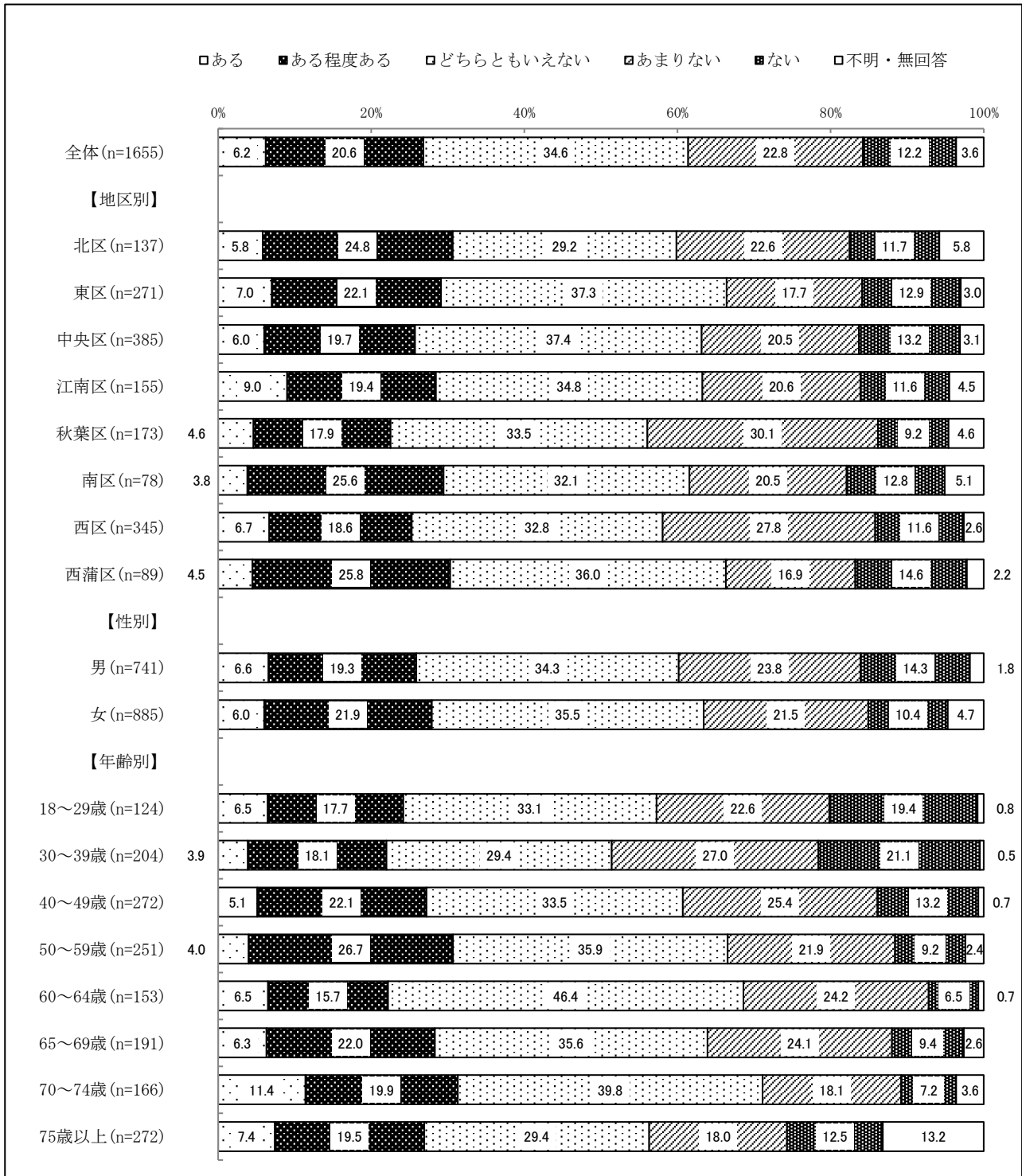
②ものづくり



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (48.3%) で最も高く、南区 (38.5%) を除く地区で4割を超えた。性別では、あまり差が無い。年齢別では、60～64歳 (49.7%) で割合が最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区 (28.7%) で最も高い。年齢別では18～29歳 (30.6%)、30～39歳 (30.9%) で割合が高く、3割を超えた。

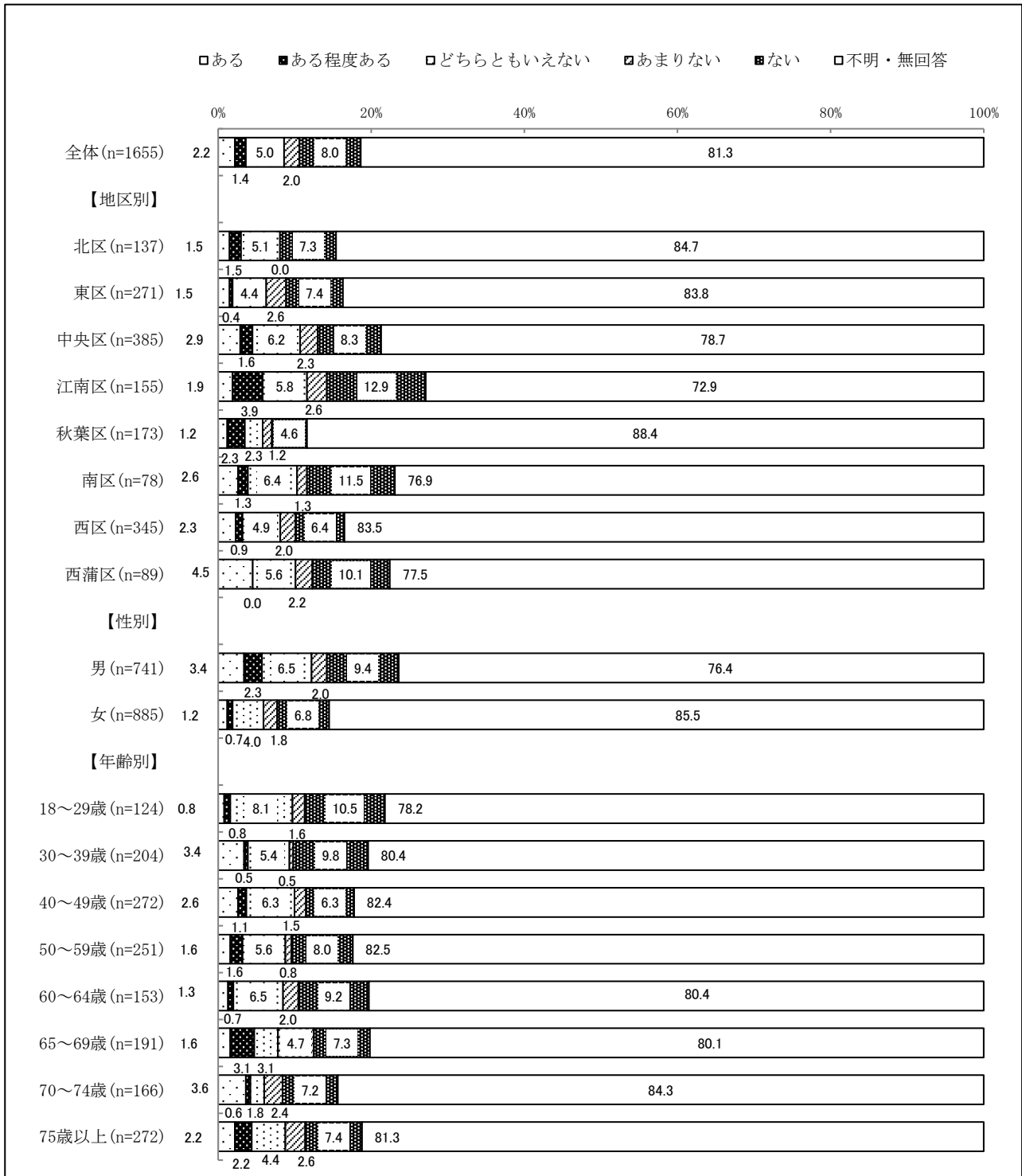
②③ 著名人



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区（30.7%）、西蒲区（30.3%）で3割を超えた。性別では、あまり差がみられない。年齢別では、70～74歳（31.3%）で最も高く、3割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区（39.4%）、年齢別では30～39歳（48.0%）で最も高い。70～74歳を除くすべての項目で、「あまりない」「ない」を合わせた割合が、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

④その他

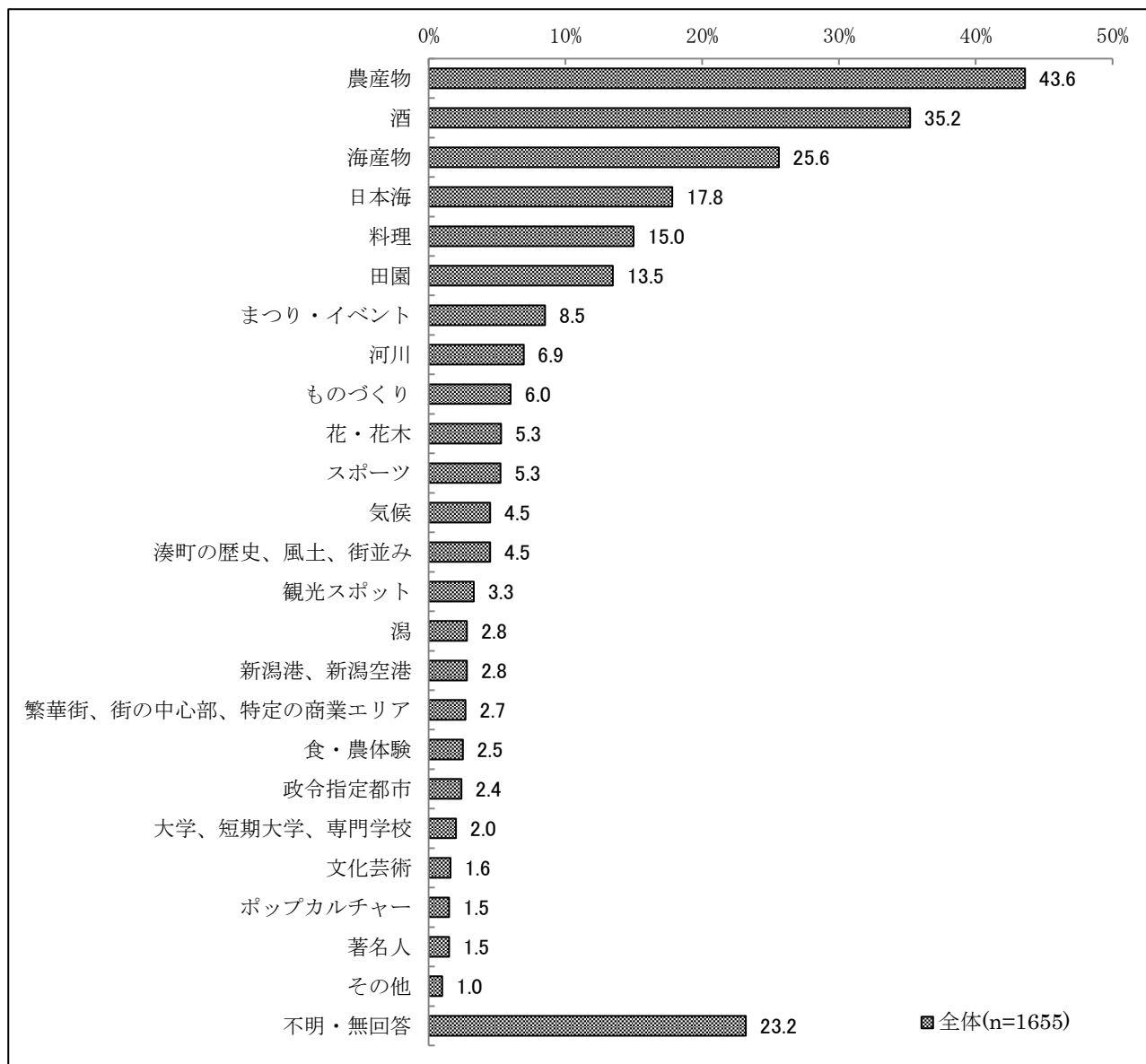


図のみの掲載とする。



## (2) 特に誇りや愛着を感じているもの

問2 上記で、「ある」と回答した項目のうち、特に誇りや愛着を感じているものを上位3つまでお答えください。



— 特に誇りや愛着を感じているものは「農産物」が4割以上 —

### 【全体結果】

全体で「農産物」(43.6%)と回答した割合が最も高く、4割を超えた。次いで「酒」(35.2%)が3割台、「海産物」(25.6%)が2割台、「日本海」(17.8%)、「料理」(15.0%)、「田園」(13.5%)が1割台で、以下、順に続く。

## 【属性別結果】（図 1-1 参照）

### ①地区別

全体で最も割合の高かった「農産物」は、北区（38.0%）を除いた地区で4割を超えた。「酒」は東区（41.0%）で、他の地区と比べて割合がやや高い。秋葉区で「花・花木」（15.6%）と答えた割合が、他の地区と比べて突出している。

### ②性別

「農産物」「海産物」は、男性（各 40.8%、24.0%）と比べて女性（各 46.2%、27.1%）で割合が高い。「酒」は、女性（34.0%）と比べて男性（37.1%）で割合が高い。

### ③年齢別

30～39歳を除く年齢で、「農産物」と回答した割合が最も高い。30～39歳は「酒」（45.6%）と回答した割合が最も高い。「まつり・イベント」は、他の年齢と比べて18～29歳（19.4%）で割合が突出している。

図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 1/4

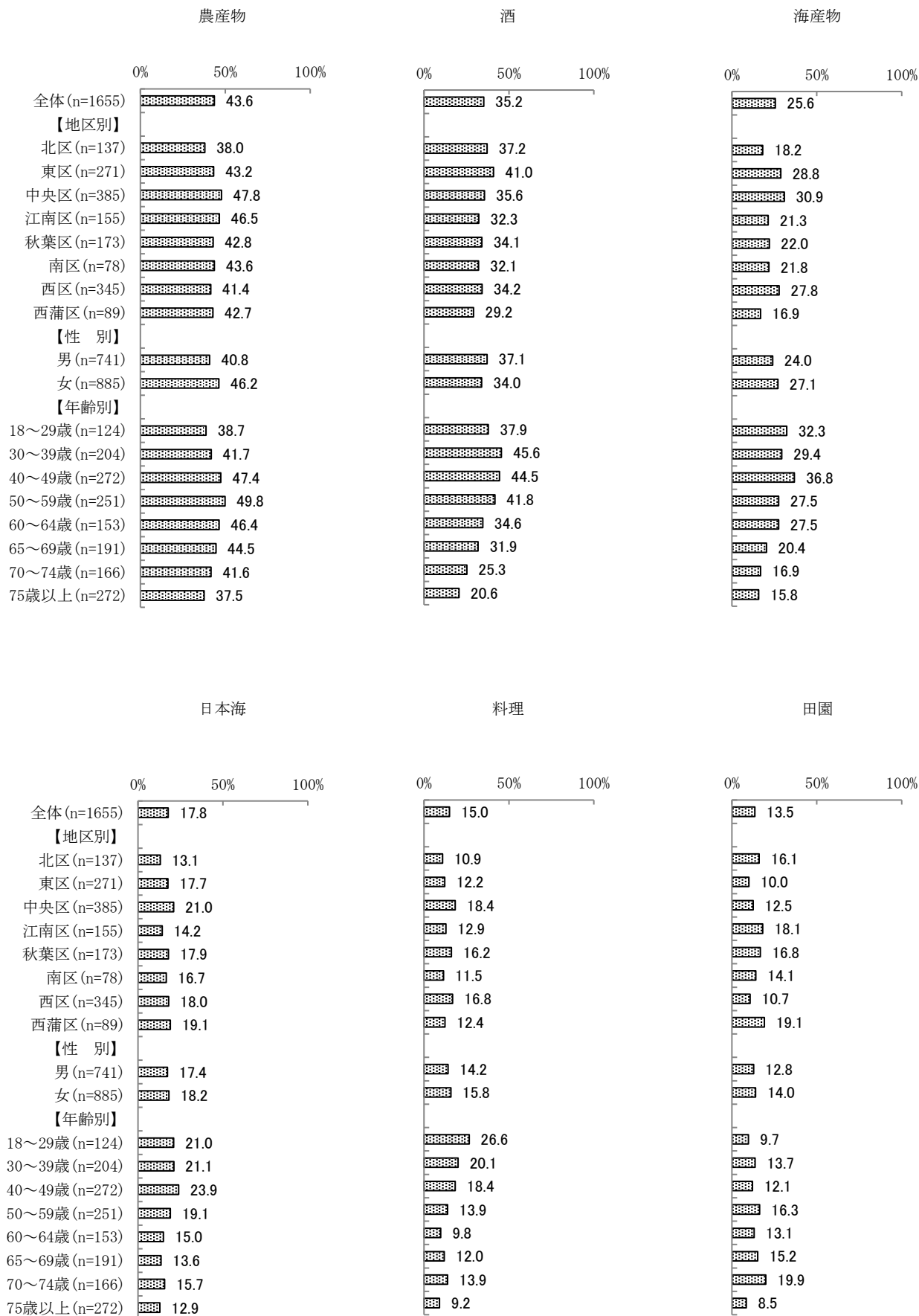


図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 2/4

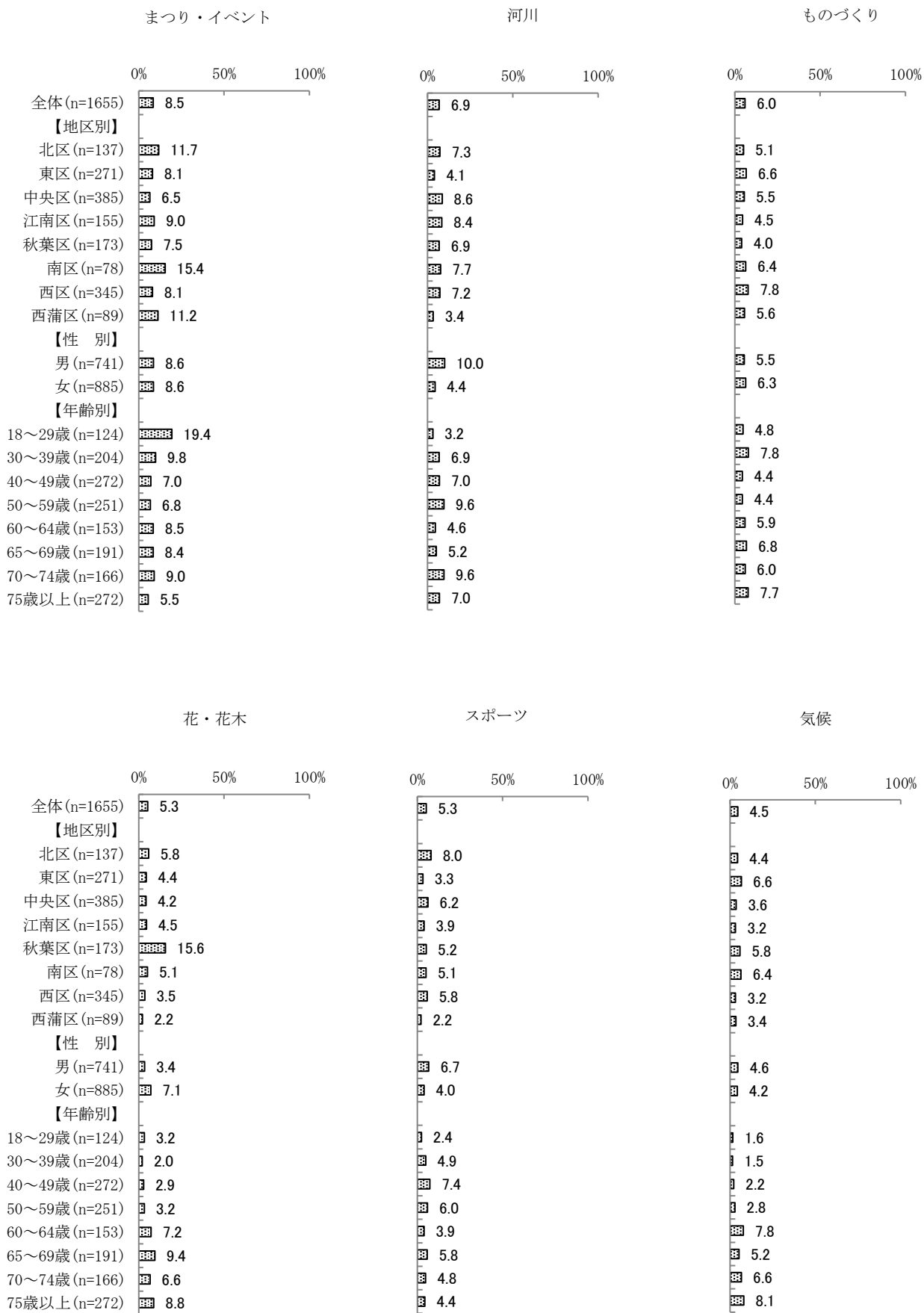


図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 3/4

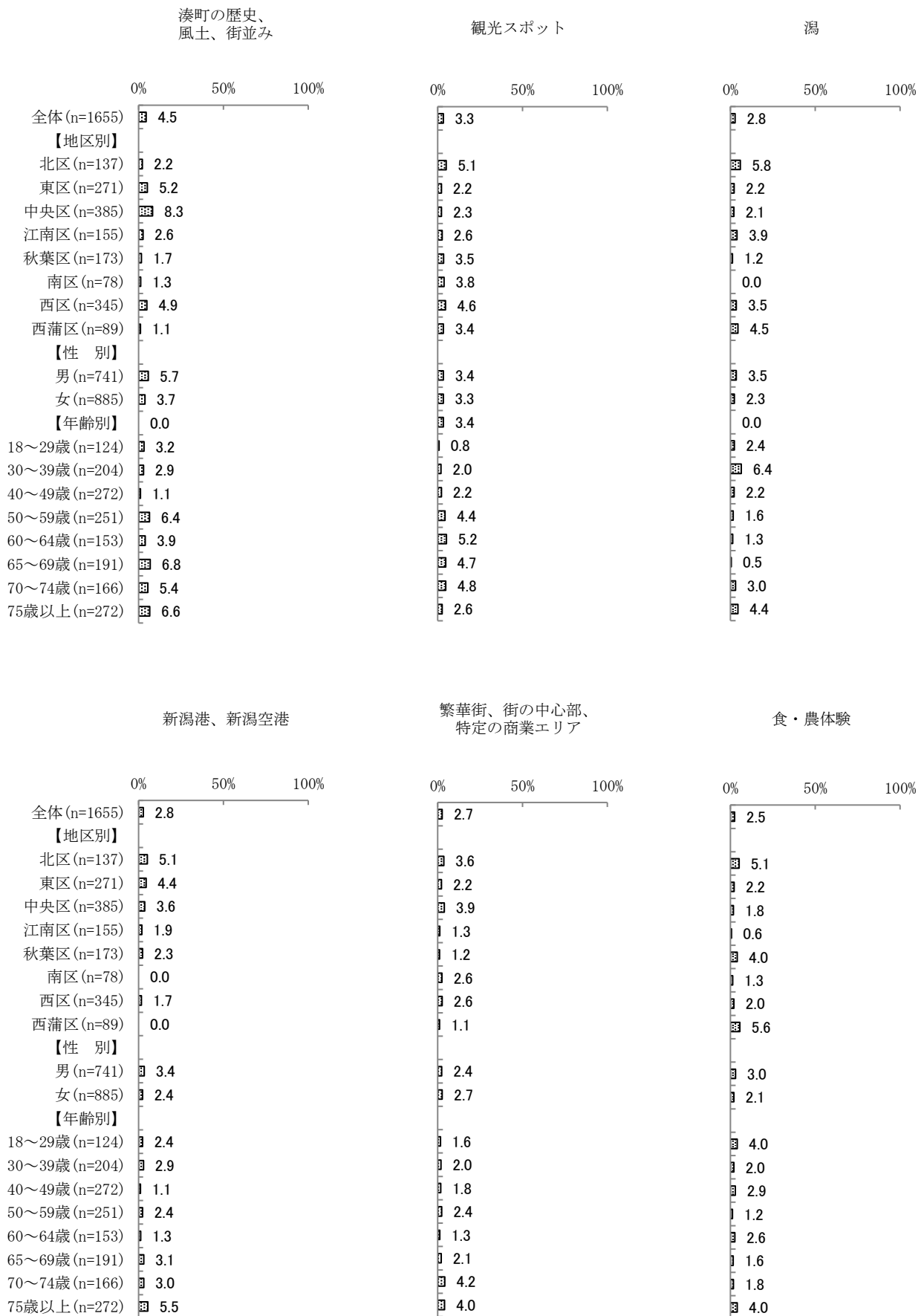
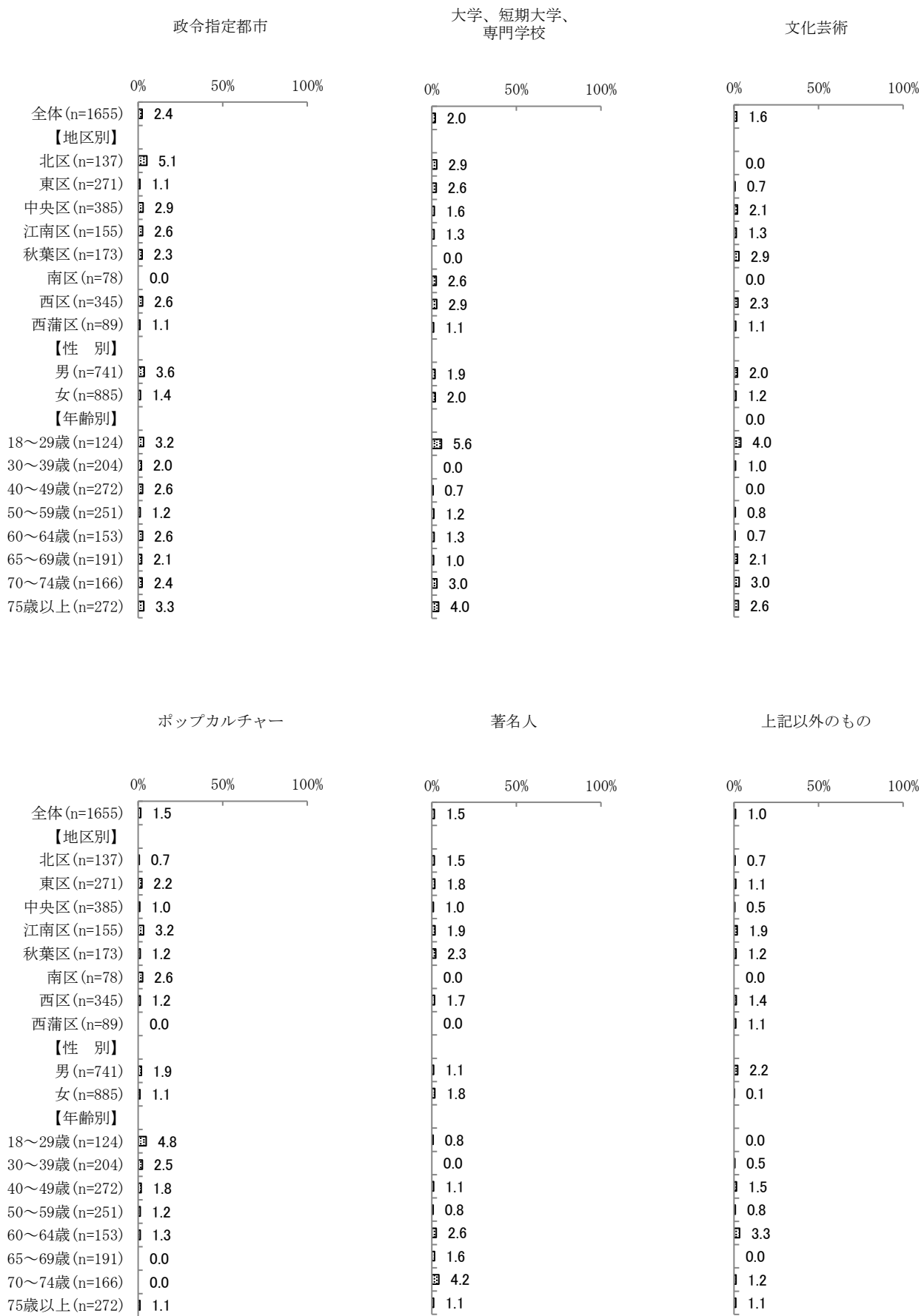


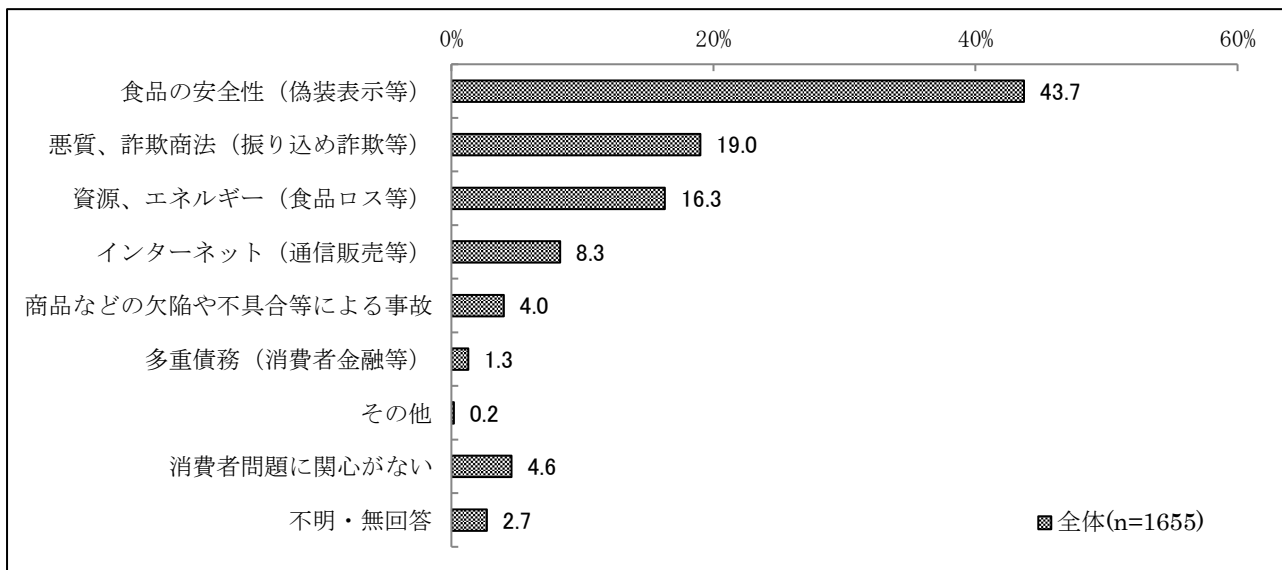
図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 4/4



## 2. 消費生活について

### (1) 消費者問題への関心

問3 あなたは、どのような消費者問題に関心がありますか。次のうちから選んでください。  
(○は1つだけ)



### — 「食品の安全性」への関心が4割以上 —

#### 【全体結果】

「食品の安全性」(43.7%)が4割を超え、割合が最も高い。次に続く「悪質、詐欺商法」(19.0%)の倍以上の割合で、突出している。「資源、エネルギー」(16.3%)が1割半ばを超えた。

「消費者問題に関心がない」(4.6%)は5%未満にとどまった。

#### 【属性別結果】(図2-1参照)

##### ①地区別

「食品の安全性」は、全ての地区で割合が最も高く、北区(51.8%)、西蒲区(51.7%)では5割を超えた。「悪質、詐欺商法」は、中央区(20.5%)、江南区(21.9%)、南区(23.1%)で割合が高い。秋葉区、西区では、「食の安全性」に次いで、「資源、エネルギー」(各19.1%、16.5%)の割合が高い。

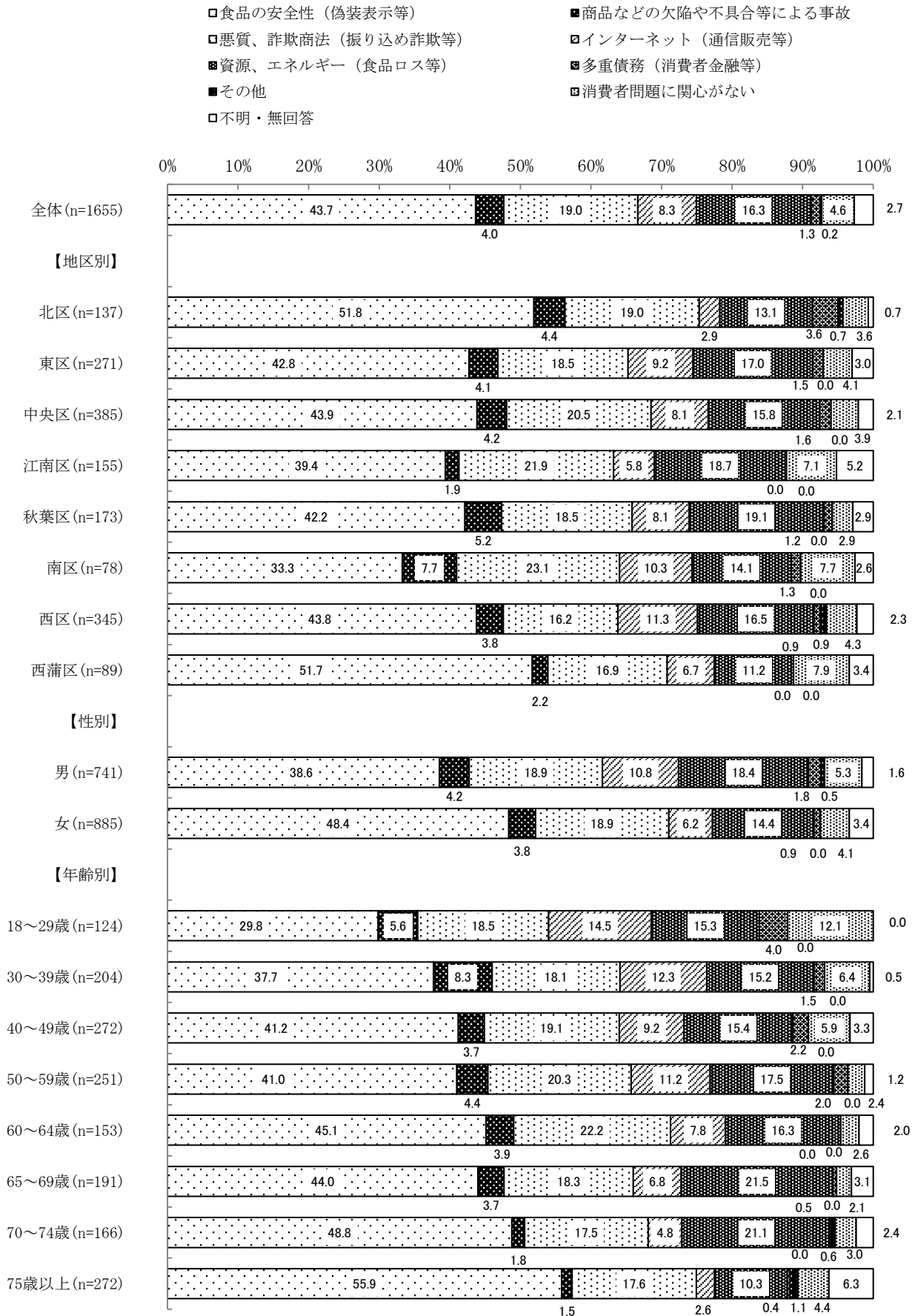
##### ②性別

「食品の安全性」について、男性(38.6%)と比べて女性(48.4%)で割合が高い。「資源、エネルギー」については、女性(14.4%)より男性(18.4%)で割合がやや高い。

##### ③年齢別

概ね高齢層ほど「食品の安全性」と答えた割合が高い傾向がみられ、75歳以上で5割を超える。65～69歳、70～74歳は「悪質、詐欺商法」(各18.3%、17.5%)より「資源、エネルギー」(各21.5%、21.1%)と回答した割合が高い。

図 2-1 消費者問題への関心度（地区別/性別/年齢別）

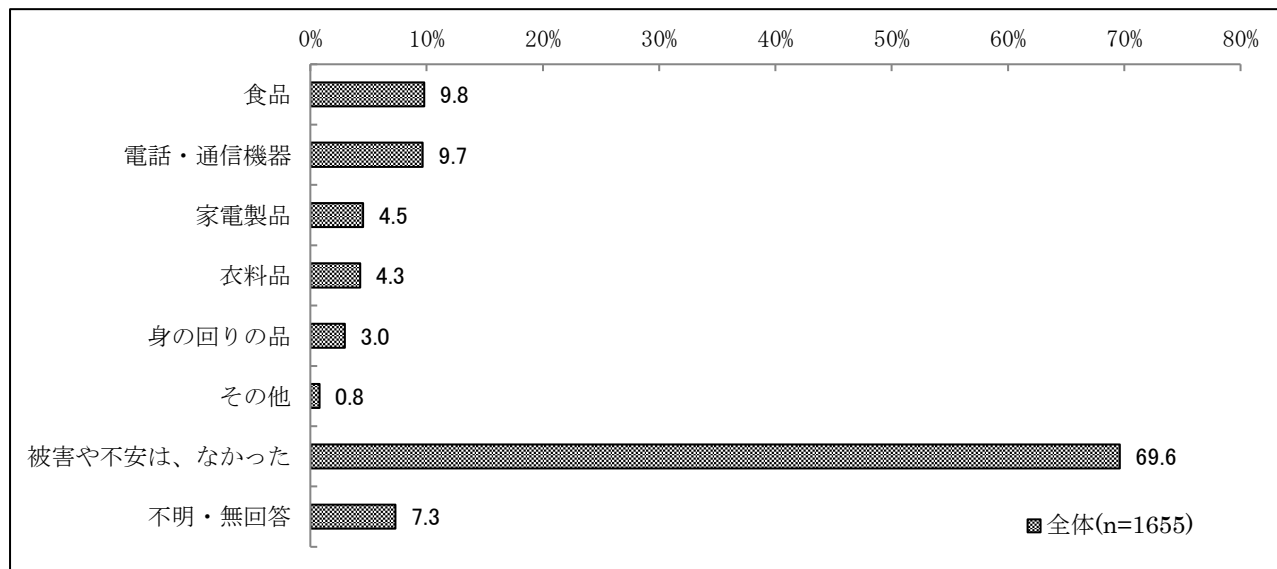




## (2) 消費生活での不安【商品について】

問4 あなたは、購入した商品や利用したサービスから経済的または身体的な被害を受けたことや、何らかの不安を感じたことはありますか。最近1年間（平成29年1月～平成29年12月）に購入した「商品」と利用した「サービス」別に教えてください。（〇はいくつでも）

### 【商品】



— 約7割が「被害や不安は、なかった」と回答 —

### 【全体結果】

「被害や不安は、なかった」（69.6%）が約7割で最も割合が高い。被害や不安については、「食品」（9.8%）、「電話・通信機器」（9.7%）で約1割という結果となった。

### 【属性別結果】（図2-2参照）

#### ①地区別

「食品」は、中央区（12.2%）、西区（10.4%）で他の地区と比べてやや高い。西蒲区（3.4%）ではごくわずか。「電話・通信機器」は秋葉区（6.9%）、西蒲区（7.9%）でやや低いものの、ほとんどの地区で約1割という結果となった。

#### ②性別

男女差はあまりみられない。

#### ③年齢別

「被害や不安は、なかった」は、若年層ほど割合が高い傾向がみられる。被害や不安について、「食品」「家電製品」「身の回りの品」は、概ね高齢層ほど割合が高い。

図 2-2 消費生活での不安【商品】(地区別/性別/年齢別) 1/2

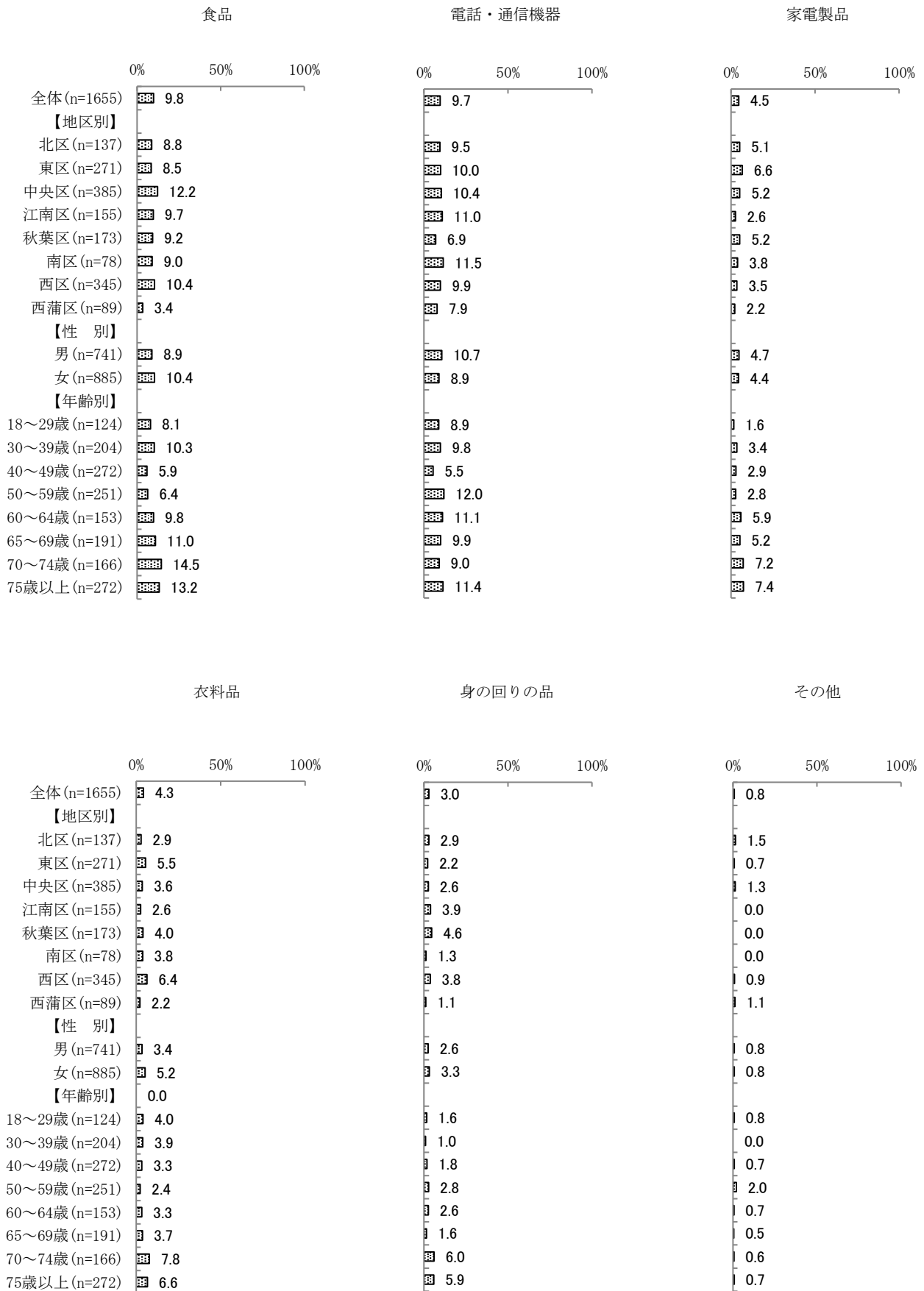
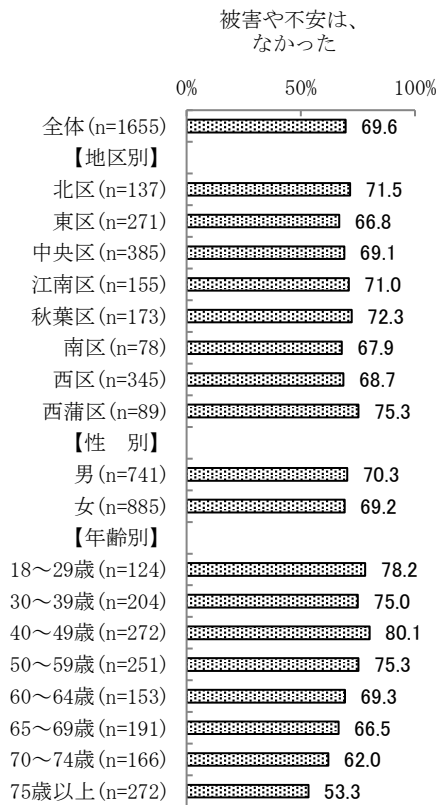
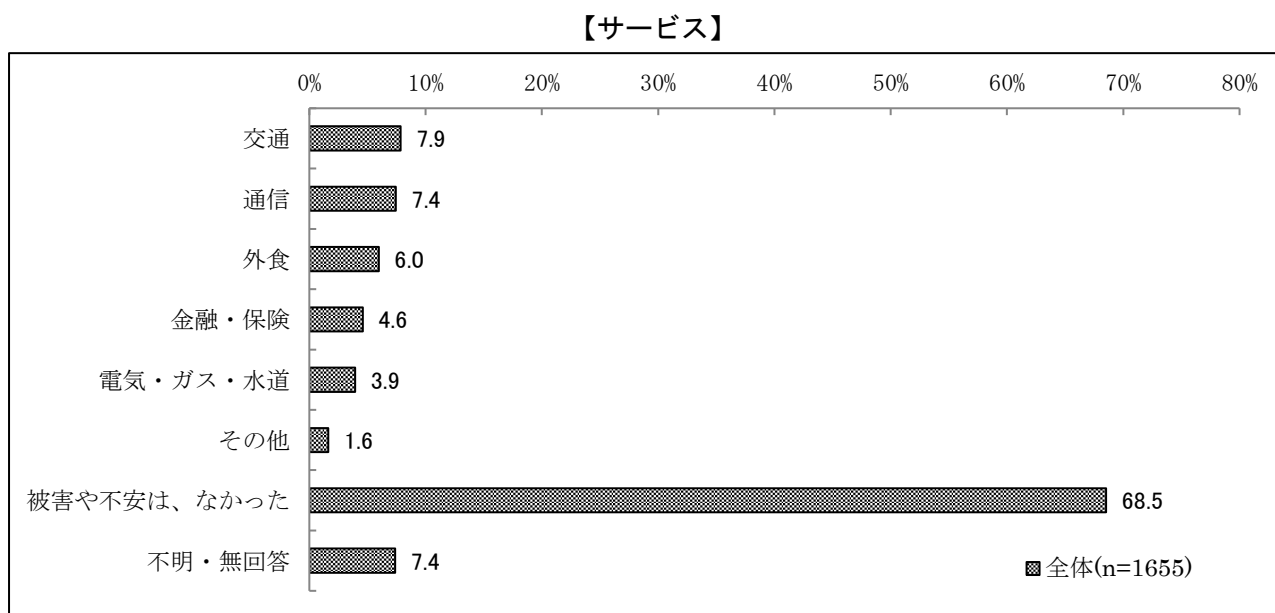


図 2-2 消費生活での不安【商品】（地区別/性別/年齢別） 2/2



### (3) 消費生活での不安【サービスについて】

問4 あなたは、購入した商品や利用したサービスから経済的または身体的な被害を受けたことや、何らかの不安を感じたことはありますか。最近1年間（平成29年1月～平成29年12月）に購入した「商品」と利用した「サービス」別に教えてください。（〇はいくつでも）



— 7割弱が「被害や不安は、なかった」と回答 —

#### 【全体結果】

「被害や不安は、なかった」(68.5%)が7割弱で、最も割合が高い。被害や不安については、「交通」(7.9%)、「通信」(7.4%)、「外食」(6.0%)で5%を超え、以下順に続く。

#### 【属性別結果】(図2-3参照)

##### ①地区別

西蒲区(73.0%)、江南区(70.3%)で、「被害や不安は、なかった」が7割を超えた。被害や不安について、「交通」は西蒲区(11.2%)で1割を超えた。北区、中央区、西区は、「通信」(各8.0%、9.9%、8.4%)と答えた割合が高く、江南区は「外食」(8.4%)と答えた割合が高い。

##### ②性別

男女差はほとんどない。

##### ③年齢別

「被害や不安は、なかった」の割合は、40～49歳(78.3%)で最も高く、75歳以上(54.4%)で最も低い。概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。被害や不安について、「交通」は70歳以上で割合が高く、1割を超えた。「通信」は60～64歳で割合が高く、「外食」は18～39歳で割合が高い。

図 2-3 消費生活での不安【サービス】(地区別/性別/年齢別) 1/2

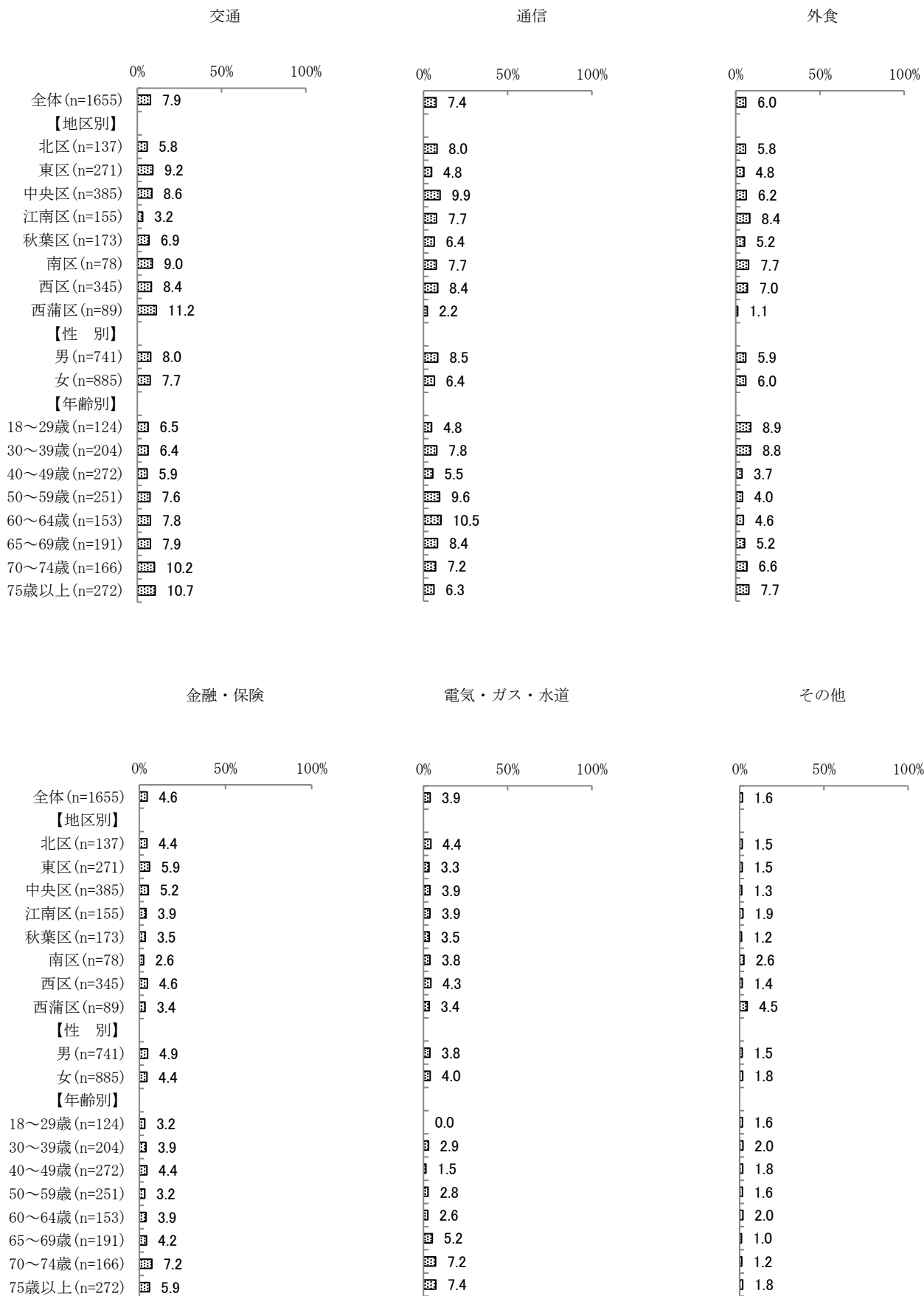
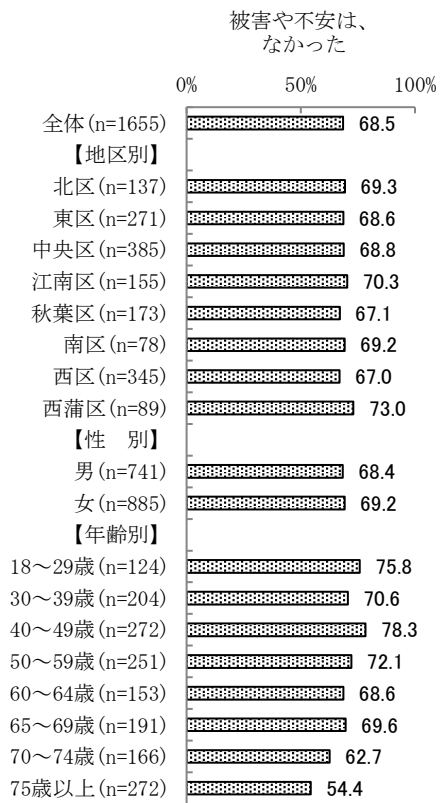


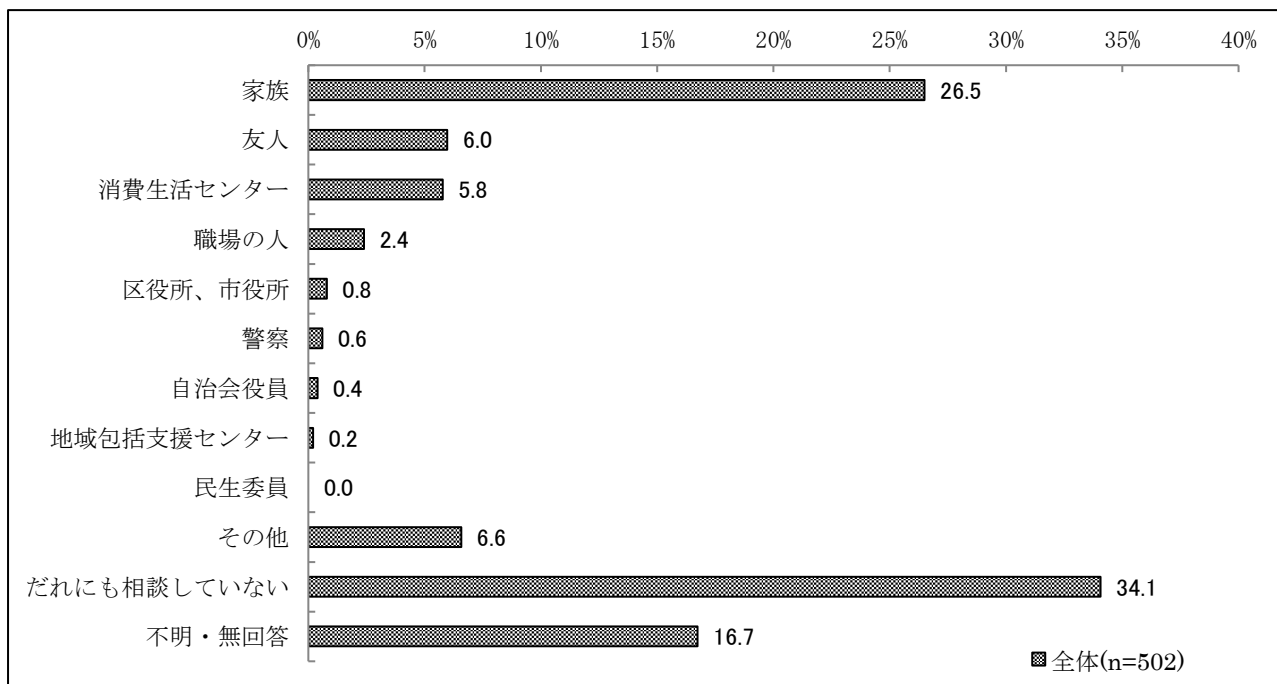
図 2-3 消費生活での不安【サービス】(地区別/性別/年齢別) 2/2



#### (4) 被害や不安の相談先

「問4で「1~6」(被害や不安があった)と答えた方」

問5 あなたは、購入した商品・サービスからの被害や不安を誰に相談しましたか。(○は1つだけ)



— 「だれにも相談していない」が3割以上 —

#### 【全体結果】

「だれにも相談していない」(34.1%)と答えた割合が最も高く、3割を超えた。相談先では、「家族」(26.5%)が最も割合が高く、約4人に1人の割合という結果となった。次いで「友人」(6.0%)、「消費生活センター」(5.8%)の順に続く。

#### 【属性別結果】(図2-4参照)

##### ①地区別

北区、南区を除いた地区で「だれにも相談していない」と答えた割合が最も高い。北区、南区では、「家族」(各36.4%、41.7%)と答えた割合が最も高い。

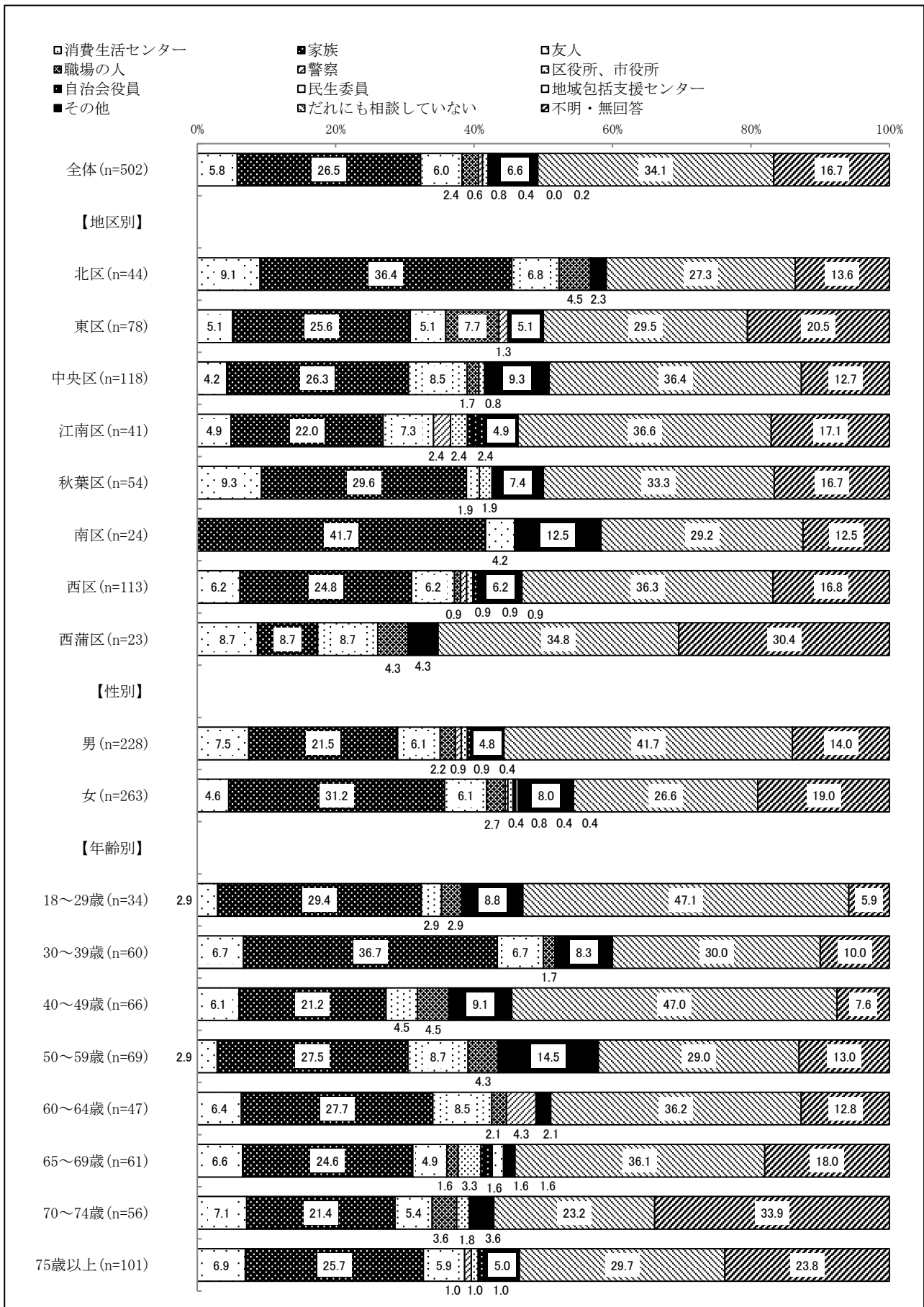
##### ②性別

「だれにも相談していない」は、女性(26.6%)より男性(41.7%)で割合が高い。女性は「家族」(31.2%)と答えた割合が最も高い。

##### ③年齢別

30~39歳を除く年齢で「だれにも相談していない」と答えた割合が最も高い。30~39歳は、「家族」(36.7%)と答えた割合が最も高い。

図 2-4 被害や不安の相談先（地区別/性別/年齢別）



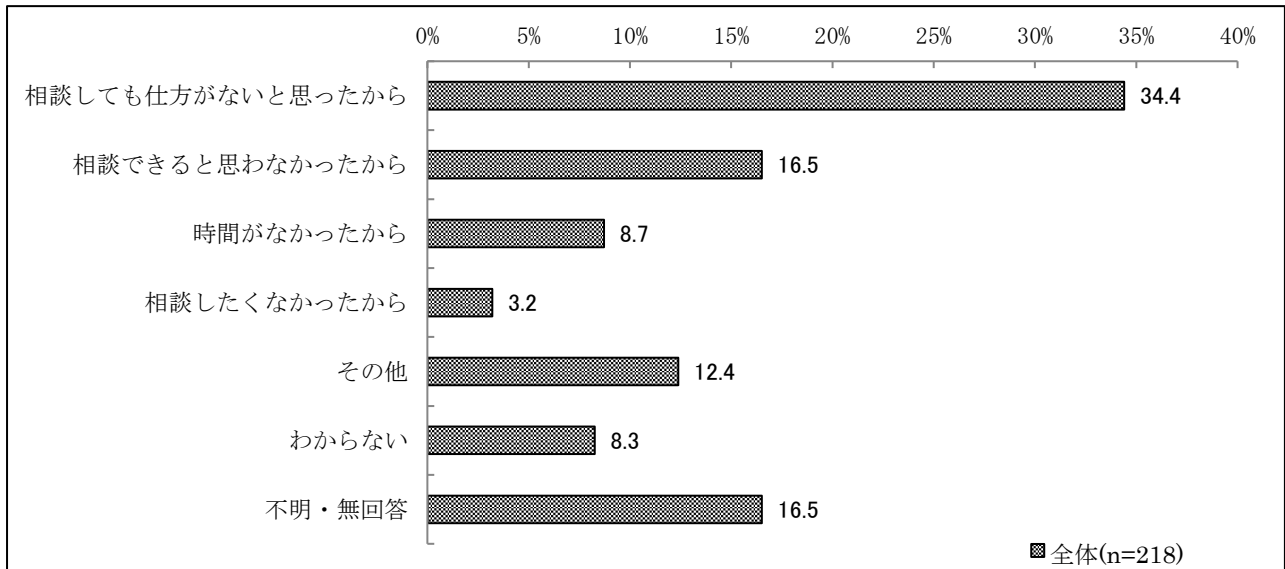


### (5) 相談しなかった理由

「問5で「2～10」（消費生活センター以外に相談した）と答えた方」

問6 あなたが消費生活センターに相談しなかった理由を教えてください。

(○は1つだけ)



— 約3割が「相談しても仕方がないと思ったから」と回答 —

#### 【全体結果】

全体では、「相談しても仕方がないと思ったから」(34.4%)と答えた割合が約3割で、最も高い。次いで「相談できると思わなかったから」(16.5%)、「時間がなかったから」(8.7%)の順に続く。

#### 【属性別結果】(図2-5参照)

##### ①地区別

東区を除く地区で、「相談しても仕方がないと思ったから」と回答した割合が最も高い。特に、江南区(58.8%)では約6割を占めた。東区は「相談できると思わなかったから」(31.4%)が最も割合が高い。秋葉区では、「相談しても仕方がないと思ったから」と「相談できると思わなかったから」(共に27.3%)が同じ割合となった。西蒲区では、「相談しなくなかったから」(16.7%)が他の地区と比べて突出している。

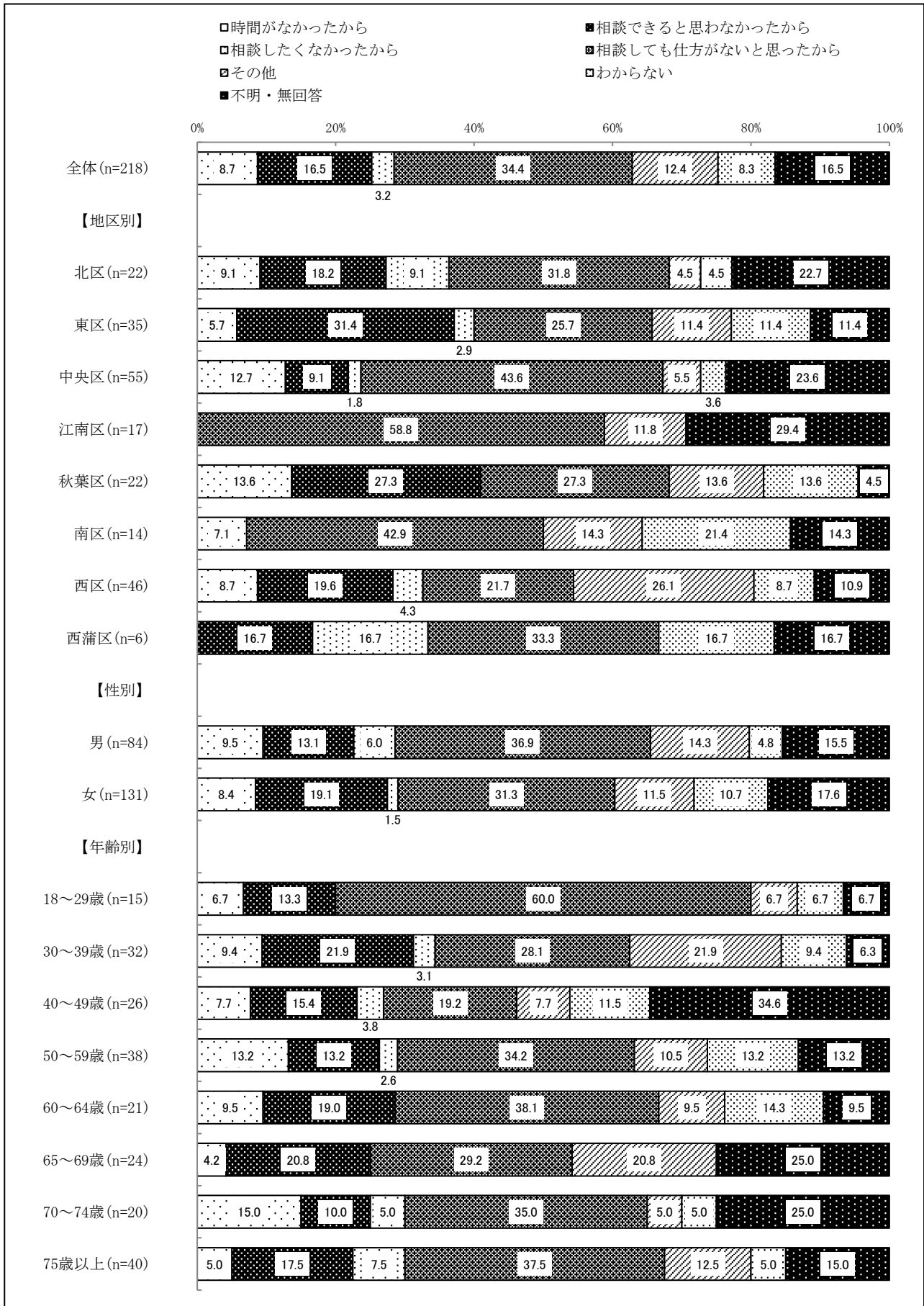
##### ②性別

「相談しても仕方がないと思ったから」は、女性(31.3%)より男性(36.9%)で割合がやや高い。一方、「相談できると思わなかったから」は女性(19.1%)で割合が高い。

##### ③年齢別

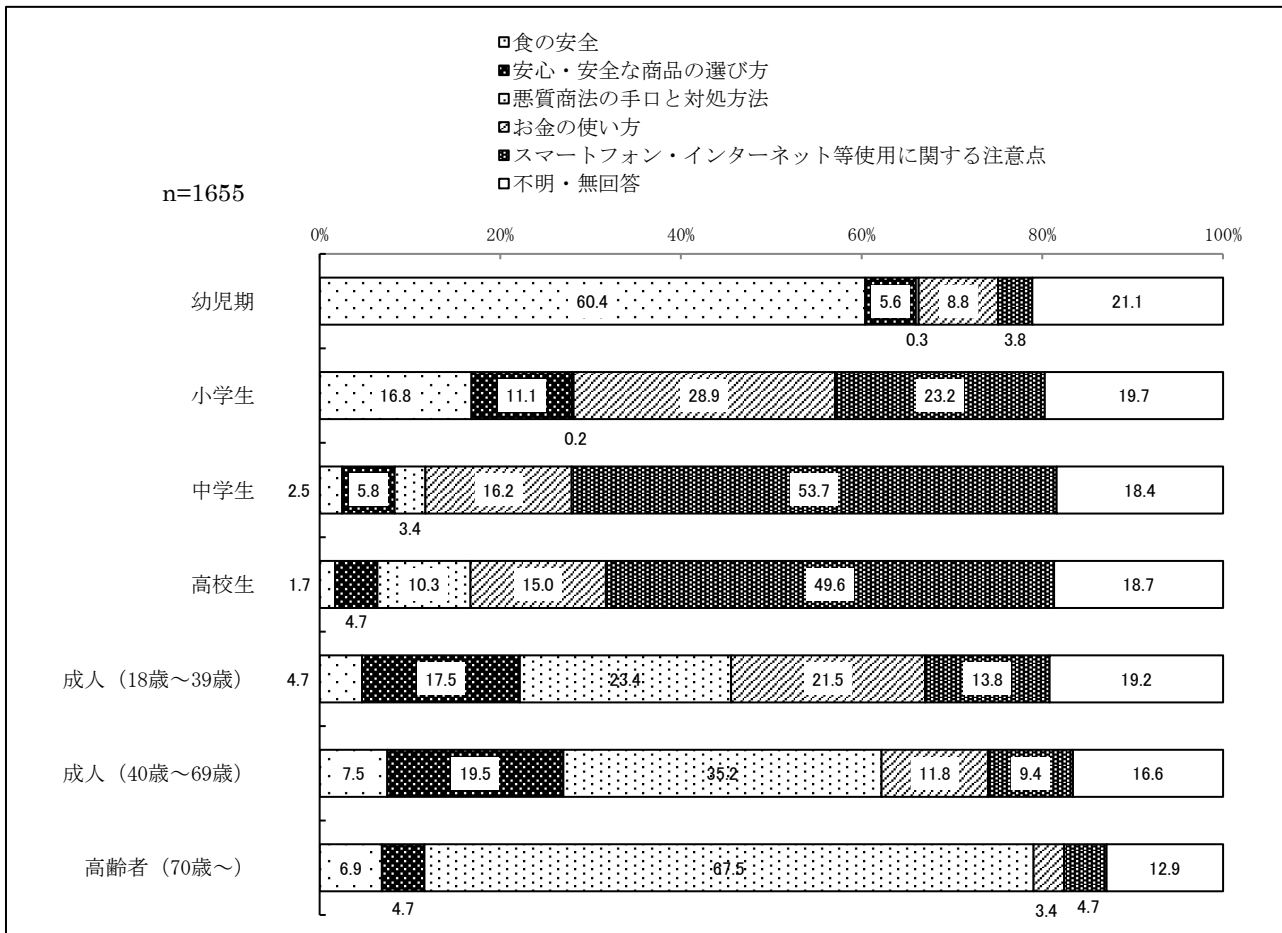
どの年齢でも「相談しても仕方がないと思ったから」と答えた割合が最も高い。特に18～29歳(60.0%)で6割を占めた。「相談できると思わなかったから」は、30～39歳(21.9%)、65～69歳(20.8%)で2割を超えた。「時間がなかったから」は50～59歳(13.2%)、70～74歳(15.0%)で割合が高い。

図 2-5 相談しなかった理由（地区別/性別/年齢別）



## (6) 消費教育活動についての考え

問7 あなたは、消費生活の被害や不安解消のために、年代別にどのような「消費者教育」活動がもっとも必要だと思いますか。(各年代それぞれに○は1つだけ)



— 幼児期の食の安全、中高生の IT 教育、高齢者の悪質商法対策の割合が高い —

### 【全体結果】

幼児期では、「食の安全」(60.4%)と答えた割合が最も高く、約6割を占めた。他の年代と比べても突出している。

小学生では、「お金の使い方」(28.9%)の割合が最も高く、「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(23.2%)と共に2割台となった。

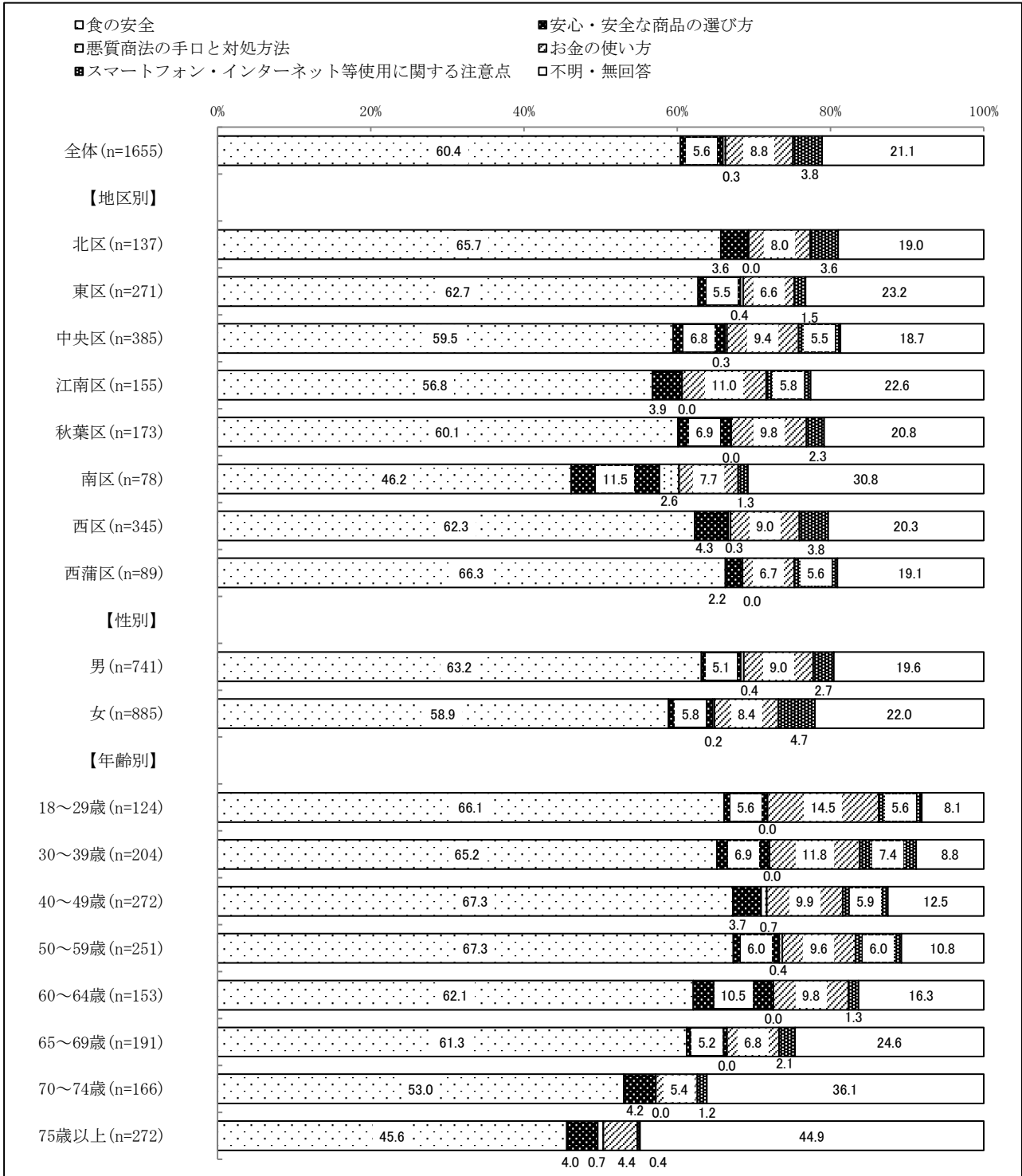
中学生、高校生では、「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(各53.7%、49.6%)の割合が最も高く、約半数を占めた。

成人(18歳～39歳)、成人(40歳～69歳)、高齢者(70歳～)では、「悪質商法の手口と対処方法」の割合が最も高い。特に高齢者(70歳～)(67.5%)では、約7割を占めた。成人(18歳～39歳)では、「お金の使い方」(21.5%)の割合が、成人(40歳～69歳)では、「安心・安全な商品の選び方」の割合が、次いで高く、共に約2割を占めた。

### 【属性別結果】

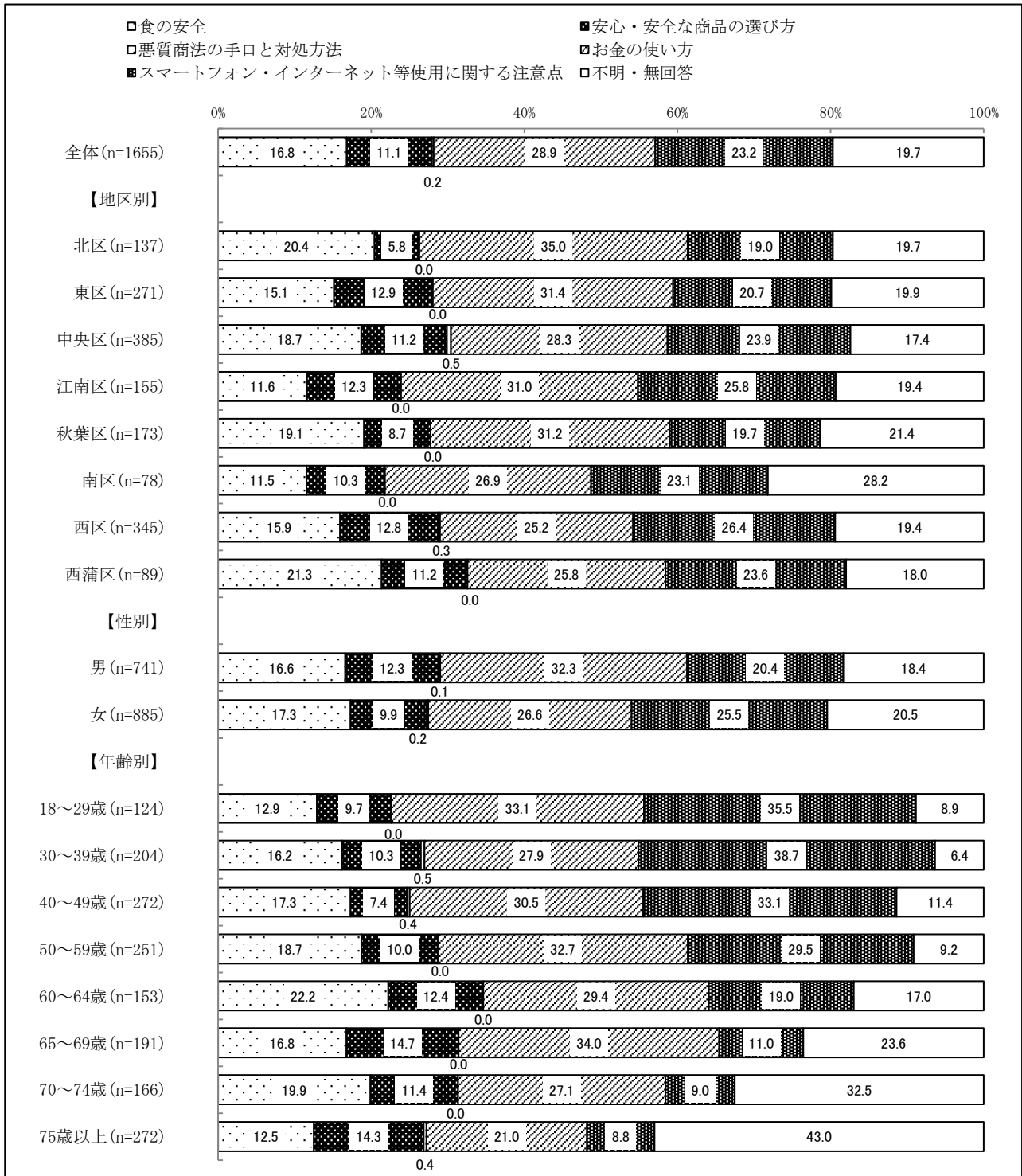
次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

①幼児期



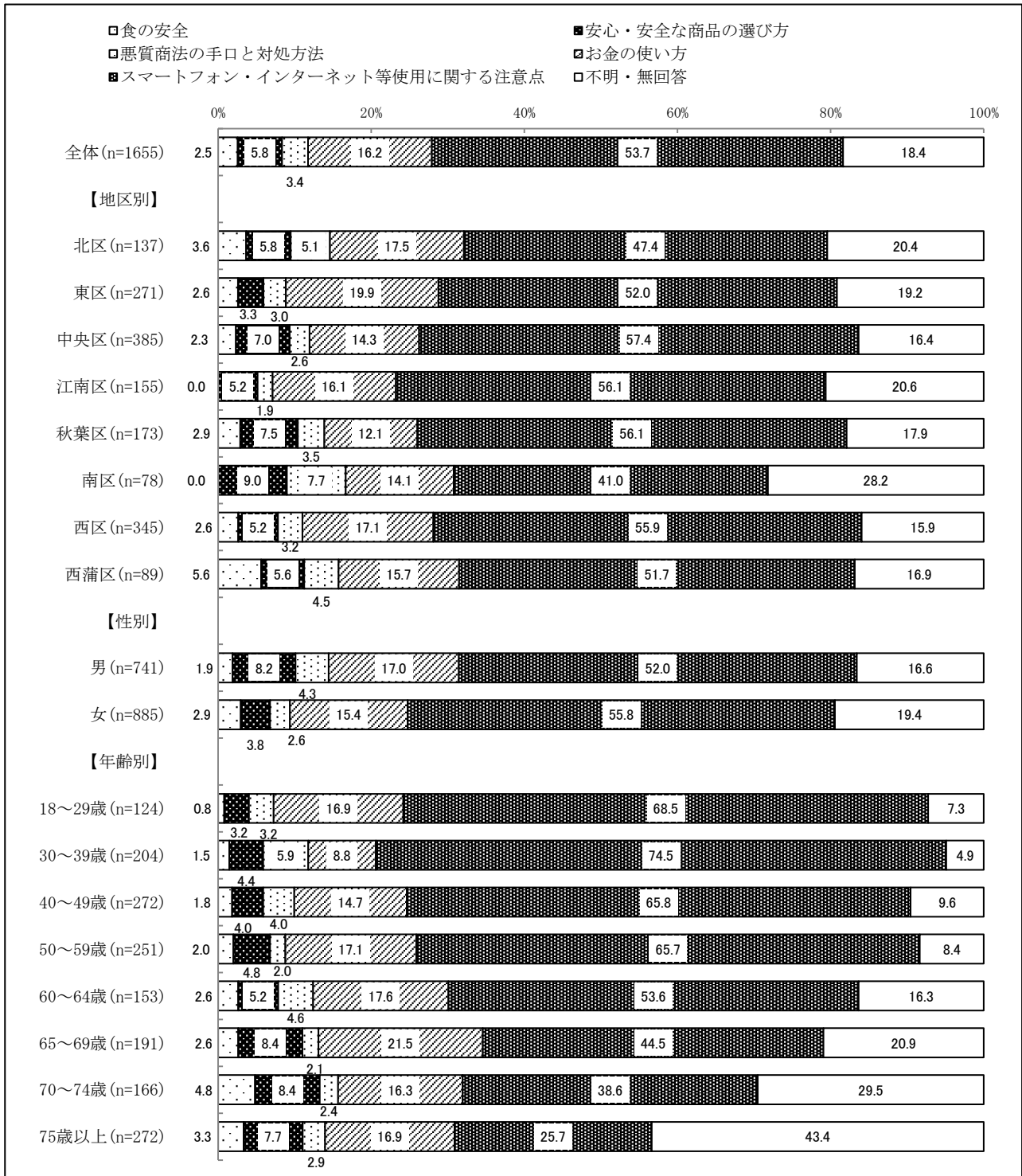
「食の安全」は、地区別では北区（65.7%）、西蒲区（66.3%）でやや割合が高い。性別では、女性（58.9%）と比べて男性（63.2%）で割合が高い。年齢別では、40代、50代（共に67.3%）で最も高い。

②小学生



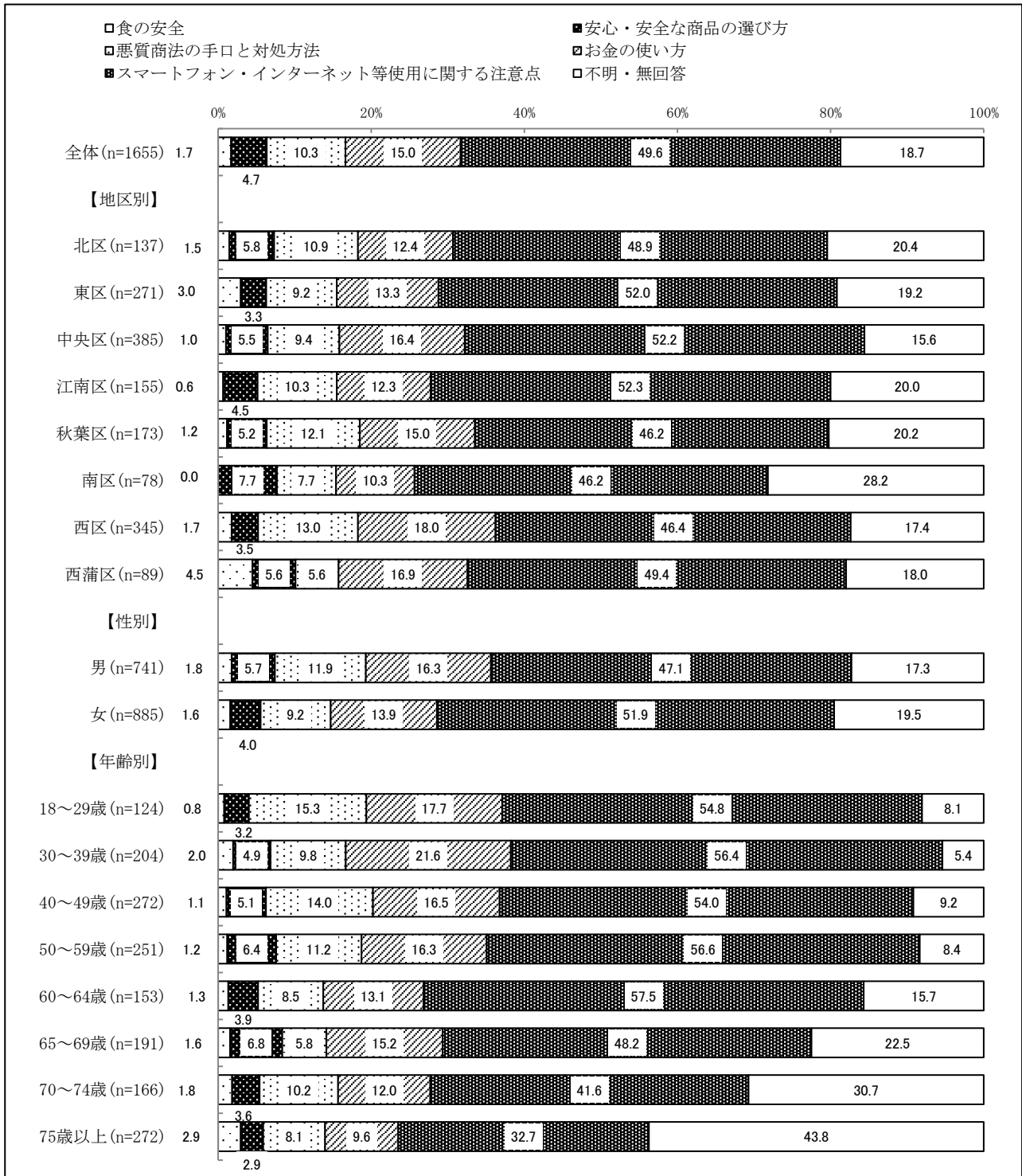
地区別では、北区、西区を除く地区で、「お金の使い方」「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の順に割合が高い。北区では、「お金の使い方」(35.0%)に次いで「食の安全」(20.4%)の割合が高く、西区では、「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(26.4%)の割合が最も高い結果となった。性別では、男女とも「お金の使い方」(各 32.3%、26.6%)の割合が最も高く、特に女性と比べて男性で割合が高い。年齢別では、18～49歳は「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合が最も高く、50歳以上は「お金の使い方」の割合が最も高い結果となった。

### ③中学生



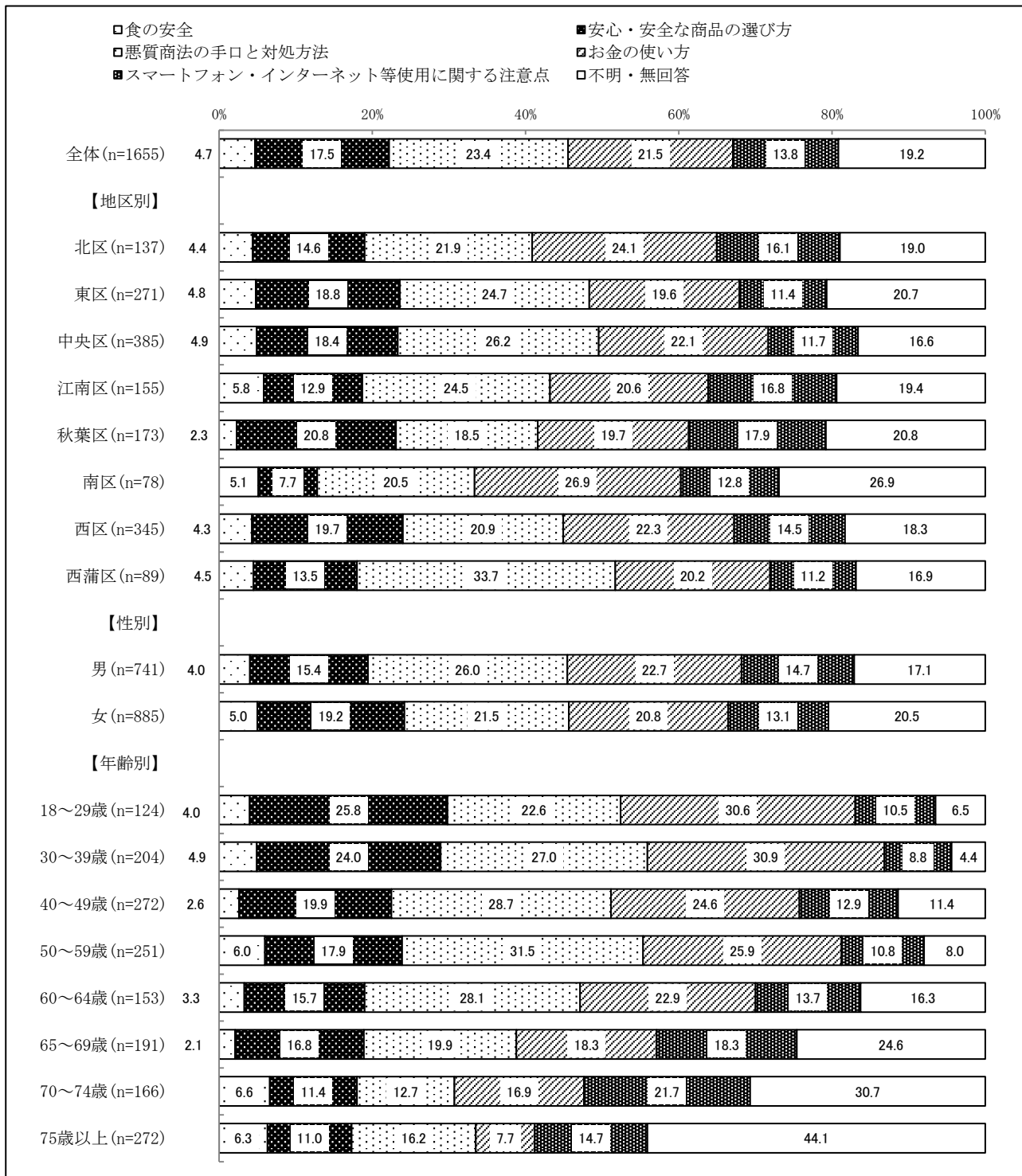
全ての項目で「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合が最も高い。地区別では、最も割合が高い地区は中央区（57.4%）で6割弱、最も低い地区は南区（41.0%）で4割強という結果となった。性別では、男性（52.0%）と比べて女性（55.8%）で割合が高い。年齢別では、最も割合が高い年齢は30～39歳（74.5%）で約7割半ば、最も低い年齢は75歳以上（25.7%）という結果となった。

④高校生



全ての項目で「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合が最も高い。地区別では、最も割合が高い地区は江南区（52.3%）で、最も低い地区は秋葉区、南区（共に46.2%）で、地区による差はそれほど大きくない結果となった。性別では、男性（47.1%）と比べて女性（51.9%）で割合が高い。年齢別では、60～64歳（57.5%）で最も高く、64歳以下で5割を超えた。30歳～39歳では、「お金の使い方」（21.6%）が2割を超えた。

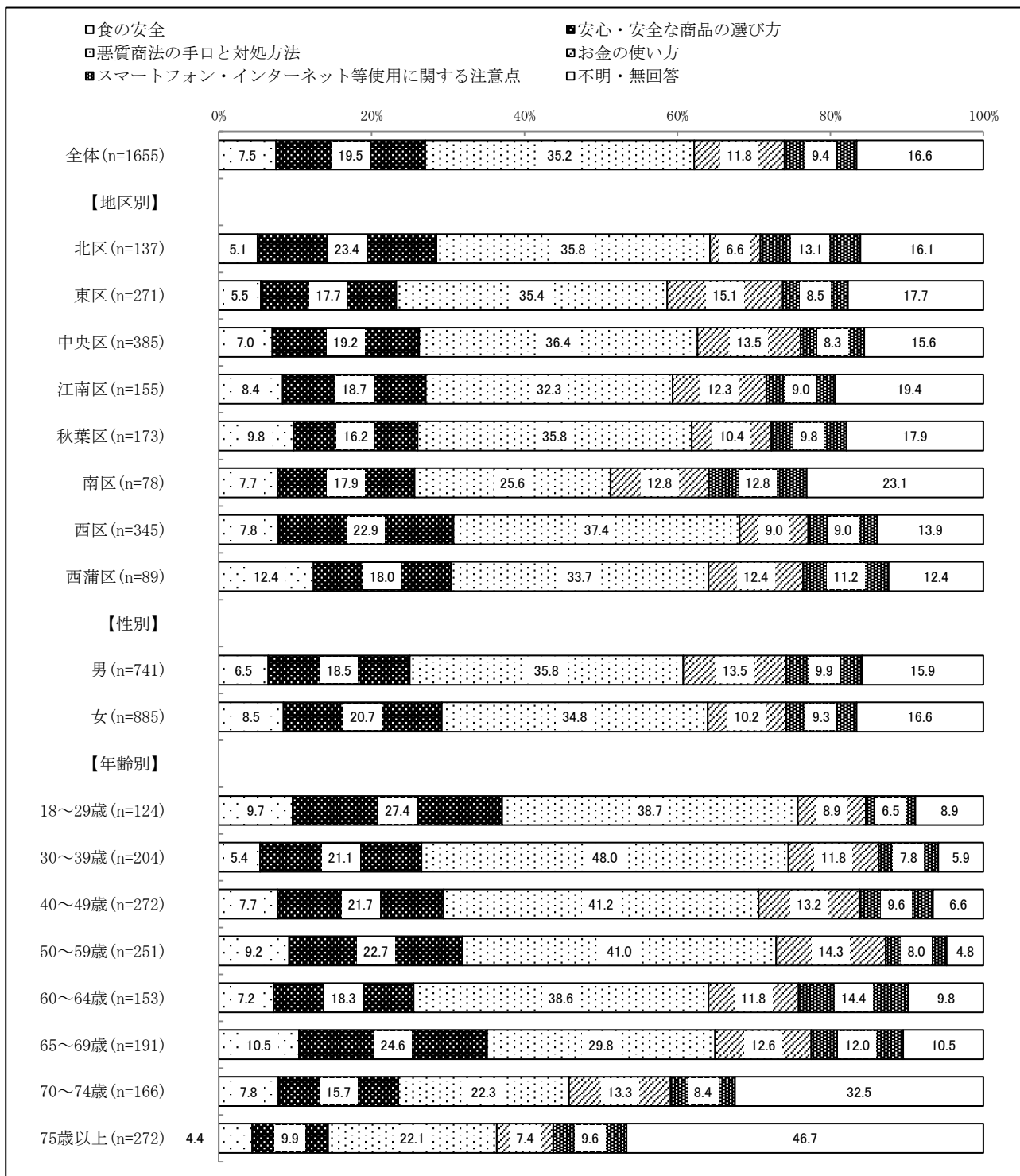
⑤成人（18歳～39歳）



多くの項目で「悪質商法の手口と対処方法」の割合が最も高い。地区別では、特に西蒲区で「悪質商法の手口と対処方法」(33.7%)の割合が高く、3割を超えた。北区、南区、西区は、「お金の使い方」(各24.1%、26.9%、22.3%)の割合が最も高い。性別では、「悪質商法の手口と対処方法」の割合が、女性(21.5%)と比べて男性(26.0%)で高い。年齢別では、40～69歳、75歳以上で、「悪質商法の手口と対処方法」の割合が最も高く、18～39歳では「お金の使い方」、70～74歳では「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合が最も高い。若年層ほど、「安心・安全な商品の選び方」の割合が高い傾向がみられる。

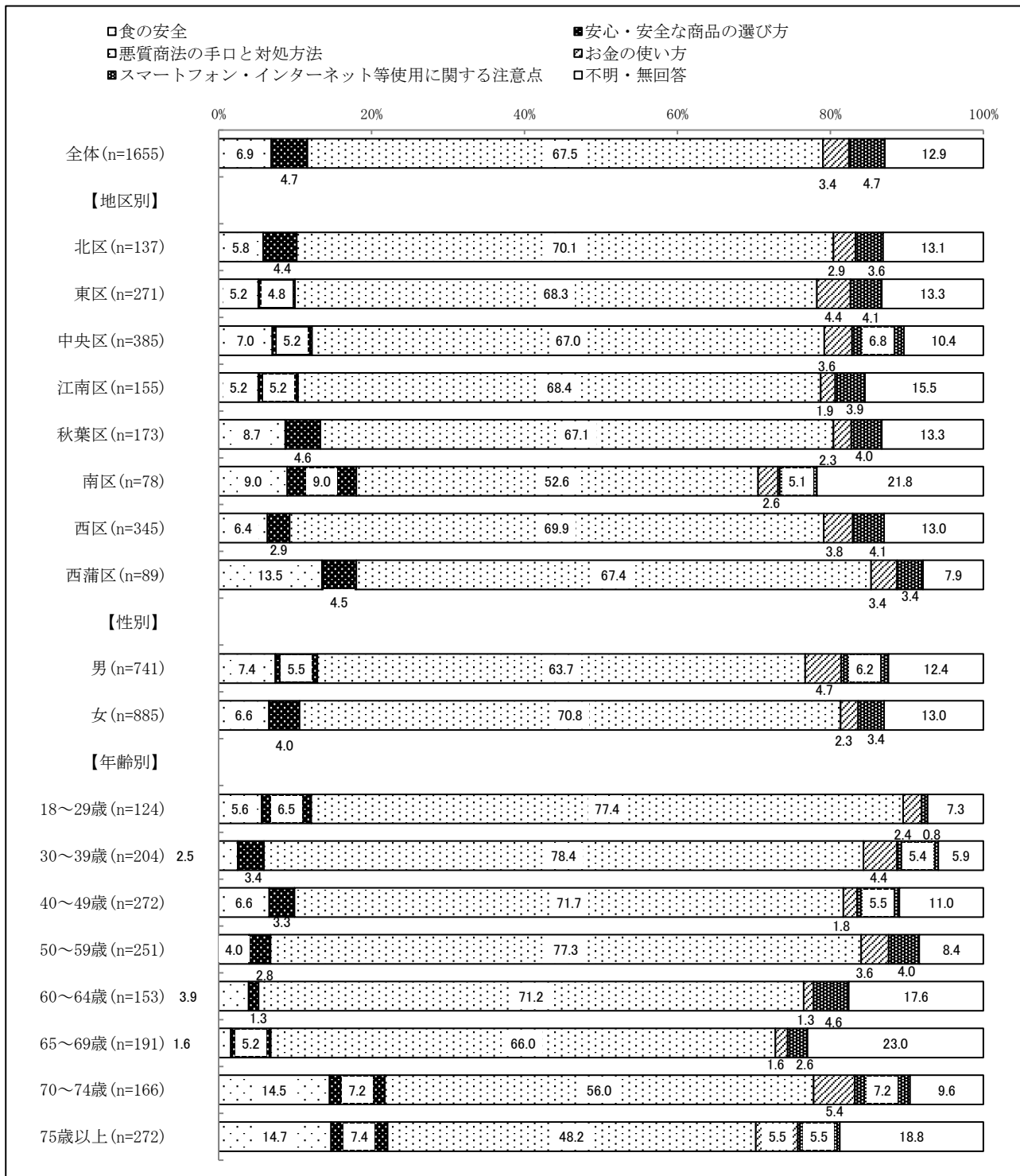


⑥成人（40歳～69歳）



全ての項目で「悪質商法の手口と対処方法」と答えた割合が最も高い。地区別では、「悪質商法の手口と対処方法」の割合が西区（37.4%）で最も高く、南区（25.6%）を除く地区で3割を超えた。性別では、あまり差がない。年齢別では、「悪質商法の手口と対処方法」の割合が30～39歳（48.0%）で最も高く、75歳以上（22.1%）で最も低い。18～59歳、65～69歳で、「安心・安全な商品の選び方」の割合が2割を超えた。

⑦高齢者（70歳～）

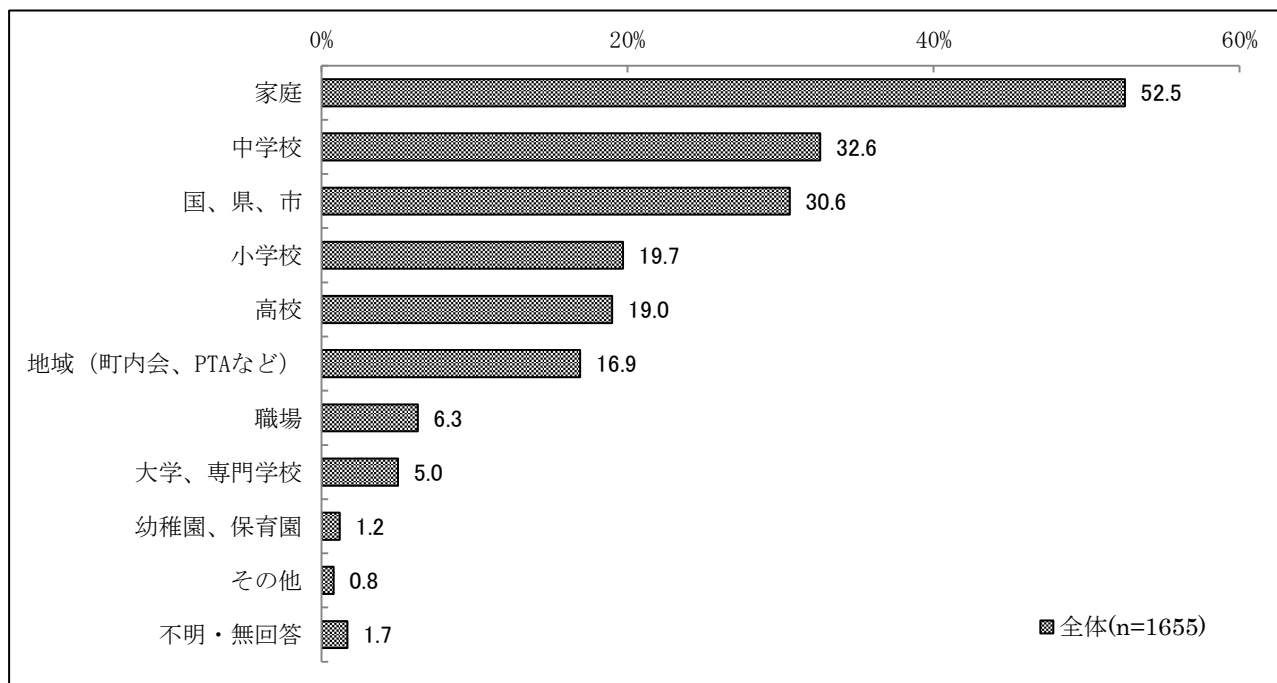


すべての項目で「悪質商法の手口と対処方法」の割合が最も高く、ほとんどの項目で半数以上を占めた。地区別では、「悪質商法の手口と対処方法」の割合が北区（70.1%）で最も高く、南区（52.6%）を除く地区で6割を超えた。西蒲区では「食の安全」（13.5%）が1割を超え、他の地区と比べて、割合がやや高い。性別では、「悪質商法の手口と対処方法」の割合が男性（63.7%）と比べて女性（70.8%）で高い。年齢別では、「悪質商法の手口と対処方法」の割合が30～39歳（78.4%）で最も高く、64歳以下の年齢で7割を超えた。70～74歳、75歳以上では「食の安全」（各14.5%、14.7%）が、他の年齢と比べて割合が高い。

## (7) 消費者教育の場

問8 あなたが消費者教育を行う場として重要だと思うものはどれですか。

(○は2つまで)



— 「家庭」が半数以上 —

### 【全体結果】

「家庭」(52.5%)の割合が5割を超え、最も割合が高い。以降、「中学校」(32.6%)、「国、県、市」(30.6%)で3割強、「小学校」(19.7%)、「高校」(19.0%)が2割弱で、以下順に続く。

### 【属性別結果】(図2-6参照)

#### ①地区別

「家庭」の割合は西区(56.5%)で最も高く、東区(48.3%)、江南区(49.0%)を除く地区で5割を超えた。次いで「中学校」の割合が、北区、中央区、西蒲区を除く地区で高い。北区、南区、西蒲区は、「家庭」に次いで、「国、県、市」(各40.9%、37.2%、32.6%)と回答した割合が高い。

#### ②性別

男女差はほとんどない。

#### ③年齢別

「家庭」「国、県、市」は、概ね高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。一方、「中学校」「小学校」「高校」は、概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。30～39歳では、「中学校」(46.6%)と答えた割合が最も高く、18～29歳では、「家庭」(44.4%)と共に「中学校」(44.4%)と答えた割合が最も高い。

図 2-6 消費者教育の場（地区別/性別/年齢別） 1/2

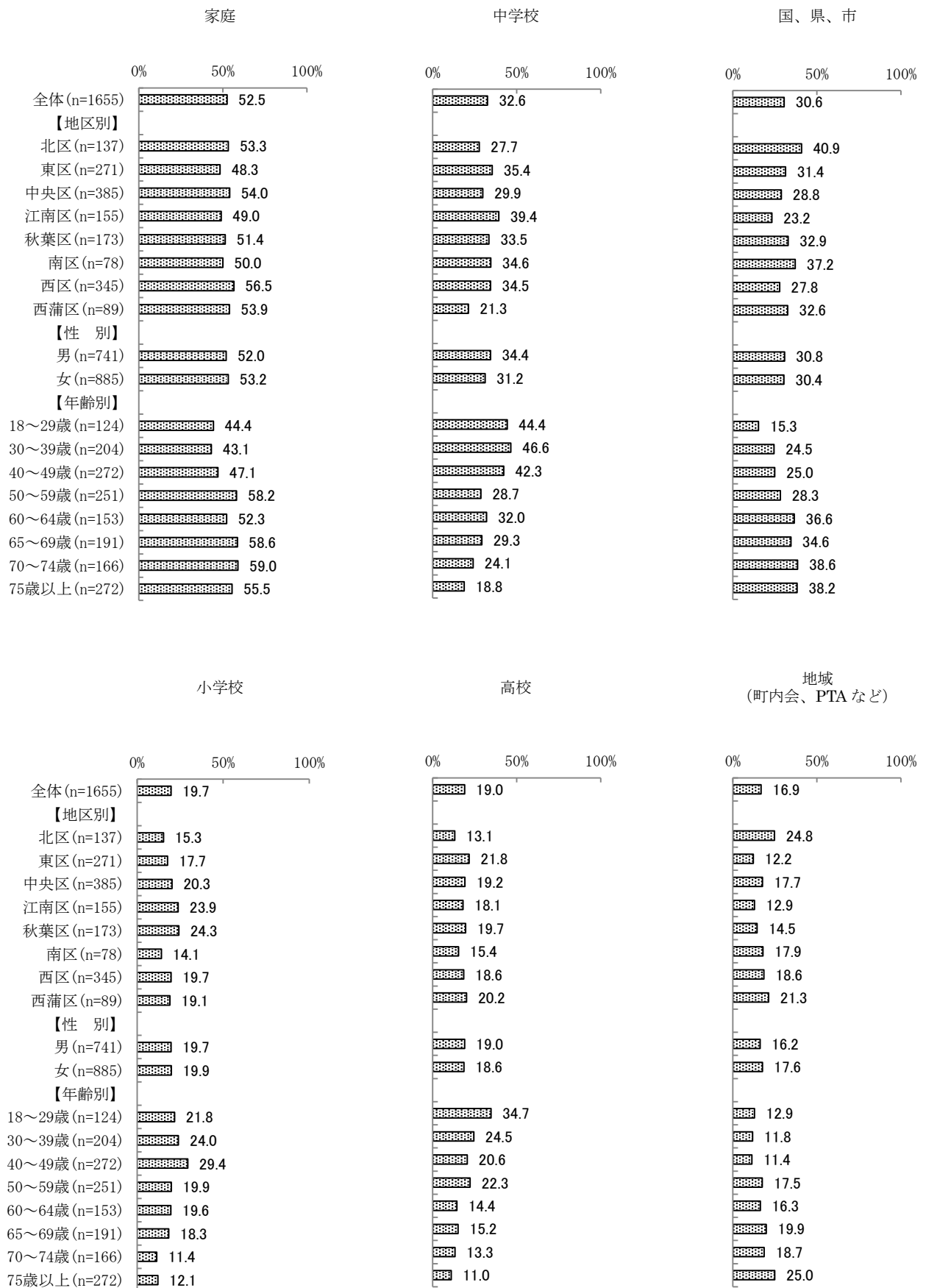
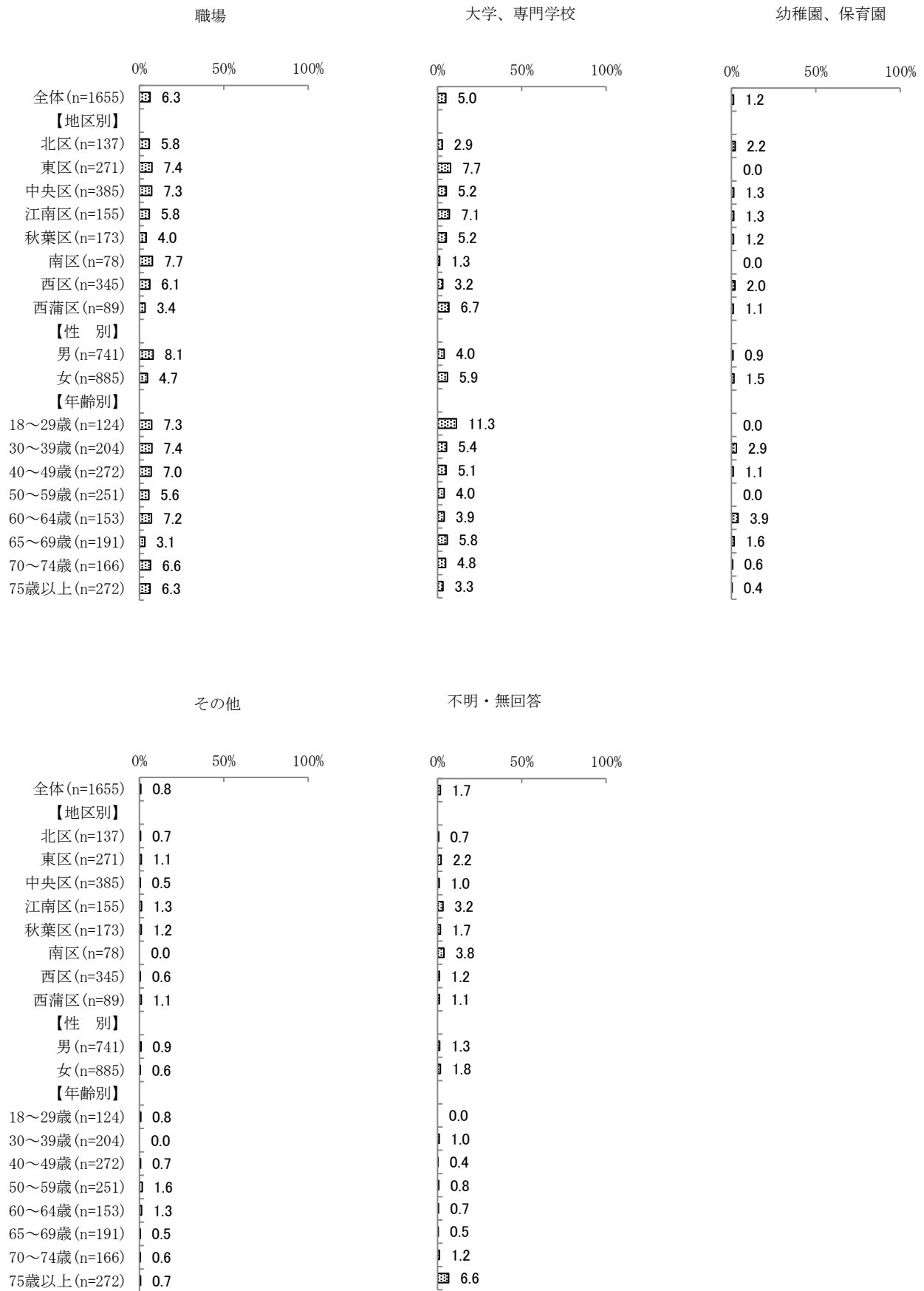
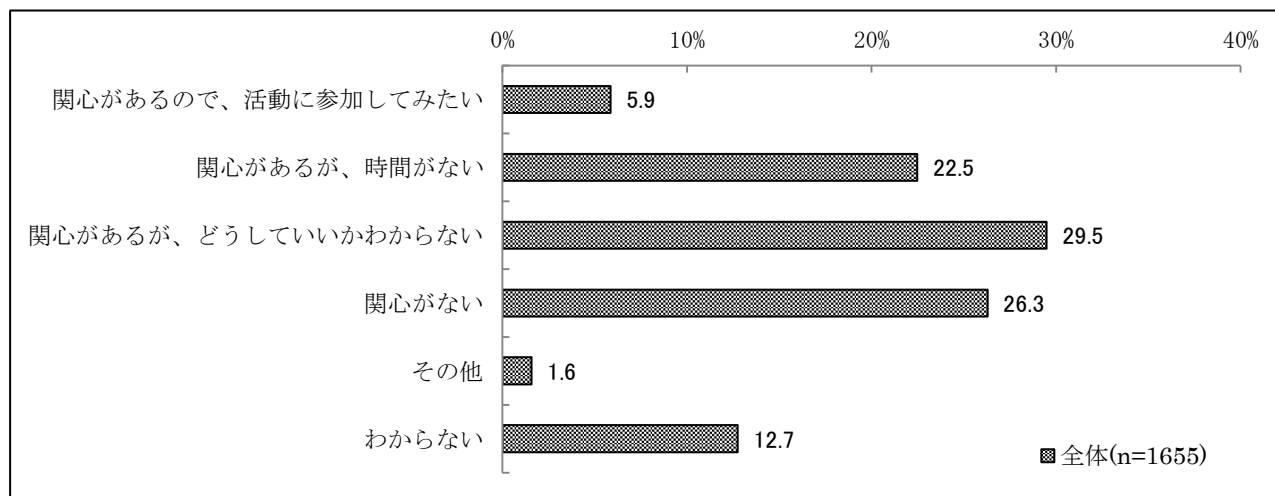


図 2-6 消費者教育の場（地区別/性別/年齢別） 2/2



## (8) 消費教育活動への関心

問9 あなたは、地域等における消費者教育活動に関心がありますか。  
(○は1つだけ)



— 6割弱が「関心がある」と回答 —

### 【全体結果】

「関心があるので、活動に参加してみたい」が5.9%、「関心があるが、時間がない」が22.5%、「関心があるが、どうしていいかわからない」が29.5%という結果となり、合わせた『関心がある（以下同様）』（57.8%）の割合は、6割弱となった。

一方、「関心がない」は26.3%で、約4人に1人の割合となった。

### 【属性別結果】（図2-7参照）

#### ①地区別

すべての地区で、『関心がある』は半数を超え、北区（62.8%）、中央区（60.0%）、南区（60.3%）、西蒲区（62.9%）で6割を超えた。秋葉区、南区では、「関心があるので、活動に参加してみたい」（各9.2%、9.0%）の割合が、他の地区と比べてやや高い。西蒲区では「関心があるが、どうしていいかわからない」（40.4%）が4割を超えた。

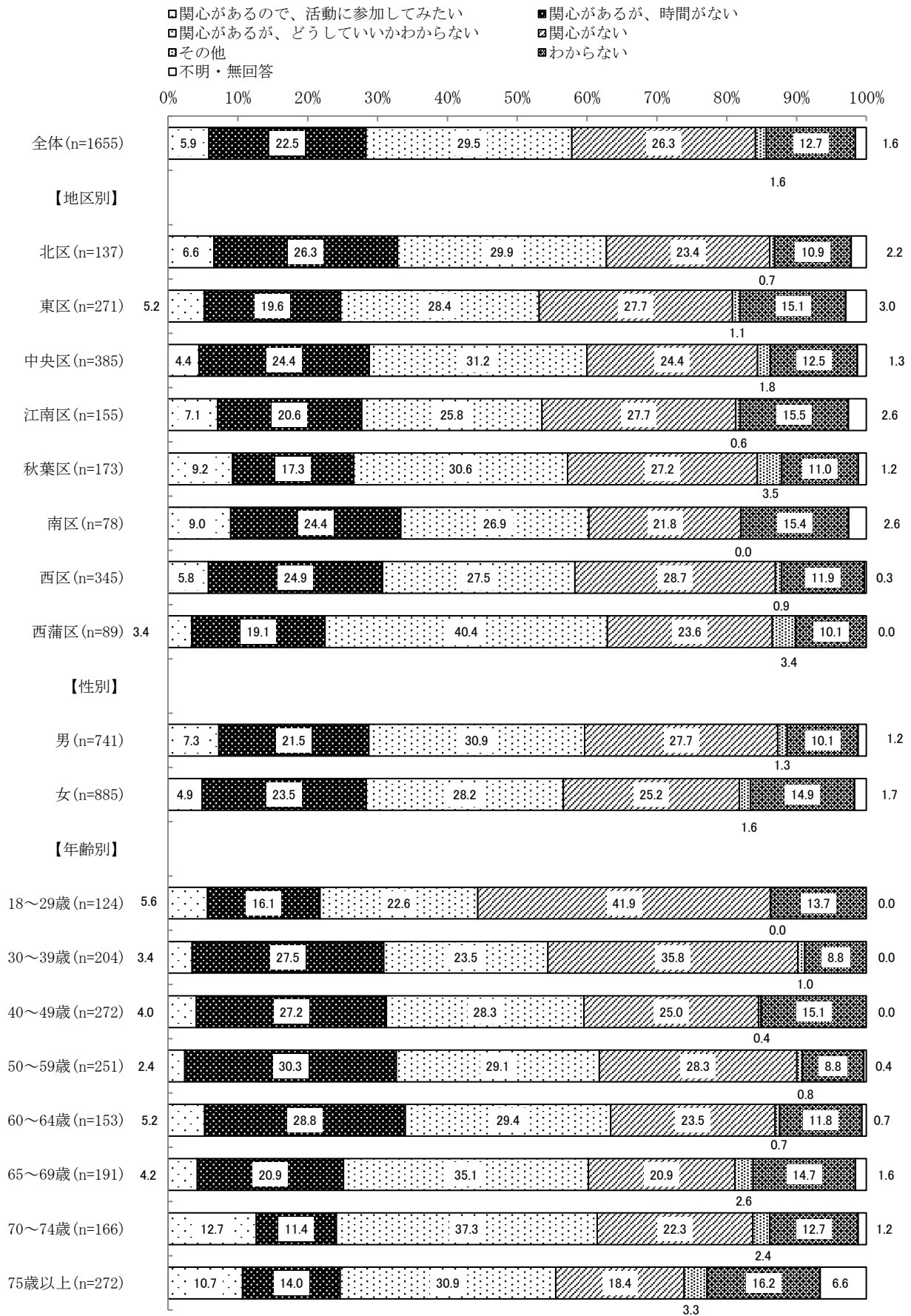
#### ②性別

「関心があるので、活動に参加してみたい」の割合は、女性（4.9%）と比べて男性（7.3%）でやや高い。一方、男性は「関心がない」（27.7%）も女性（25.2%）と比べてやや高い。

#### ③年齢別

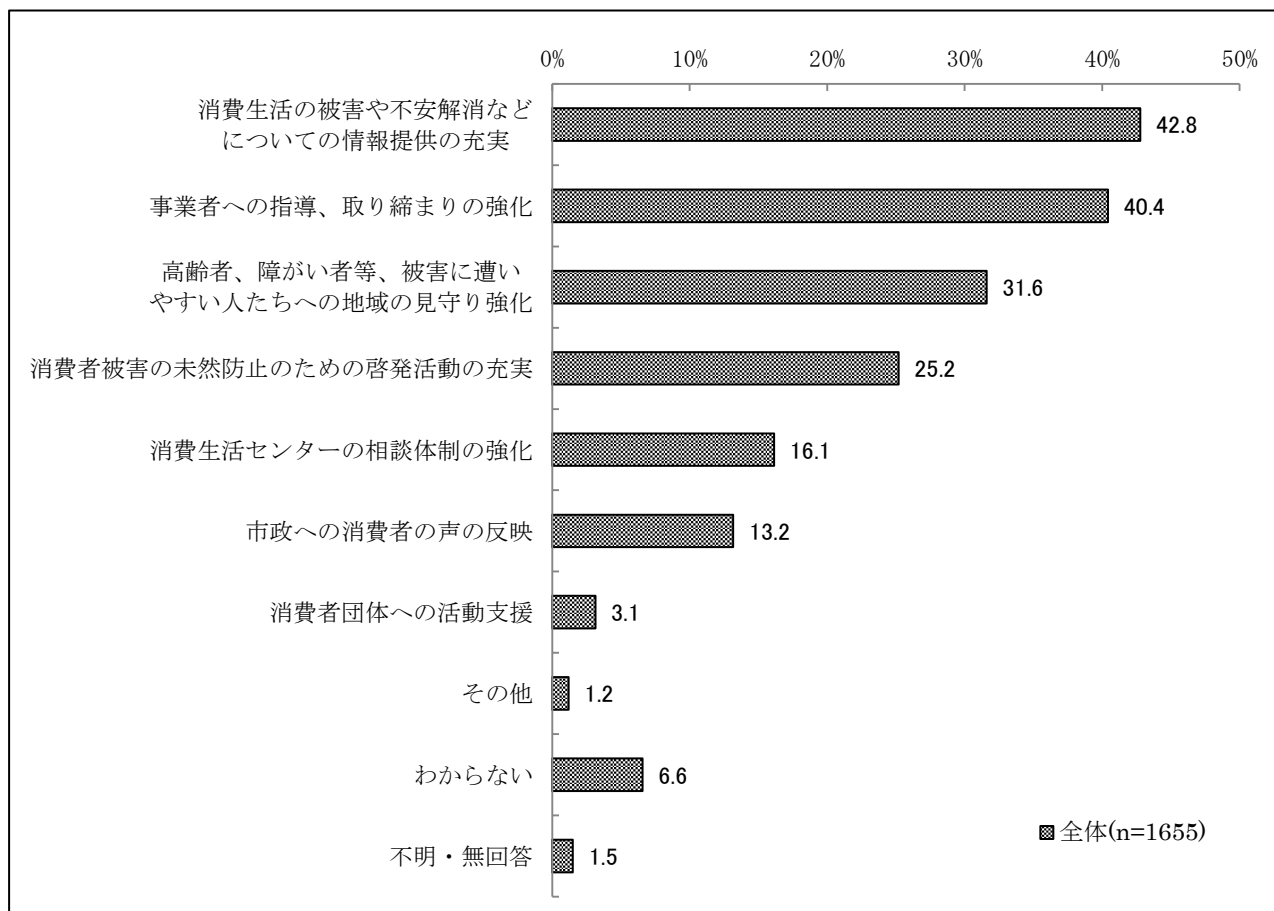
『関心がある』の割合は、50～74歳で6割を超えた。「関心があるので、活動に参加してみたい」は70～74歳（12.7%）、75歳以上（10.7%）で1割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。概ね、「関心があるが、どうしていいかわからない」は高齢層ほど割合が高く、「関心がない」は若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

図 2-7 消費教育活動への関心（地区別/性別/年齢別）



## (9) 消費生活での市への期待

問10 あなたは、消費生活の安定や向上のために、市にどのような取り組みを期待していますか。  
(○は2つまで)



— 「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」が4割強でトップ —

### 【全体結果】

「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」(42.8%)の割合が最も高い。次いで「事業者への指導、取り締まりの強化」(40.4%)が約4割、「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」(31.6%)が約3割、「消費者被害の未然防止のための啓発活動の充実」(25.2%)が2割半ばで、以下順に続く。



## 【属性別結果】（図 2-8 参照）

### ①地区別

北区、南区、西区を除き、「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」の割合が最も高い。北区、西区は、「事業者への指導、取り締まりの強化」（各 43.8%、42.9%）の割合が最も高く、南区は、「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」（42.3%）の割合が最も高い。

### ②性別

男女とも、「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」（共に 43.2%）、「事業者への指導、取り締まりの強化」（各 42.0%、39.1%）の割合が高く、約 4 割を占める。男性は「消費生活センターの相談体制の強化」（19.3%）の割合が女性（13.7%）より高い。一方、女性は「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」（34.9%）と回答した割合が男性（27.0%）より高い。

### ③年齢別

40 歳以上で、「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」と答えた割合が最も高い。18～29 歳、30～39 歳では「事業者への指導、取り締まりの強化」（各 47.6%、52.5%）の割合が最も高い。40～49 歳は「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」（44.9%）と「事業者への指導、取り締まりの強化」（44.9%）の割合が共に最も高い結果となった。「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」は 75 歳以上（37.5%）で、他の年代と比べて割合が高い。

図 2-8 消費生活での市への期待（地区別/性別/年齢別） 1/2

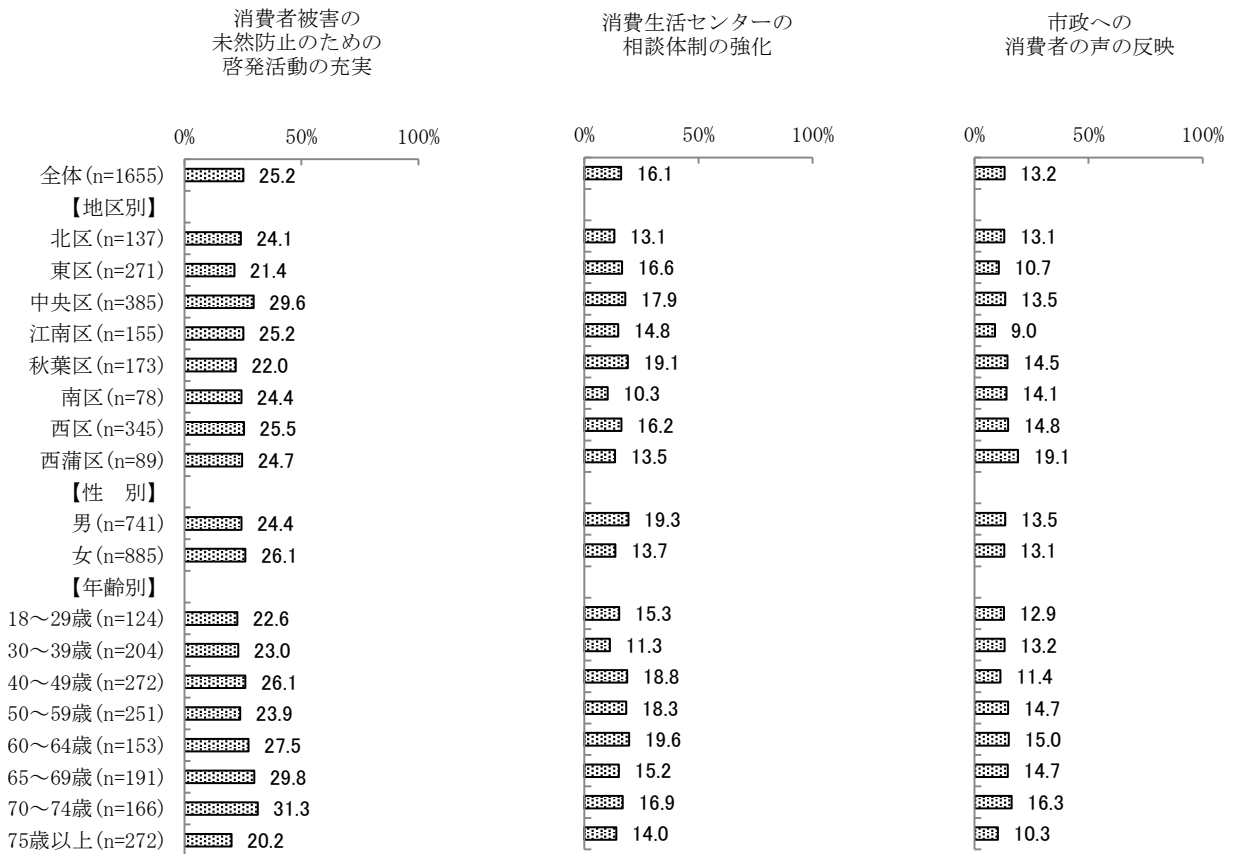
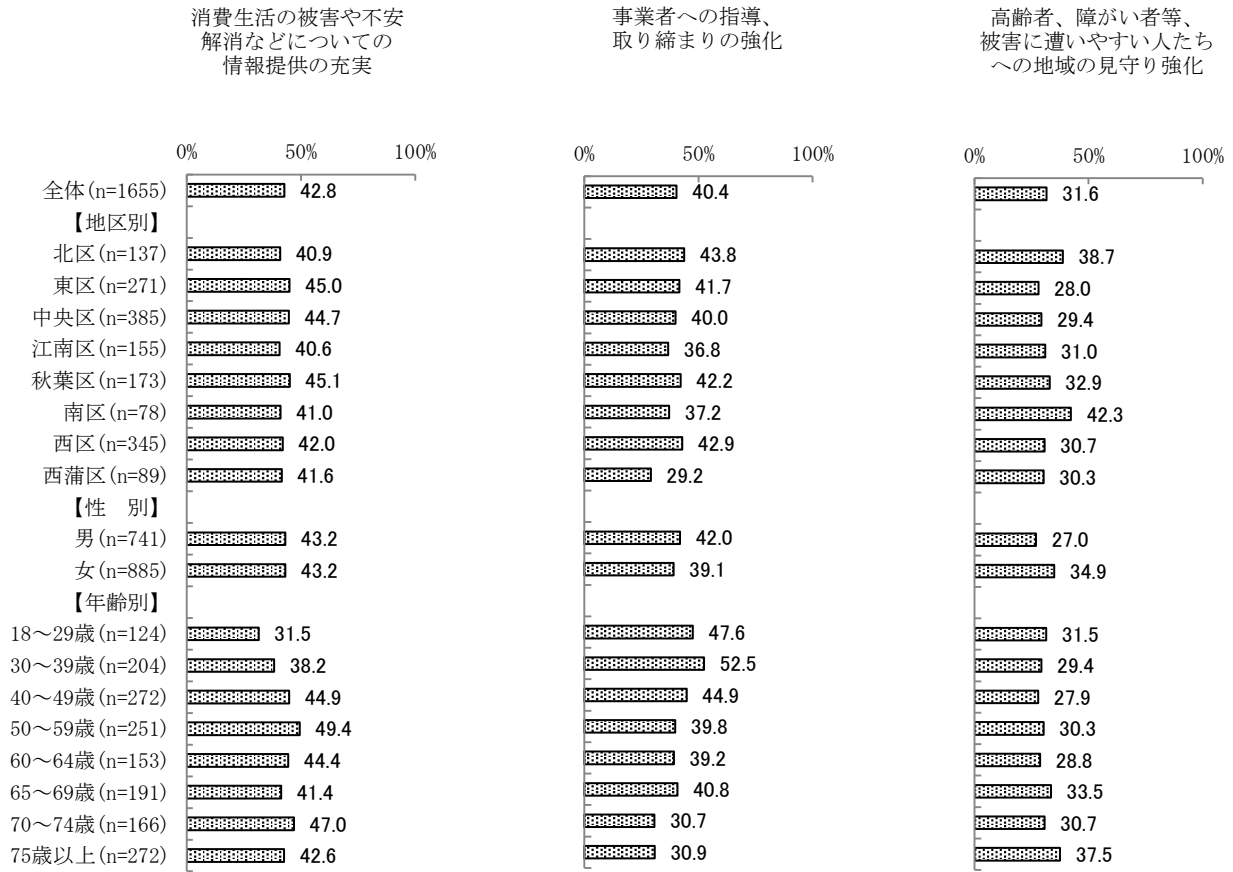
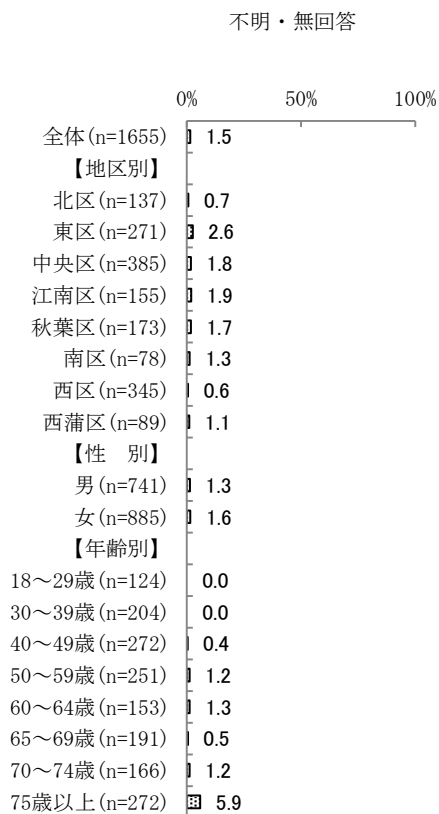
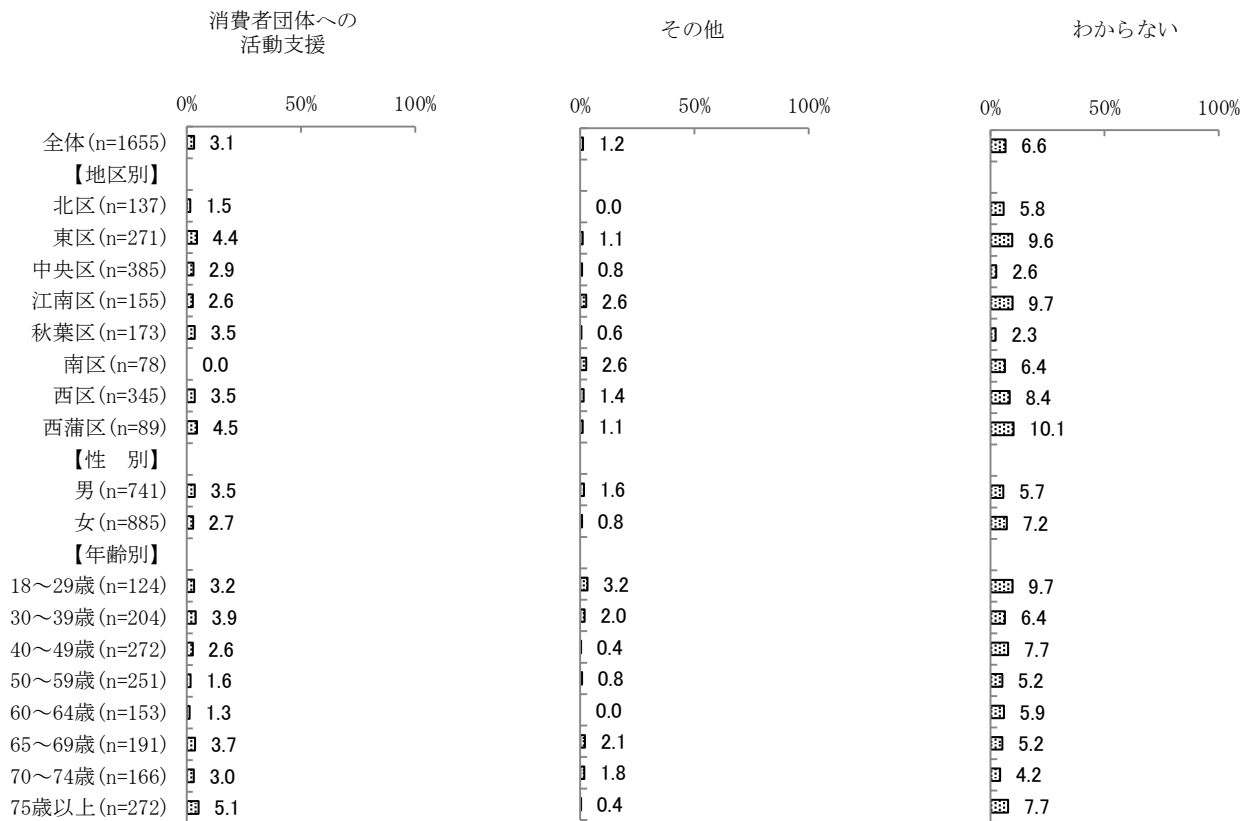
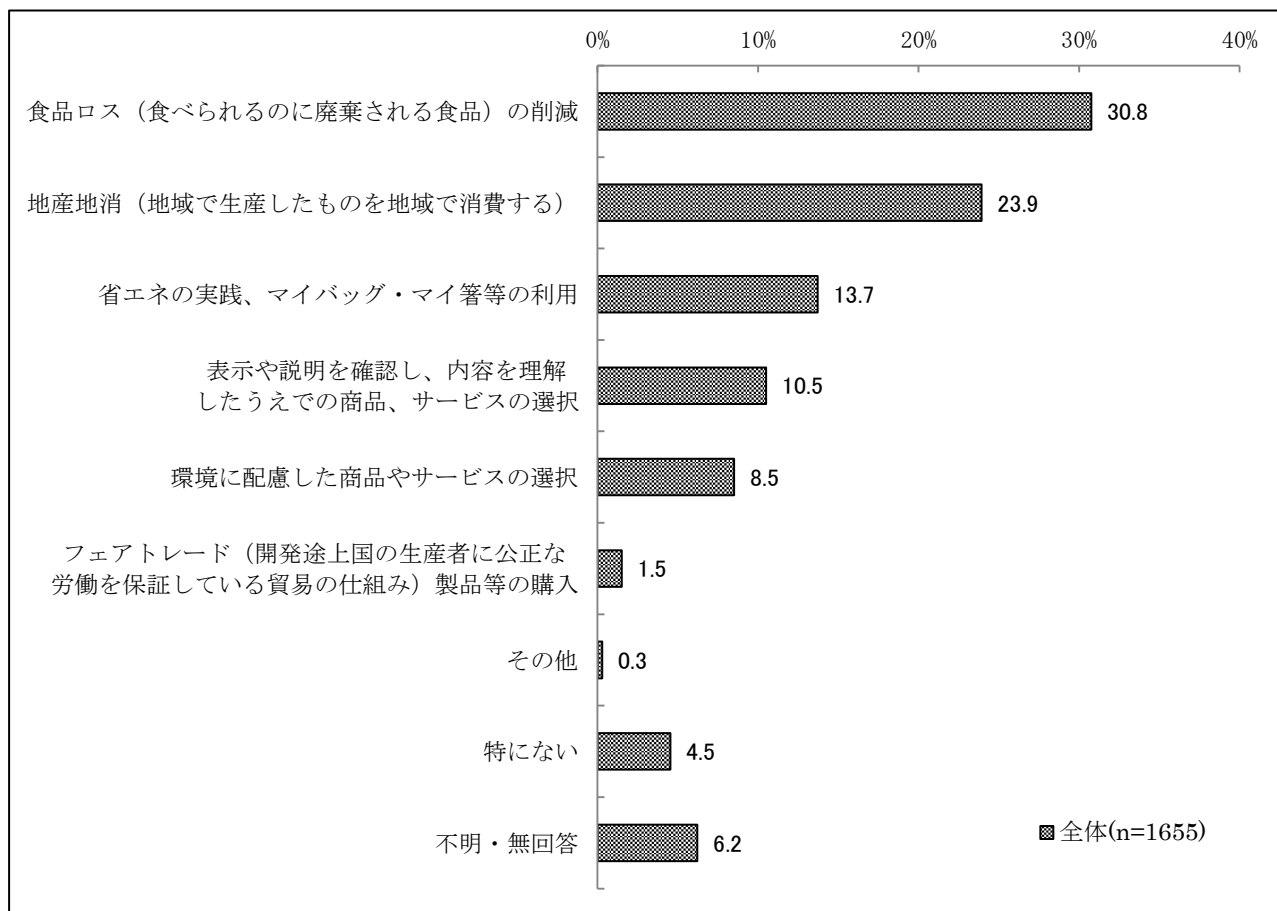


図 2-8 消費生活での市への期待（地区別/性別/年齢別） 2/2



## (10) 消費行動への心がけ

問11 あなたが、今後心がけたいと思う消費行動はありますか。  
(○は1つだけ)



— 「食品ロスの削減」が約3割でトップ。食に関する上位2項目が半数以上を占める —

### 【全体結果】

「食品ロスの削減」(30.8%)の割合が最も高く約3割、次いで「地産地消」(23.9%)が2割強、「省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用」(13.7%)、「表示や説明を確認し、内容を理解したうえでの商品、サービスの選択」(10.5%)が1割台で、以下順に続く。食に関する2項目が5割以上を占めた。一方、「特にない」は5%未満にとどまった。

## 【属性別結果】（図 2-9 参照）

### ①地区別

西蒲区を除く地区で「食品ロスの削減」の割合が最も高く、特に秋葉区（38.2%）では約4割を占め、他の地区と比べて、割合が高い。西蒲区では「地産地消」（32.6%）の割合が最も高く3割を超えた。また、西蒲区は「表示や説明を確認し、内容を理解したうえでの商品、サービスの選択」（16.9%）が他の地区と比べて割合が高い。

### ②性別

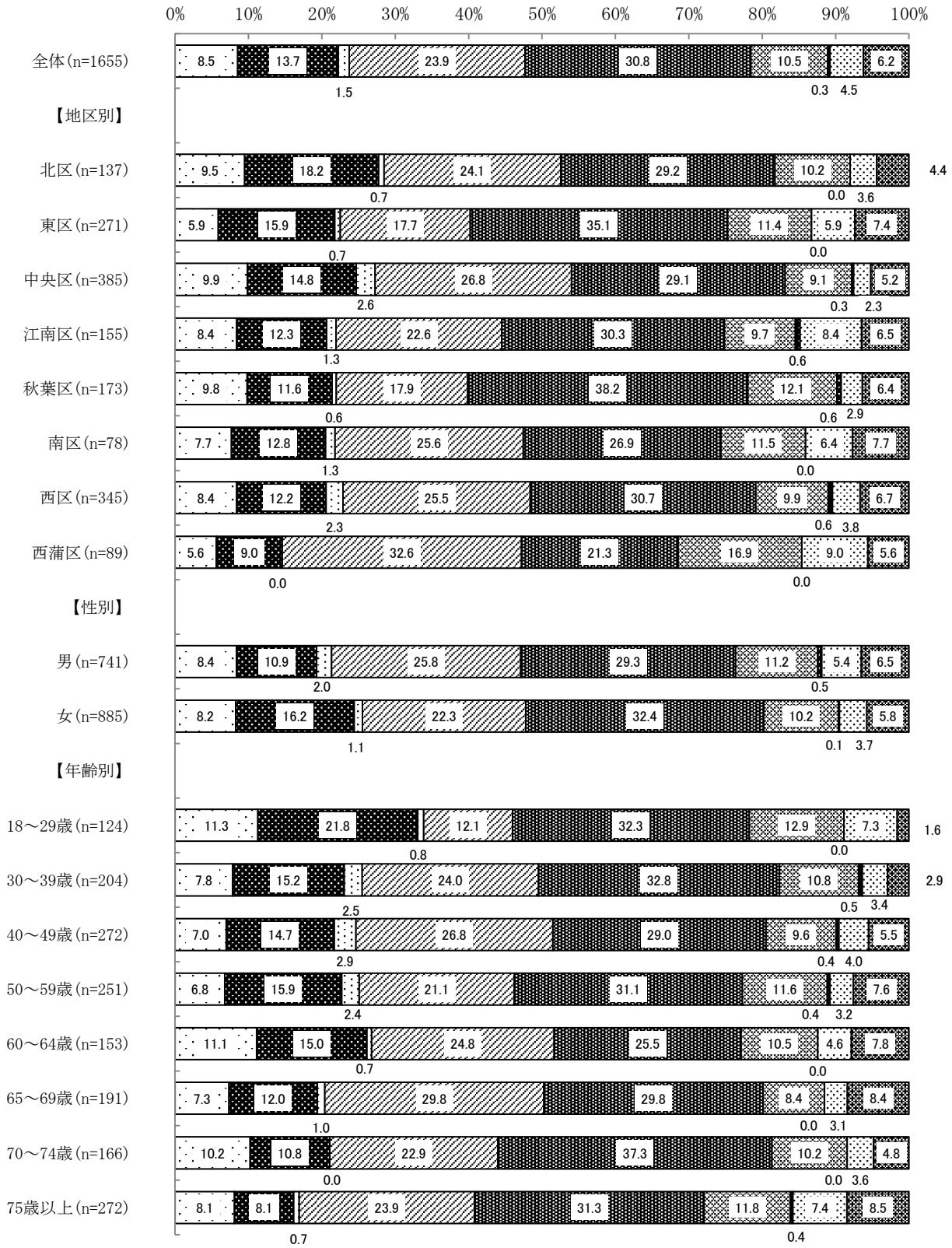
「食品ロスの削減」の割合は、男性（29.3%）より女性（32.4%）でやや高く、「地産地消」の割合は、女性（22.3%）より男性（25.8%）でやや高い。女性は、「省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用」（16.2%）の割合が、男性（10.9%）と比べて高い。

### ③年齢別

どの年齢も「食品ロスの削減」と答えた割合が最も高い。特に70～74歳（37.3%）では4割弱で、他の年齢と比べて割合が高い。65～69歳では、「地産地消」（29.8%）の割合が「食品ロスの削減」（29.8%）と共に、最も高い結果となった。18～29歳では、「省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用」（21.8%）の割合が2割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。

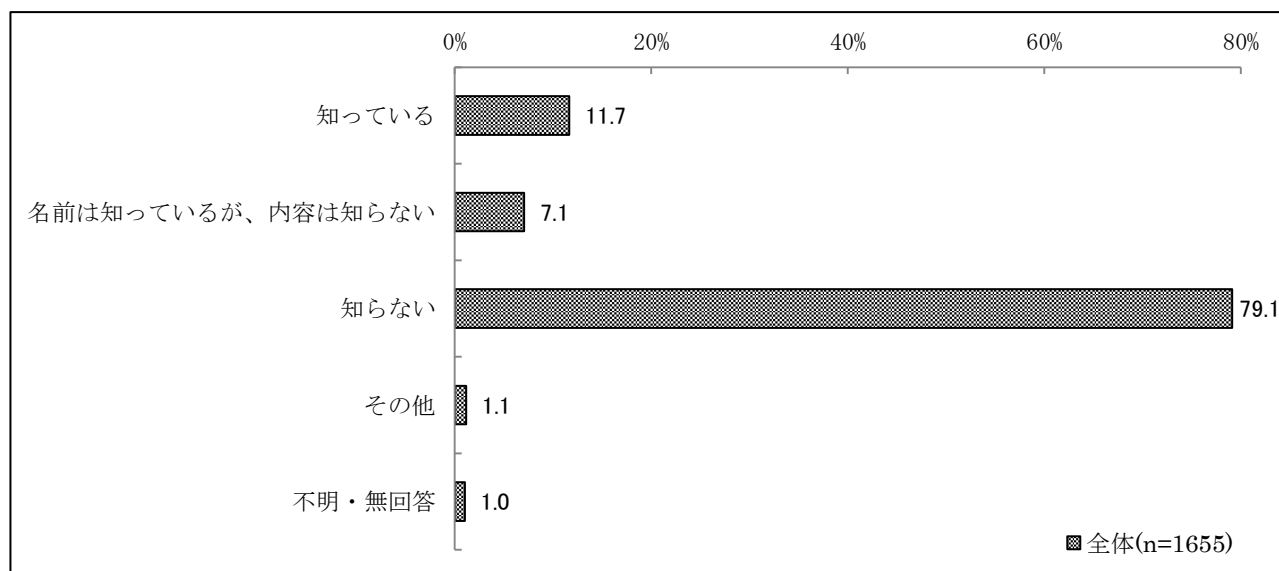
図 2-9 消費行動への心がけ（地区別/性別/年齢別）

- 環境に配慮した商品やサービスの選択
- 省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用
- フェアトレード（開発途上国の生産者に公正な労働を保証している貿易の仕組み）製品等の購入
- 地産地消（地域で生産したものを地域で消費する）
- 食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減
- 表示や説明を確認し、内容を理解したうえでの商品、サービスの選択
- その他
- 特になし
- 不明・無回答



## (11) エシカル消費の認知度

問12 あなたは「エシカル消費」を知っていますか。  
(○は1つだけ)



— 約8割が「知らない」と回答 —

### 【全体結果】

「知っている」(11.7%)が1割強、「名前は知っているが、内容は知らない」(7.1%)が1割弱で、合わせた『知っている(以下同様)』(18.7%)の割合は約2割という結果となった。「知らない」(79.1%)と答えた割合が最も高く、約8割を占めた。

### 【属性別結果】(図2-10参照)

#### ①地区別

『知っている』は秋葉区(28.3%)で最も高く、約3割を占める。北区(20.4%)、東区(21.8%)、南区(23.1%)で2割を超えた。「知らない」は中央区(82.3%)、西区(82.0%)、西蒲区(84.3%)で8割を超えた。

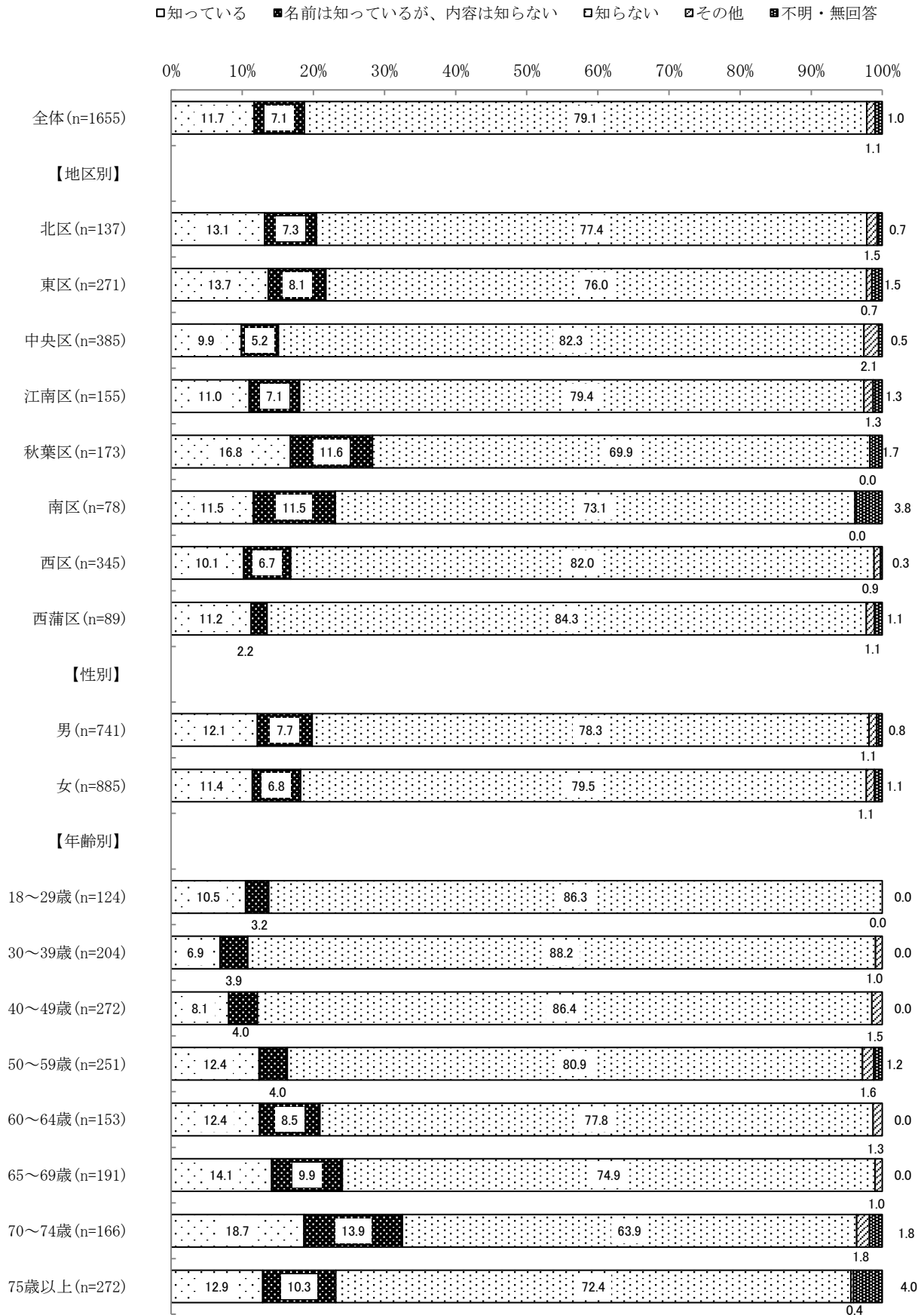
#### ②性別

男女差は、ほぼない。

#### ③年齢別

『知っている』と答えた割合は、70～74歳(32.5%)で最も高く、3割を超えた。60～64歳(20.9%)、65～69歳(24.1%)、75歳以上(23.2%)で2割を超えた。「知らない」と答えた割合は、18～29歳(86.3%)で最も高く、概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

図 2-10 エシカル消費の認知度（地区別/性別/年齢別）





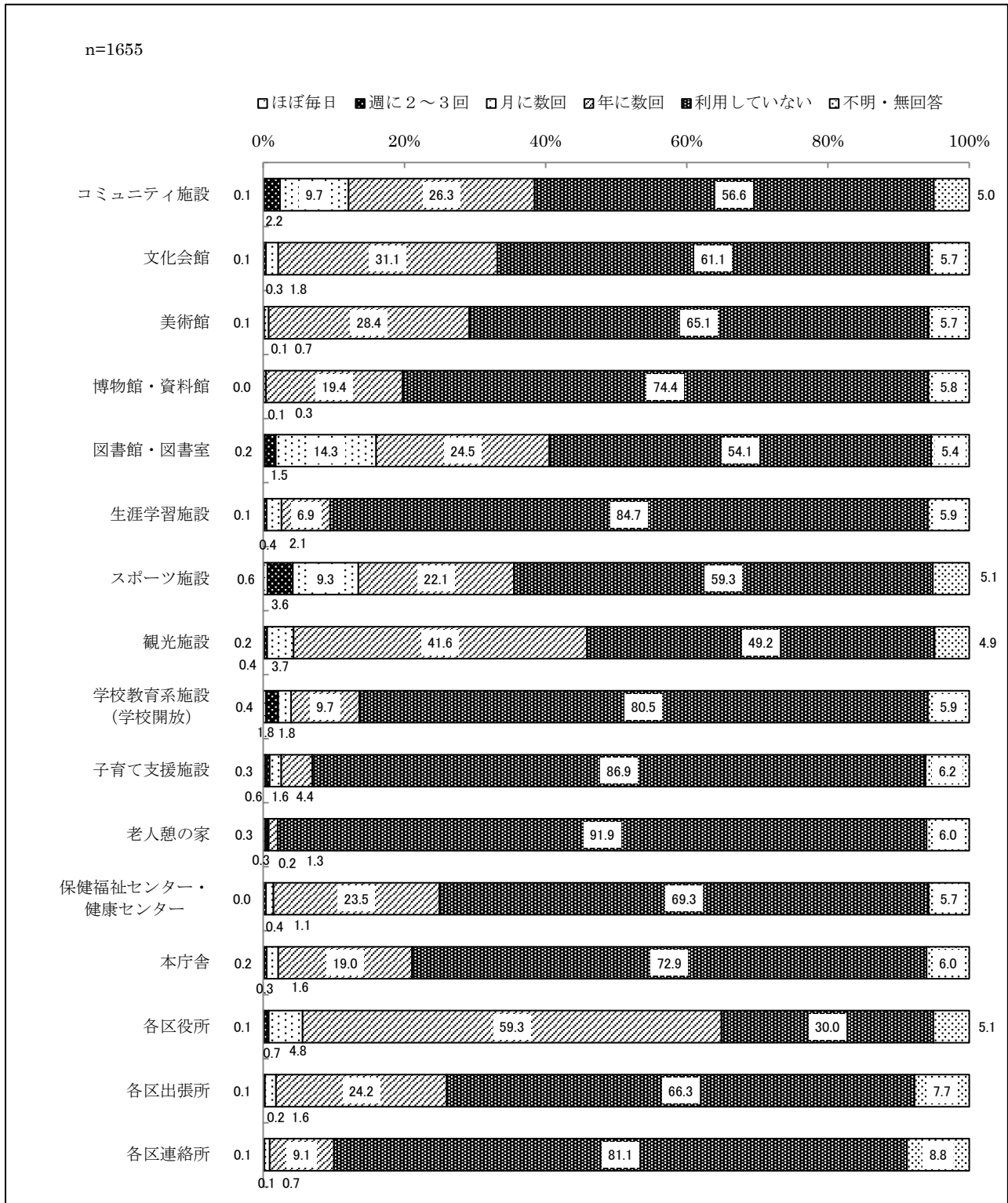
### 3. 新潟市の公共施設のこれからについて

#### (1) 公共施設の利用回数

問 13 あなたは、新潟市が所有する公共施設（建物等）について、最近1年間（平成29年1月～平成29年12月）に何回くらい利用しましたか。

また、公共施設へは主にどのような交通手段で行きましたか。（○はそれぞれ1つつつ）

【年間の利用回数】



## — 各区役所を除く施設で「利用していない」がトップ —

### 【全体結果】

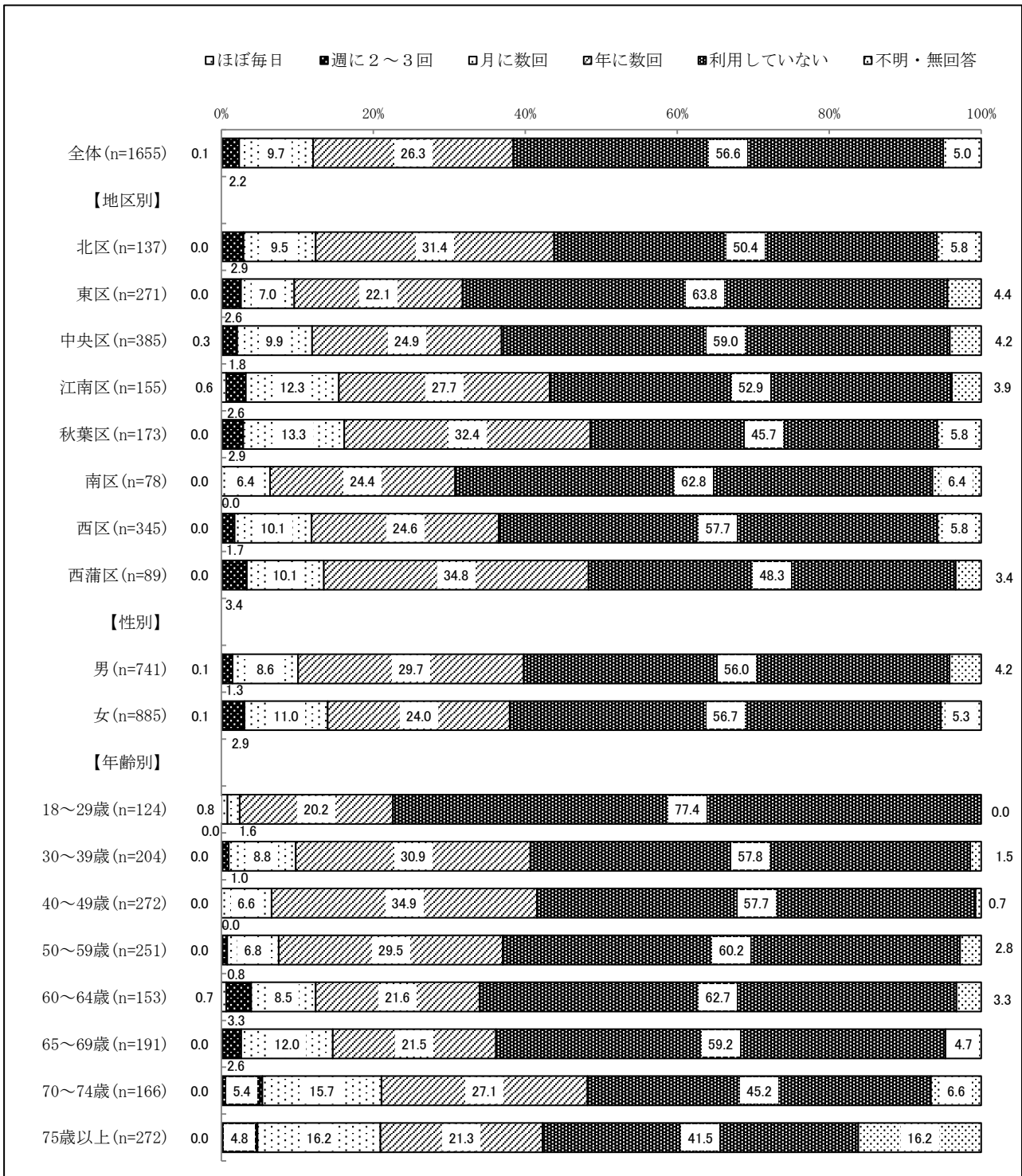
全体でみると、「年に数回」が約6割を占めた各区役所(59.3%)を除き、すべての項目で「利用していない」と回答した割合が最も高い。「ほぼ毎日」「週に2~3回」「月に数回」「年に数回」を合わせた『利用した(以下同様)』割合でみると、各区役所(64.9%)で約6割半ば、図書館・図書室(40.5%)、観光施設(45.9%)で4割台、コミュニティ施設(38.4%)、文化会館(33.2%)、スポーツ施設(35.5%)で3割台となった。

「利用していない」は、老人憩の家(91.9%)で最も高く、9割を超えた。生涯学習施設(84.7%)、学校教育系施設(学校開放)(80.5%)、子育て支援施設(86.9%)、各区連絡所(81.1%)の割合も高く、8割を超えた。「利用していない」の割合が半数未満となったのは、観光施設(49.2%)、各区役所(30.0%)の2施設のみという結果となった。

### 【属性別結果】

次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

①コミュニティ施設

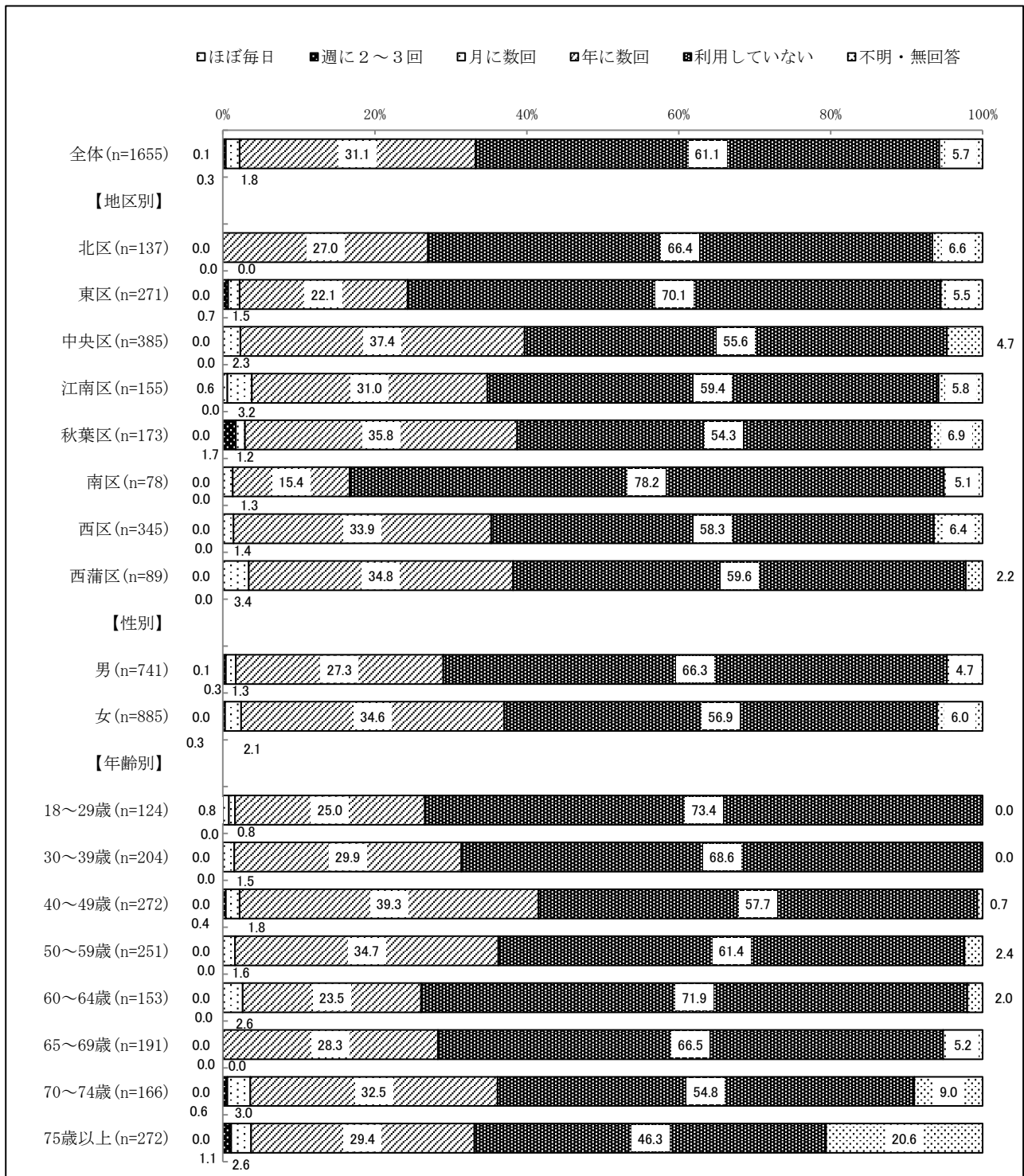


地区別では、秋葉区（48.6%）、西蒲区（48.3%）で『利用した』割合が他の地区と比べて高く、約5割となった。「利用していない」は、東区（63.8%）、南区（62.8%）で他の地区と比べて割合が高く、6割を超えた。

性別では、『利用した』割合にあまり差はないものの、「週に2〜3回」「月に数回」の割合が男性（各1.3%、8.6%）より女性（各2.9%、11.0%）でやや高く、女性で頻度がやや高い事がうかがえる。

年齢別では、『利用した』割合が最も高いのは70〜74歳（48.2%）で、約半数を占めた。「利用していない」と答えた割合は、18〜29歳（77.4%）で突出している。

## ②文化会館

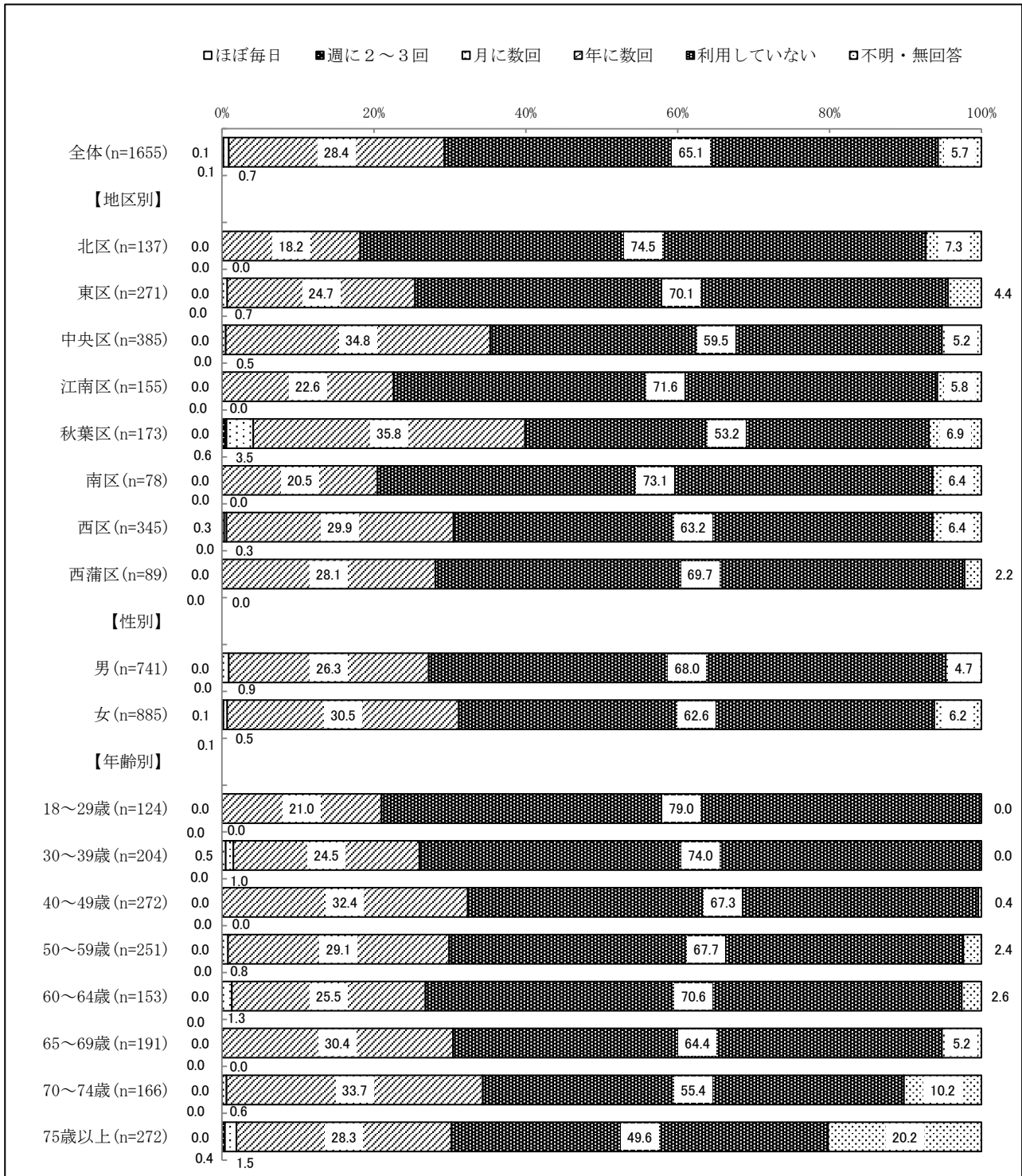


地区別では、『利用した』割合が中央区 (39.7%)、秋葉区 (38.7%)、西蒲区 (38.2%) で約4割となり、他の地区と比べてやや高い。「利用していない」は東区 (70.1%) で約7割、南区 (78.2%) で8割弱となり、他の地区と比べて高い。

性別では、『利用した』割合は男性 (29.0%) より女性 (37.1%) で高い。

年齢別では、『利用した』割合は40〜49歳 (41.5%) で最も高く、4割を超えた。「利用していない」は18〜29歳 (73.4%)、60〜64歳 (71.9%) で割合が高く、7割を超えた。

### ③美術館

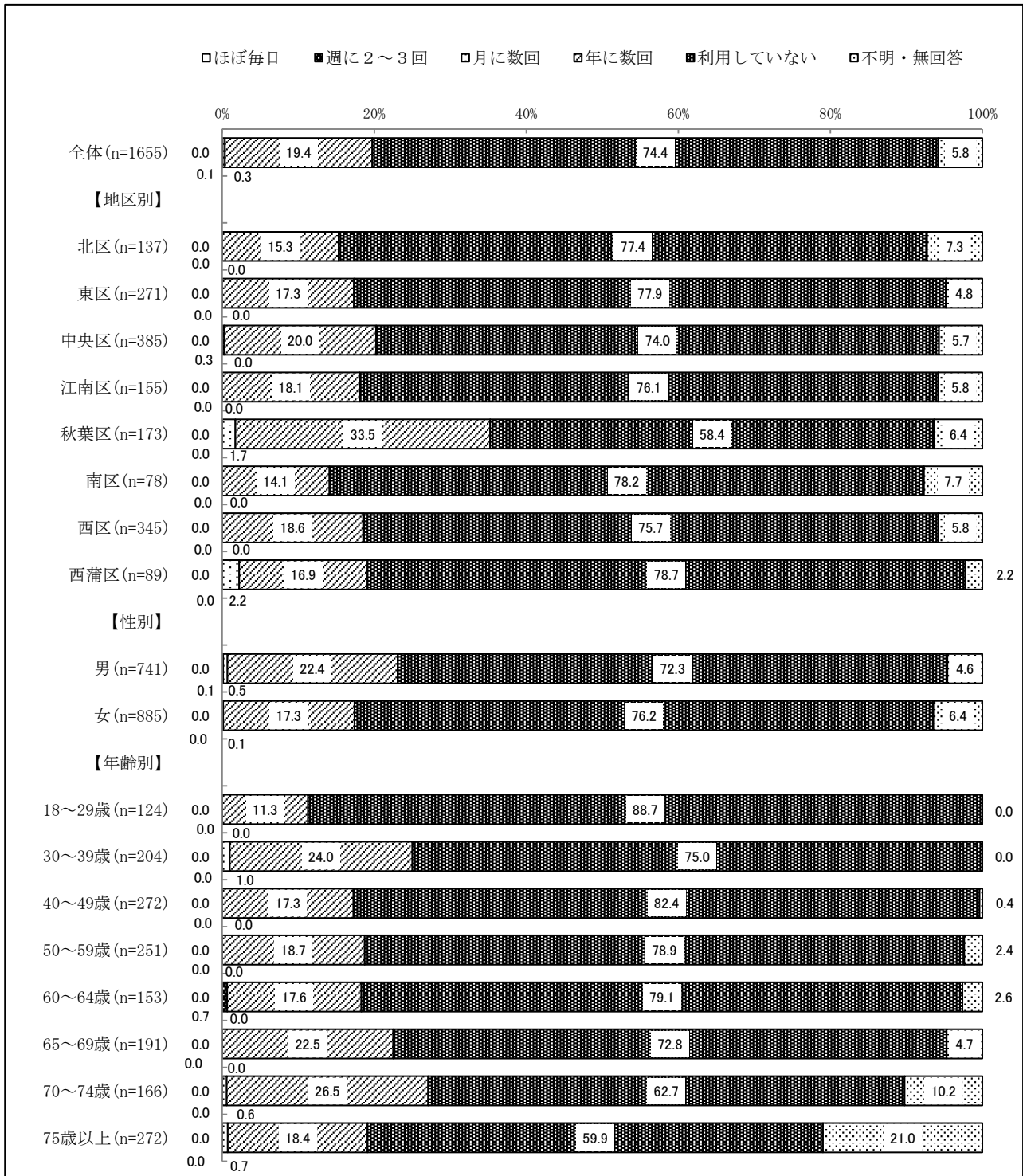


地区別では、『利用した』割合が中央区 (35.3%)、秋葉区 (39.9%) で高い。「利用していない」は、北区 (74.5%)、東区 (70.1%)、江南区 (71.6%)、南区 (73.1%) で7割を超えた。

性別では、『利用した』割合は男性 (27.3%) より女性 (31.2%) でやや高い。

年齢別では、『利用した』割合は70〜74歳 (34.3%) で最も高い。「利用していない」は概ね若年層ほど割合が高い。

④博物館・資料館

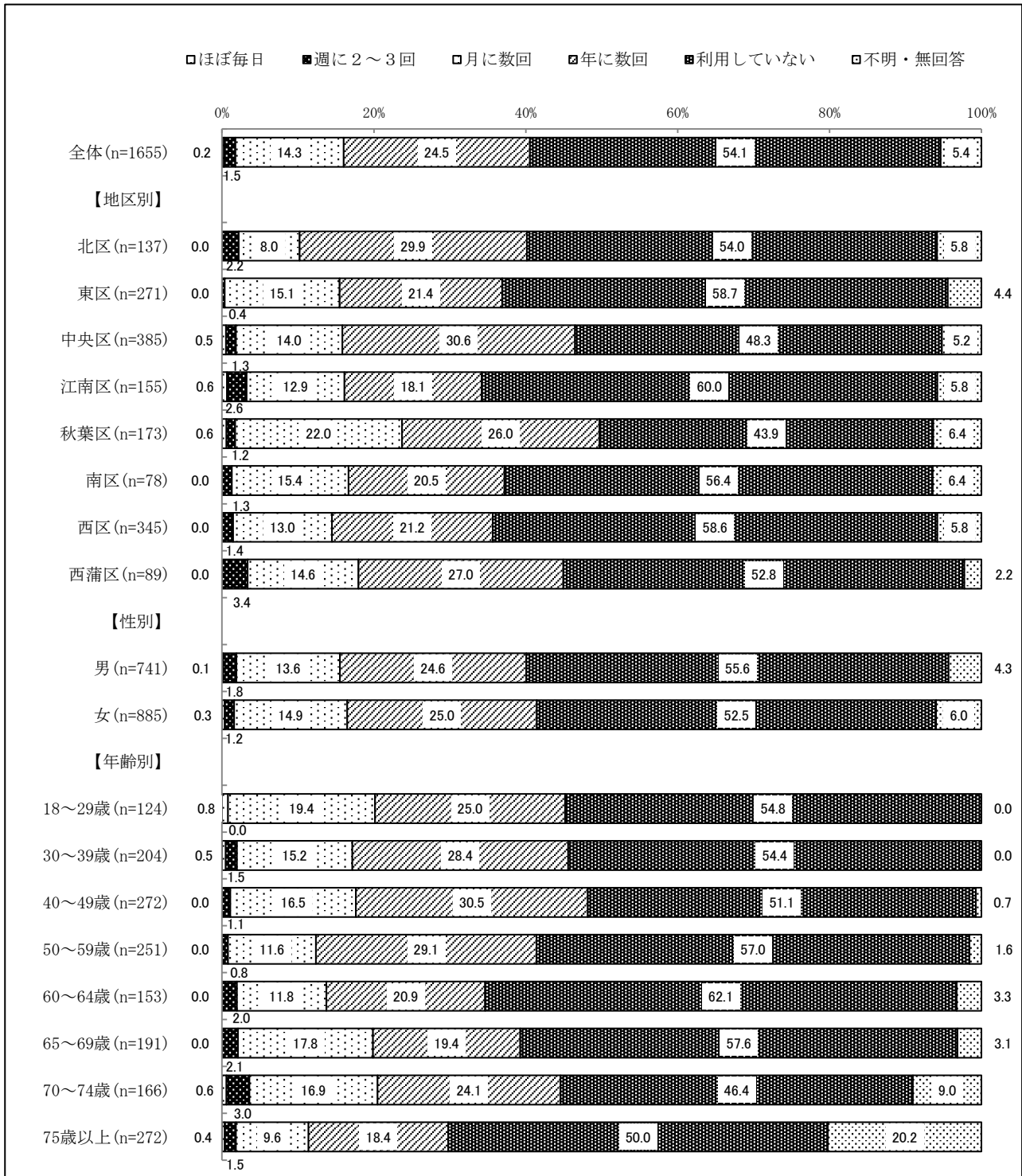


地区別では、『利用した』割合は秋葉区（35.3%）で突出している。「利用していない」は秋葉区を除く地区で7割を超えた。

性別では、『利用した』割合は女性（17.4%）と比べて男性（23.1%）で高い。

年齢別では、『利用した』割合は70~74歳（27.1%）で最も高く、30~39歳（25.0%）、65~69歳（22.5%）と共に2割を超えた。「利用していない」は18~29歳（88.7%）、40~49歳（82.4%）で8割を超えた。

⑤図書館・図書室

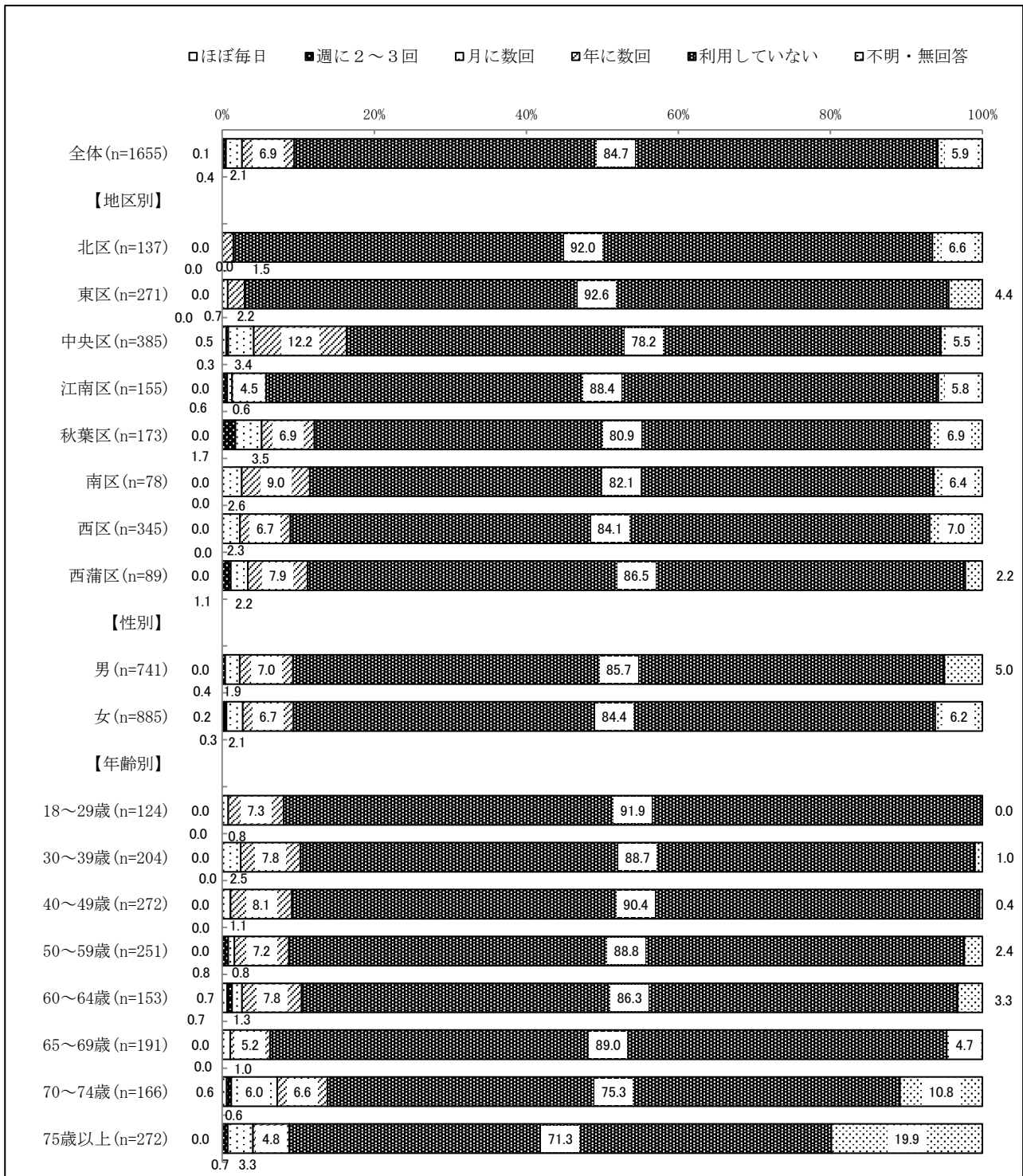


地区別では、『利用した』割合は秋葉区（49.7%）で最も高く、約半数を占めた。秋葉区は「月に数回」（22.0%）が他の地区と比べて割合が高い。北区（40.1%）、中央区（46.5%）、西蒲区（44.9%）も『利用した』割合が高く、4割を超えた。「利用していない」は江南区（60.0%）で最も高く、6割を占めた。

性別による差はあまり見られない。

年齢別では、『利用した』割合は、60~64歳（34.6%）、65~69歳（39.3%）、75歳以上（29.8%）を除く年齢で4割を超えた。「利用していない」は60~64歳（62.1%）で最も高く、6割を超えた。

⑥生涯学習施設



「利用していない」がすべての項目で7割を超えた。

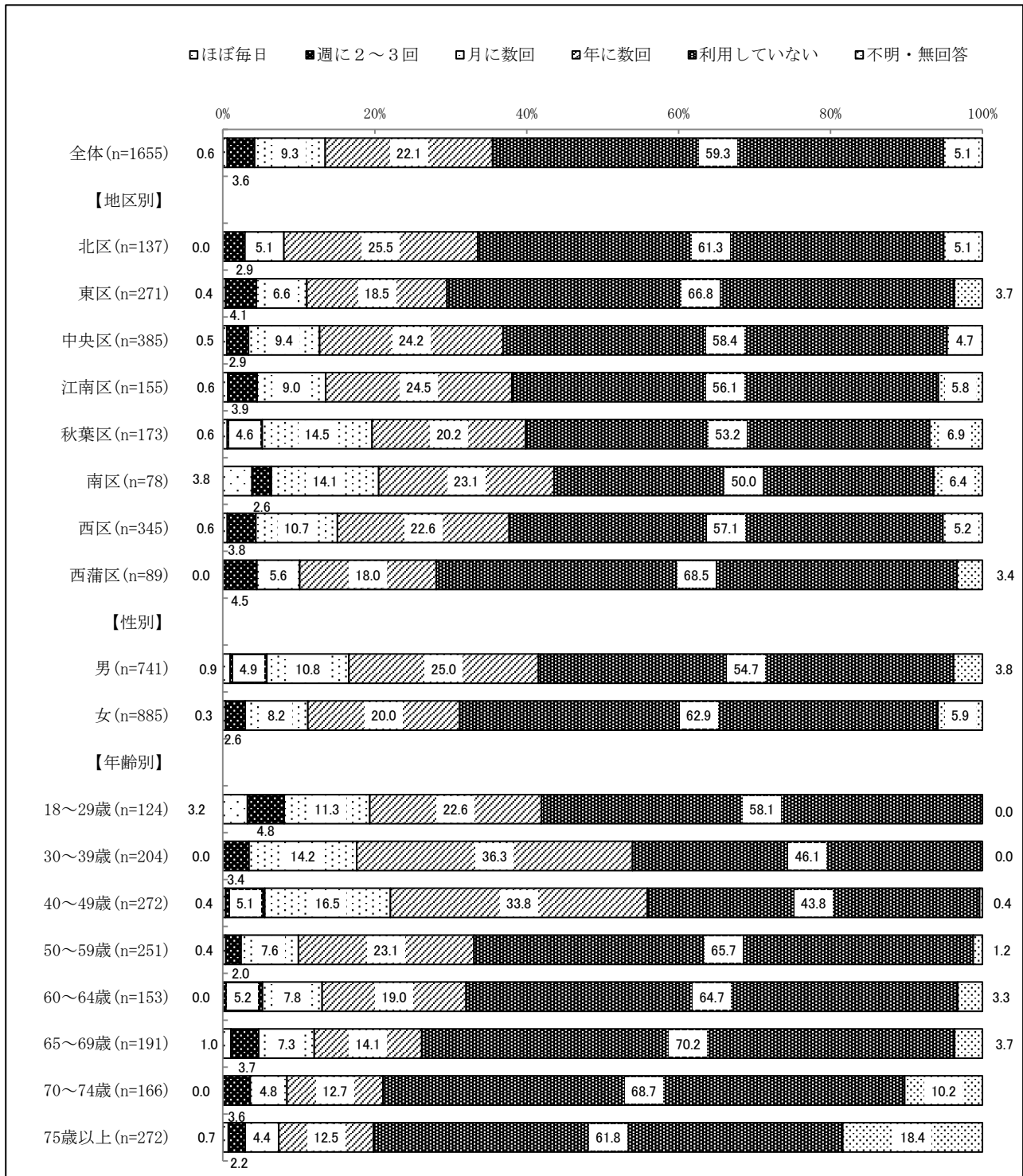
地区別では、『利用した』割合は中央区（16.4%）で最も高い。

性別による差はほとんど見られない。

年齢別では、『利用した』割合は70～74歳（13.9%）で最も高い。



⑦スポーツ施設

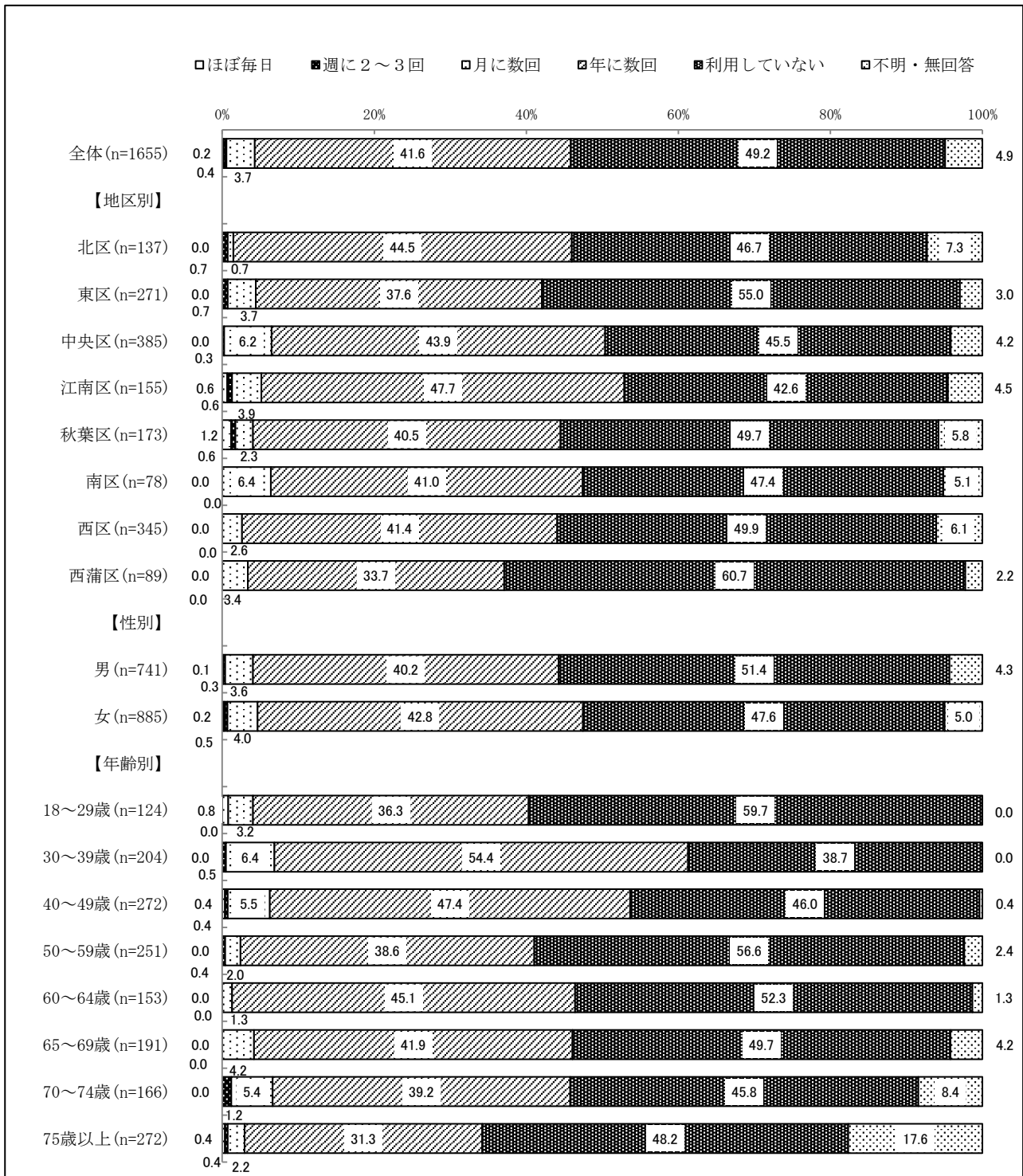


地区別では、『利用した』は南区（43.6%）で最も割合が高く、4割を超えた。秋葉区、南区は、他の地区と比べて「月に数回」（各14.5%、14.1%）の割合が高い。「利用していない」は、北区（61.3%）、東区（66.8%）、西蒲区（68.5%）で割合が高く、6割を超えた。

性別では、『利用した』割合が女性（31.2%）より男性（41.6%）で高い。

年齢別では、『利用した』は30〜39歳（53.9%）、40〜49歳（55.9%）で5割を超えた。18〜29歳（41.9%）も割合が高く、4割を超えた。「利用していない」は65〜69歳（70.2%）で最も高く、約7割を占めた。

⑧観光施設

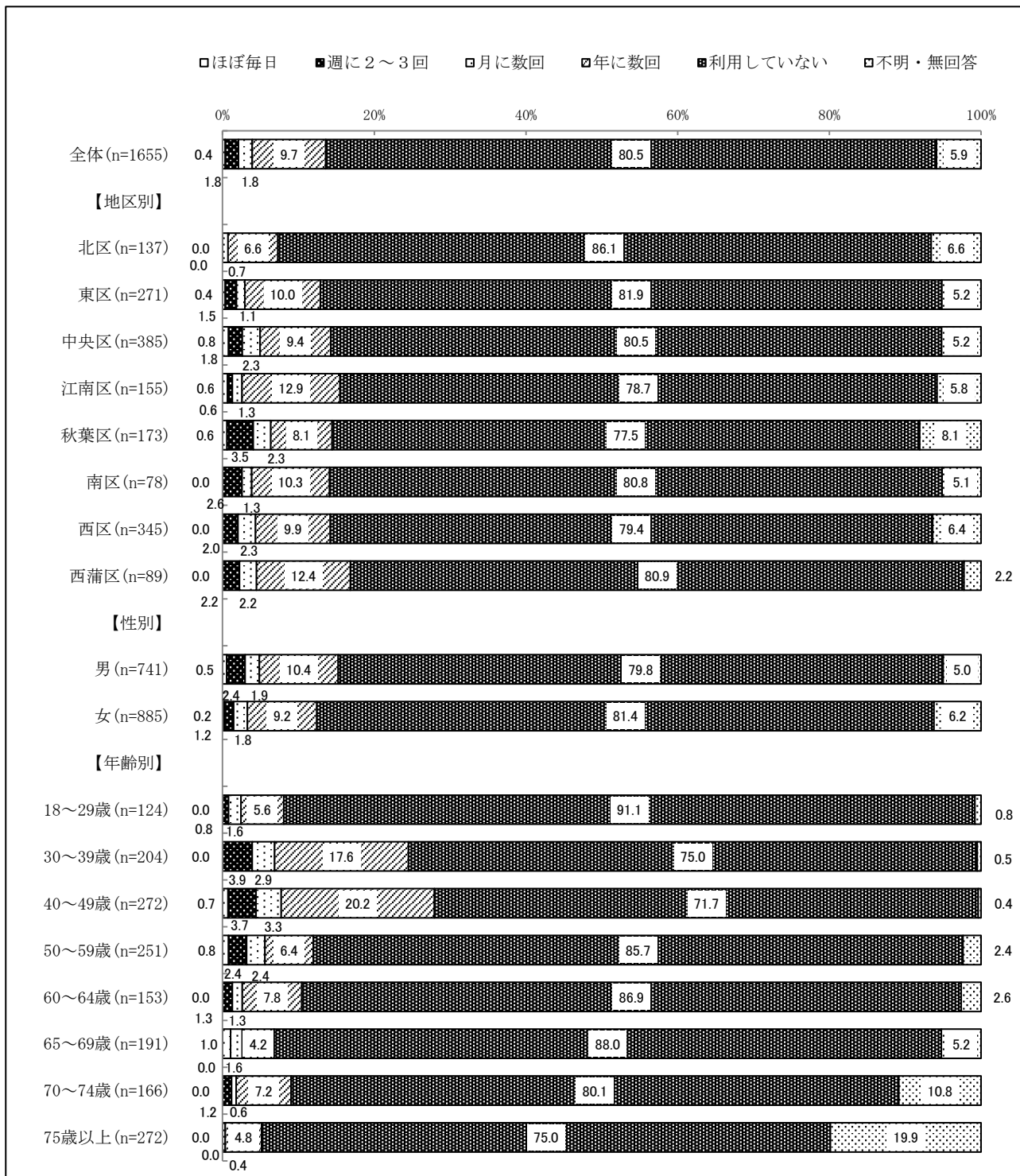


地区別では、『利用した』は中央区 (50.4%)、江南区 (52.9%) で割合が高く、5割を超えた。江南区では「年に数回」(47.7%) と答えた割合が、「利用していない」(42.6%) と答えた割合を上回った。「利用していない」は西蒲区 (60.7%) で最も割合が高く、約6割を占めた。

性別では、『利用した』割合が男性 (44.3%) と比べて女性 (47.5%) でやや高い。

年齢別では、『利用した』は30〜39歳 (61.3%) で6割強、40〜49歳 (53.7%) で5割強となり、他の年齢と比べて割合が高い。「利用していない」は18〜29歳 (59.7%) で最も高く、約6割を占めた。

⑨学校教育系施設（学校開放）



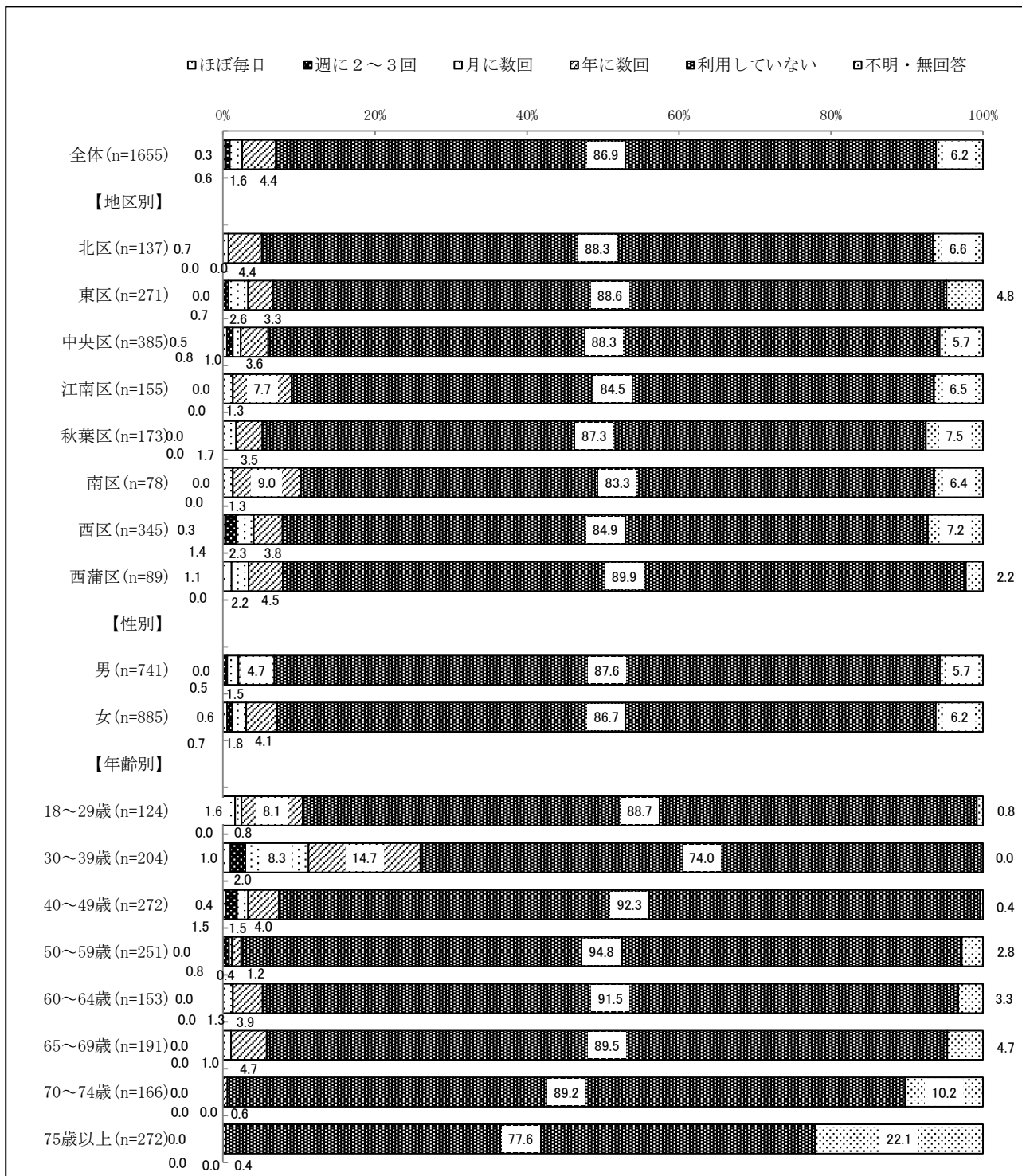
すべての項目で「利用していない」の割合が最も高い。

地区別では、『利用した』は北区（7.3%）で他の地区と比べて割合が低く、1割未満となった。

性別では、『利用した』割合が女性（12.4%）と比べて男性（15.2%）でやや高い。

年齢別では、『利用した』は30～39歳（24.5%）、40～49歳（27.9%）で他の年齢と比べて割合が高く、2割を超えた。18～29歳で「利用していない」（91.1%）の割合が9割を超えた。

⑩子育て支援施設

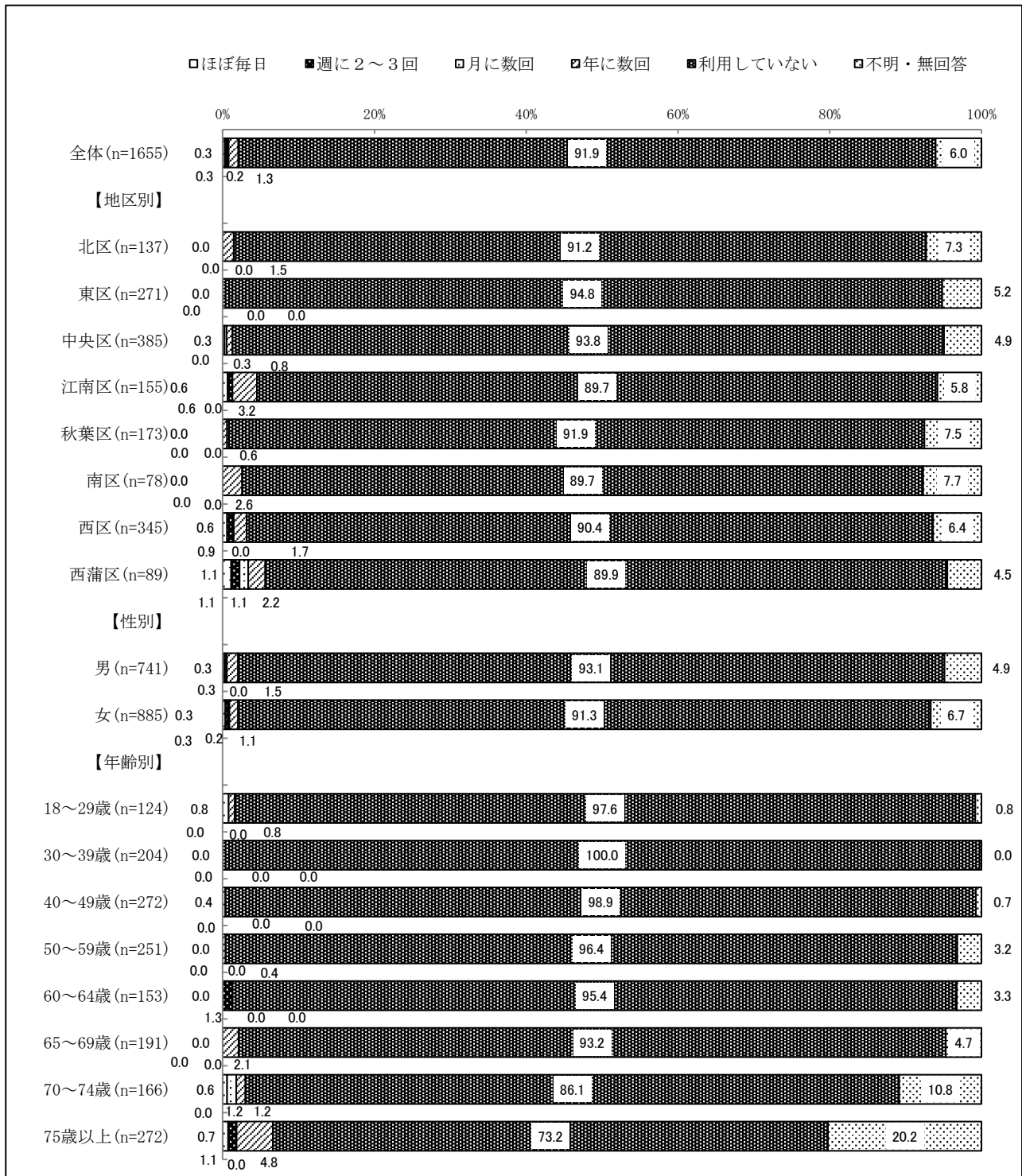


地区別では、『利用した』割合が江南区（9.0%）、南区（10.3%）で約1割となり、他の地区と比べてやや割合が高い。

性別での差はほとんどない。

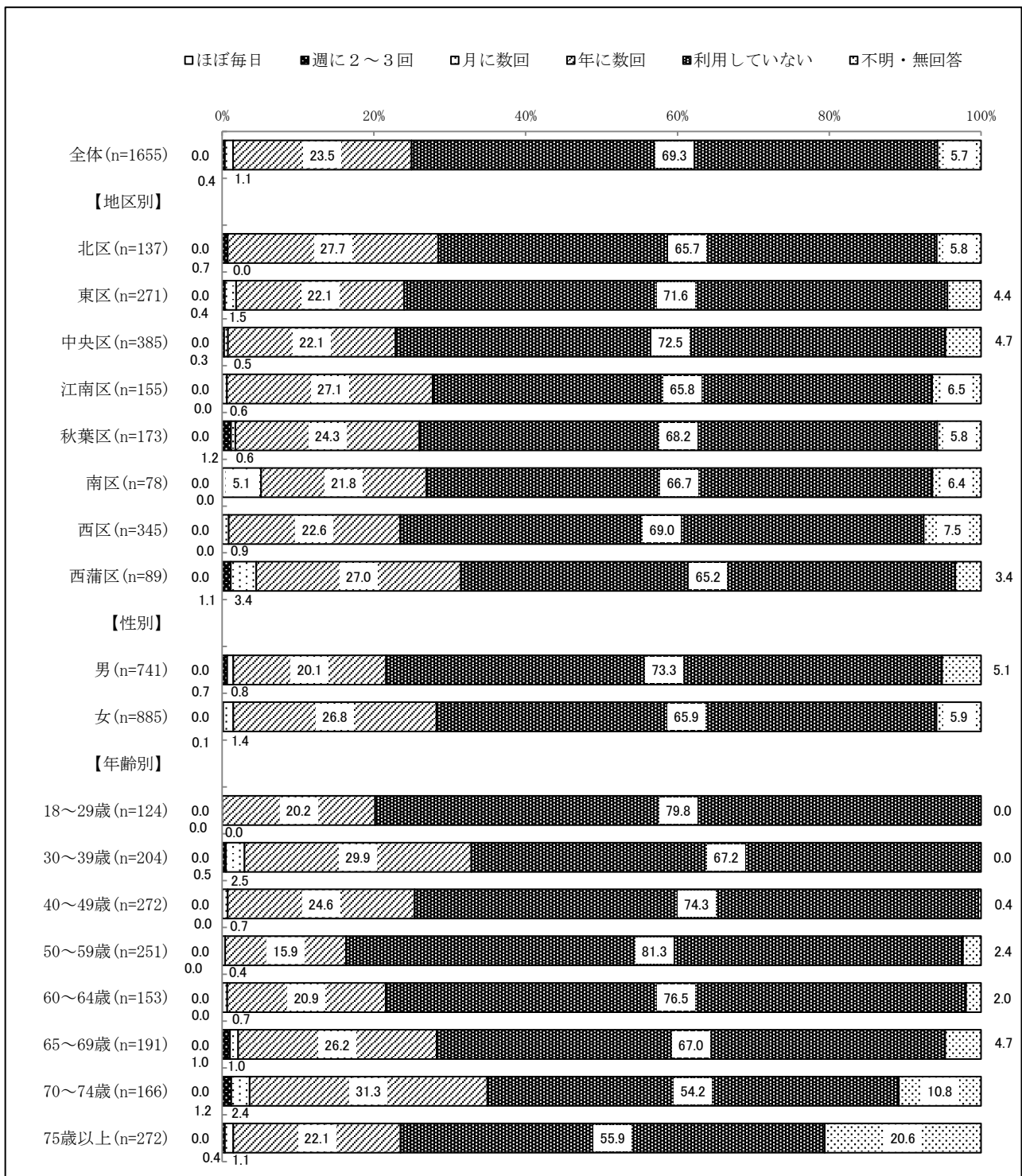
年齢別では、『利用した』割合が最も高いのは30~39歳（26.0%）で、2割を超えた。次いで18~29歳（10.5%）で割合が高く、約1割を占めた。

⑪老人憩の家



『利用した』割合は、地区別では江南区（4.5%）、西蒲区（5.6%）で、年齢別では75歳以上（6.6%）で、他の項目と比べて割合がやや高いものの、ほとんどの項目で4%未満となった。

⑫保健福祉センター・健康センター

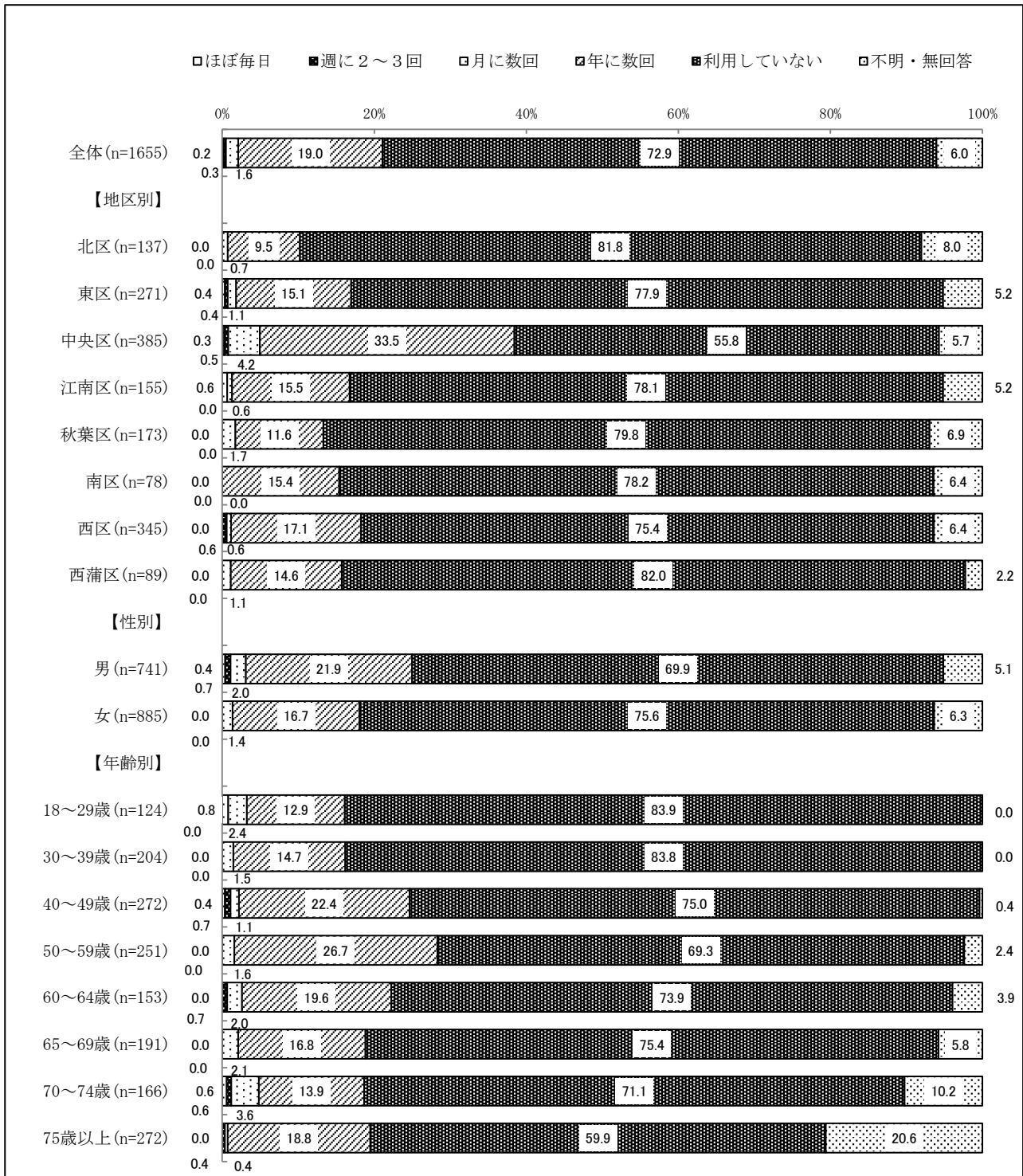


地区別では、『利用した』割合は西蒲区（31.5%）で最も高く、3割を超えた。その他の地区は2割台となった。「利用していない」は東区（71.6%）、中央区（72.5%）で割合が高く、7割を超えた。

性別では、『利用した』割合は男性（21.6%）より女性（28.2%）で高い。

年齢別では、『利用した』割合は30~39歳（32.8%）、70~74歳（34.9%）で高く、3割を超えた。「利用していない」は50~59歳（81.3%）で最も高く、8割を超えた。

⑬本庁舎

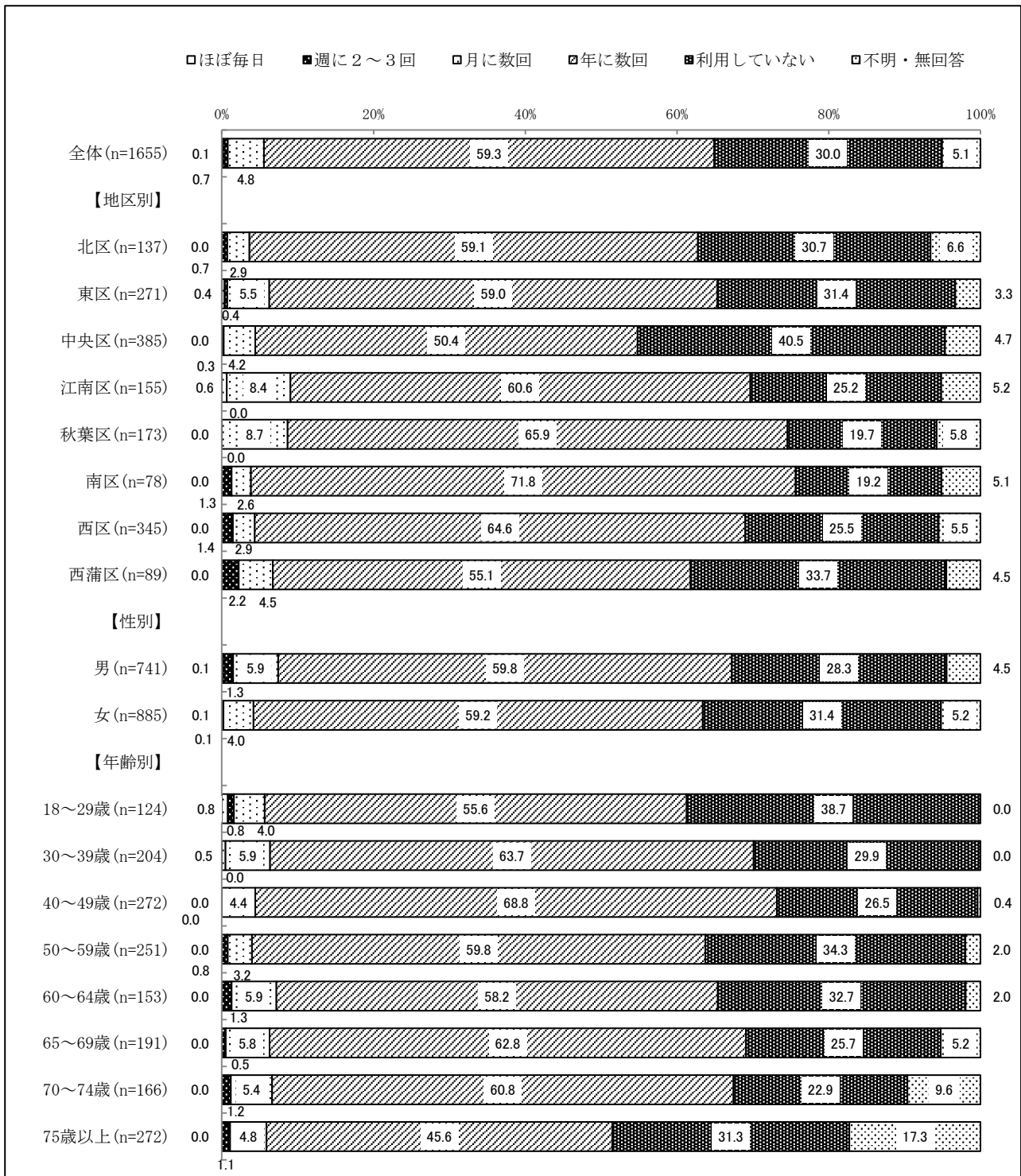


地区別では、『利用している』は中央区（38.4%）で割合が最も高く、他の地区と比べて突出している。「利用していない」は北区（81.8%）、西蒲区（82.0%）で割合が高く、8割を超えた。

性別では、『利用している』は女性（18.1%）より男性（25.0%）で割合が高い。

年齢別では、『利用している』は50〜59歳（28.3%）で最も高く、40〜49歳（24.6%）、60〜64歳（22.2%）と共に2割を超えた。「利用していない」は18〜39歳で8割を超えた。

⑭各区役所



すべての項目で、「年に数回」の割合が最も高い。

地区別では、『利用している』は秋葉区 (74.6%)、南区 (75.6%) で割合が高く、7割を超えた。

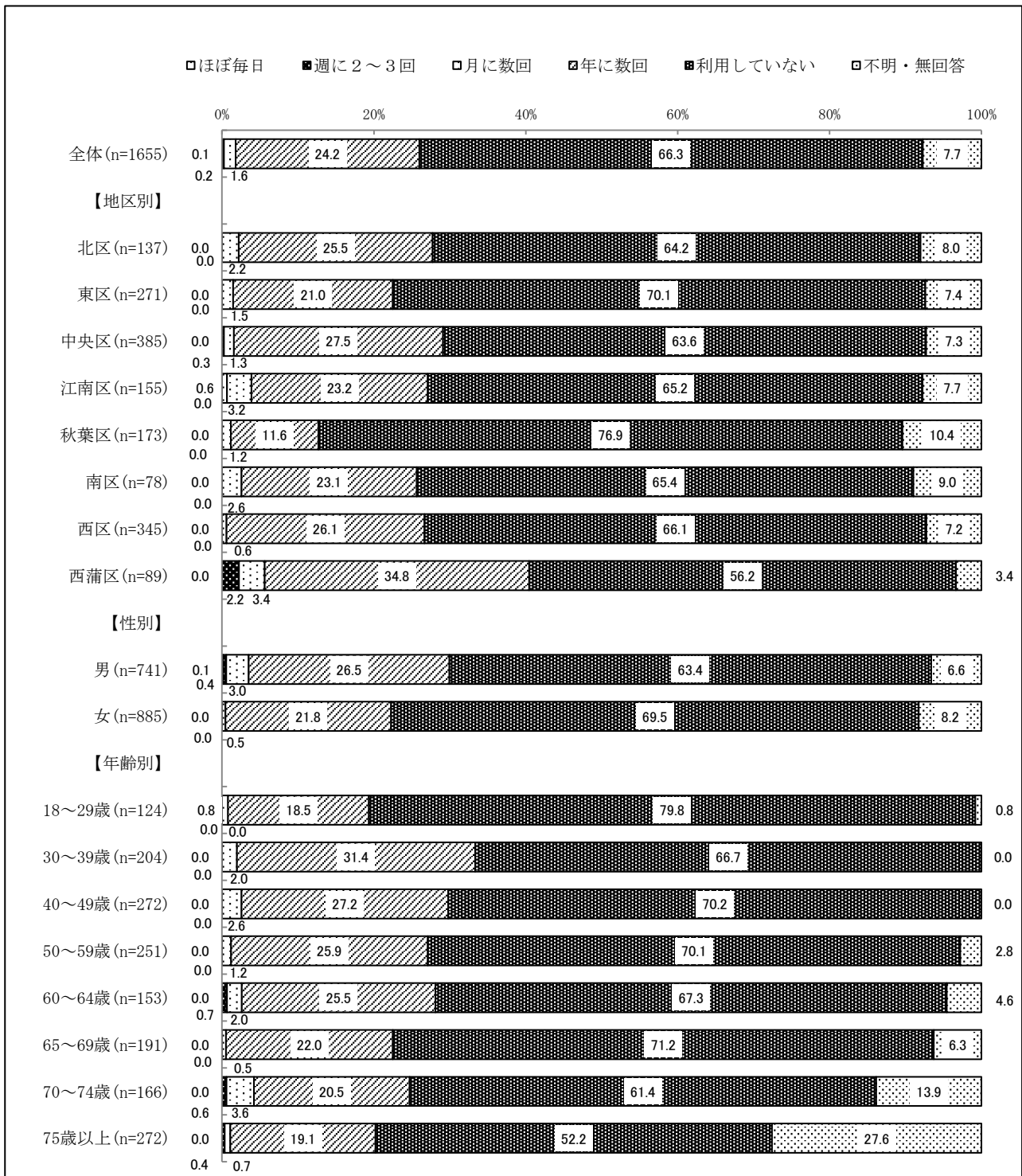
「利用していない」は中央区 (40.5%) で最も高く、約4割を占めた。

性別では、『利用している』は女性 (63.4%) と比べて男性 (67.2%) で割合が高い。

年齢別では、『利用している』は40〜49歳 (73.2%) で最も高く、30〜39歳 (70.1%) と共に7割を超えた。「利用していない」は18〜29歳 (38.7%) で最も高く、4割弱となった。



⑮各区出張所

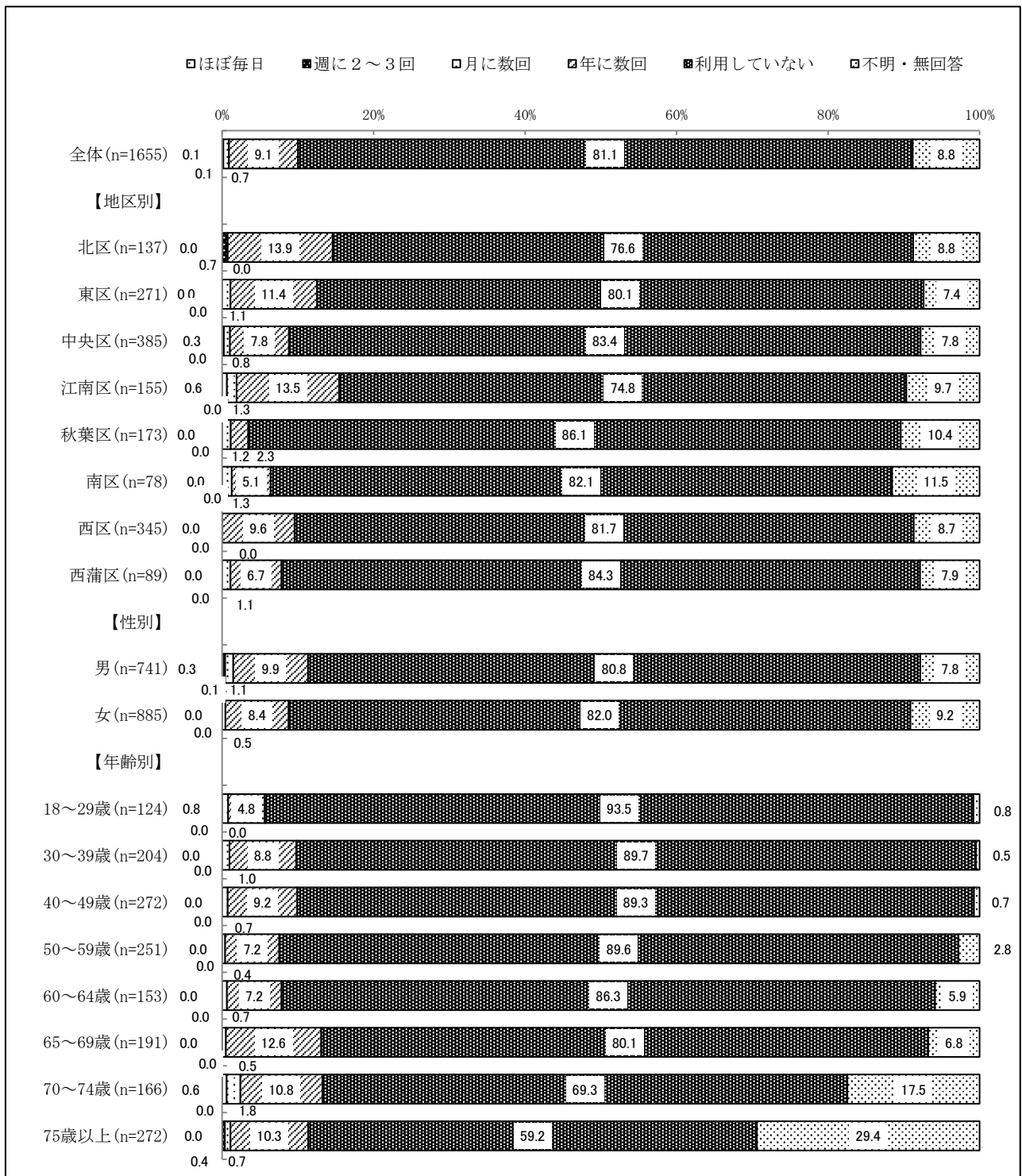


地区別では、『利用した』の割合が西蒲区（40.4%）で最も高く、約4割を占めた。秋葉区（12.7%）では、他の地区と比べて割合が低い。

性別では、『利用した』は女性（22.3%）と比べて男性（30.0%）で割合が高い。

年齢別では、『利用した』は30~39歳（33.3%）で最も高く、3割を超えた。「利用していない」は18~29歳（79.8%）で最も高く、約8割を占めた。

⑩各区連絡所



地区別では、『利用した』割合は北区（14.6%）、東区（12.5%）、江南区（15.5%）で1割を超え、他の地区と比べて割合が高い。

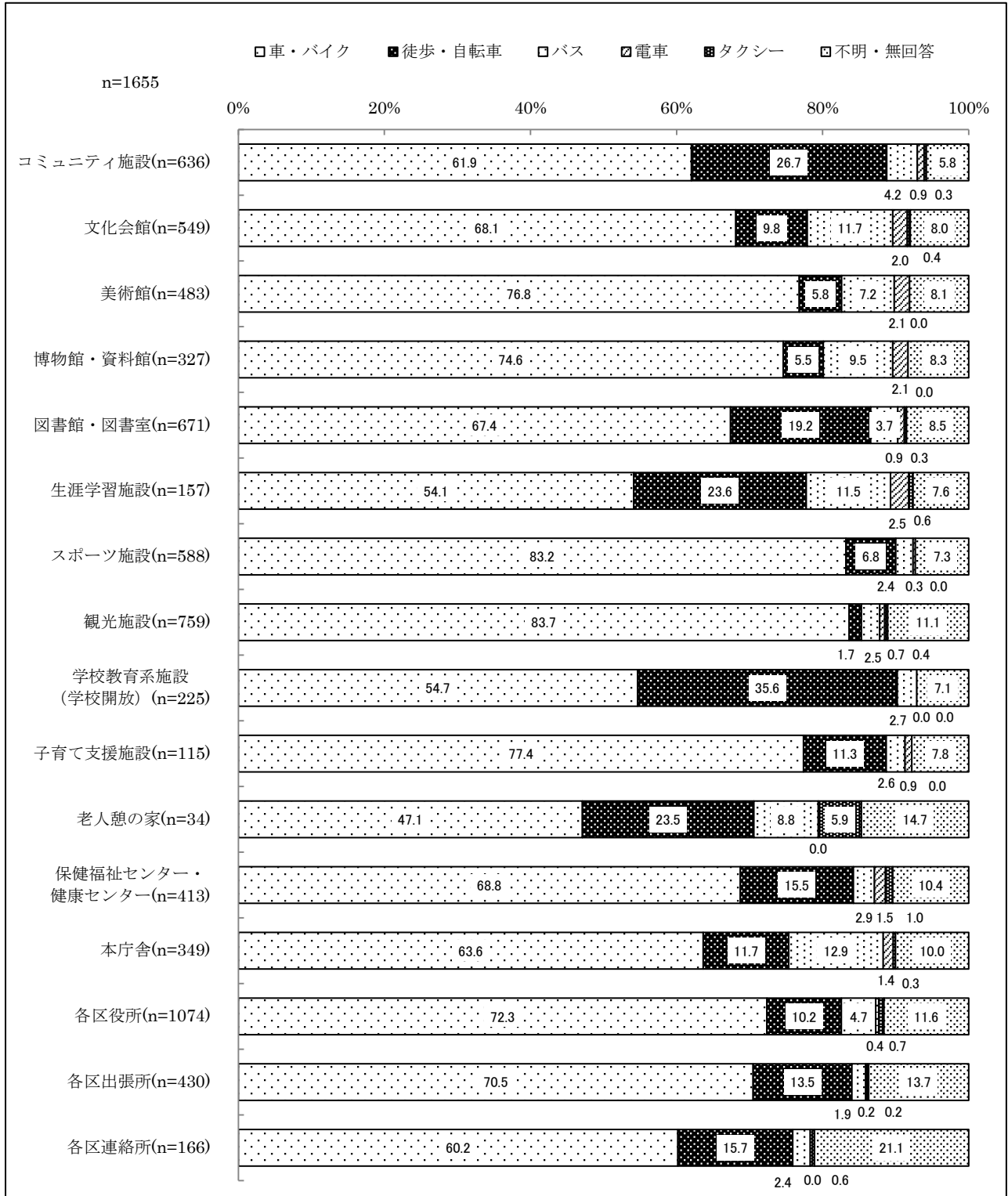
性別による差はあまりない。

年齢別では、『利用した』割合は65～69歳（13.1%）、70～74歳（13.3%）、75歳以上（11.4%）で1割を超えた。

## (2) 公共施設への交通手段

問 13 あなたは、新潟市が所有する公共施設（建物等）について、最近1年間（平成29年1月～平成29年12月）に何回くらい利用しましたか。  
また、公共施設へは主にどのような交通手段で行きましたか。（〇はそれぞれ1つつつ）

【交通手段】



## — 「車・バイク」の利用がすべての項目で最多 —

### 【全体結果】

全体でみると、全ての項目で「車・バイク」の割合が最も高い。スポーツ施設（83.2%）、観光施設（83.7%）では8割を超えた。美術館（76.8%）、博物館・資料館（74.6%）、子育て支援施設（77.4%）、各区役所（72.3%）、各区出張所（70.5%）で7割台となった。

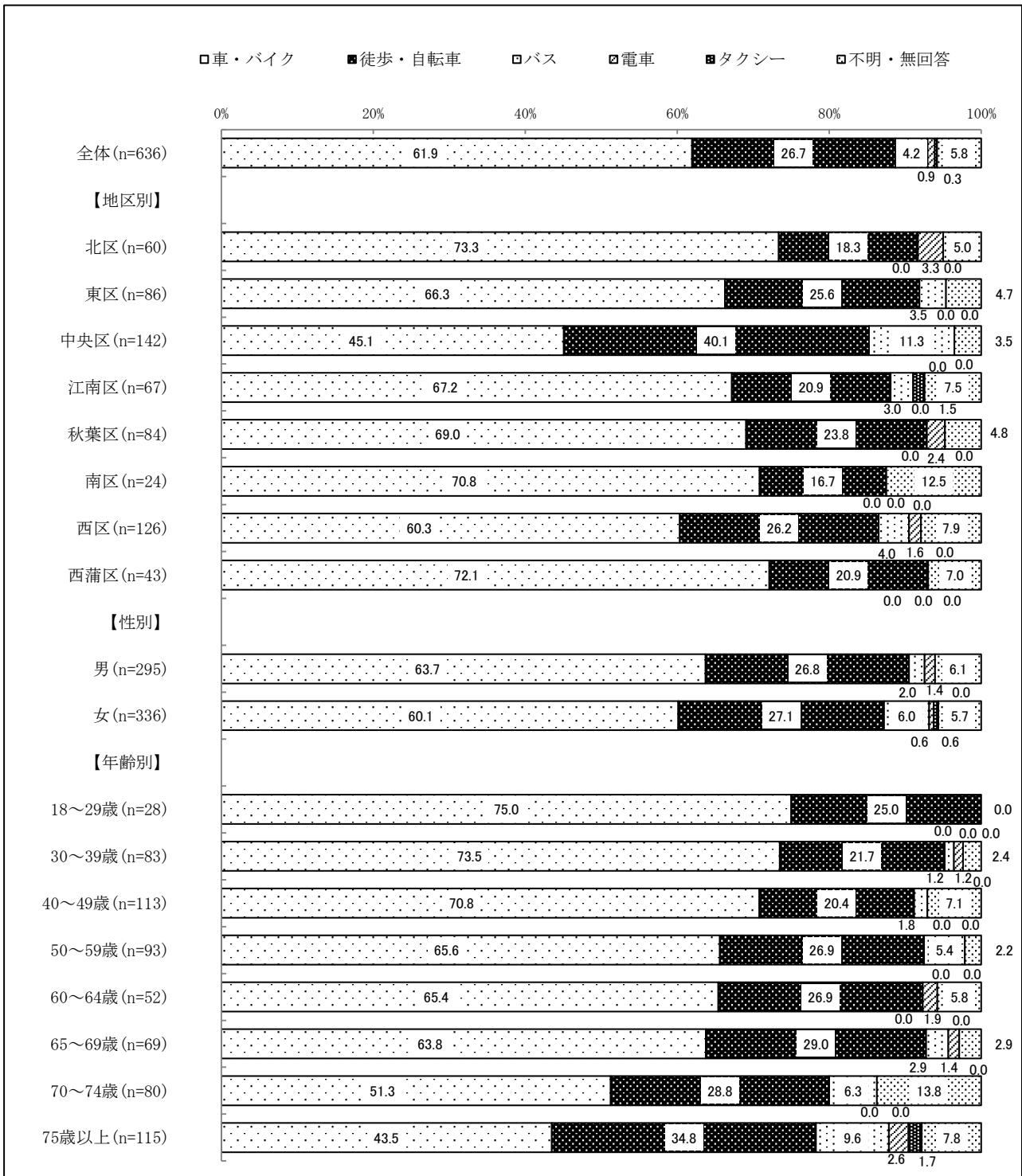
「徒歩・自転車」は、学校教育系施設（学校開放）（35.6%）で最も高く3割半ばとなった。コミュニティ施設（26.7%）、生涯学習施設（23.6%）、老人憩の家（23.5%）も割合が高く、2割を超えた。

文化会館、生涯学習施設、本庁舎で「バス」（各11.7%、11.5%、12.9%）の割合が1割を超えた。

### 【属性別結果】

次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

①コミュニティ施設

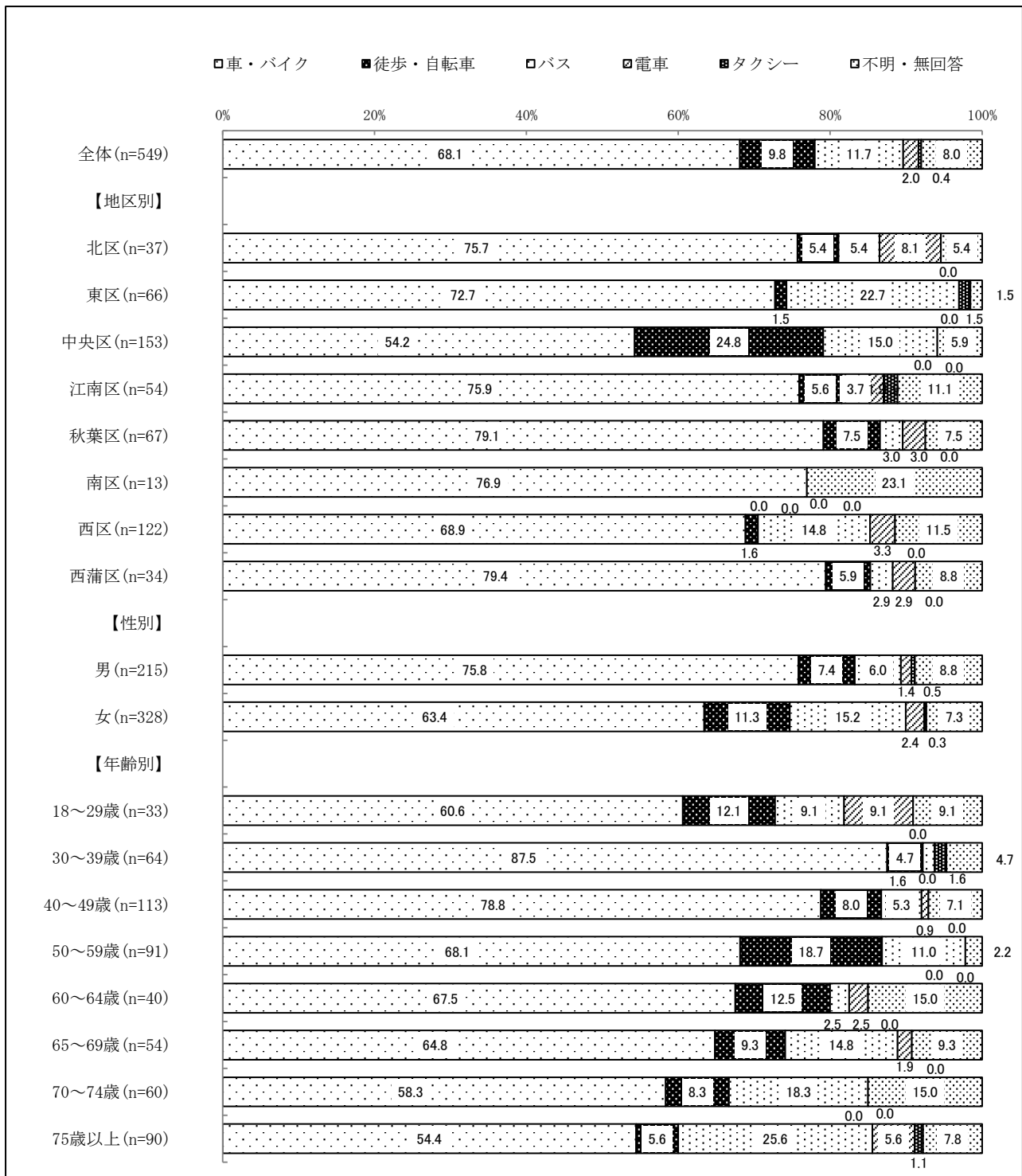


地区別では、「車・バイク」は北区 (77.3%)、南区 (70.8%)、西蒲区 (72.1%) で割合が高く、7割を超えた。「徒歩・自転車」は中央区 (40.1%) で割合が最も高く、約4割を占めた。

性別では、「車・バイク」は女性 (60.1%) より男性 (63.7%) で割合がやや高い。

年齢別では、「車・バイク」は18～29歳 (75.0%) で割合が最も高い。若年層ほど割合が高い傾向がみられる。「徒歩・自転車」は75歳以上 (34.8%) で最も高い。

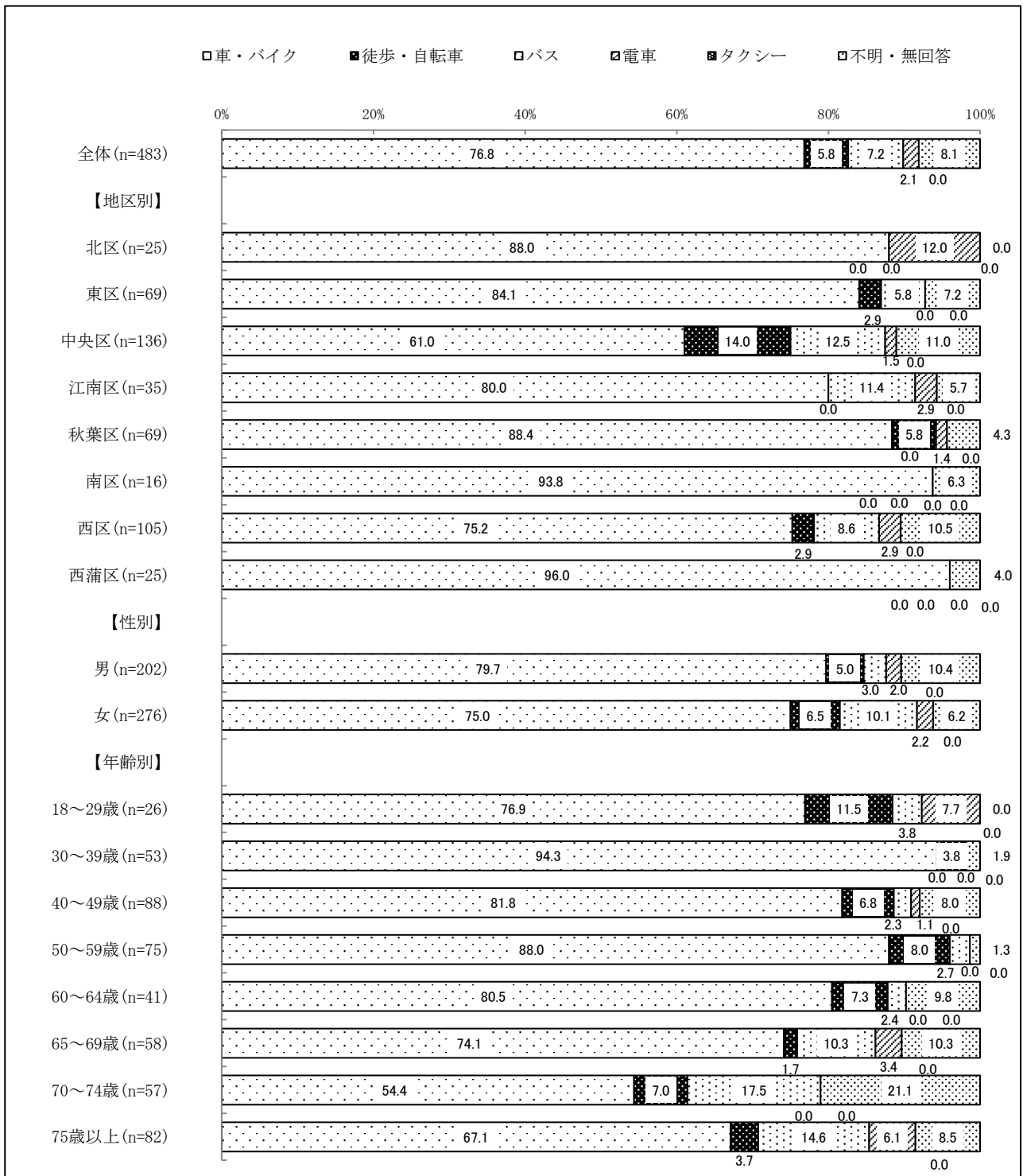
## ②文化会館



地区別では、中央区、西区を除き、「車・バイク」の割合が7割を超えた。中央区は「車・バイク」(54.2%)の割合が5割台にとどまり、「徒歩・自転車」(24.8%)の割合が他の地区と比べて突出している。東区では、「バス」(22.7%)の割合が高く、2割を超えた。

性別では、「車・バイク」の割合が女性(63.4%)と比べて男性(75.8%)で高い。一方、女性は「徒歩・自転車」(11.3%)、「バス」(15.2%)の割合が男性より高い。年齢別では、「車・バイク」は30～39歳(87.5%)で割合が最も高い。50～59歳は「徒歩・自転車」(18.7%)が他の年齢と比べて割合が高い。75歳以上は「バス」(25.6%)が約4人に1人の割合となった。

### ③美術館

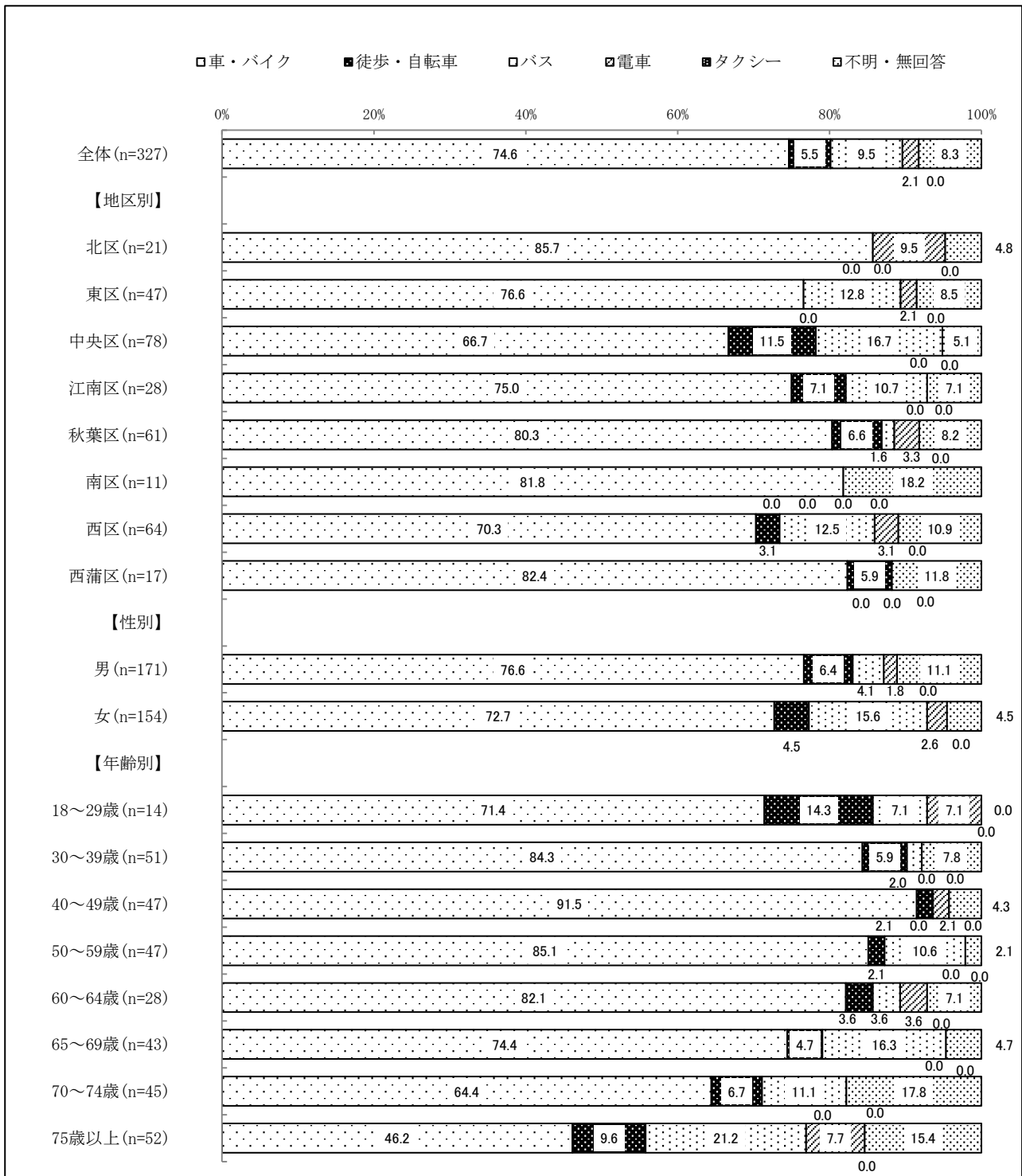


地区別では、南区、西蒲区で「車・バイク」(各 93.8%、96.0%) の割合が 9 割を超えた。中央区は、「徒歩・自転車」(14.0%) の割合が 1 割を超え、他の地区と比べて割合が高い。中央区、江南区、西区で「バス」(各 12.5%、11.4%、8.6%) の割合が約 1 割を占めた。

性別では、「車・バイク」の割合が女性 (75.0%) より男性 (79.7%) で高い。女性で「バス」(10.1%) が約 1 割を占めた。

年齢別では、「車・バイク」の割合は 30～39 歳 (94.3%) で最も高く、9 割を超えた。65 歳以上で「バス」の割合が 1 割を超えた。

④博物館・資料館



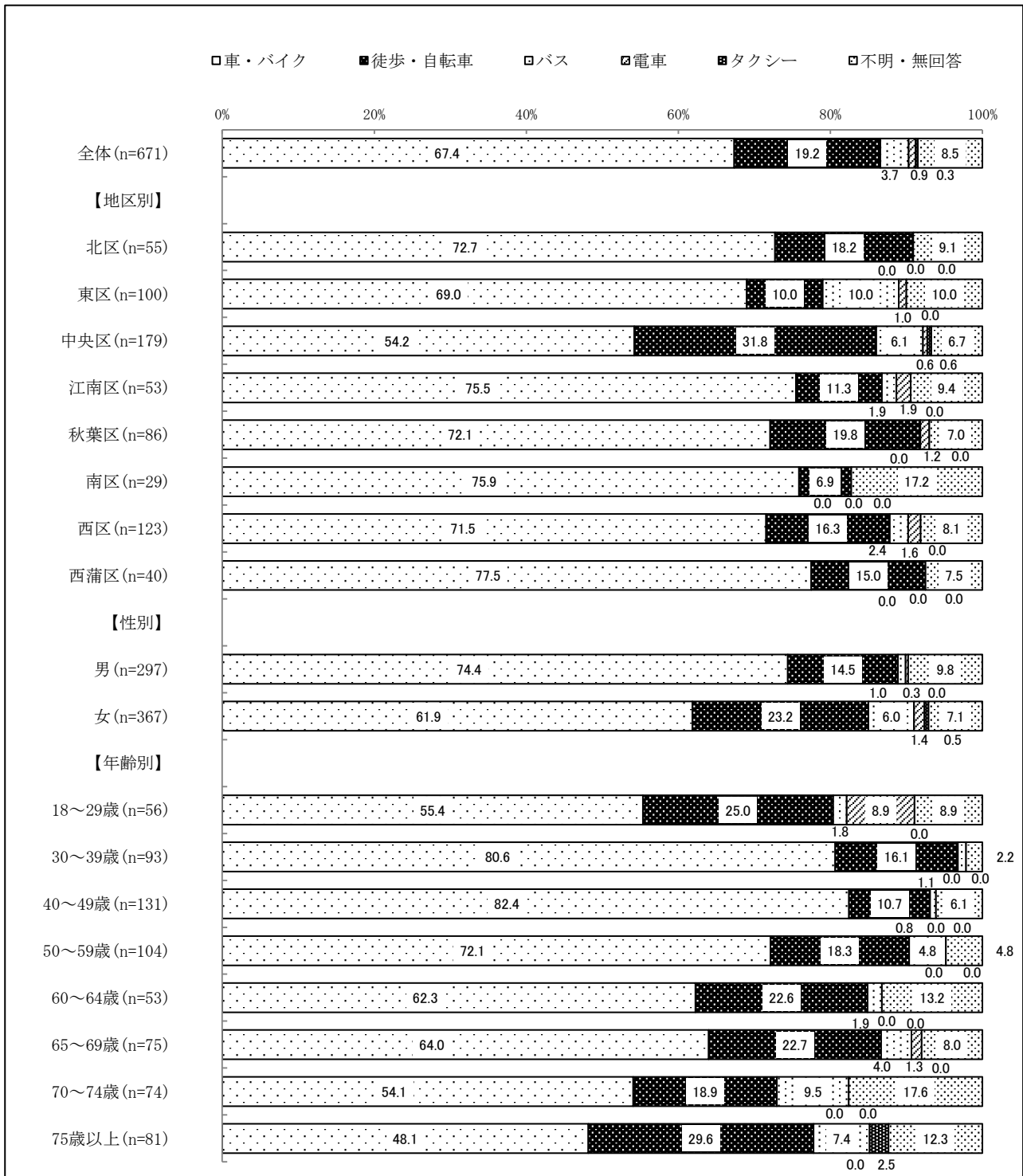
地区別では、「車・バイク」の割合が、北区（85.7%）、秋葉区（80.3%）、南区（81.8%）、西蒲区（82.4%）で8割を超えた。中央区で「徒歩・自転車」（11.5%）が1割を超え、他の地区と比べて割合が高い。

性別では、「車・バイク」が男女とも7割を超えた。「バス」は男性（4.1%）より女性（15.6%）で割合が高い。

年齢別では、「車・バイク」は40～49歳（91.5%）で最も割合が高い。75歳以上（46.2%）では、は半数未満にとどまり、「バス」（21.2%）が約2割を占めた。18～29歳で「徒歩・自転車」（14.3%）が1割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。



⑤図書館・図書室

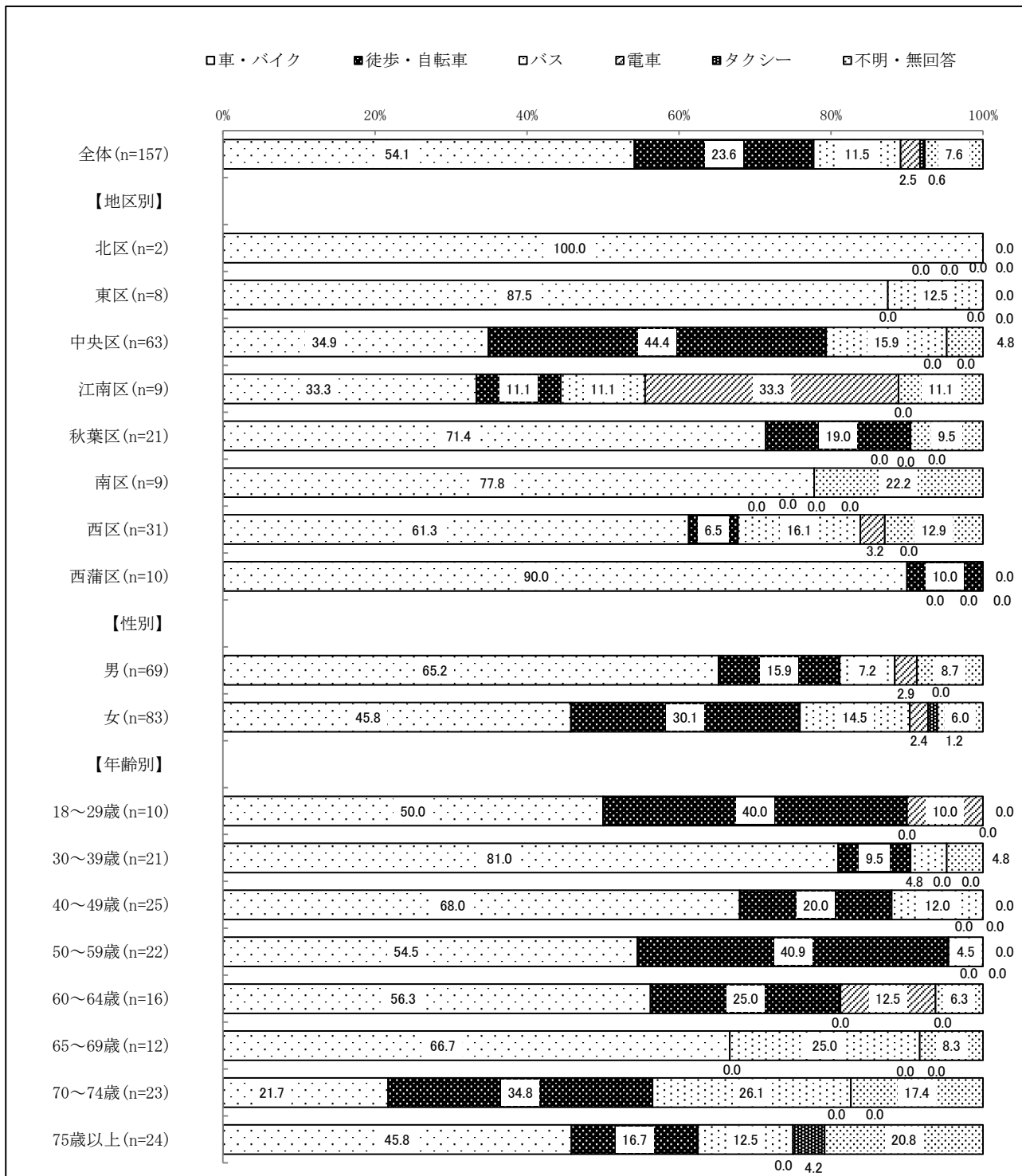


地区別では、「車・バイク」の割合は西蒲区（77.5%）で最も高い。中央区（54.2%）では5割半ばにとどまり、「徒歩・自転車」（31.8%）の割合が3割以上を占めた。

性別では、「車・バイク」は女性（61.9%）より男性（74.4%）で割合が高い。一方、「徒歩・自転車」は男性（14.5%）より女性（23.2%）で割合が高く、2割以上を占めた。

年齢別では、「車・バイク」は30～39歳（80.6%）、40～49歳（82.4%）で割合が高く、8割を超えた。「徒歩・自転車」は18～29歳（25.0%）、60～64歳（22.6%）、65～69歳（22.7%）、75歳以上（29.6%）で2割を超えた。

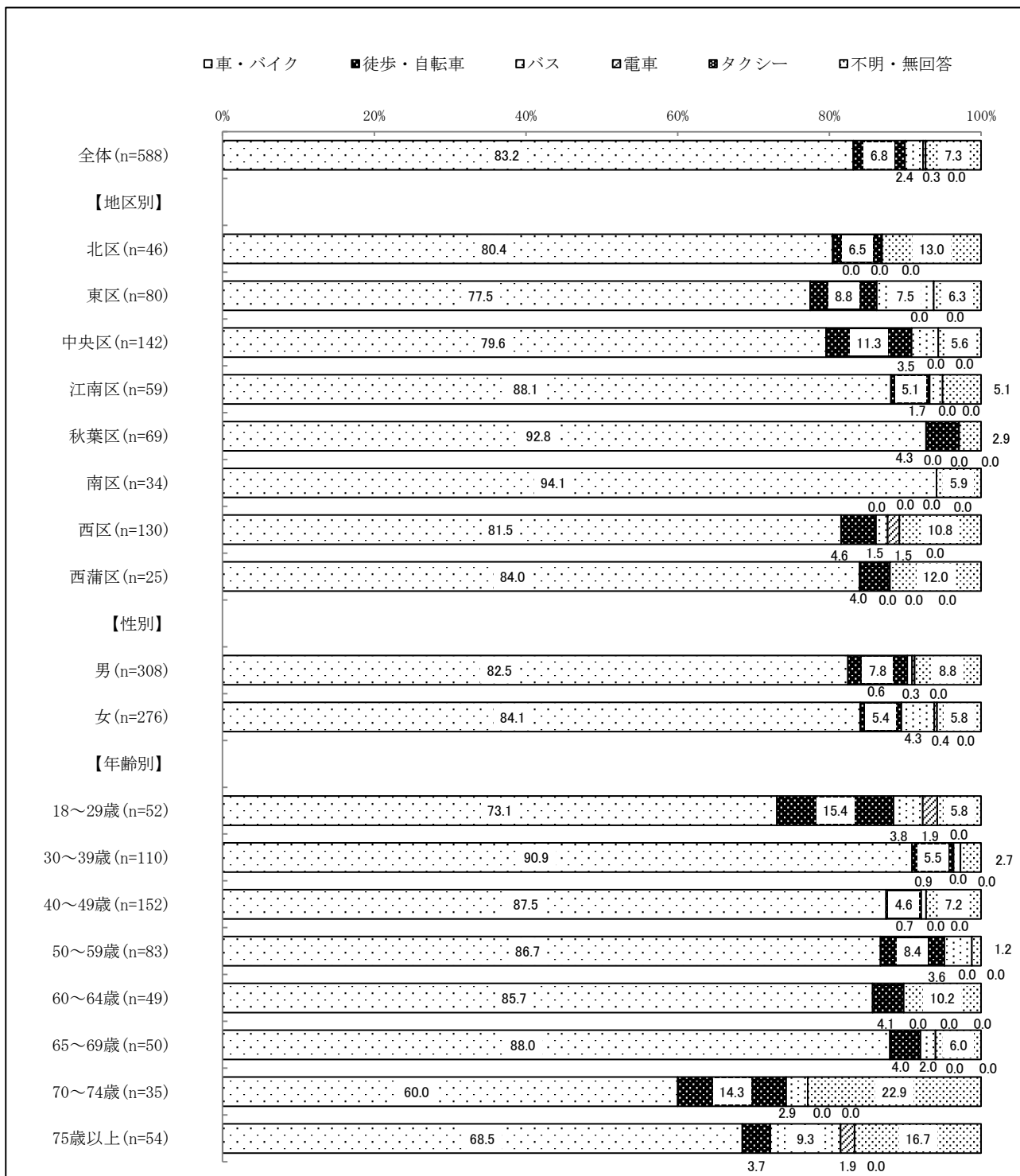
⑥生涯学習施設



性別では、「車・バイク」は女性（45.8%）と比べて男性（65.2%）で割合が高い。女性は「徒歩・自転車」（30.1%）、「バス」（14.5%）の割合が男性（各 15.9%、7.2%）と比べて高い。

地区別、年齢別については、対象者数が少ないため、図のみの掲載とする。

## ⑦スポーツ施設

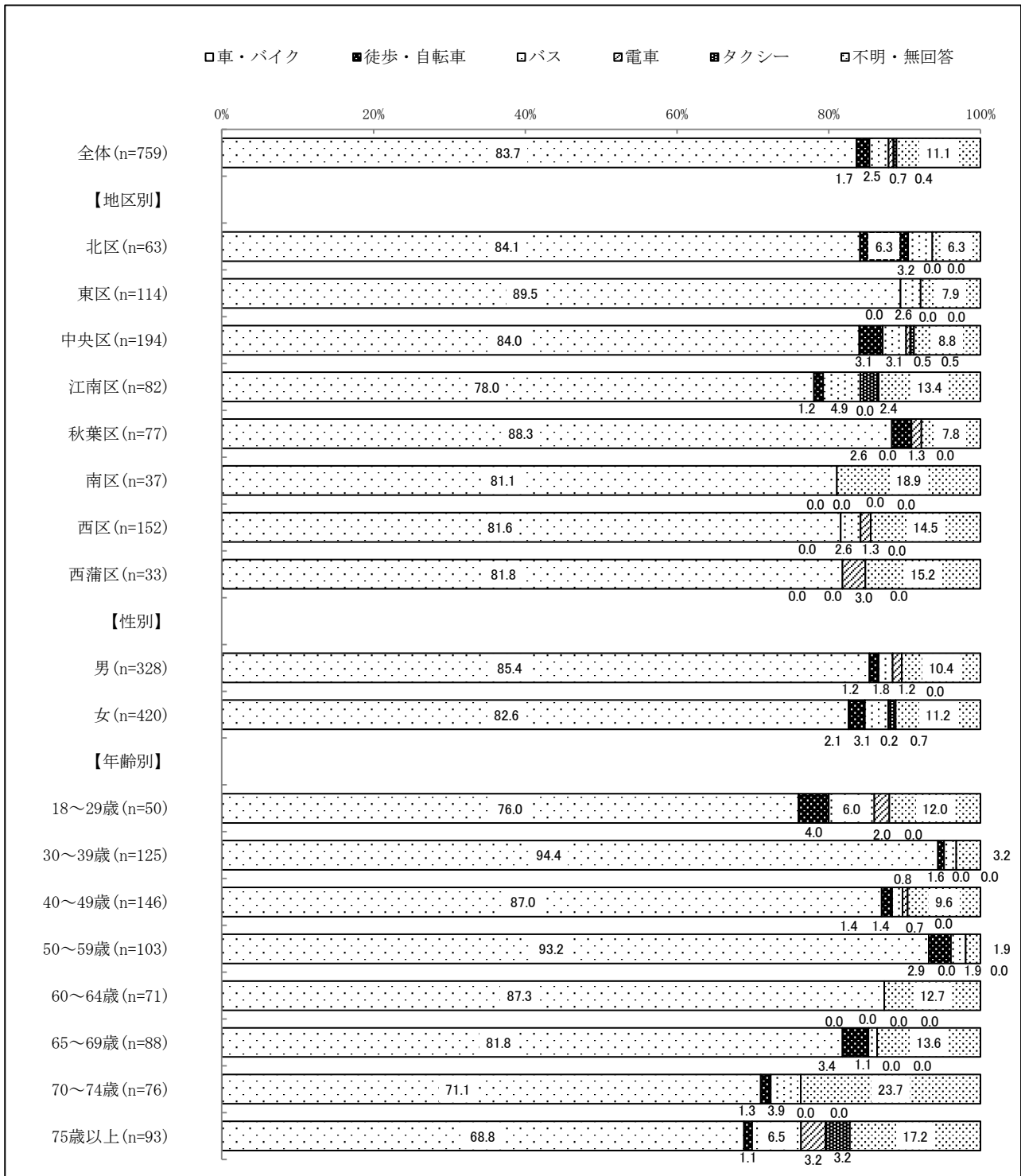


どの地区でも「車・バイク」の割合が7割以上を占めた。中央区は「徒歩・自転車」(11.3%)の割合が1割を超え、他の地区と比べて割合がやや高い。

性別では、あまり差はみられない。

年代別では、「車・バイク」の割合が30～39歳(90.9%)で約9割を占めた。18～29歳、70～74歳で「徒歩・自転車」(各15.4%、14.3%)の割合が1割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。75歳以上で「バス」(9.3%)の割合が約1割を占めた。

⑧観光施設

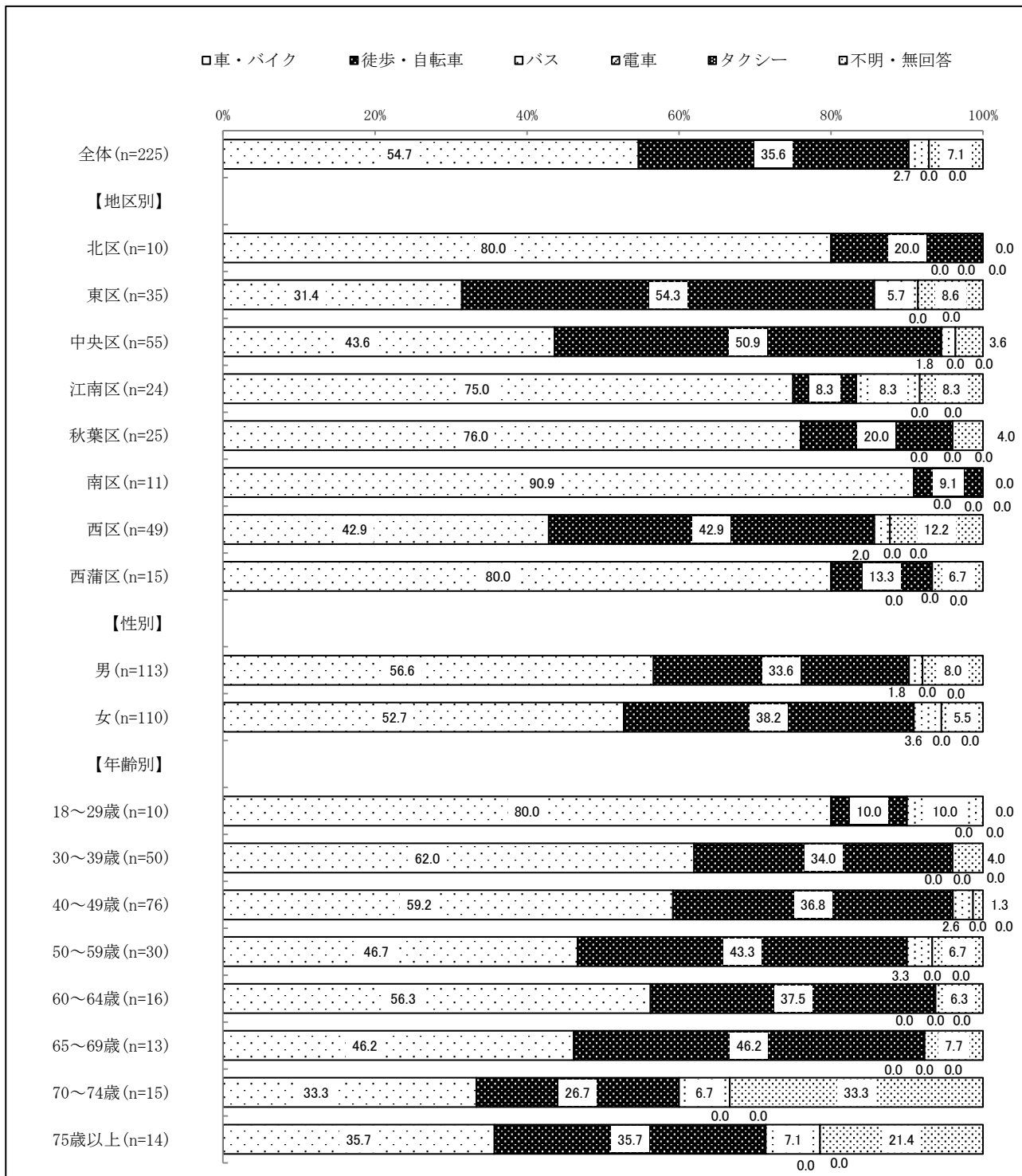


地区別では、ほぼすべての地区で「車・バイク」の割合が8割を超えた。

性別による差は、あまりみられない。

年齢別では、「車・バイク」は30～39歳（94.4%）、50～59歳（93.2%）で9割を超えた。

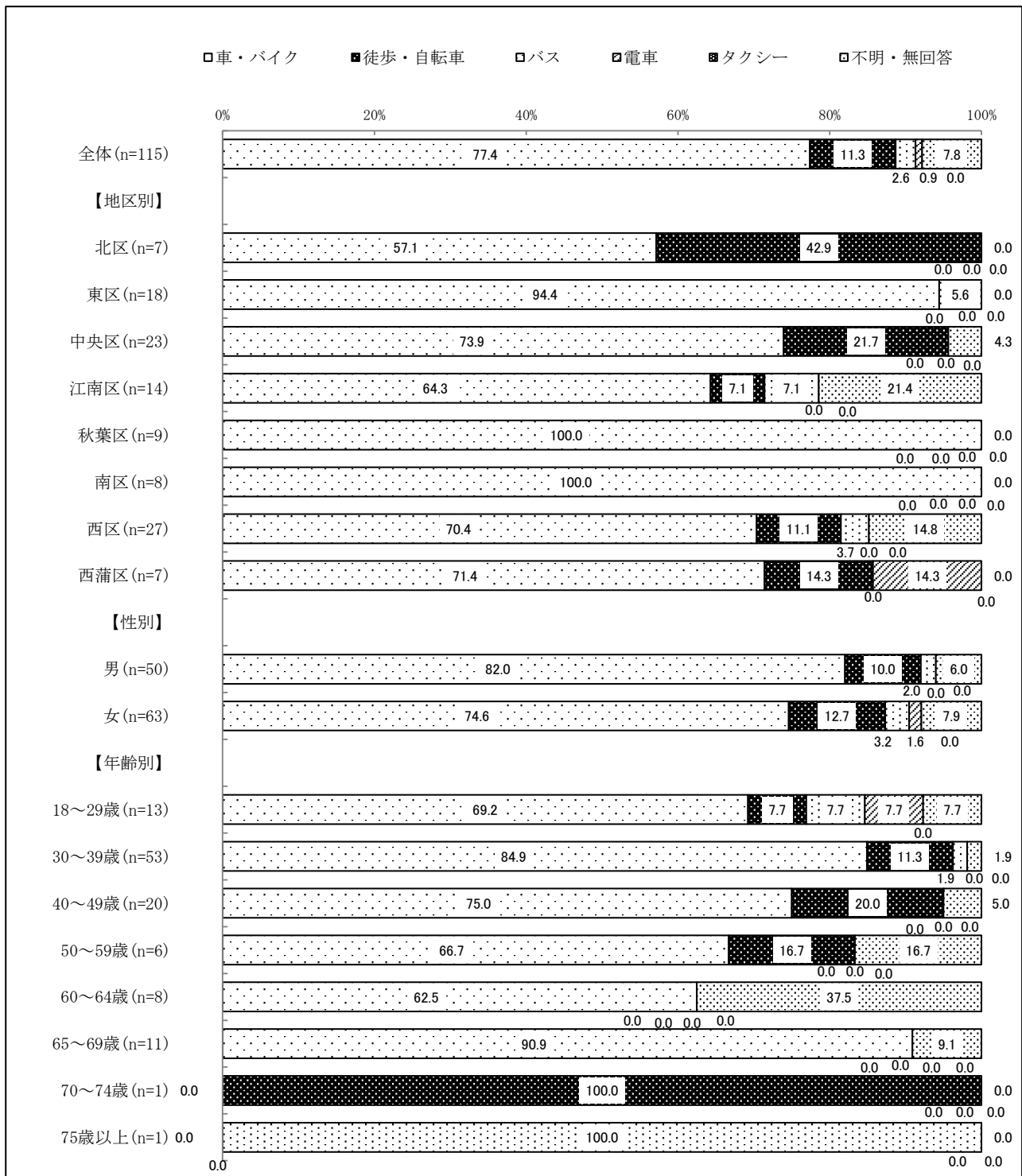
⑨学校教育系施設（学校開放）



性別では、男女とも「車・バイク」の割合が半数以上を占め、「徒歩・自転車」の割合が3割以上を占めた。「車・バイク」は、女性（52.7%）より男性（56.6%）で割合がやや高い。一方、「徒歩・自転車」は男性（33.6%）より女性（38.2%）で割合が高い結果となった。

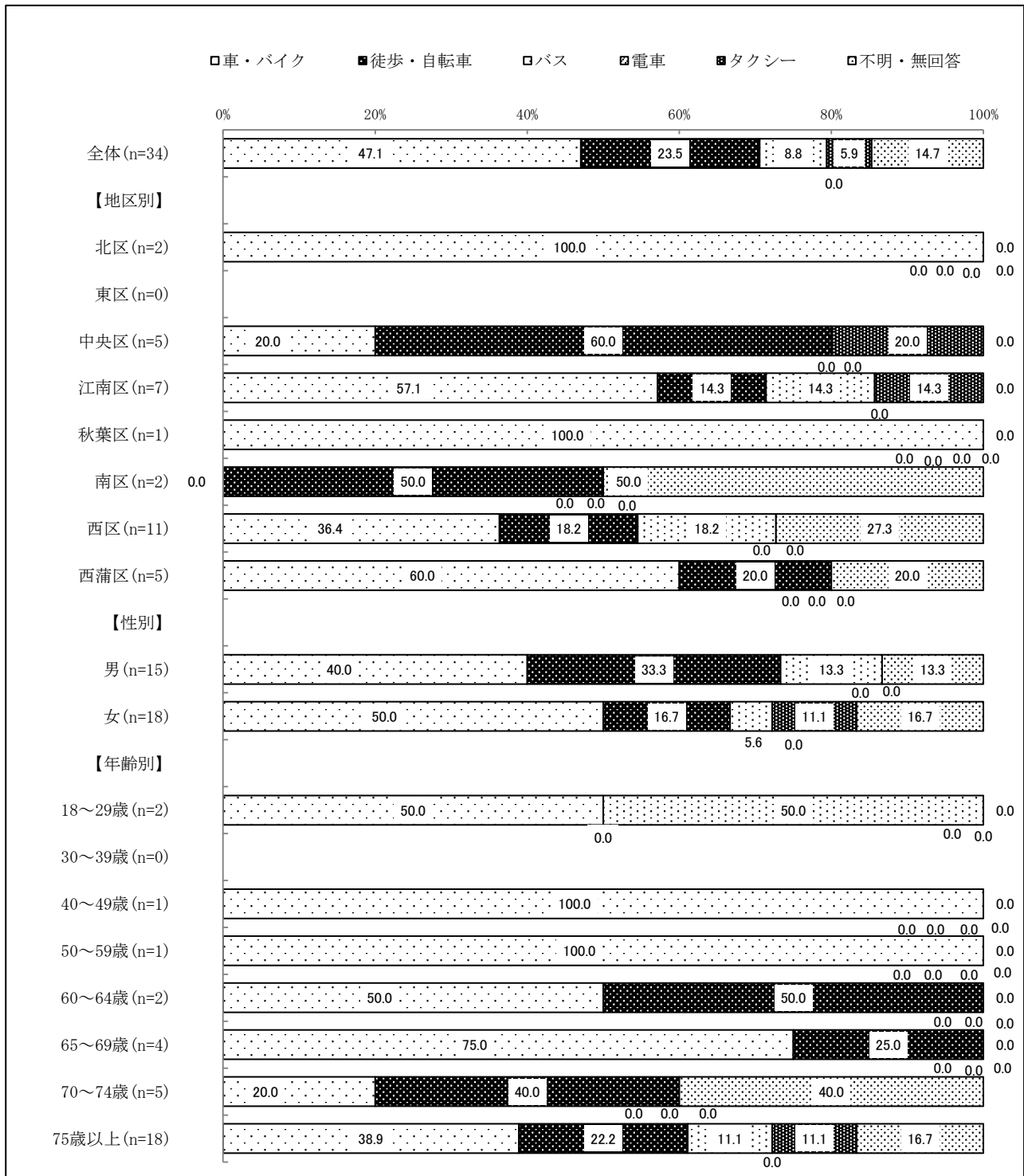
地区別、年齢別については、対象者数が少ないため、図のみの掲載とする。

⑩子育て支援施設



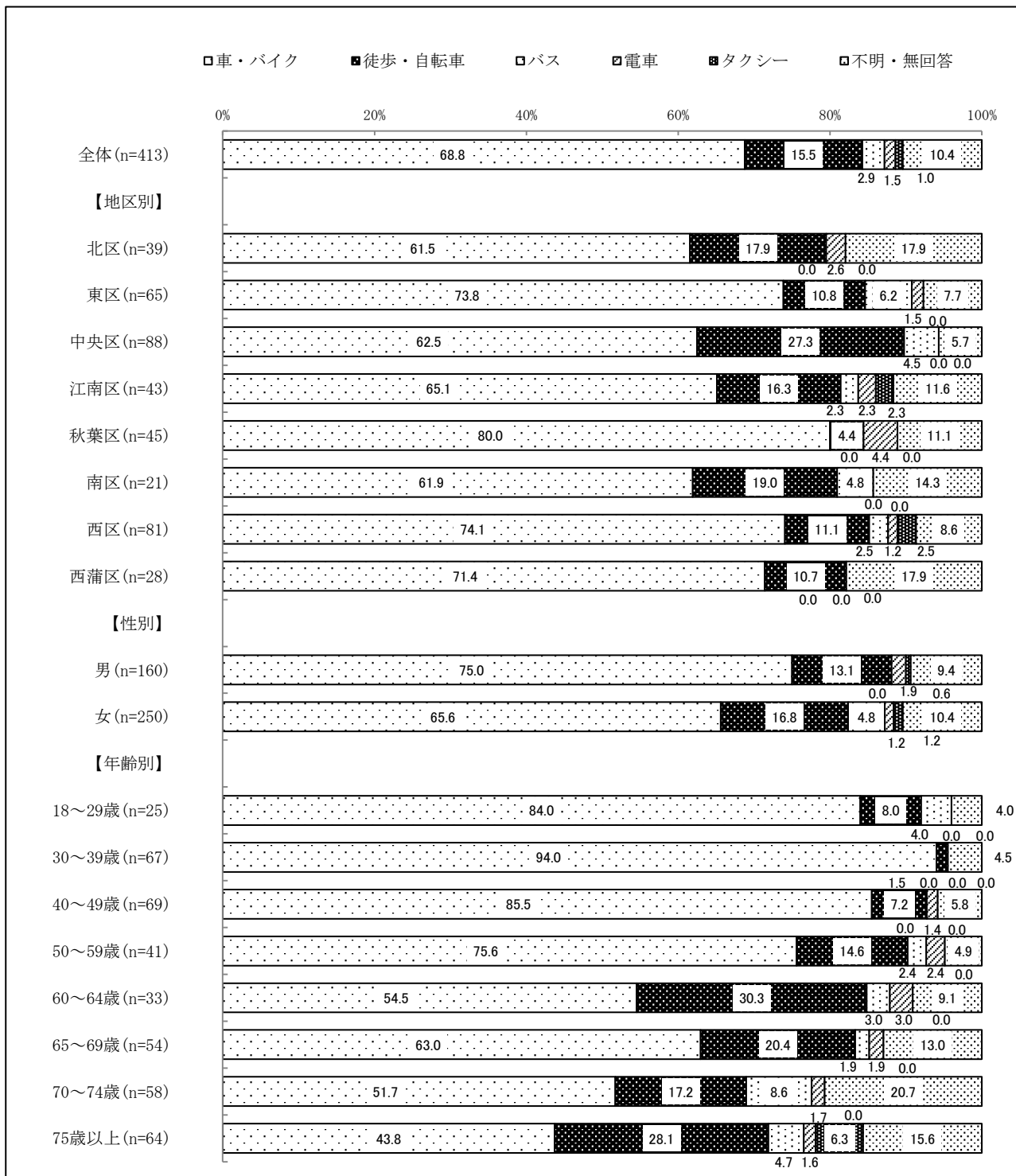
性別で見ると、「車・バイク」は、女性（74.6%）より男性（82.0%）で割合が高い。  
地区別、年齢別については、対象者数が少ないため、図のみの掲載とする。

⑪老人憩の家



対象者数が少ないため、図のみの掲載とする。

⑫保健福祉センター・健康センター



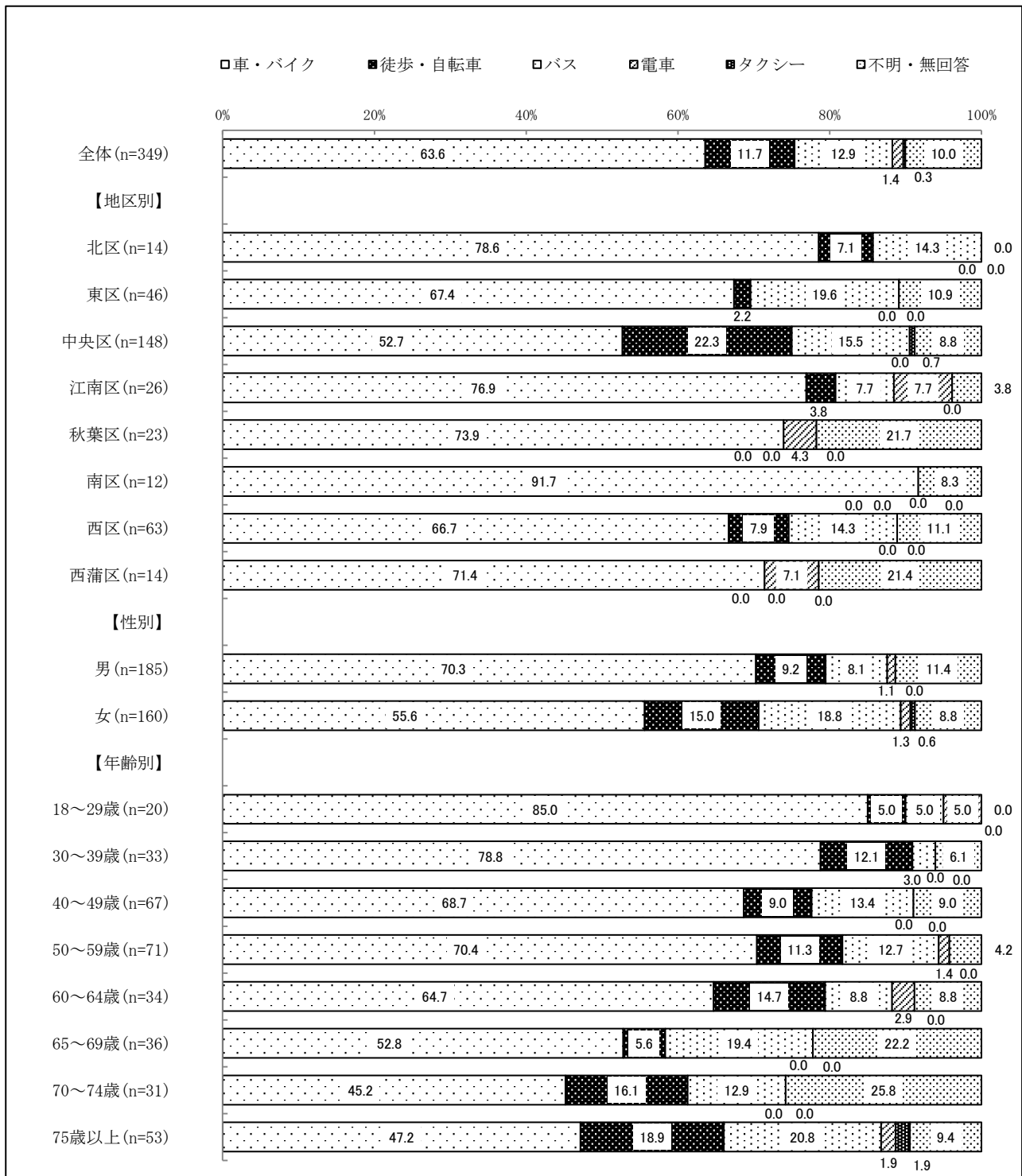
地区別では、「車・バイク」は秋葉区（80.0%）で最も高く、8割を占める。中央区では、「徒歩・自転車」（27.3%）の割合が3割弱で、他の地区と比べて割合が高い。

性別では、「車・バイク」は女性（65.6%）より男性（75.0%）で割合が高い。一方、「徒歩・自転車」は男性（13.1%）より女性（16.8%）で割合がやや高い。

年齢別では、「車・バイク」の割合は、30～39歳（94.0%）で最も高い。75歳以上（43.8%）では半数未満にとどまった。「徒歩・自転車」は60～64歳（30.3%）、75歳以上（28.1%）で約3割、65～69歳（20.4%）、70～74歳（17.2%）で約2割を占めた。



⑬本庁舎

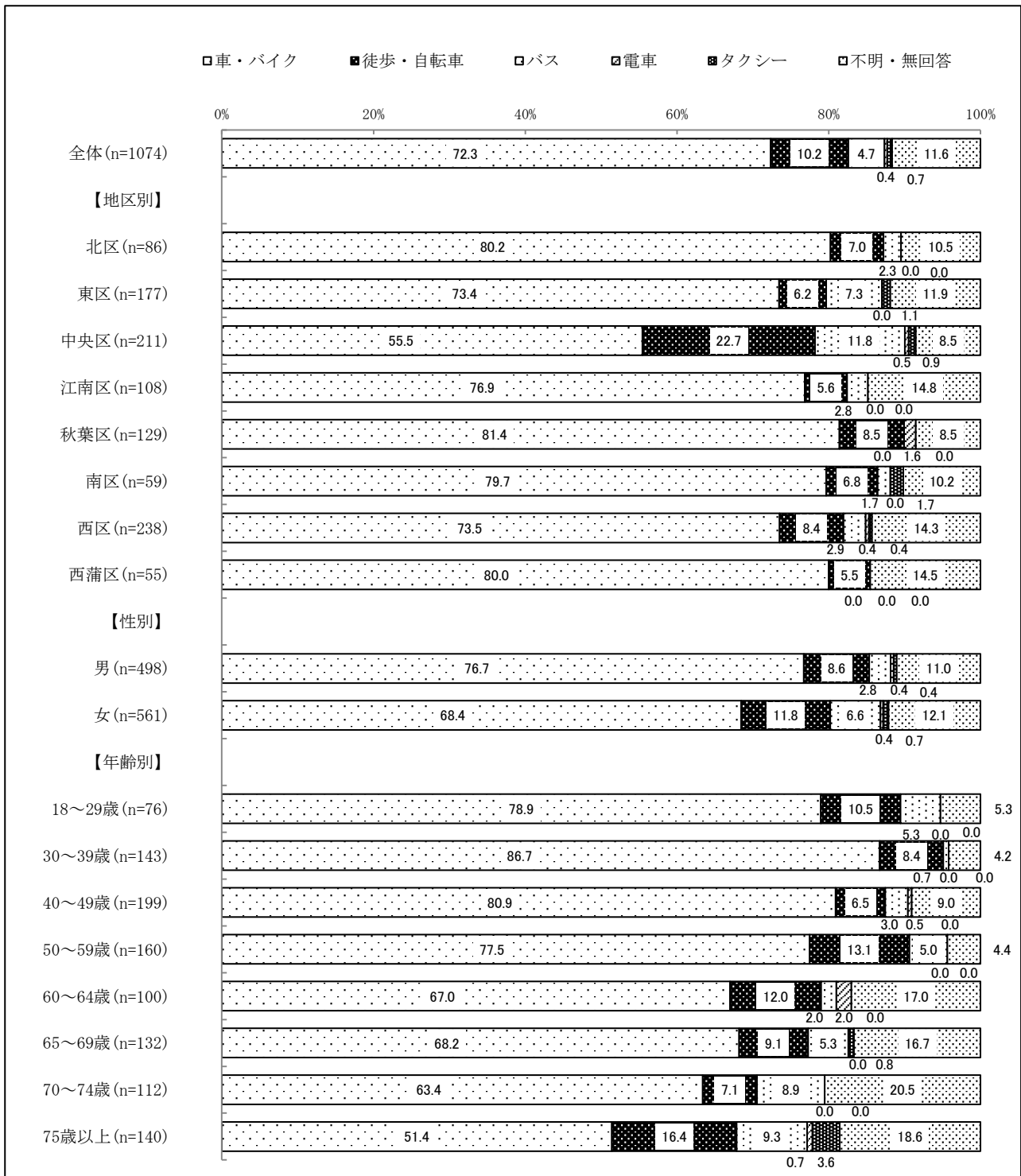


地区別で見ると、中央区では「車・バイク」(52.7%)が半数を超え、「徒歩・自転車」(22.3%)が2割強を占めた。

性別では、「車・バイク」は女性(55.6%)より男性(70.3%)で割合が高い。一方、「徒歩・自転車」、「バス」は男性(各9.2%、8.1%)より女性(各15.0%、18.8%)で割合が高い。

年齢別では、「車・バイク」は概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

⑭各区役所

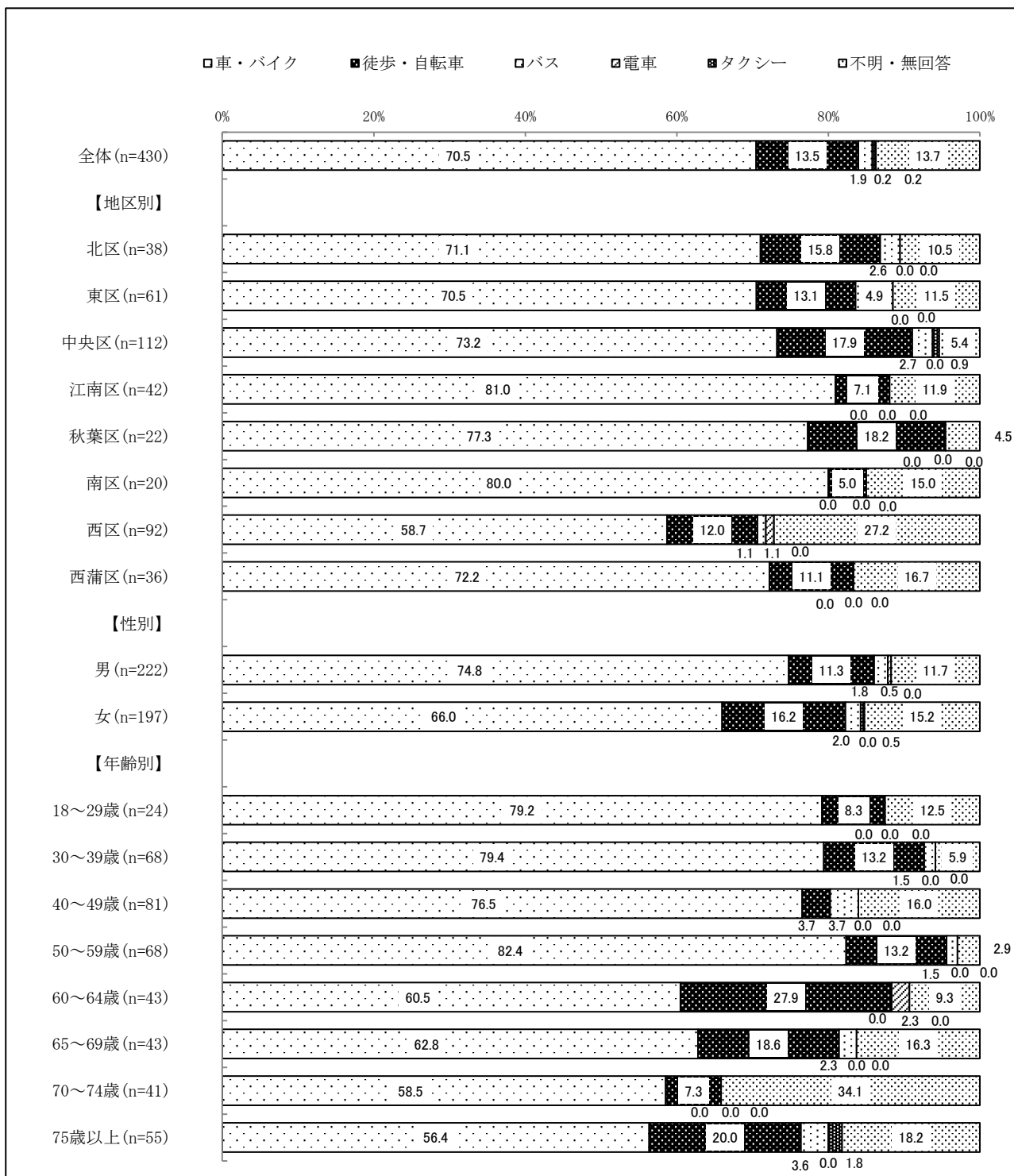


地区別では、「車・バイク」の割合は、中央区（55.5%）を除く地区で7割を超えた。中央区では、「徒歩・自転車」（22.7%）が2割強、「バス」（11.8%）が1割強を占めた。

性別では、「車・バイク」の割合が女性（68.4%）と比べて男性（76.7%）で高い。

年齢別では、「車・バイク」の割合は30～39歳（86.7%）で最も高い。概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。75歳以上では、「徒歩・自転車」（16.4%）の割合が、他の年齢と比べてやや高い。

⑮各区出張所

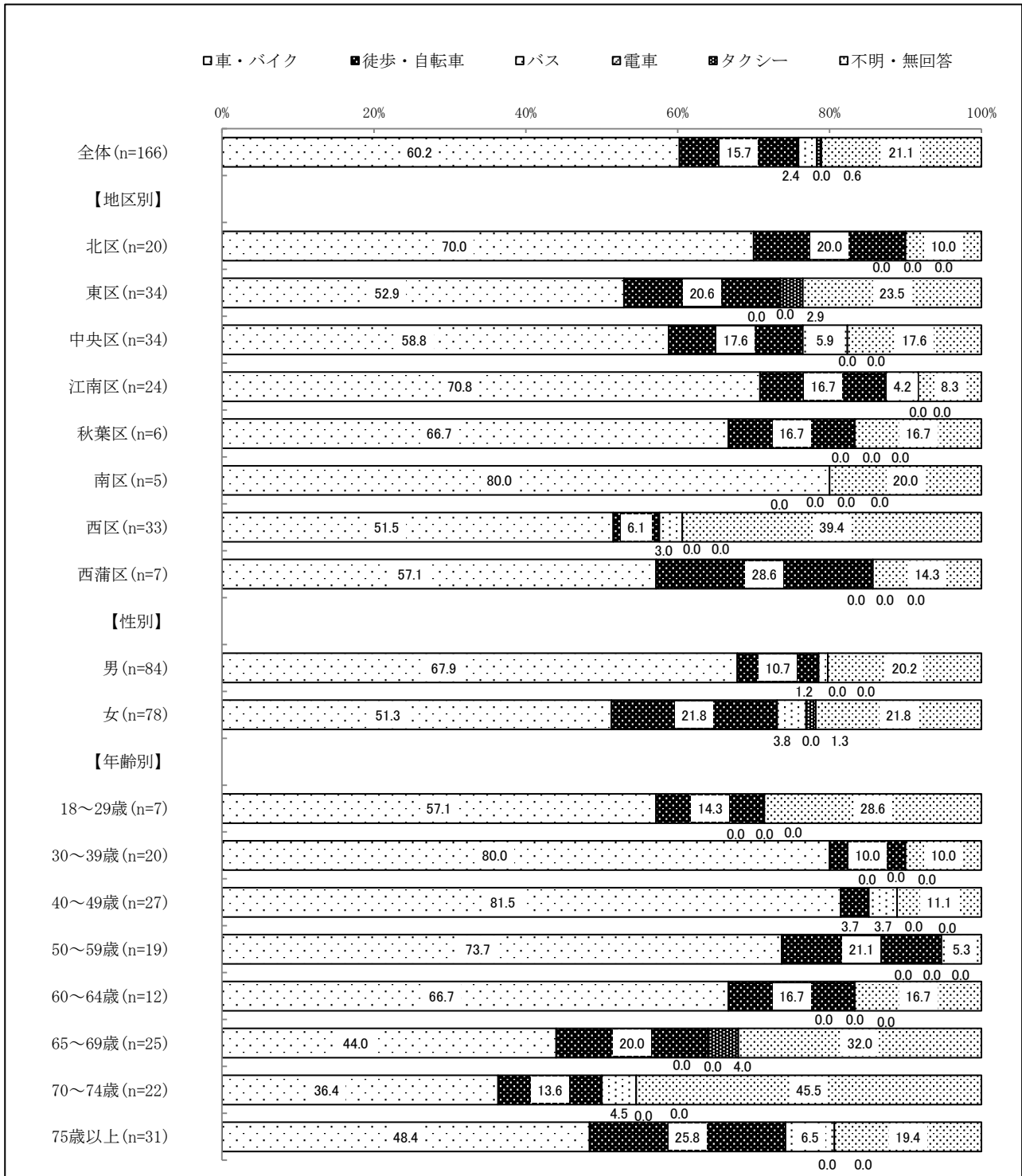


地区別では、西区を除き「車・バイク」の割合が7割を超えた。西区（58.7%）では、6割弱にとどまった。「徒歩・自転車」は中央区（17.9%）、秋葉区（18.2%）でやや割合が高い。

性別では、「車・バイク」は女性（66.0%）と比べて男性（74.8%）で割合が高い。一方、「徒歩・自転車」は男性（11.3%）より女性（16.2%）で割合が高い。

年齢別では、「車・バイク」の割合は50～59歳（82.4%）で最も高く、8割を超えた。60～64歳、75歳以上で、「徒歩・自転車」（各27.9%、20.0%）の割合が2割を超えた。

⑩各区連絡所

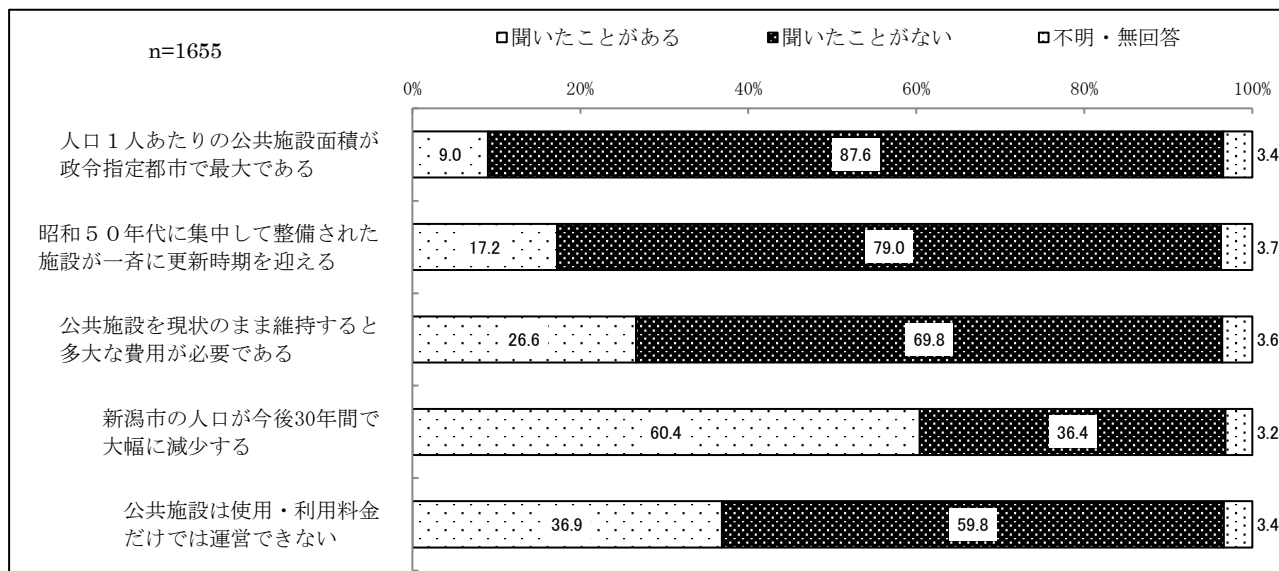


性別では、「車・バイク」の割合は、女性（51.3%）より男性（67.9%）で高い。一方、「徒歩・自転車」の割合は、男性（10.7%）より女性（21.8%）で高く、約2倍の差となった。

地区別、年齢別については、対象者数が少ないため、図のみの掲載とする。

### (3) 新潟市の現状の認知度

問14 新潟市では、市が保有する土地や公共施設といった財産の利用やコスト、老朽化の状況などの現状と課題を示した財産白書を作成し、公表しています。  
あなたは、新潟市の現状について聞いたことがありますか。  
(〇はそれぞれ1つずつ)



— 人口減少問題について「聞いたことがある」が約6割 —

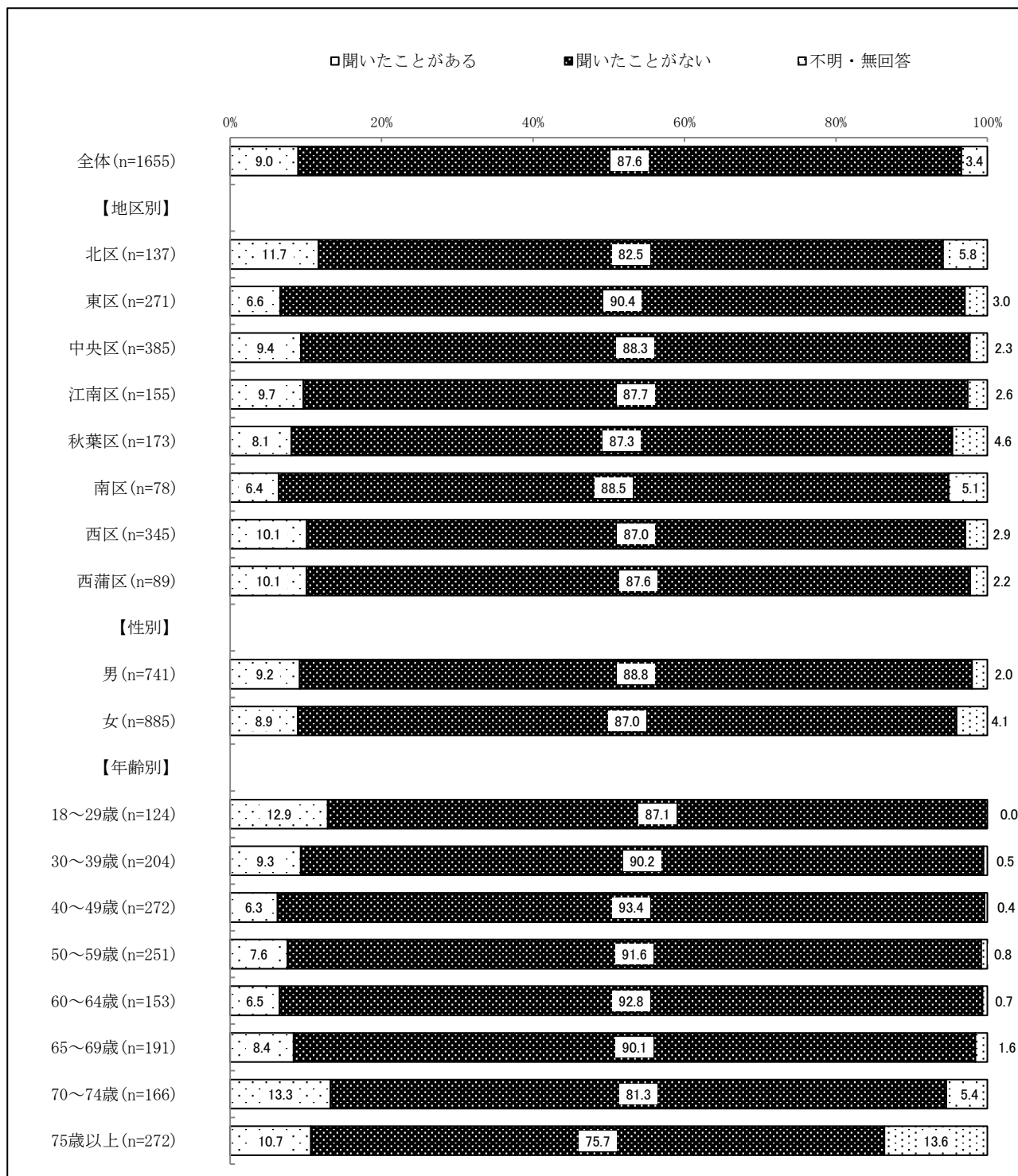
#### 【全体結果】

新潟市の現状について「聞いたことがある」は、「新潟市の人口が今後30年間で大幅に減少する」(60.4%)で約6割を占め、最も割合が高い。次いで、「公共施設は使用・利用料金だけでは運営できない」(36.9%)、「公共施設を現状のまま維持すると多大な費用が必要である」(26.6%)、「昭和50年代に集中して整備された施設が一斉に更新時期を迎える」(17.2%)の順で、「人口1人あたりの公共施設面積が政令指定都市で最大である」(9.0%)は1割未満にとどまった。

#### 【属性別結果】

次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

①人口1人あたりの公共施設面積が政令指定都市で最大である

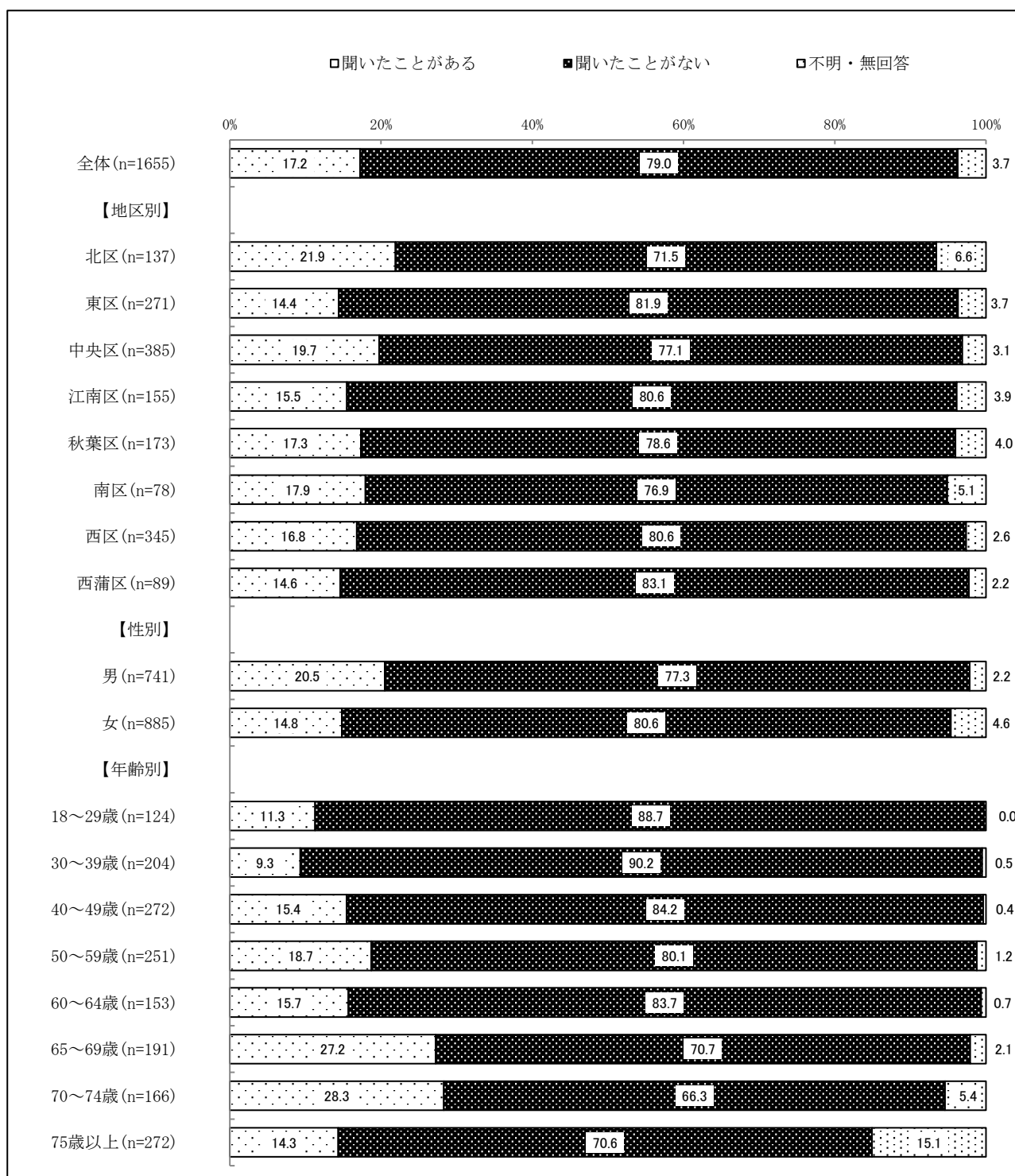


「聞いたことがない」が「聞いたことがある」割合を大きく上回った。

「聞いたことがある」は、地区別では北区（11.7%）で最も高い。年齢別では18～29歳（12.9%）、70～74歳（13.3%）、75歳以上（10.7%）で1割を超えた。

一方、「聞いたことがない」は、地区別では東区（90.4%）が9割を超えた。性別では男女の差は、ほぼみられない。年齢別では75歳以上を除く属性で、8割を超えた。

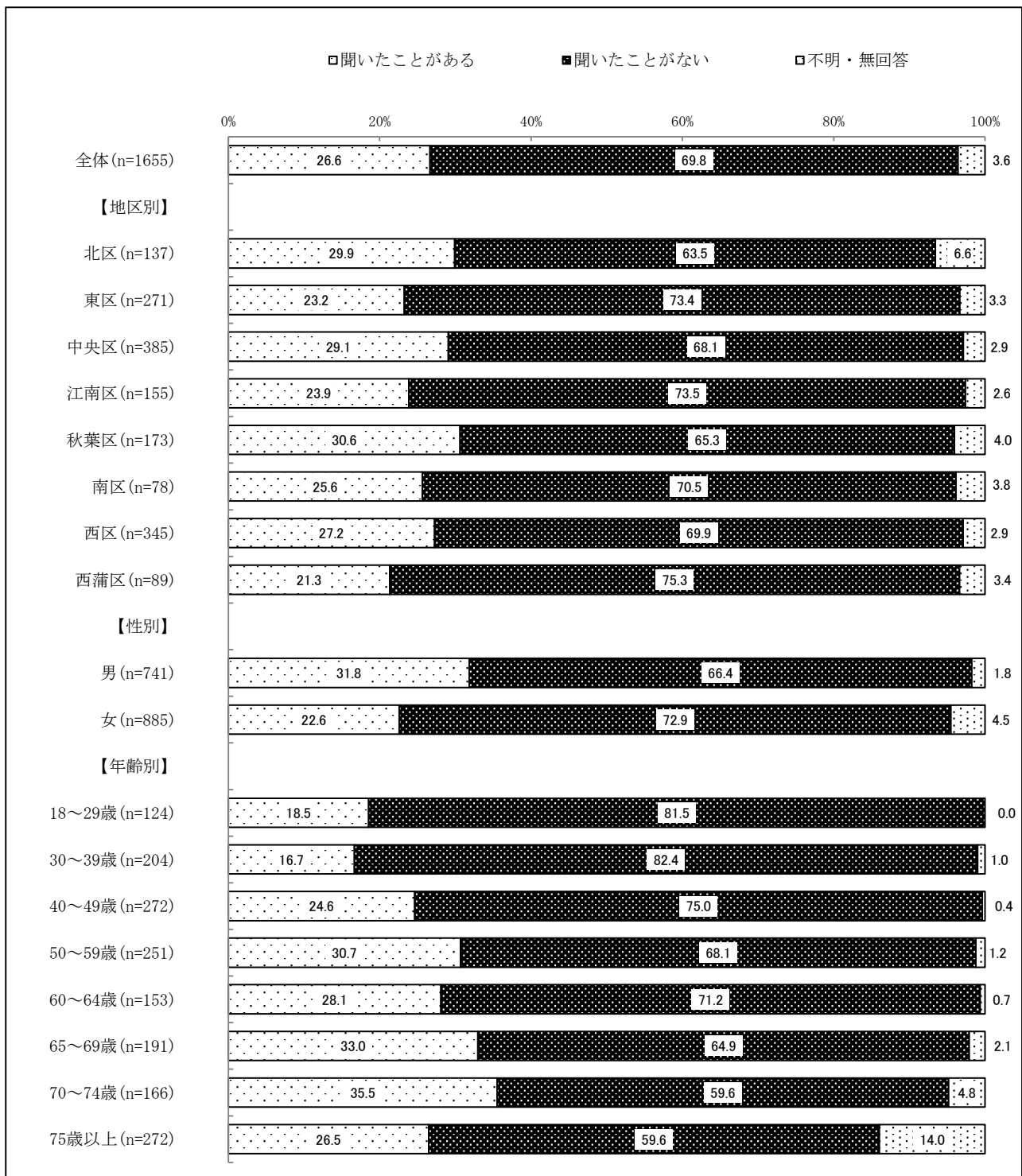
## ②昭和50年代に集中して整備された施設が一斉に更新時期を迎える



「聞いたことがある」は、地区別では北区(21.9%)で最も高く、2割を超えた。性別では、男性(20.5%)が女性(14.8%)を上回った。年齢別では、65～69歳(27.2%)、70～74歳(28.3%)で3割弱と割合が高い。

「聞いたことがない」は、地区別では東区(81.9%)、江南区(80.6%)、西区(80.6%)、西蒲区(83.1%)で8割を超えた。年齢別では、30代(90.2%)で9割を超えた。

③公共施設を現状のまま維持すると多大な費用が必要である

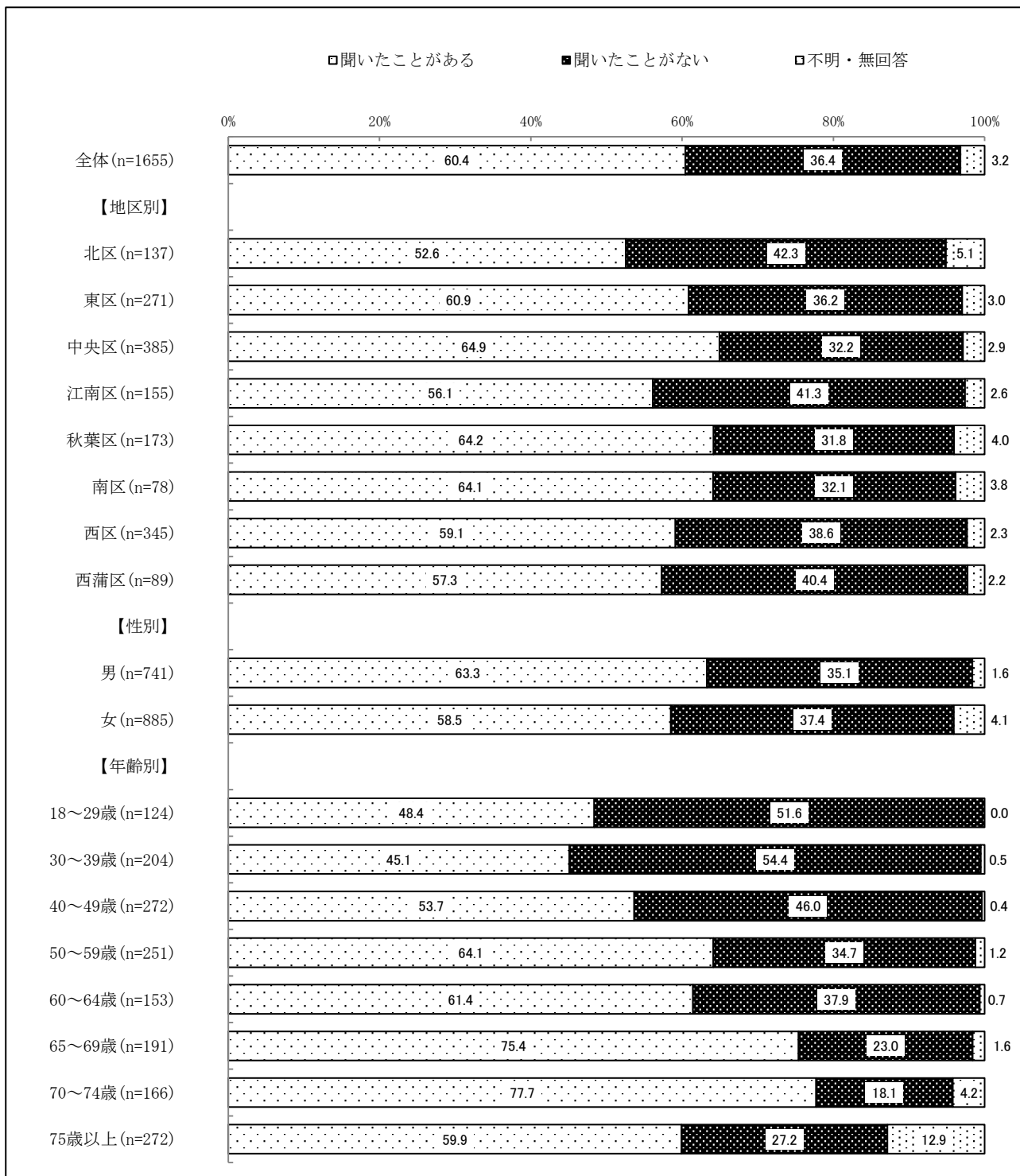


「聞いたことがある」は、地区別では秋葉区（30.6%）で3割を超え、その他の区全てで2割を超えた。性別では、女性（22.6%）に比べ、男性（31.8%）の割合が高い。年齢別では、50～59歳（30.7%）、65～69歳（33.0%）、70～74歳（35.5%）で3割を超えた。

「聞いたことがない」は、地区別では東区（73.4%）、江南区（73.5%）、南区（70.5%）、西蒲区（75.3%）で7割を超えた。性別では、男性（66.4%）と比べ、女性（72.9%）で割合が高い。年齢別では18～29歳（81.5%）、30～39歳（82.4%）で8割を超えた。



#### ④新潟市の人口が今後 30 年間で大幅に減少する

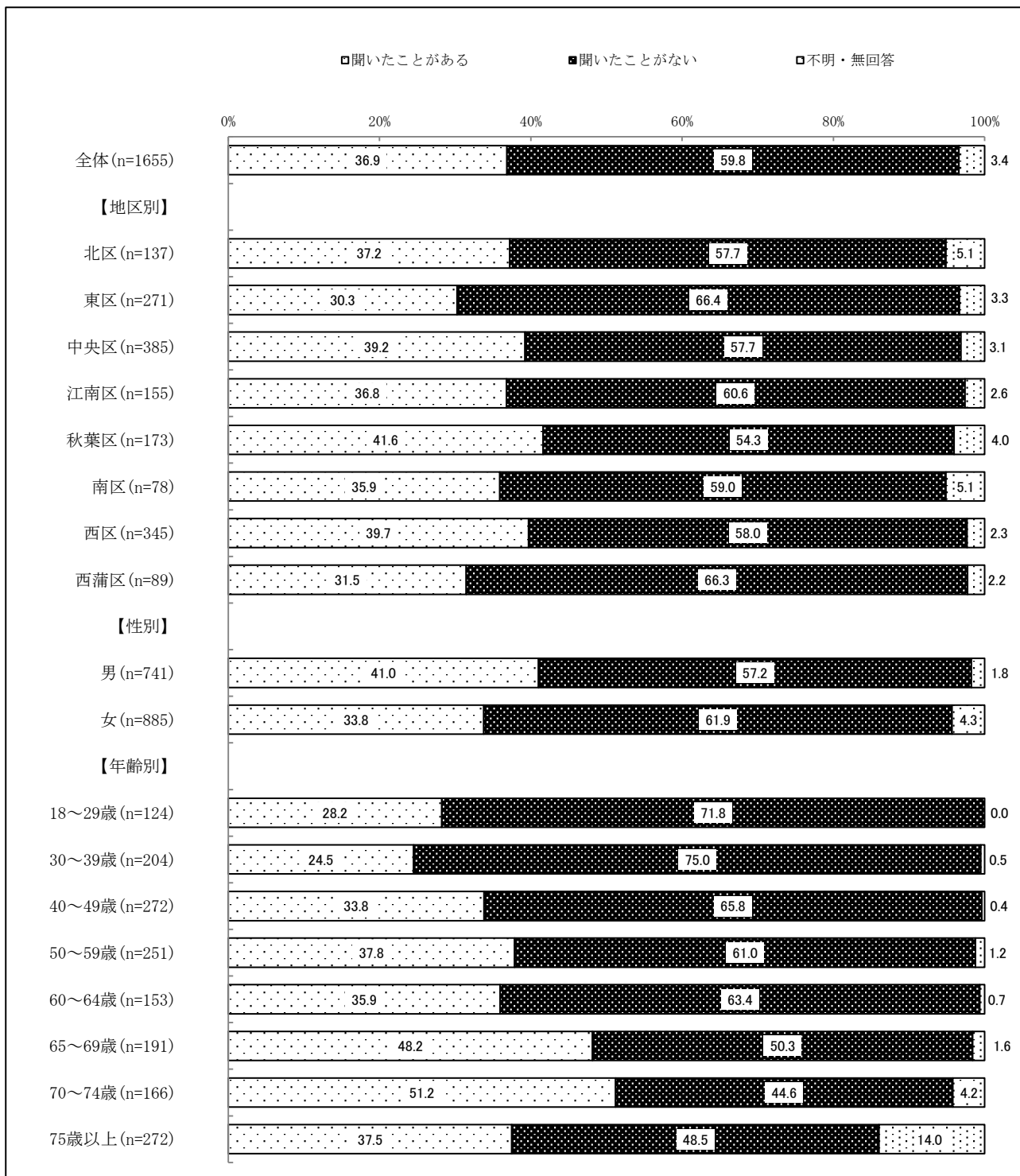


18～29歳、30～39歳を除いた属性で、「聞いたことがある」が「聞いたことがない」割合を上回った。

「聞いたことがある」は、地区別では東区(60.9%)、中央区(64.9%)、秋葉区(64.2%)、南区(64.1%)で6割を超えた。性別では、女性(58.5%)と比べ、男性(63.3%)で割合が高い。年齢別では、65～69歳(75.4%)、70～74歳(77.7%)で割合が高く、7割を超えた。

「聞いたことがない」は、地区別では北区(42.3%)、江南区(41.3%)、西蒲区(40.4%)で4割を超えた。年齢別では18～29歳(51.6%)、30～39歳(54.4%)で割合が高く、半数を超えた。

⑤公共施設は使用・利用料金だけでは運営できない



70～74歳で「聞いたことがある」が「聞いたことがない」割合を上回った。

「聞いたことがある」は、地区別では秋葉区 (41.6%) で 4 割を超えた。性別では、女性 (33.8%) と比べ、男性 (41.0%) で割合が高い。年齢別では、70～74歳 (51.2%) で割合が高く、半数を超えた。

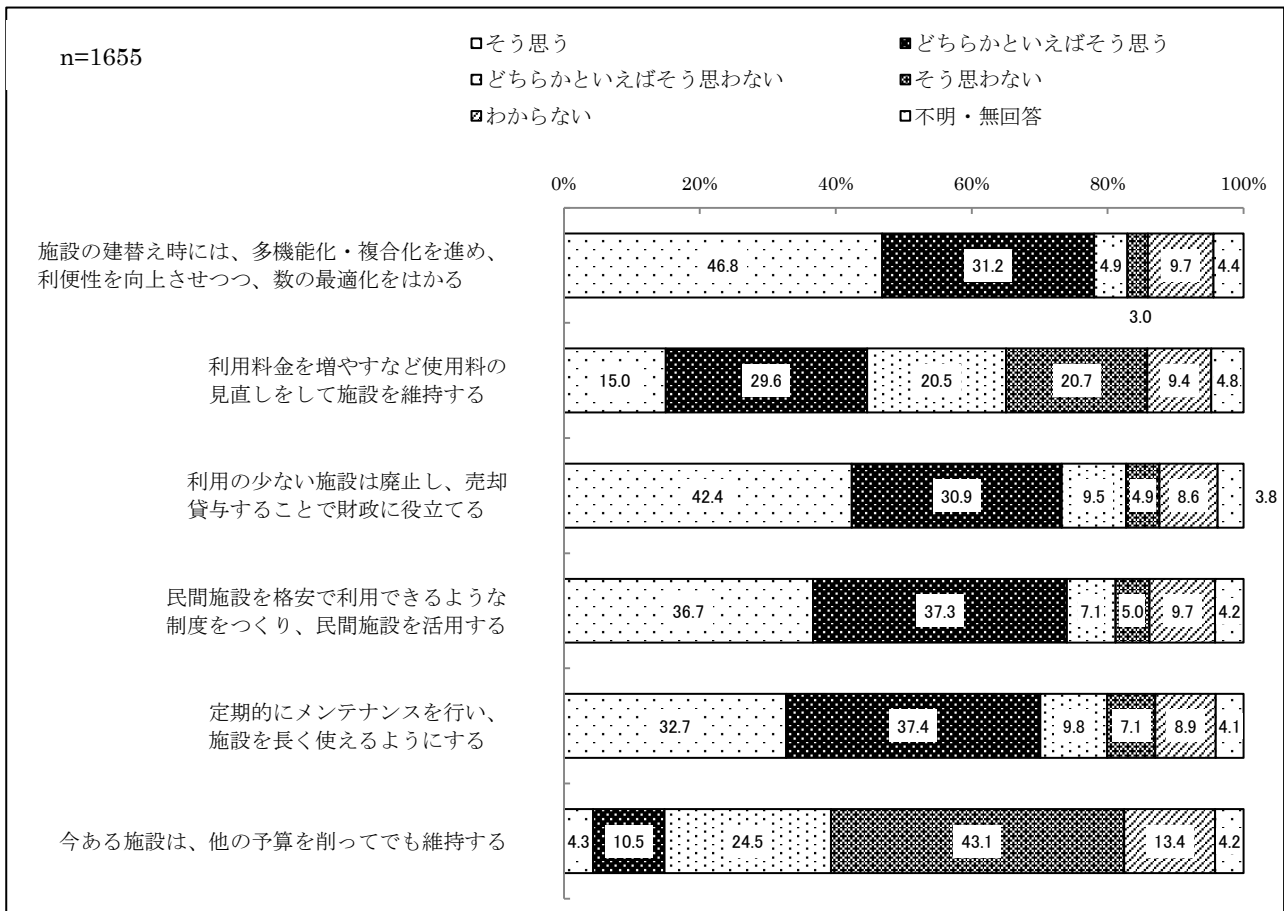
「聞いたことがない」は、地区別では東区 (66.4%)、江南区 (60.6%)、西蒲区 (66.3%) で 6 割を超えた。年齢別では 18～29歳 (71.8%)、30～39歳 (75.0%) で割合が高く、7 割を超えた。

(4) 公共施設維持への取り組み

問 15 新潟市では、今後の施設の在り方を考え、施設の最適化等により公共施設の総量削減をしつつサービス機能の維持をしていくことを目指し、平成27年に「新潟市財産経営推進計画」を策定し、以下の①～⑥の項目について取り組んでいます。

一方、今ある施設を維持してほしいという意見も存在します。

今後、新潟市の公共施設を維持していくために、どのように取り組んでいくべきと思いますか。各項目について、あなたの考えにもっとも近いものを番号で選んでください。  
(○はそれぞれ1つずつ)



— 施設の建替え時の多機能化・複合化の推進および、利便性の向上と数の最適化が最多 —

## 【全体結果】

公共施設維持への取り組みに対する考えについて、「そう思う」の割合は、「施設の建替え時には、多機能化・複合化を進め、利便性を向上させつつ、数の最適化をはかる」(46.8%)で最も高い。次いで、「利用の少ない施設は廃止し、売却貸与することで財政に役立てる」(42.4%)で4割を超えた。

一方、「そう思わない」の割合は、「今ある施設は、他の予算を削ってでも維持する」(43.1%)で最も高く、4割を超えた。次いで、「利用料金を増やすなど使用料の見直しをして施設を維持する」(20.7%)で約2割という結果となった。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合を『そう思う(以下同様)』、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた割合を『そう思わない(以下同様)』とした結果は次のとおりである。

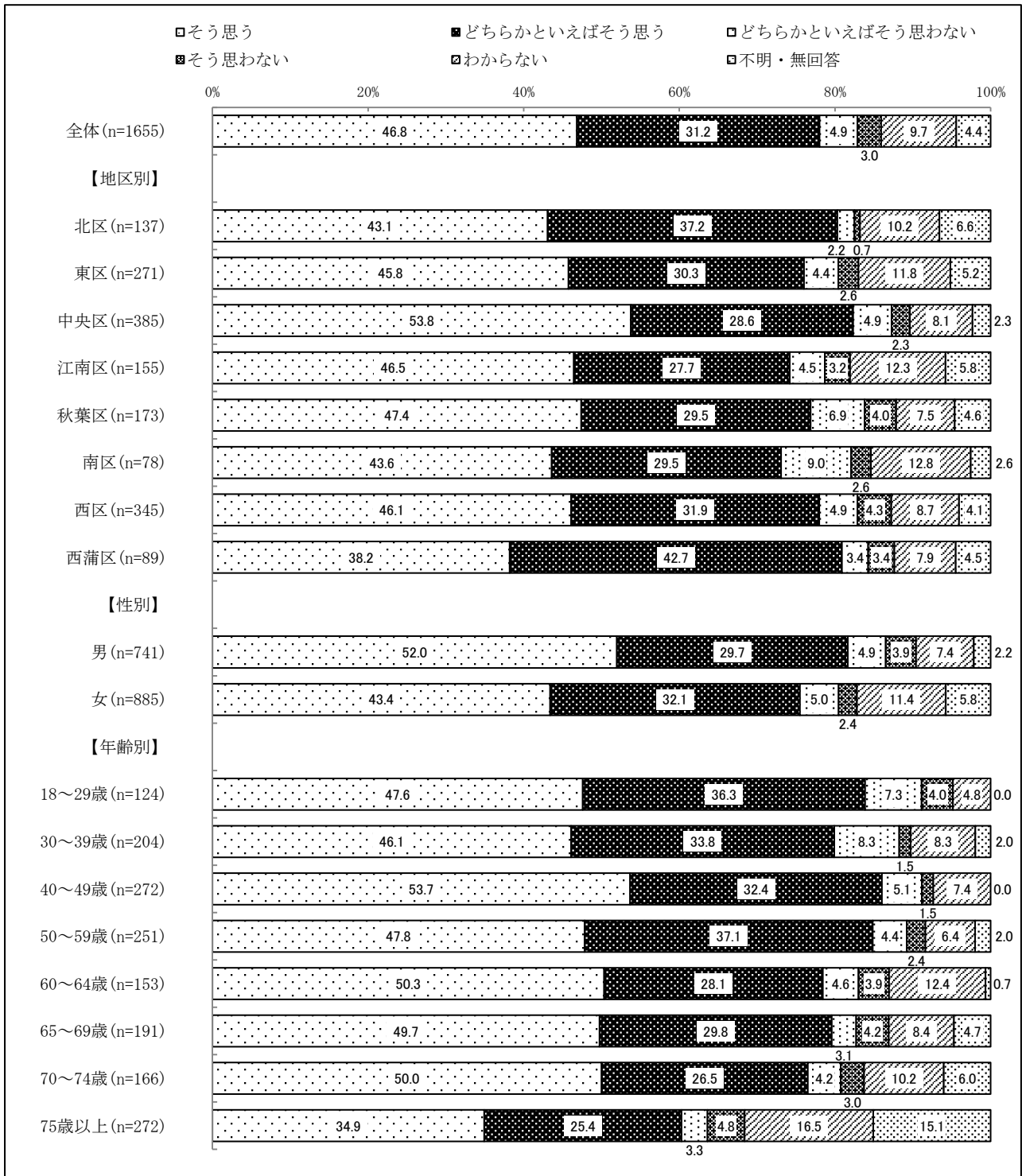
『そう思う』は、「施設の建替え時には、多機能化・複合化を進め、利便性を向上させつつ、数の最適化をはかる」(78.0%)で割合が最も高い。次いで「民間施設を格安で利用できるような制度をつくり、民間施設を活用する」(74.0%)、「利用の少ない施設は廃止し、売却貸与することで財政に役立てる」(73.2%)、「定期的にメンテナンスを行い、施設を長く使えるようにする」(70.1%)の順に続き、7割以上となった。

一方、『そう思わない』は、「今ある施設は、他の予算を削ってでも維持する」(67.6%)で割合が最も高い。次いで、「利用料金を増やすなど使用料の見直しをして施設を維持する」(41.2%)で4割を超えた。

## 【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

①施設の建替え時には、多機能化・複合化を進め、利便性を向上させつつ、数の最適化をはかる

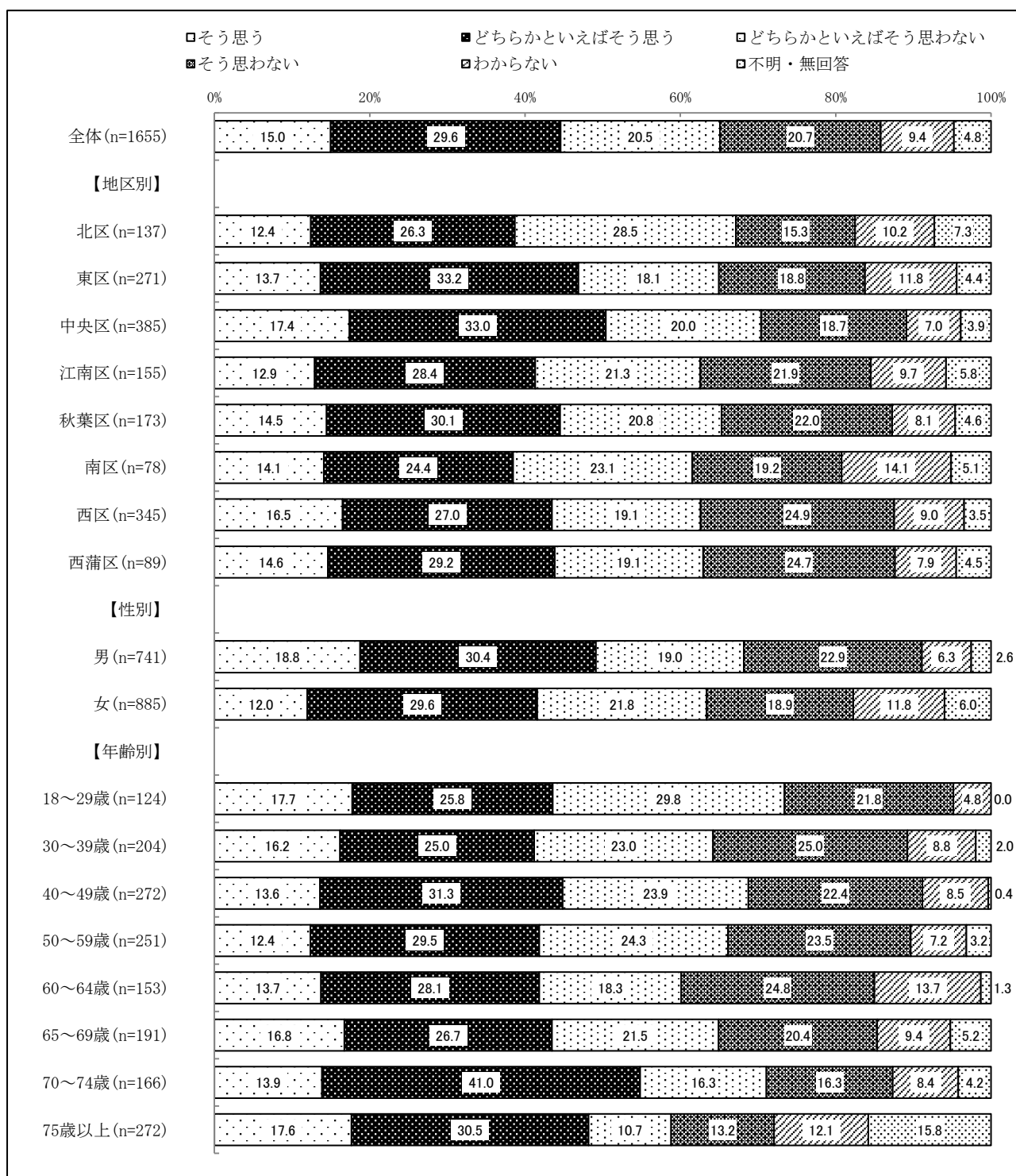


『そう思う』が『そう思わない』の割合を大きく上回った。

『そう思う』は、75歳以上（60.3%）を除く属性で7割を超えた。地区別では、中央区（82.3%）で最も高い。年齢別では、40～49歳（86.0%）で最も高い。

一方、『そう思わない』は、秋葉区（11.0%）、南区（11.5%）、18～29歳（11.3%）を除く属性で、1割に満たなかった。

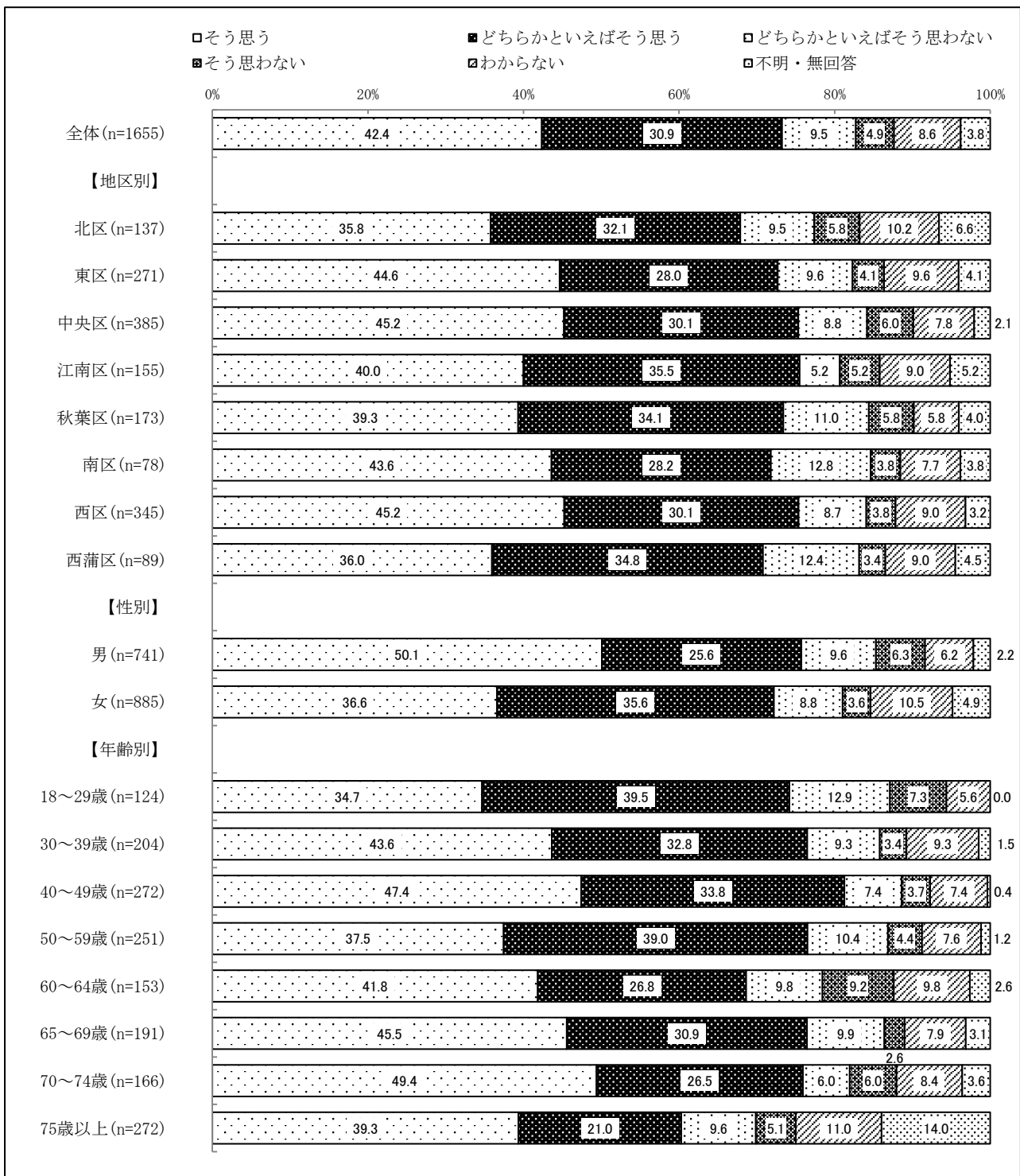
②利用料金を増やすなど使用料の見直しをして施設を維持する



『そう思う』の割合は、地区別では、中央区（50.4%）で最も高い。性別では、男性（49.1%）が女性（41.6%）を上回った。年齢別では、70～74歳（54.8%）で最も高い。

一方、『そう思わない』の割合は、地区別では、西区（44.1%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（51.6%）で最も高く、5割を超えた。

③利用の少ない施設は廃止し、売却貸与することで財政に役立てる

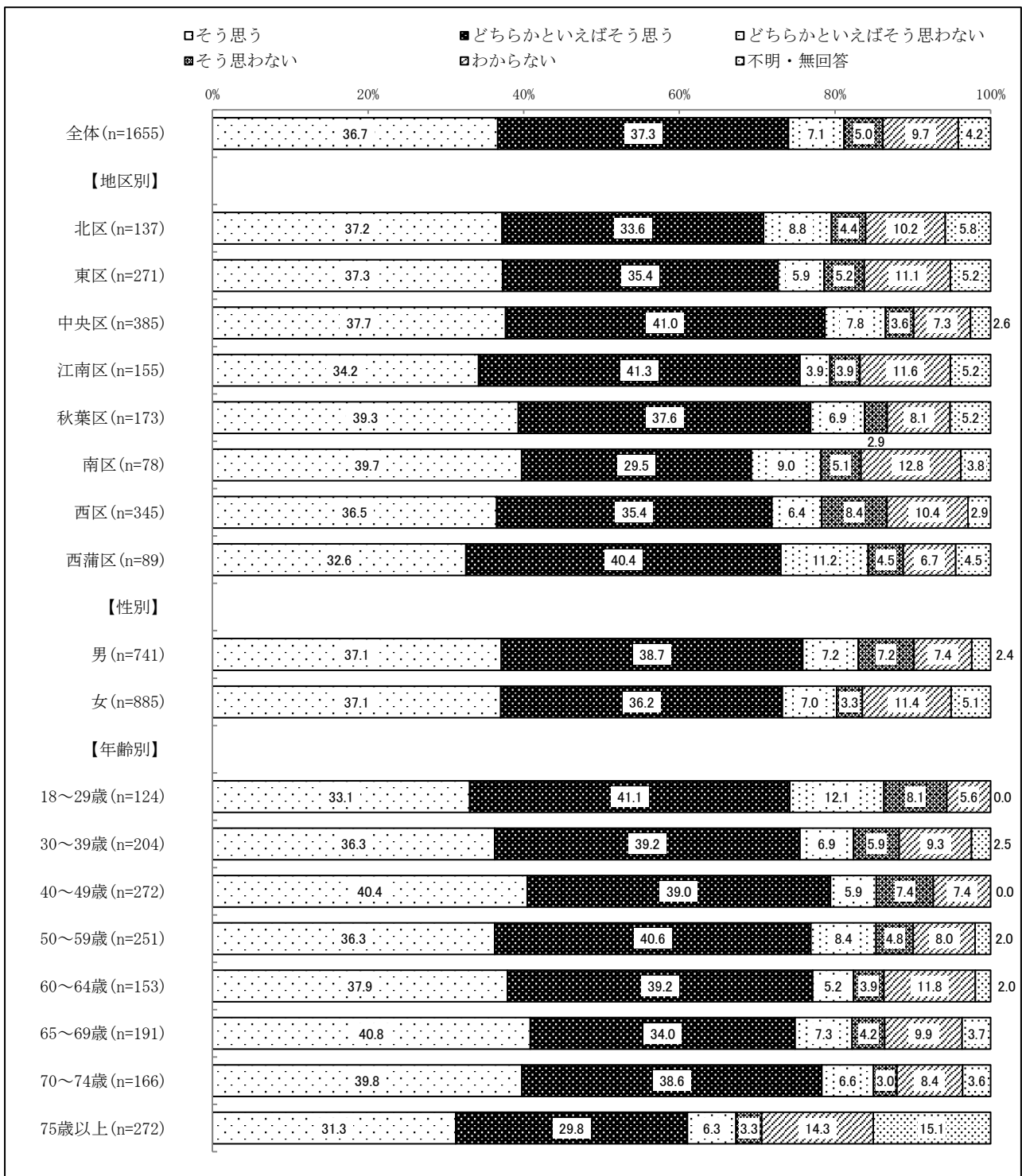


『そう思う』の割合は、『そう思わない』の割合を大きく上回った。

『そう思う』の割合は、地区別では、北区（67.9%）を除く地区で7割を超えた。年齢別では、40～49歳（81.3%）で最も高く、8割を超えた。

一方、『そう思わない』の割合は、18～29歳（20.2%）を除く属性で、2割未満となった。

④民間施設を格安で利用できるような制度をつくり、民間施設を活用する



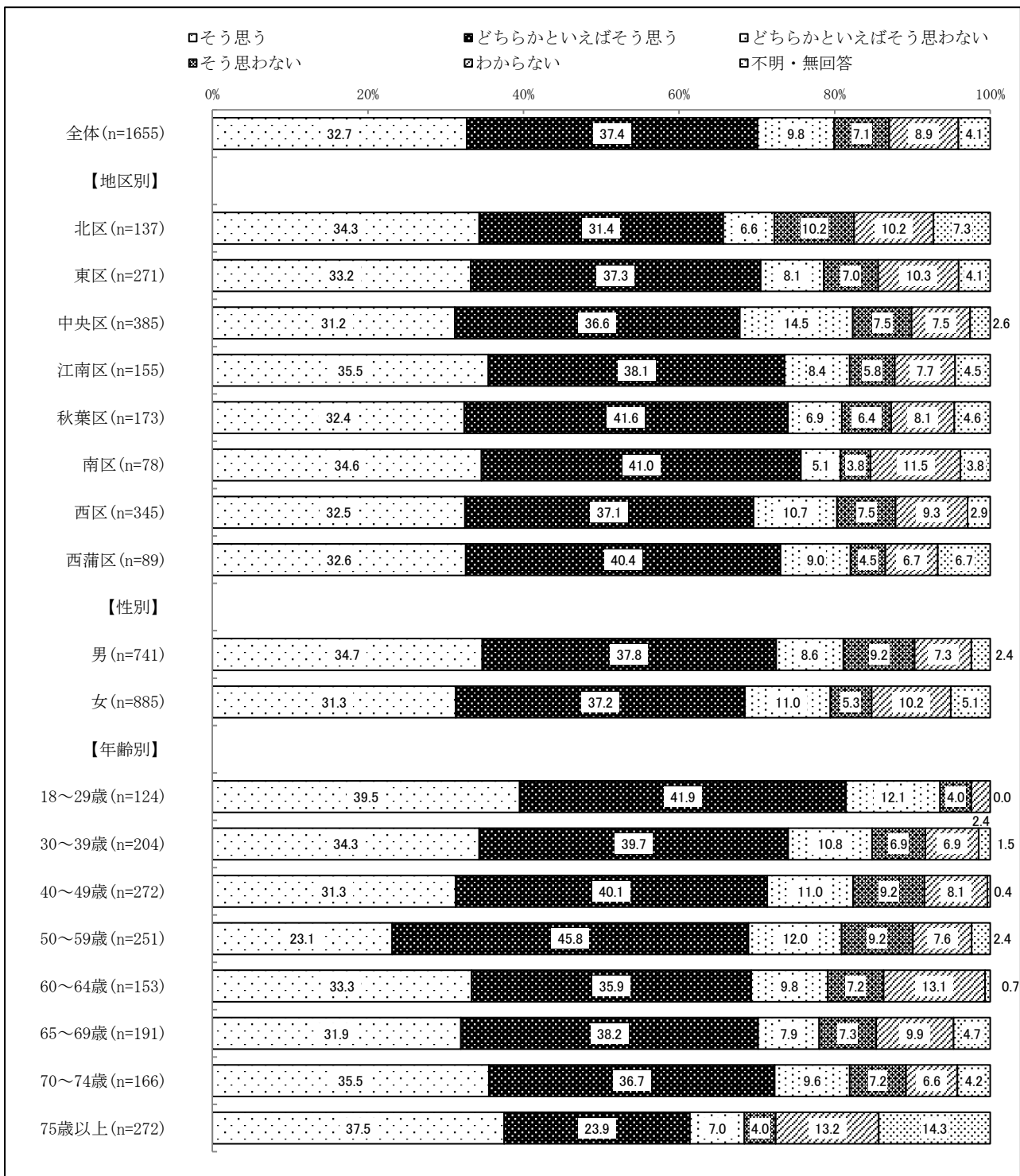
『そう思う』の割合は、『そう思わない』の割合を大きく上回った。

『そう思う』の割合は、地区別では、南区（69.2%）を除く地区で7割を超えた。年齢別では、75歳以上（61.0%）を除く年齢で7割を超えた。

一方、『そう思わない』の割合は、地区別では、西蒲区（15.7%）で最も高い。性別では男性（14.3%）が女性（10.3%）を上回った。年齢別では、18～29歳（20.2%）で割合が最も高い。



⑤定期的にメンテナンスを行い、施設を長く使えるようにする

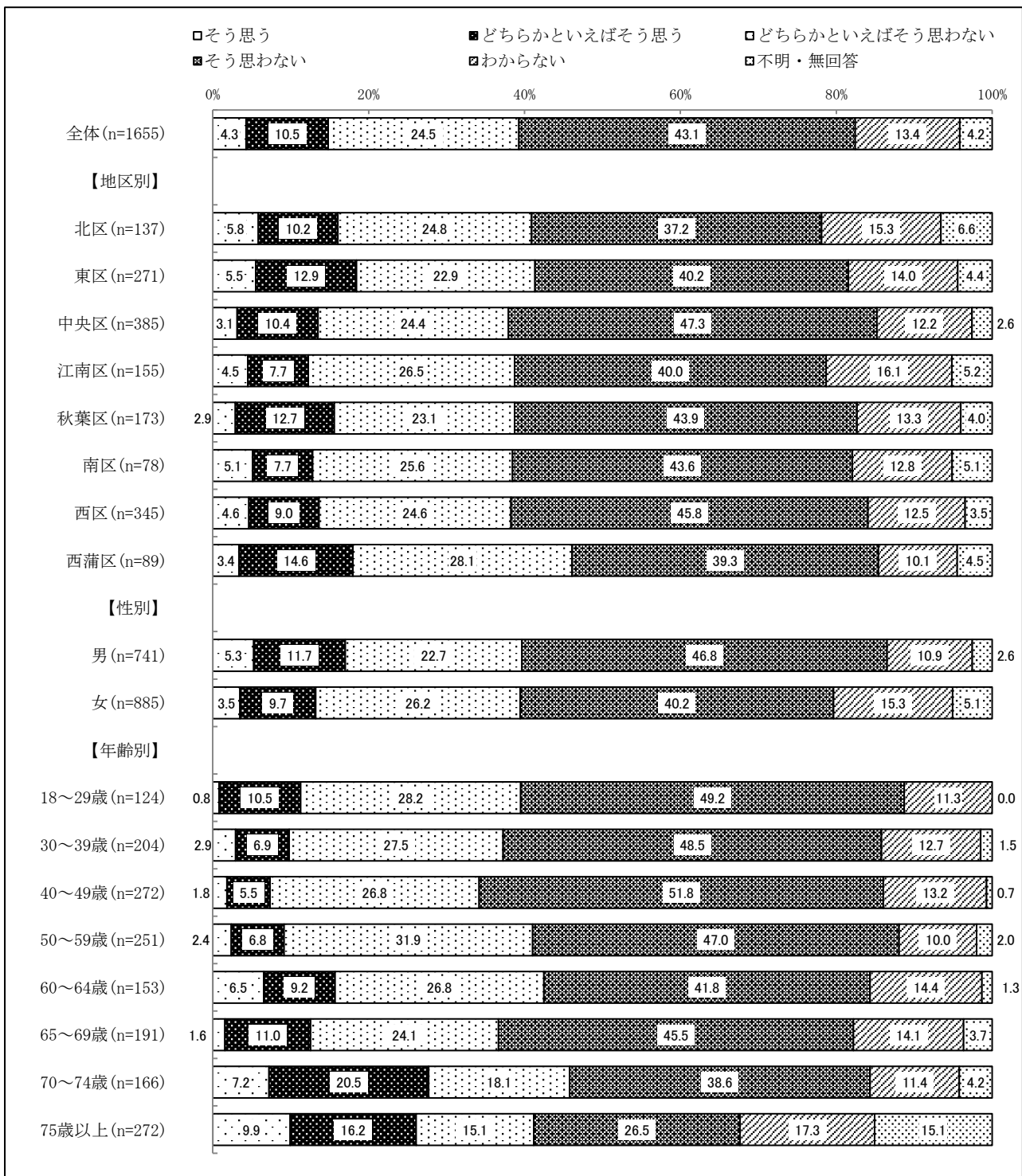


『そう思う』の割合は、『そう思わない』の割合を大きく上回った。

『そう思う』の割合は、地区別では、南区（75.6%）で最も高い。性別では、女性（68.5%）に比べ男性（72.5%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（81.5%）で割合が最も高く、8割を超えた。

一方、『そう思わない』の割合は、地区別では、中央区（22.1%）で最も高い。年齢別では、40～49歳（20.2%）、50～59歳（21.1%）で割合が高く、2割以上を占めた。

⑥今ある施設は、他の予算を削ってでも維持する



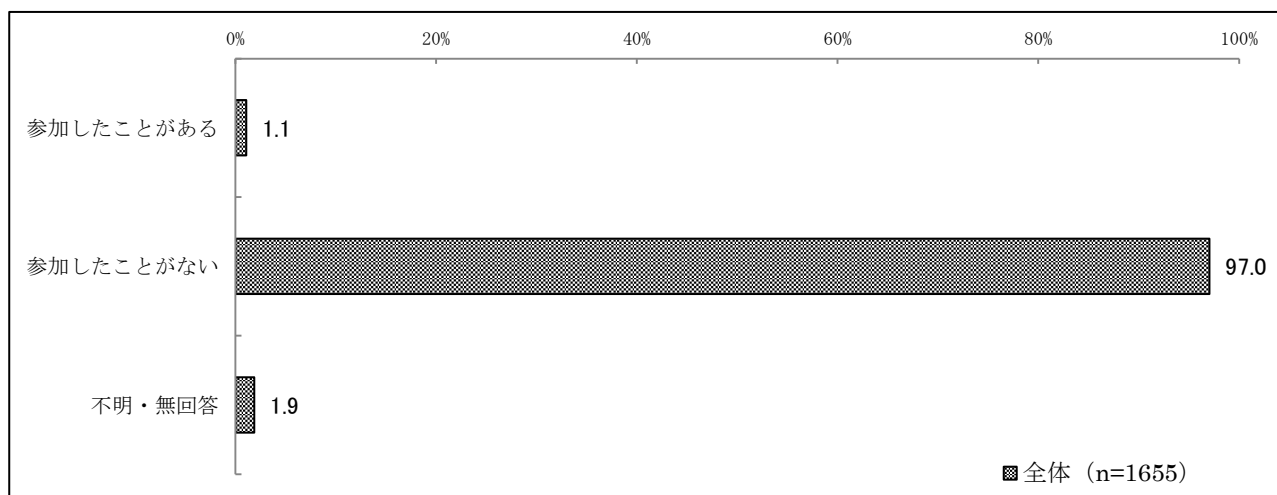
『そう思わない』の割合は、『そう思う』の割合を大きく上回った。

『そう思う』の割合は、70~74歳(27.7%)、75歳以上(26.1%)を除く属性で、2割未満にとどまった。

一方、『そう思わない』の割合は、地区別では、中央区(71.7%)、西区(70.4%)で割合が高く、7割を超えた。年齢別では、59歳以下の年齢で7割を超え、概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

## (5) 公共施設に関する説明会の参加有無

問 16 市では、地域の公共施設の現状と財産経営推進計画について、広く市民の皆さまにご理解いただくため、平成 28 年度から地域の皆さまに説明会を実施しています。あなたは、こうした説明会に参加したことがありますか。(○は 1 つだけ)



— ほとんどの人が「参加したことがない」と回答 —

### 【全体結果】

公共施設の現状と財産経営推進計画の説明会について、「参加したことがない」(97.0%)の割合が9割を超えた。

### 【属性別結果】(図 3-1 参照)

#### ①地区別

「参加したことがある」と答えた割合は、東区(1.5%)で最も高いものの、2%に満たない。一方、「参加したことがない」と答えた割合は、南区(98.7%)で最も高く、最も割合が低い江南区(95.5%)でも9割を超えた。

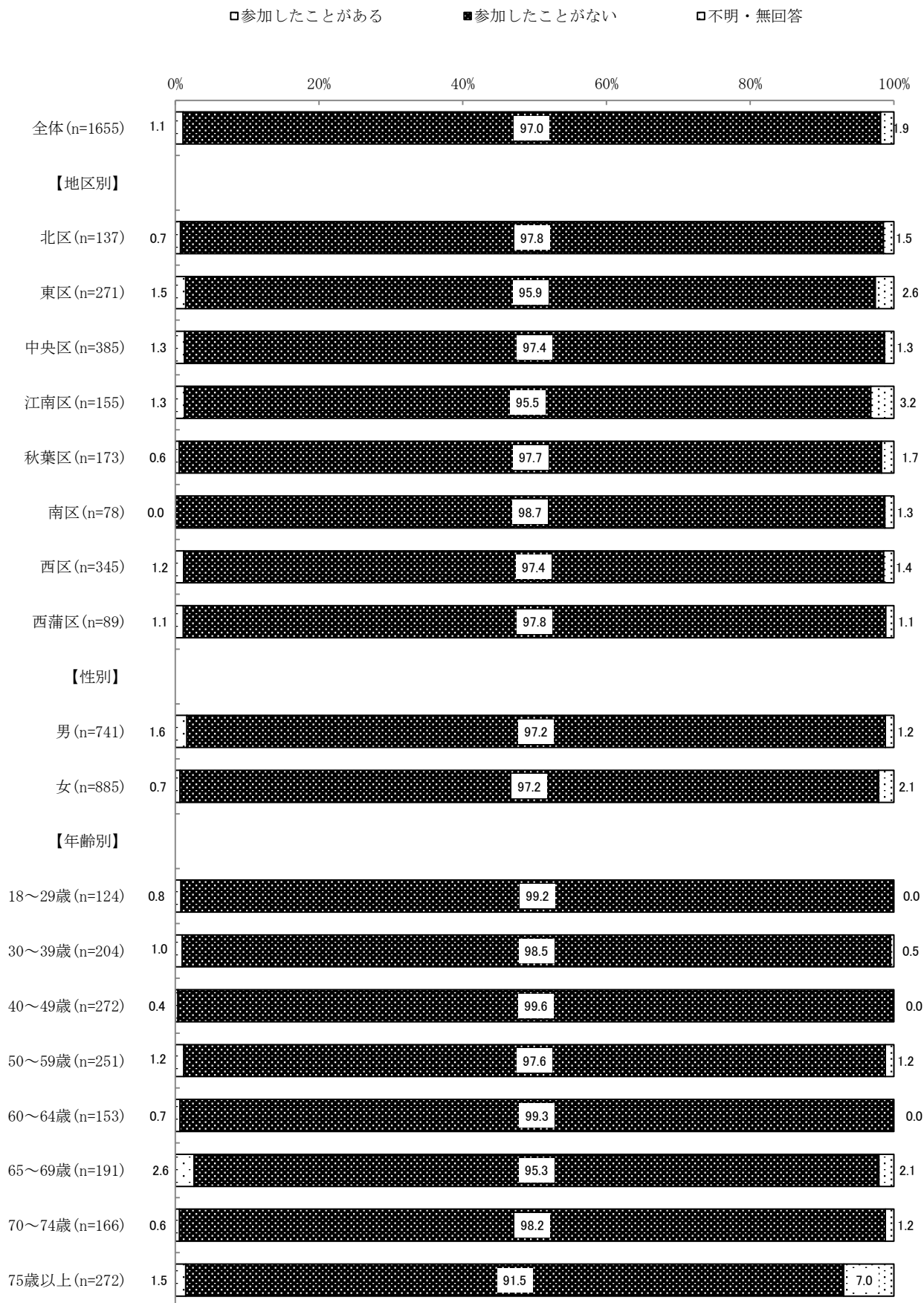
#### ②性別

「参加したことがない」と答えた割合は、男女とも97.2%と同じ割合となった。

#### ③年齢別

「参加したことがある」と答えた割合は、65～69歳(2.6%)で最も高い。一方、「参加したことがない」と答えた割合は、最も低い95歳以上(91.5%)でも9割を超えた。

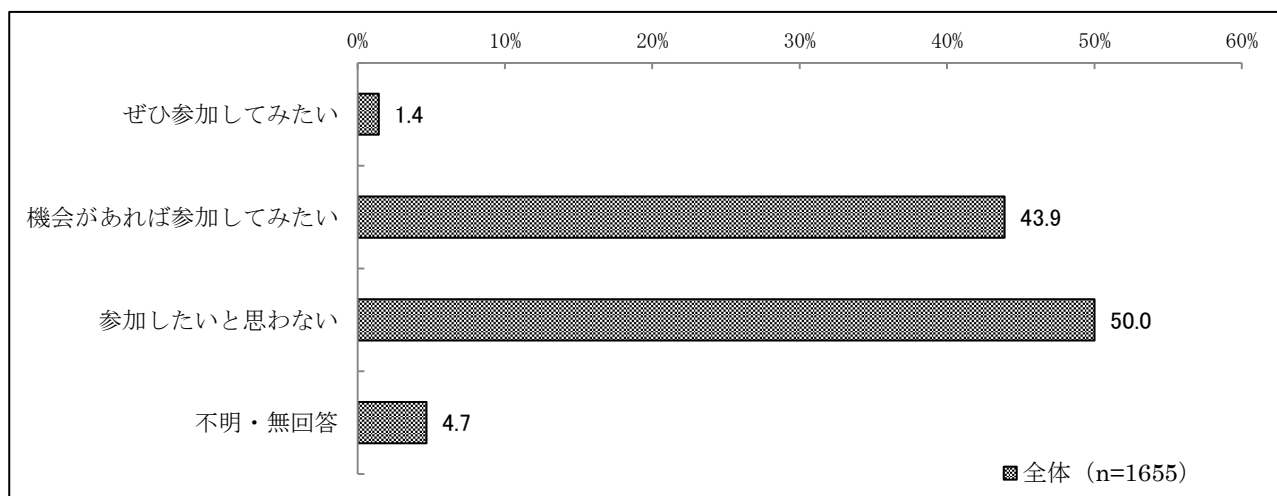
図 3-1 公共施設の現状と財産経営推進計画説明会参加の有無（地区別/性別/年齢別）



## (6) 公共施設に関する説明会の参加意向

(問16で「2」(参加したことがない)と答えた方のみ)

問17 あなたは、このような説明会に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)



— 4割半ばが『参加してみたい』と回答 —

### 【全体結果】

公共施設の現状と財産経営推進計画の説明会参加の意思について、「ぜひ参加してみたい」が1.4%、「機会があれば参加してみたい」が43.9%で、合わせた『参加してみたい(以下同様)』(45.3%)の割合は4割半ばとなった。「参加したいと思わない」(50.0%)の割合が最も高く、半数を占めた。

### 【属性別結果】(図3-2参照)

#### ①地区別

『参加してみたい』は、中央区(48.0%)で「参加したいと思わない」(45.1%)を上回った。「ぜひ参加してみたい」と答えた割合は、西区(2.4%)で最も高い。「機会があれば参加してみたい」と答えた割合は、全ての地区で4割を超えた。

一方、「参加したいと思わない」と答えた割合は、北区(48.5%)と中央区(45.1%)を除く地区で5割を超えた。

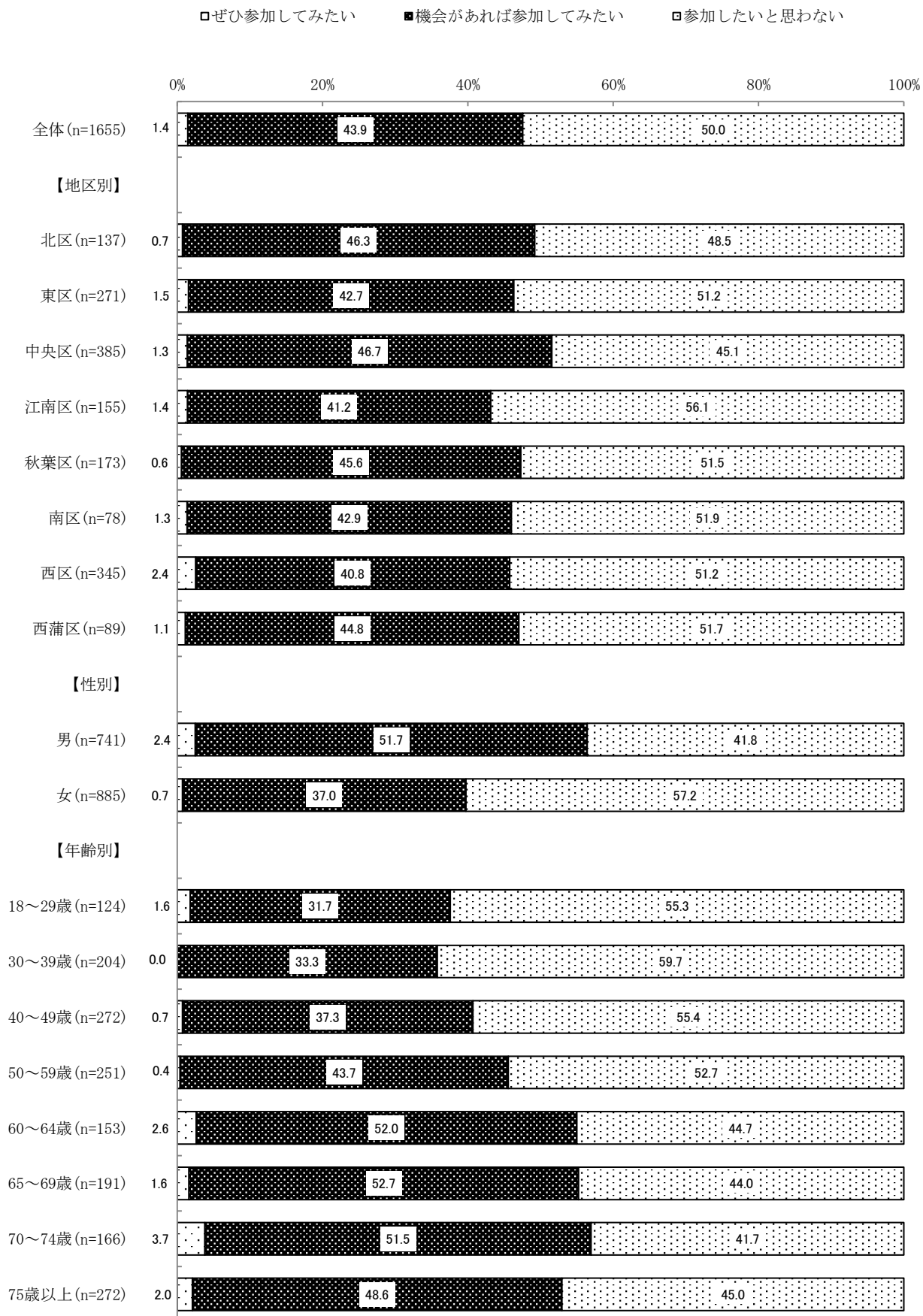
#### ②性別

『参加してみたい』は、男性(54.0%)で「参加したいと思わない」(41.8%)を上回った。女性と比べ、男性で「機会があれば参加してみたい」(各37.0%、51.7%)の割合が高い。

#### ③年齢別

60歳以上の年齢で、『参加してみたい』が「参加したいと思わない」と答えた割合を上回った。「機会があれば参加してみたい」と答えた割合は高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。

図 3-2 公共施設の現状と財産経営推進計画説明会参加の意思（地区別/性別/年齢別）



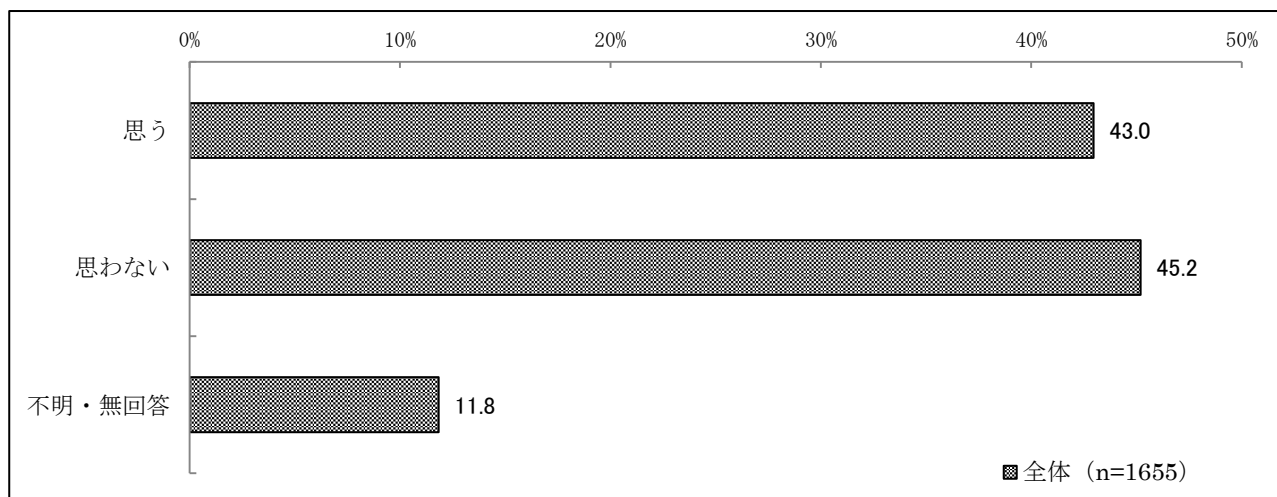
## (7) 公共施設の再編についての考え

問 18 市では、学校の統廃合が決定した地域や区役所などの主要な施設の建替えなどがある地域から先行して、中学校区を基本に地域の公共施設の再編を行っています。

公共施設の再編を行う際には、ワークショップを開催するなど、地域の皆さまと協働で検討することとしており、平成 27 年度からこれまでに 3 地域で公共施設の再編に着手したところです。

また、今後は、地域の要望があれば近いうちに公共施設の建替えなどがなくても、前倒しして公共施設の再編に着手したいと考えています。

①あなたが住まいの地域でも、再編の検討に着手すべきと思いますか。(○は1つだけ)



— 4割強が「思う」と回答 —

### 【全体結果】

公共施設の再編の検討の着手について、「思う」(43.0%)と比べて「思わない」(45.2%)の割合がやや高い結果となった。

### 【属性別結果】(図 3-3 参照)

#### ①地区別

中央区、西区では、「思う」(各 50.4%、45.5%)が「思わない」(各 39.2%、44.3%)を上回った。北区、南区では、「思う」と「思わない」が同じ割合となった。その他の地区は、「思わない」が「思う」を上回った。

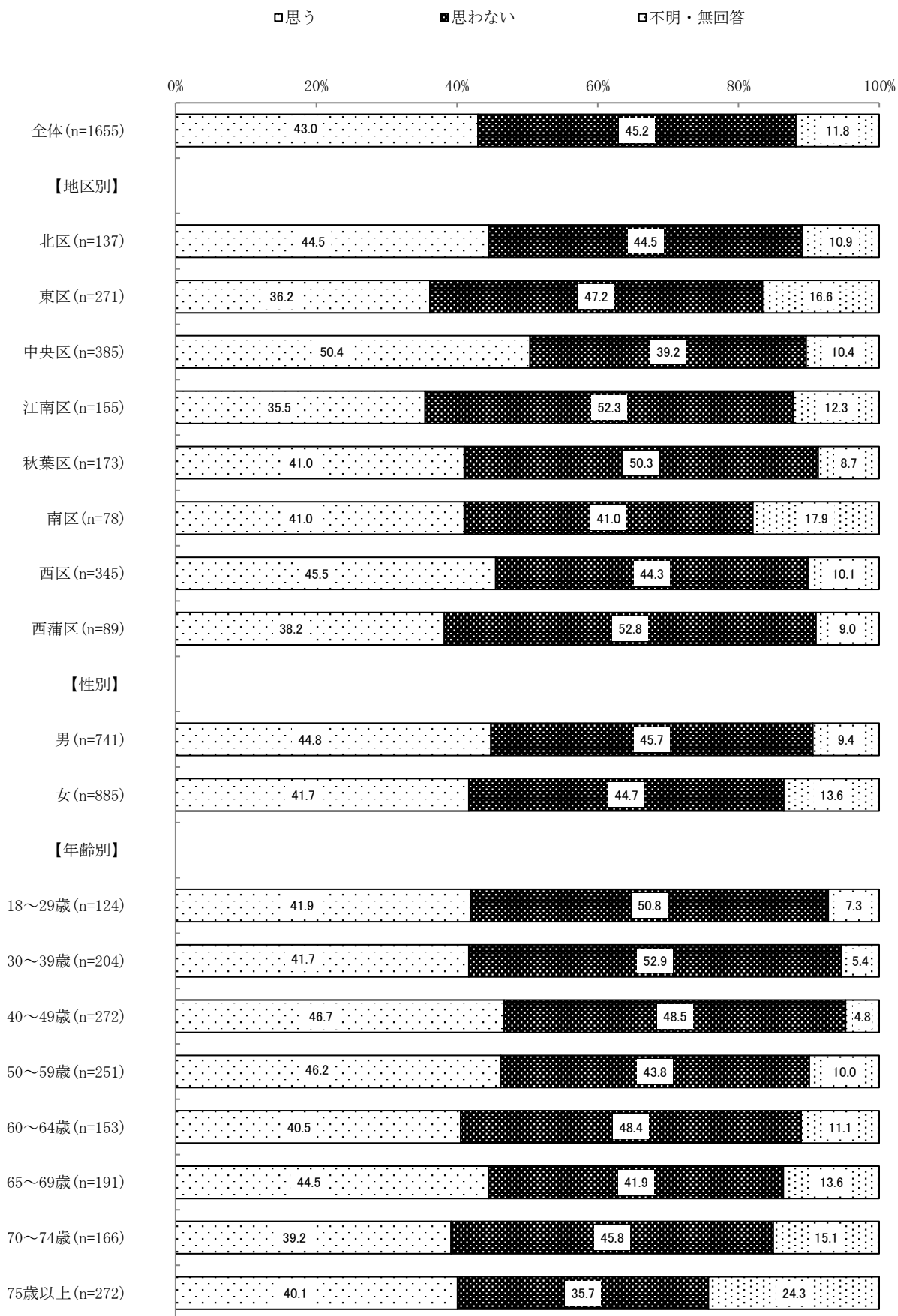
#### ②性別

「思う」は女性(41.7%)より男性(44.8%)で割合がやや高いものの、男女とも「思わない」(各 45.7%、44.7%)が「思う」を上回った。

#### ③年齢別

50～59歳、65～69歳、75歳以上では、「思う」(各 46.2%、44.5%、40.1%)が「思わない」(各 43.8%、41.9%、35.7%)を上回った。その他の年齢は「思う」より「思わない」の割合が高い。

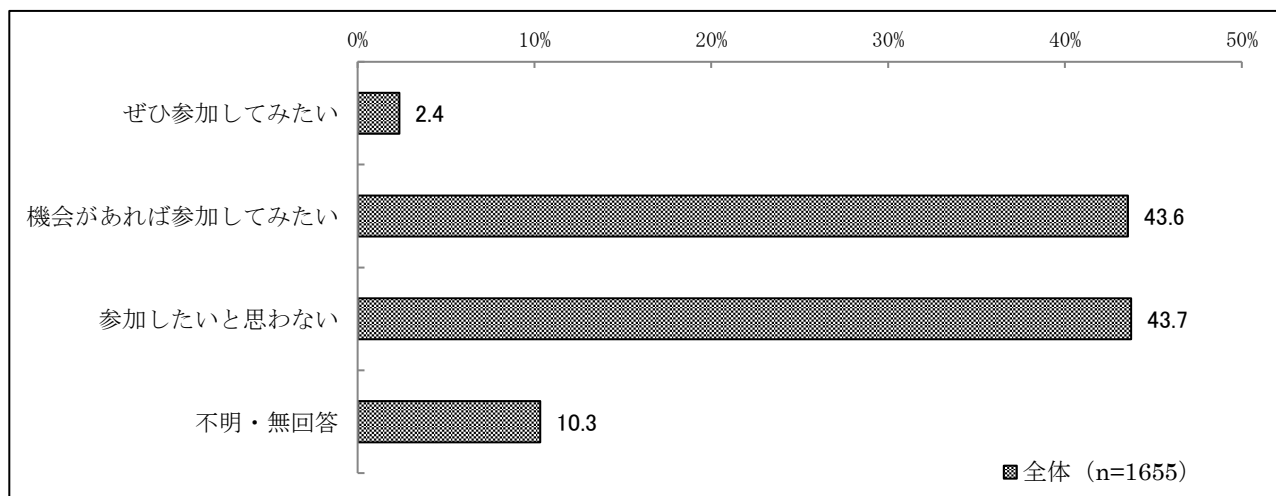
図 3-3 公共施設再編の検討着手について（地区別/性別/年齢別）





## (8) ワークショップ等への参加意向

問18 ③ワークショップなどが開催される場合、あなたは参加してみたいと思いますか。  
(○は1つだけ)



— 4割半ばが『参加してみたい』と回答 —

### 【全体結果】

ワークショップ等が開催される場合の参加意思は、「ぜひ参加してみたい」が2.4%、「機会があれば参加してみたい」が43.6%、合わせた『参加してみたい (以下同様)』(45.9%)は4割半ばとなった。一方、「参加したいと思わない」で43.7%という結果となった。

### 【属性別結果】(図3-4参照)

#### ①地区別

『参加してみたい』は、秋葉区(53.2%)で最も割合が高く、半数を超えた。東区、南区、西区を除く地区で、『参加してみたい』が「参加したいと思わない」を上回った。

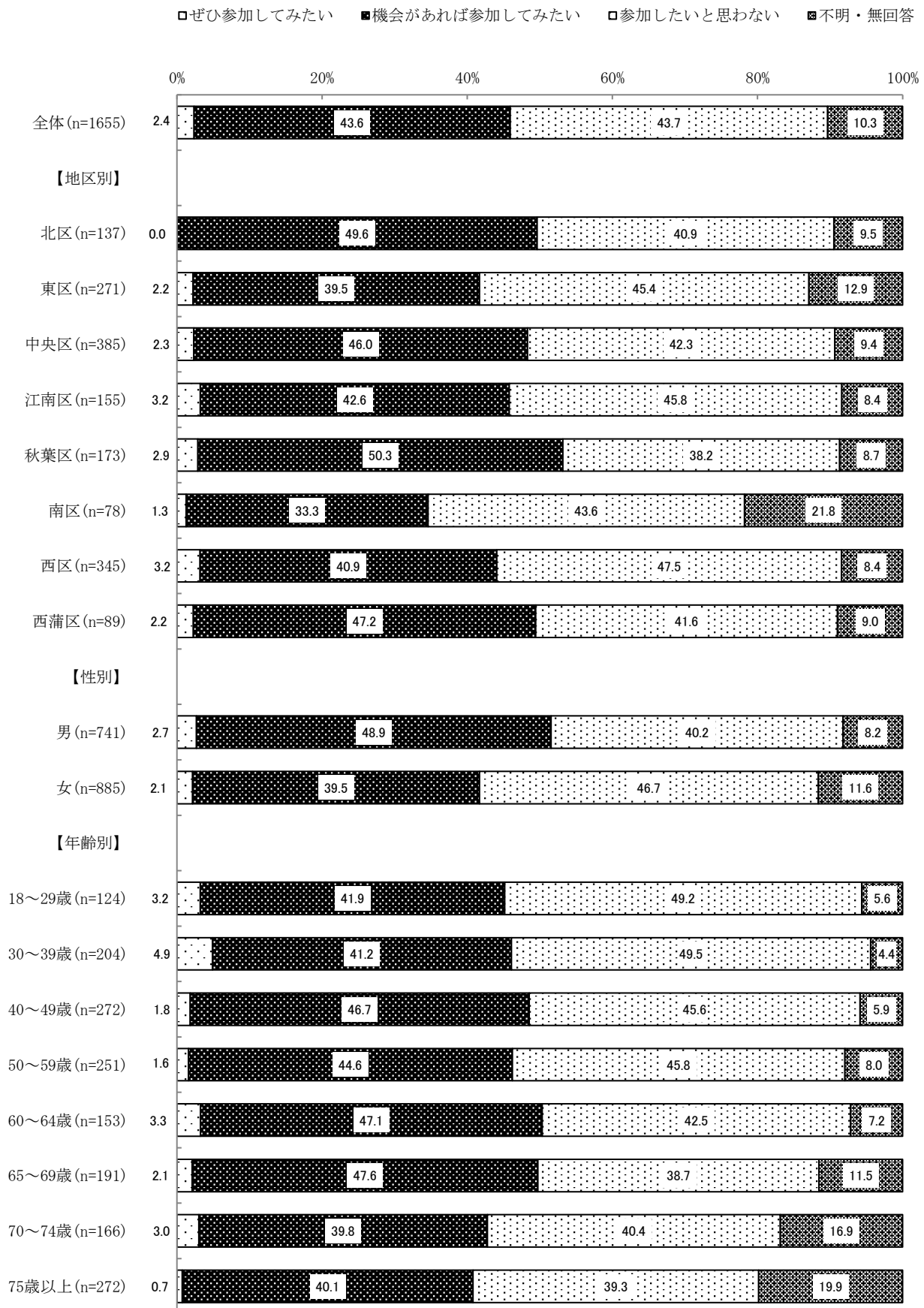
#### ②性別

『参加してみたい』は、男性(51.6%)で半数を超えた。一方、女性は「参加したいと思わない」(46.7%)が『参加してみたい』(41.7%)を上回った。

#### ③年齢別

40歳以上の年齢で『参加してみたい』が「参加したいと思わない」を上回った。18~29歳、30~39歳は「参加したいと思わない」(各49.2%、49.5%)の割合が約半数となった。

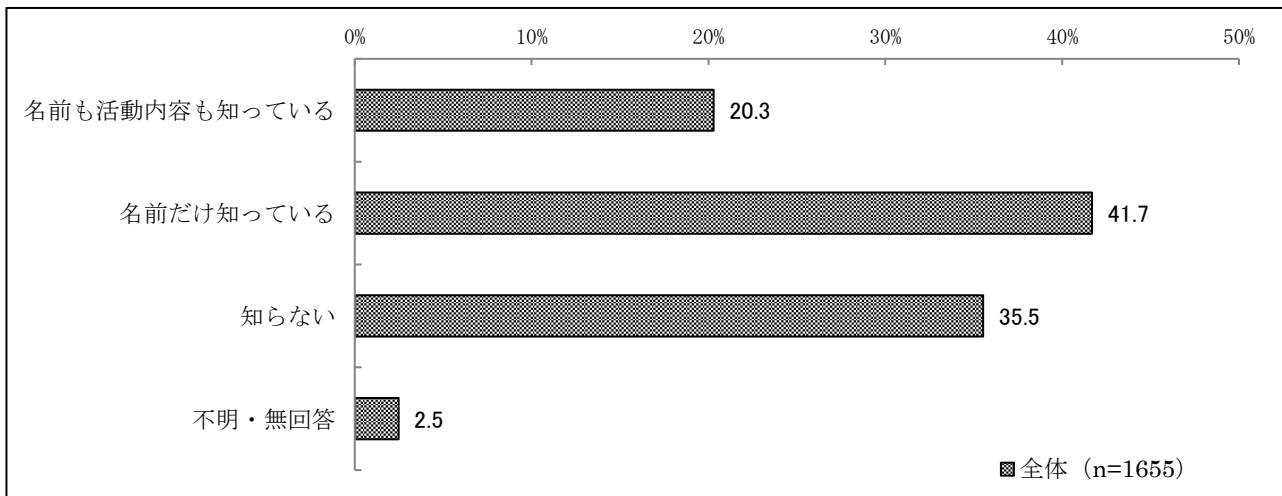
図 3-4 公共施設再編の検討ワークショップ開催参加について（地区別/性別/年齢別）



## 4. 新潟市のコミュニティについて

### (1) 地域コミュニティ協議会の認知度

問19 あなたは「地域コミュニティ協議会」について知っていますか。  
(○は1つだけ)



— 約6割が地域コミュニティ協議会を『知っている』 —

#### 【全体結果】

地域コミュニティ協議会の認知度について、「名前も活動内容も知っている」(20.3%)で約2割、「名前だけ知っている」(41.7%)で約4割。「名前も活動内容も知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『知っている(以下同様)』は、約6割となった。「知らない」(35.5%)は3割を超えた。

#### 【属性別結果】(図4-1参照)

##### ①地区別

『知っている』と答えた割合は、南区(73.1%)で最も高く、西区(55.9%)で最も低い。北区、中央区、江南区、秋葉区、西蒲区で6割を超えた。

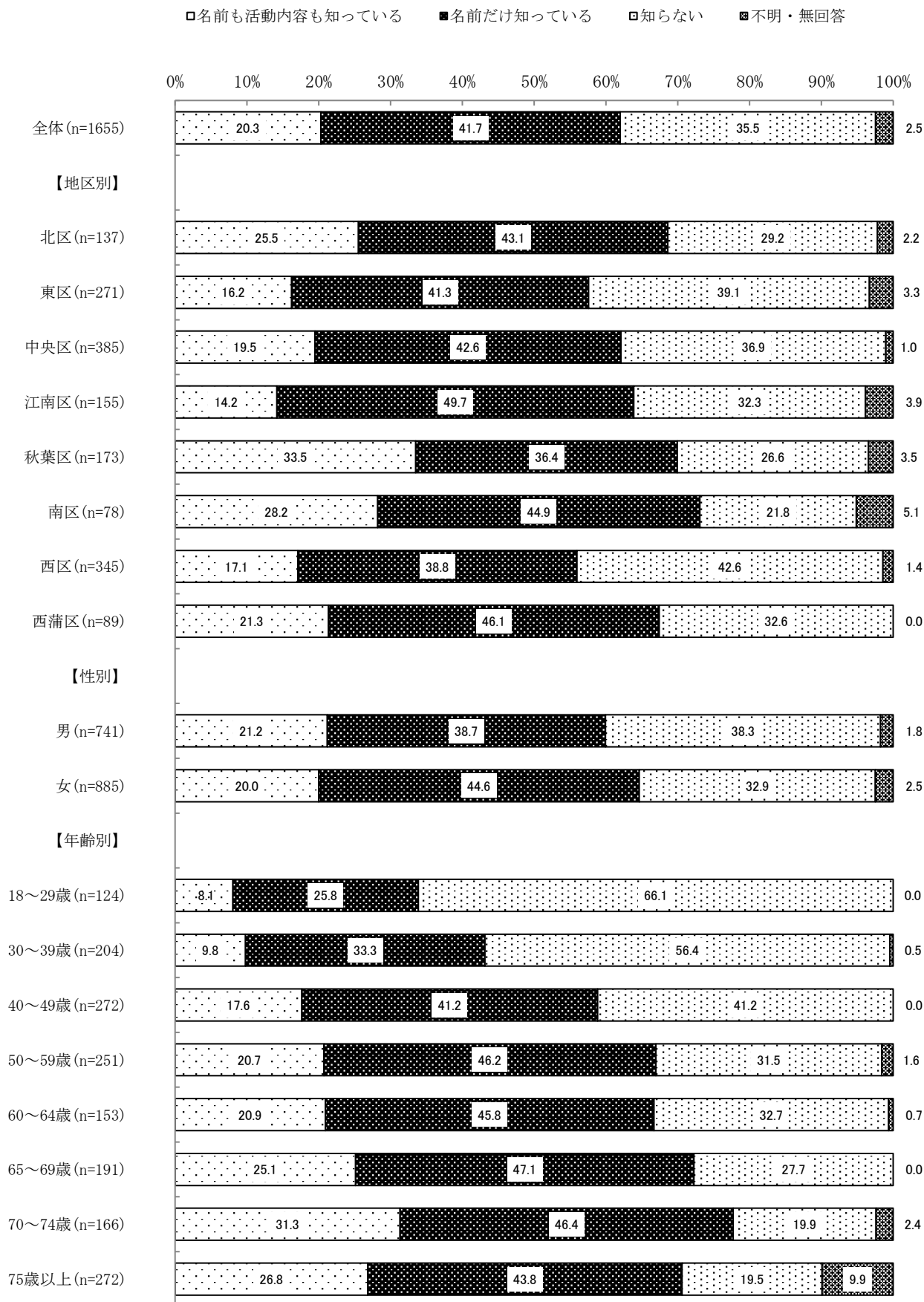
##### ②性別

『知っている』は、男性(59.9%)と比べて女性(64.6%)で割合が高い。

##### ③年齢別

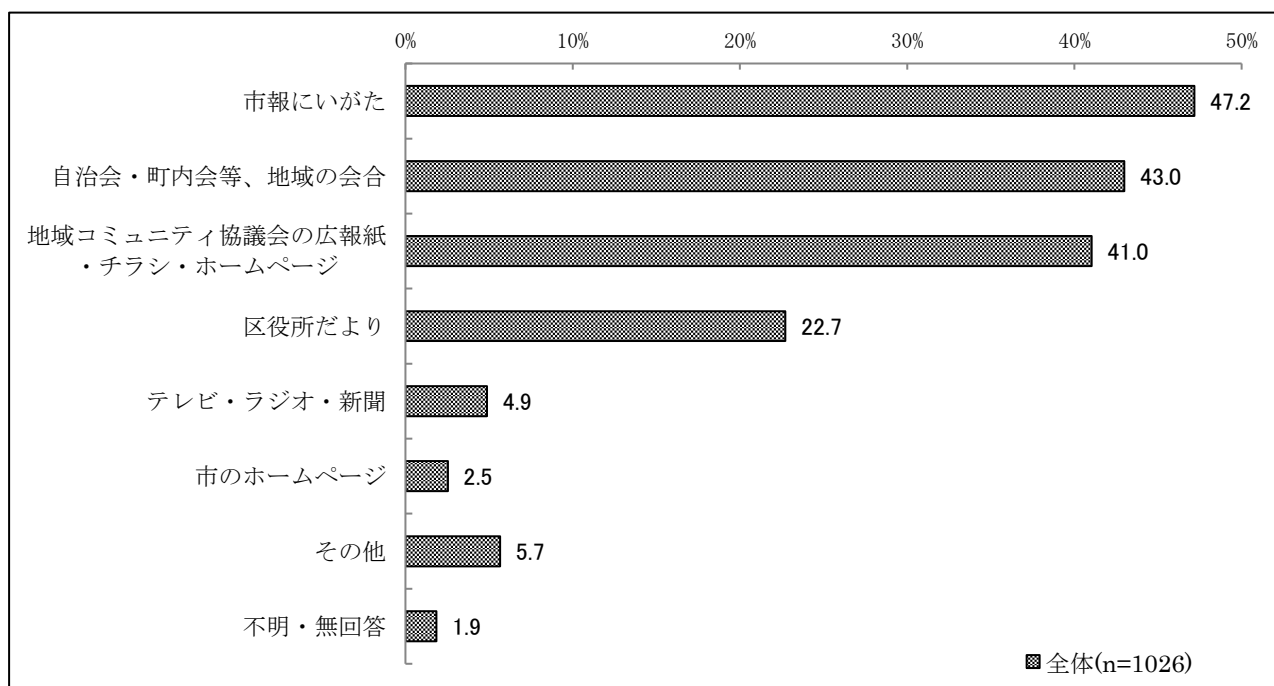
『知っている』の割合は、70~74歳(77.7%)で最も高い。概ね年齢が上がるほど、割合が高い傾向がみられる。18~29歳では33.9%で、約3割にとどまった。

図 4-1 地域コミュニティ協議会の認知度（地区別/性別/年齢別）



## (2) 地域コミュニティ協議会についての情報の入手先

(問19で「1」(名前も活動内容も知っている)「2」(名前だけ知っている)と答えた方のみ)  
問20 あなたは地域コミュニティ協議会についての情報を何から入手しましたか。  
(〇はいくつでも)



— 半数近くが「市報にいがた」と回答 —

### 【全体結果】

全体では、半数近くが、「市報にいがた」(47.2%)と回答した。「自治会・町内会等、地域の会合」(43.0%)と「地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」(41.0%)も4割を超えた。

### 【属性別結果】(図4-2参照)

#### ①地区別

東区(57.1%)、中央区(51.9%)で、「市報にいがた」と答えた割合が5割を超えた。「地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」では、西蒲区(60.0%)で6割、次いで、秋葉区(59.5%)も6割弱で割合が高い。南区では、「自治会・町内会等、地域の会合」(52.6%)が最も高い。

#### ②性別

「自治会・町内会等、地域の会合」では、女性(38.6%)と比べて男性(48.9%)で割合が高い。

#### ③年齢別

30代、40代を除いた年齢で「市報にいがた」と答えた割合が最も高い。30代、40代では、「地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」(各36.4%、41.9%)と答えた割合が最も高い。30～39歳で「テレビ・ラジオ・新聞」(14.8%)、18歳～29歳で「市のホームページ」(7.1%)と答えた割合が、他の年代と比べて高い。

図 4-2 地域コミュニティ協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 1/2

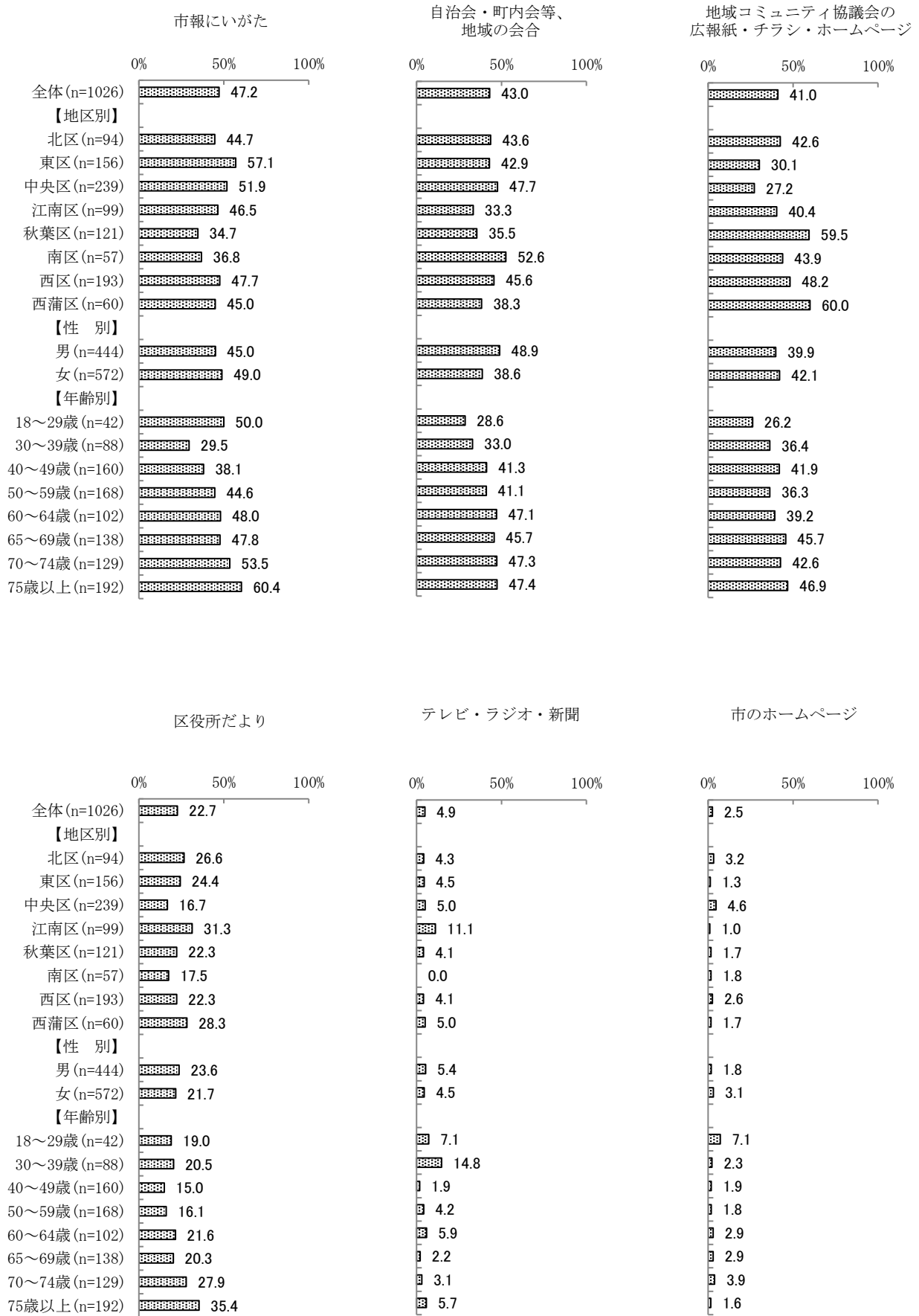
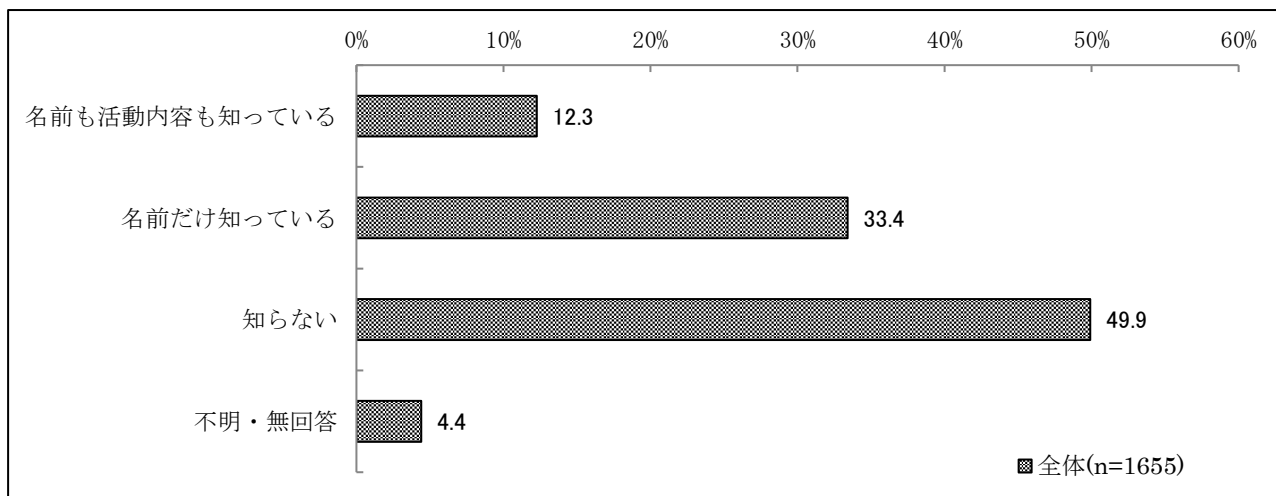


図 4-2 地域コミュニティ協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 2/2



### (3) 区自治協議会の認知度

問21 あなたは「区自治協議会」について知っていますか。(○は1つだけ)



— 区自治協議会を『知っている』人は4割以上 —

#### 【全体結果】

区自治協議会の認知度について、「名前も活動内容も知っている」が12.3%、「名前だけ知っている」が33.4%。「名前も活動内容も知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『知っている（以下同様）』は、4割を超えた。一方で、「知らない」（49.9%）は約5割で、『知っている』を上回った。

#### 【属性別結果】（図4-3参照）

##### ①地区別

『知っている』と答えた割合は、西蒲区（58.4%）で最も高く、東区（39.9%）で最も低い。秋葉区（51.4%）、南区（53.8%）で『知っている』が5割を超えている。

##### ②性別

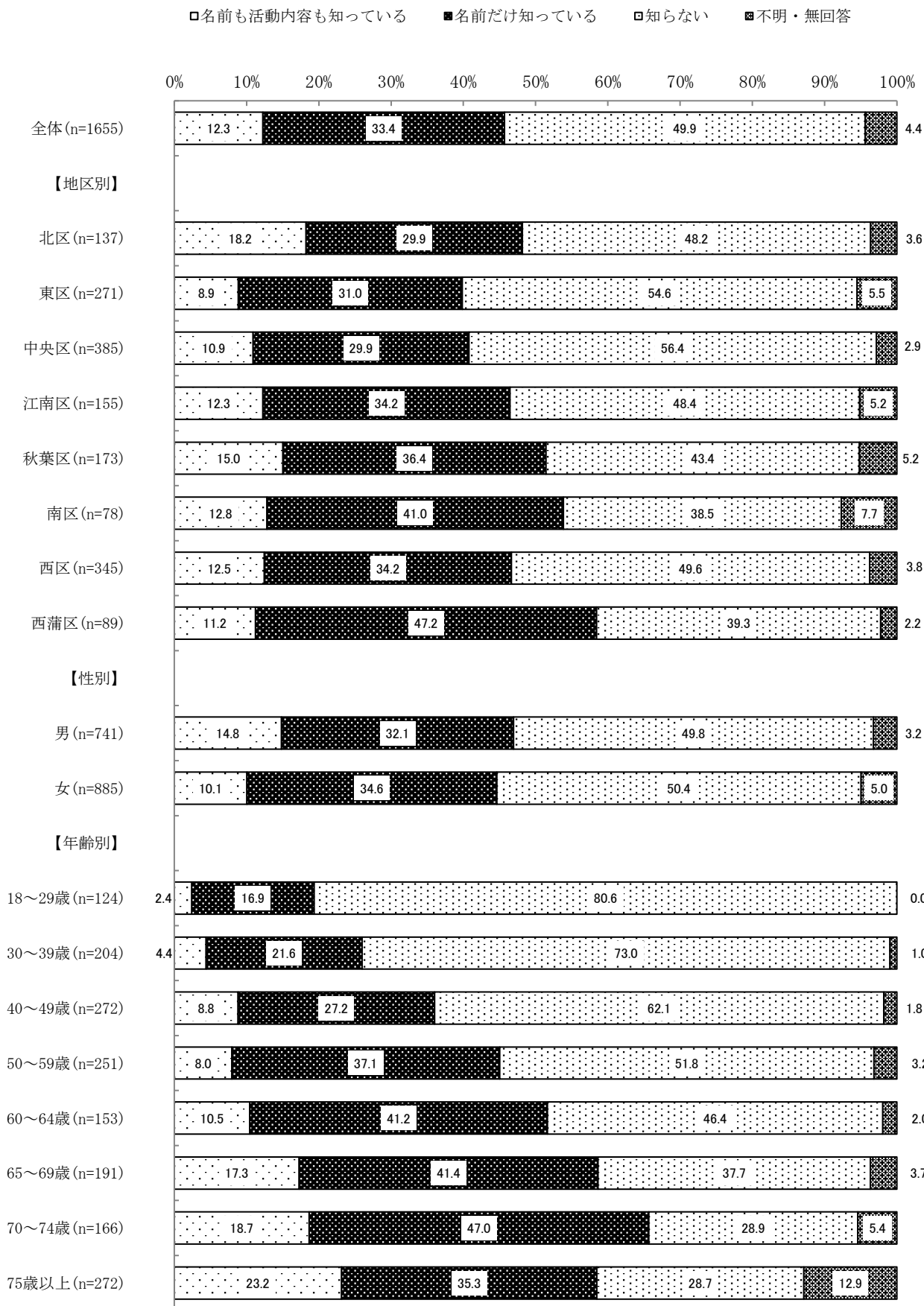
『知っている』は、男性（47.0%）が女性（44.6%）を上回っている。

##### ③年齢別

『知っている』の割合は、70～74歳（65.7%）で最も高い。概ね年齢が上がるほど、割合が高い傾向がみられる。18～29歳では19.4%で、2割弱にとどまった。

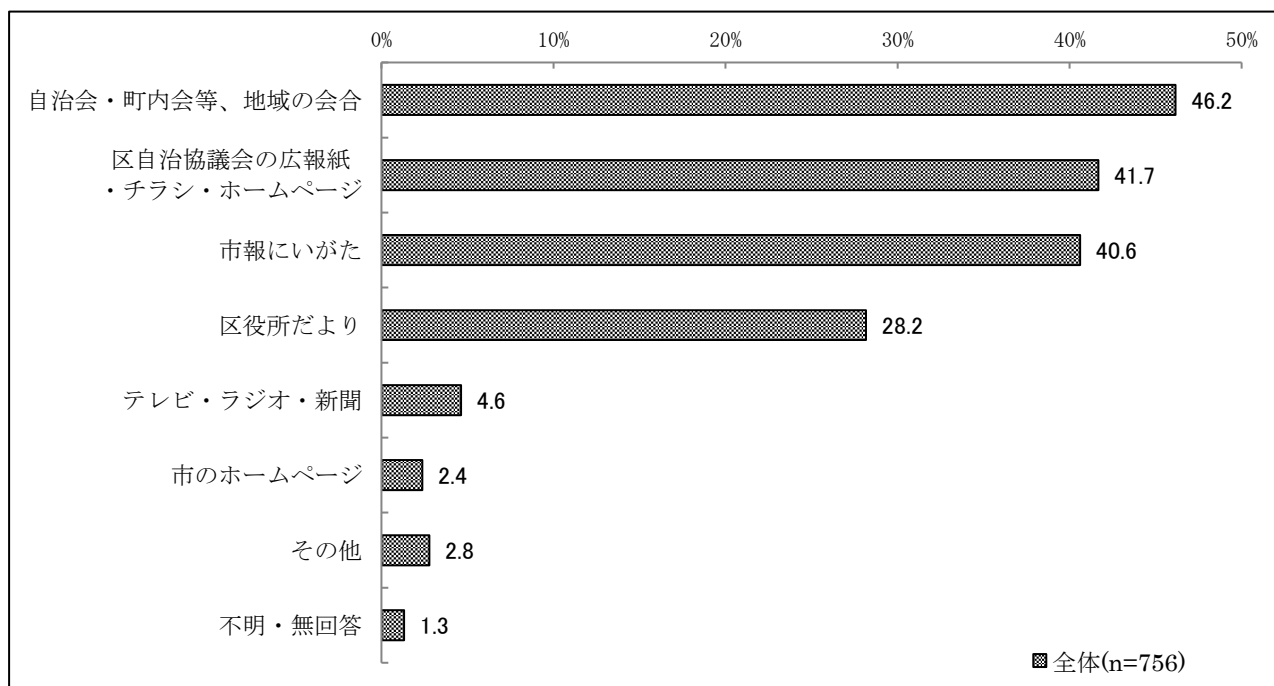


図 4-3 区自治協議会の認知度（地区別/性別/年齢別）



#### (4) 区自治協議会についての情報の入手先

(問21で「1」(名前も活動内容も知っている)「2」(名前だけ知っている)と答えた方のみ)  
問22 あなたは区自治協議会についての情報を何から入手しましたか。(〇はいくつでも)



— 5割弱が「自治会・町内会等、地域の会合」と回答 —

##### 【全体結果】

全体では、「自治会・町内会等、地域の会合」(46.2%)、「区自治協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」(41.7%)、「市報にいがた」(40.6%)で4割を超えた。次いで、「区役所だより」(28.2%)が3割弱だった。

##### 【属性別結果】(図4-4参照)

###### ①地区別

北区、中央区、南区では、「自治会・町内会等、地域の会合」(各57.6%、47.8%、54.8%)と答えた割合が最も高く、江南区、秋葉区、西区、西蒲区では、「区自治協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」(各45.8%、55.1%、49.7%、48.1%)と答えた割合が最も高い。

###### ②性別

「自治会・町内会等、地域の会合」では、男性(50.9%)が女性(42.3%)を上回っている。

###### ③年齢別

「自治会・町内会等、地域の会合」、「市報にいがた」では、75歳以上(各53.5%、56.6%)で割合が最も高い。「区自治協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」では、65~69歳(47.3%)で割合が最も高い。「区役所だより」では75歳以上(44.0%)で、「テレビ・ラジオ・新聞」では30歳~39歳(15.1%)で、他の年代と比べて割合が突出している。

図 4-4 区自治協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 1/2

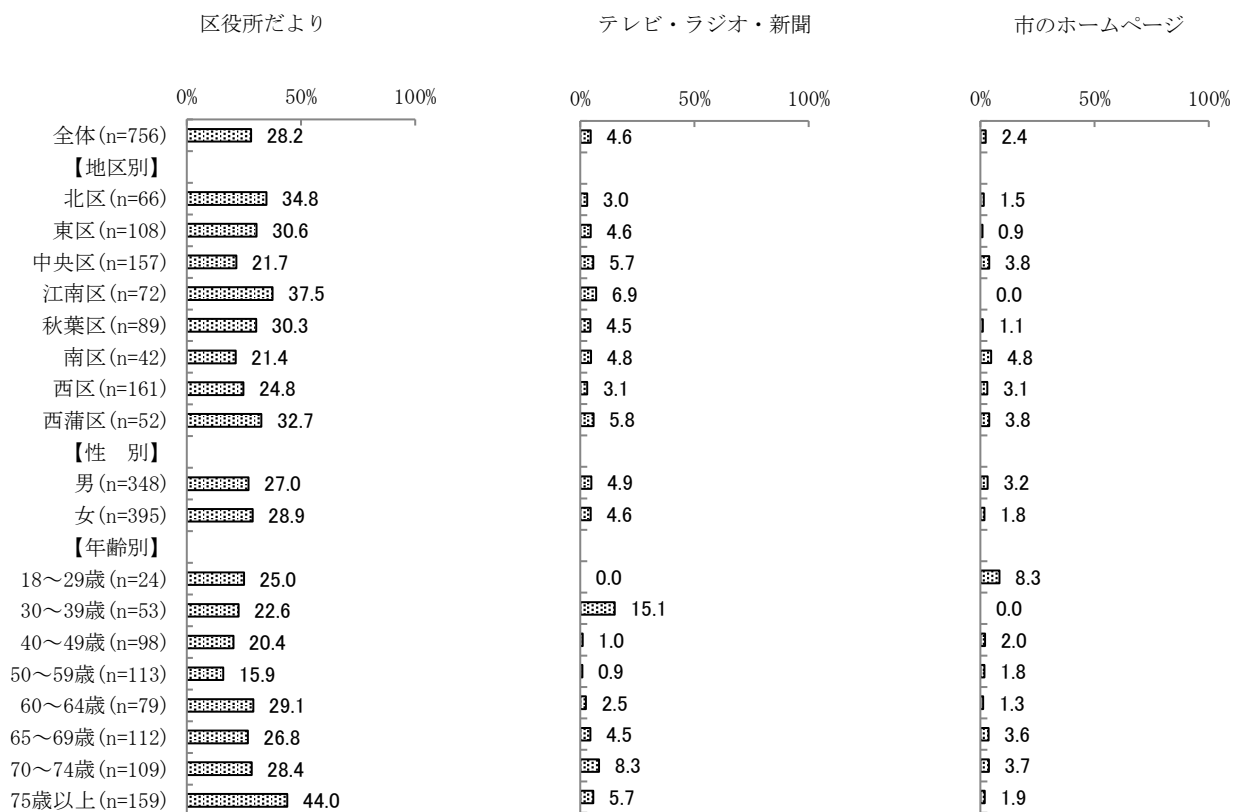
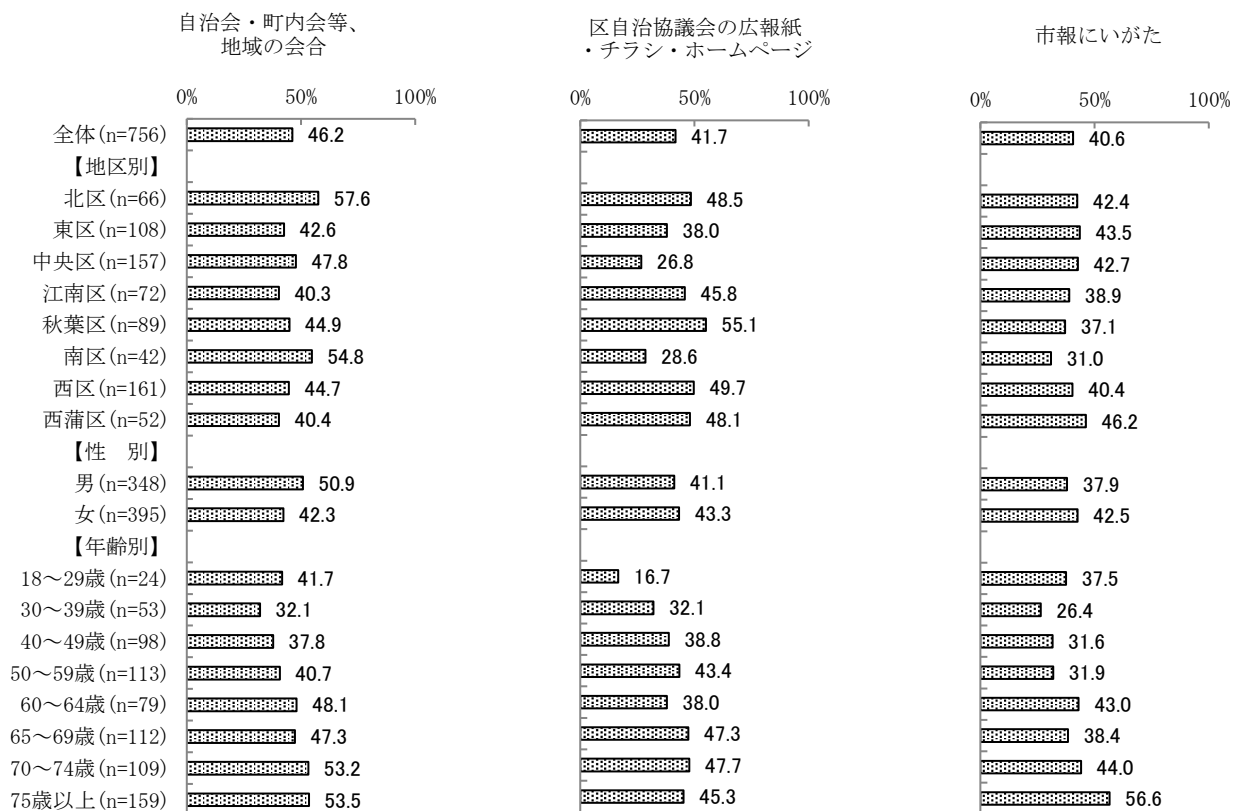
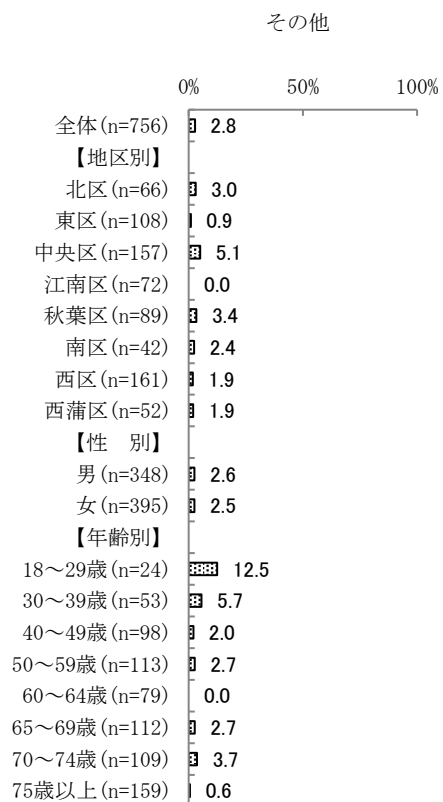


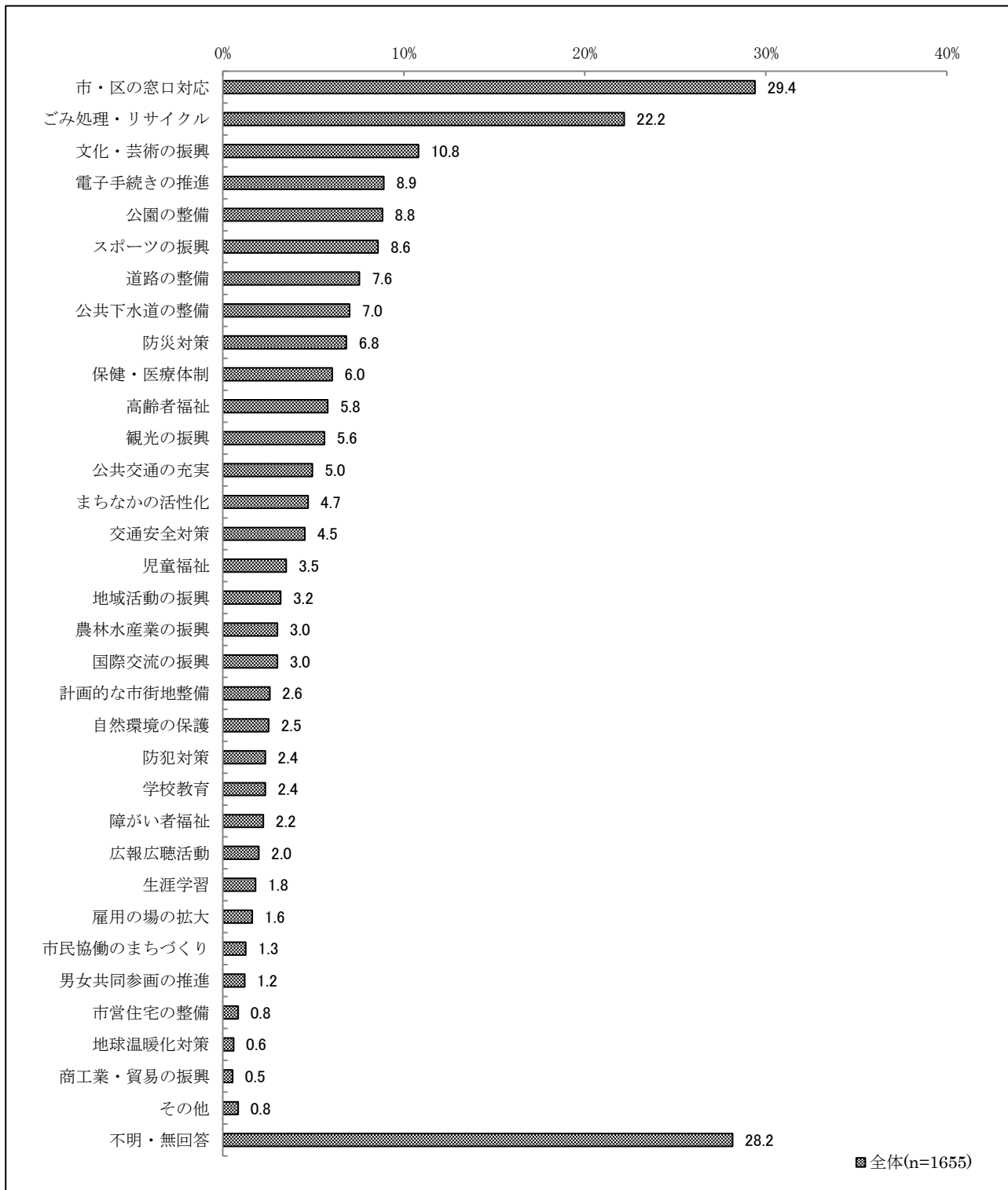
図 4-4 区自治協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 2/2



## 5. 市政全般と区政について

### (1) 新潟市として良くなっているもの

問23 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
 ①「新潟市として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号（1～33）をご記入ください。



**【全体結果】**

新潟市として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(29.4%)の割合が最も高く、約3割となった。次いで、「ごみ処理・リサイクル」(22.2%)が2割強、「文化・芸術の振興」(10.8%)が約1割で、以下順に続く。

**【属性別結果】(図5-1参照)**

**①地区別**

全体結果で最も割合の高かった「市・区の窓口対応」については、中央区(34.8%)で割合が最も高く、次いで、西区(32.5%)、江南区(31.0%)で3割を超えている。

**②性別**

「市・区の窓口対応」は、女性(26.6%)より男性(33.6%)で割合が高く、「ごみ処理・リサイクル」は、男性(20.0%)より女性(24.1%)で割合がやや高い。

**③年齢別**

「市・区の窓口対応」、「ごみ処理・リサイクル」は、75歳以上(各29.4%、24.3%)で3割未満にとどまっているものの、概ね高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。一方、「文化・芸術の振興」、「公共交通の充実」は、概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。18歳~29歳は「スポーツの振興」、「道路の整備」、「観光の振興」(各14.5%、15.3%、12.1%)で他の年齢と比べて割合が高い。30代と40代は「公園の整備」(それぞれ21.1%、15.8%)で他の年齢と比べて割合が高い。

図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

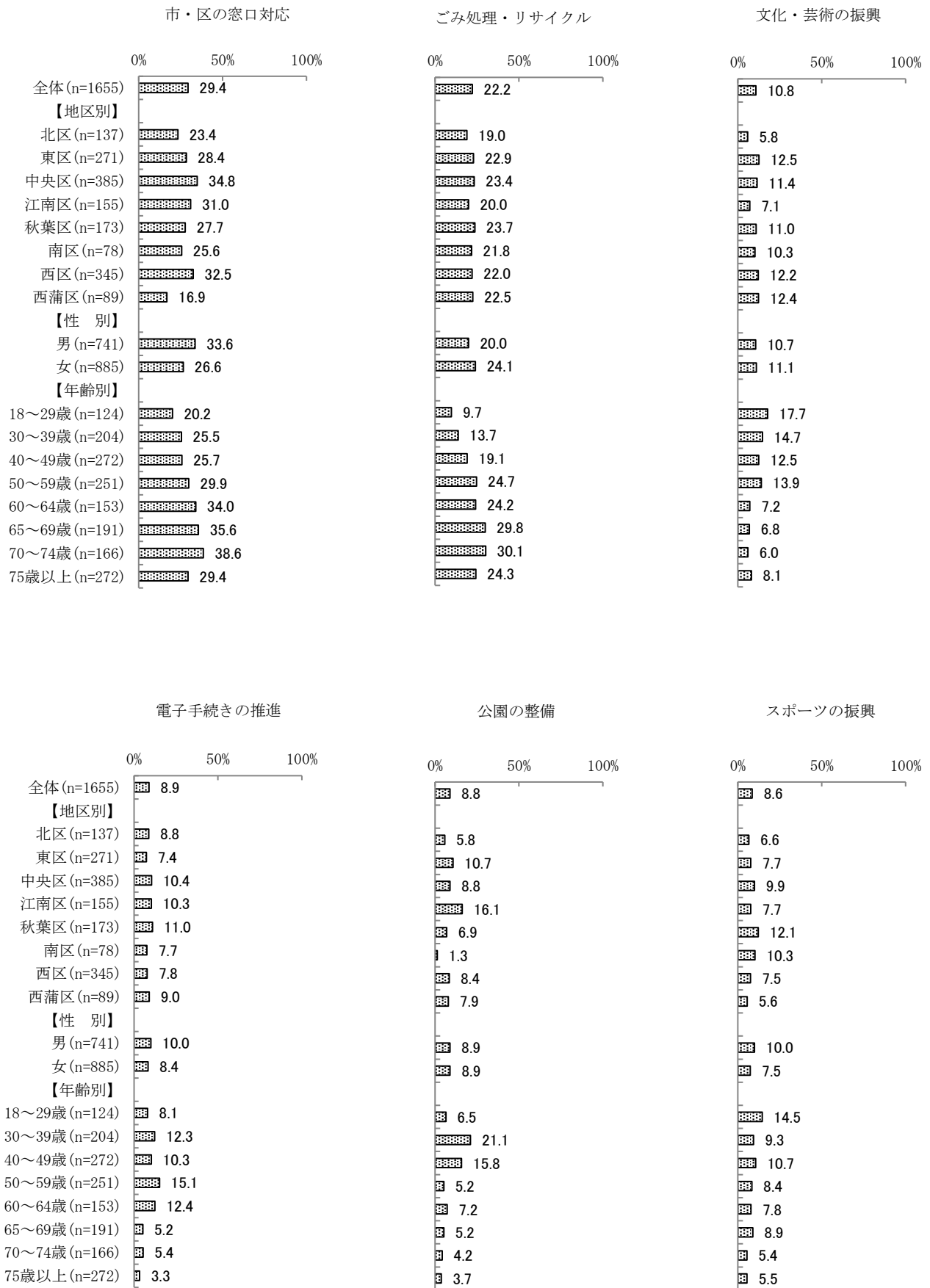


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

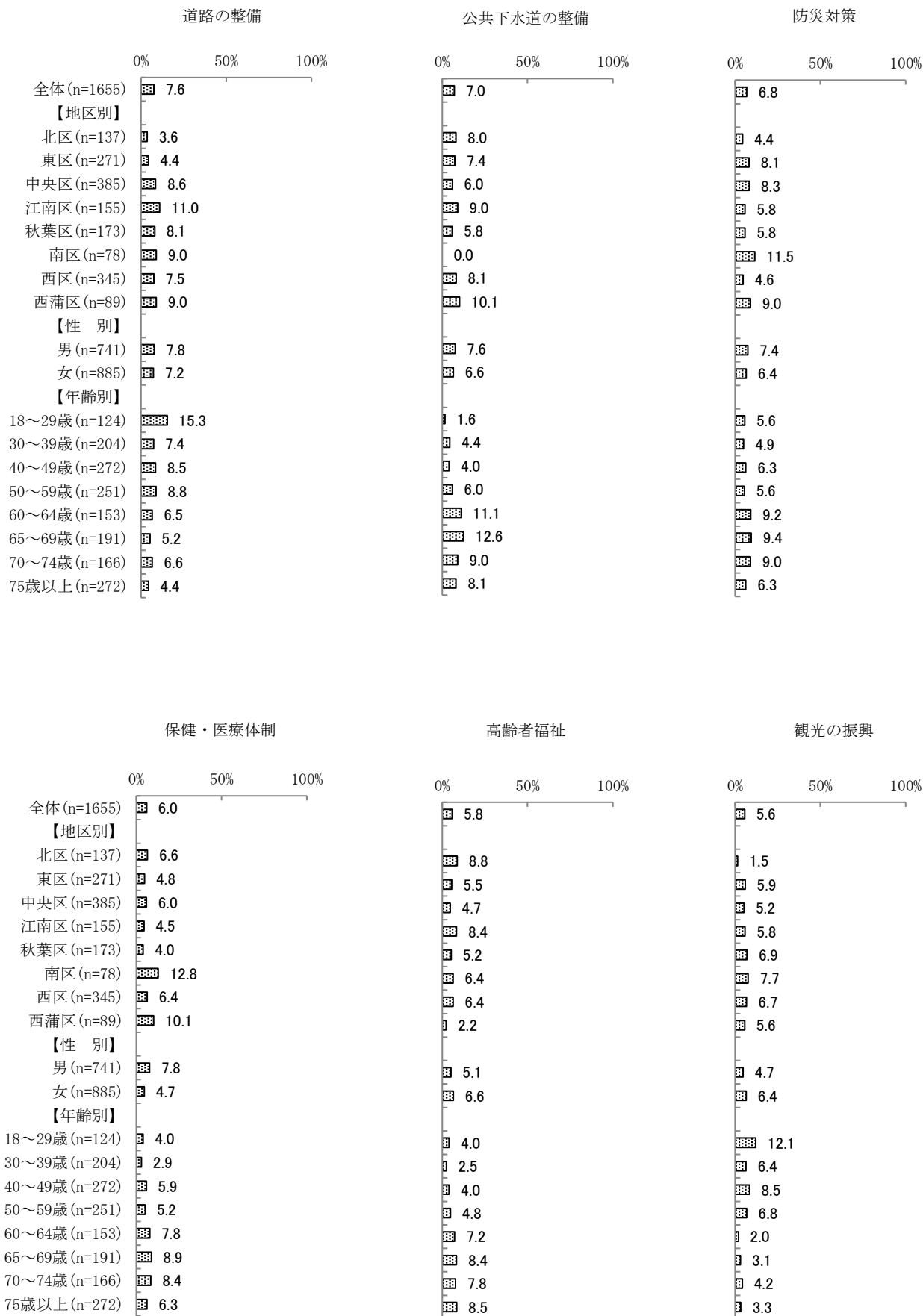




図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

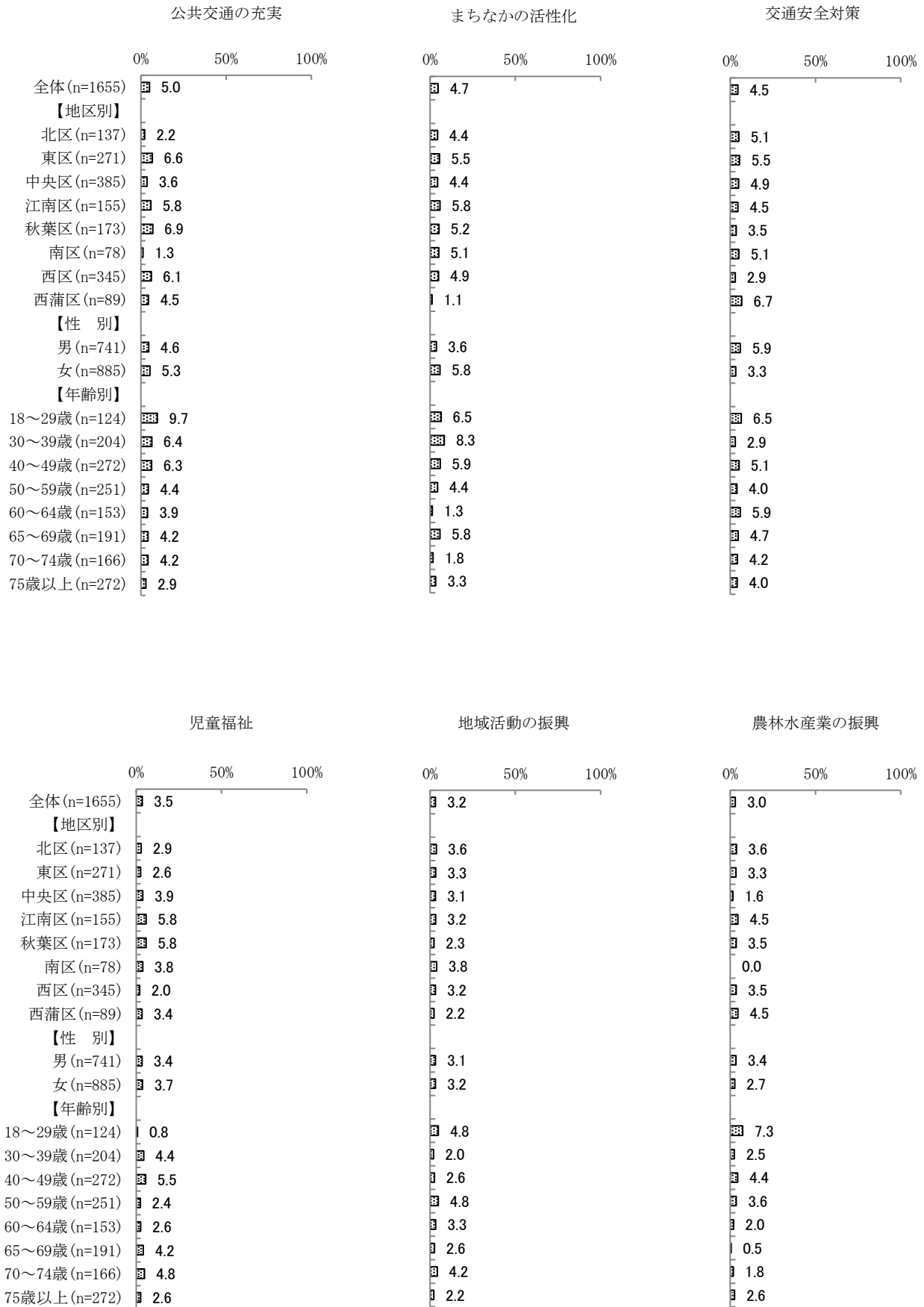


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

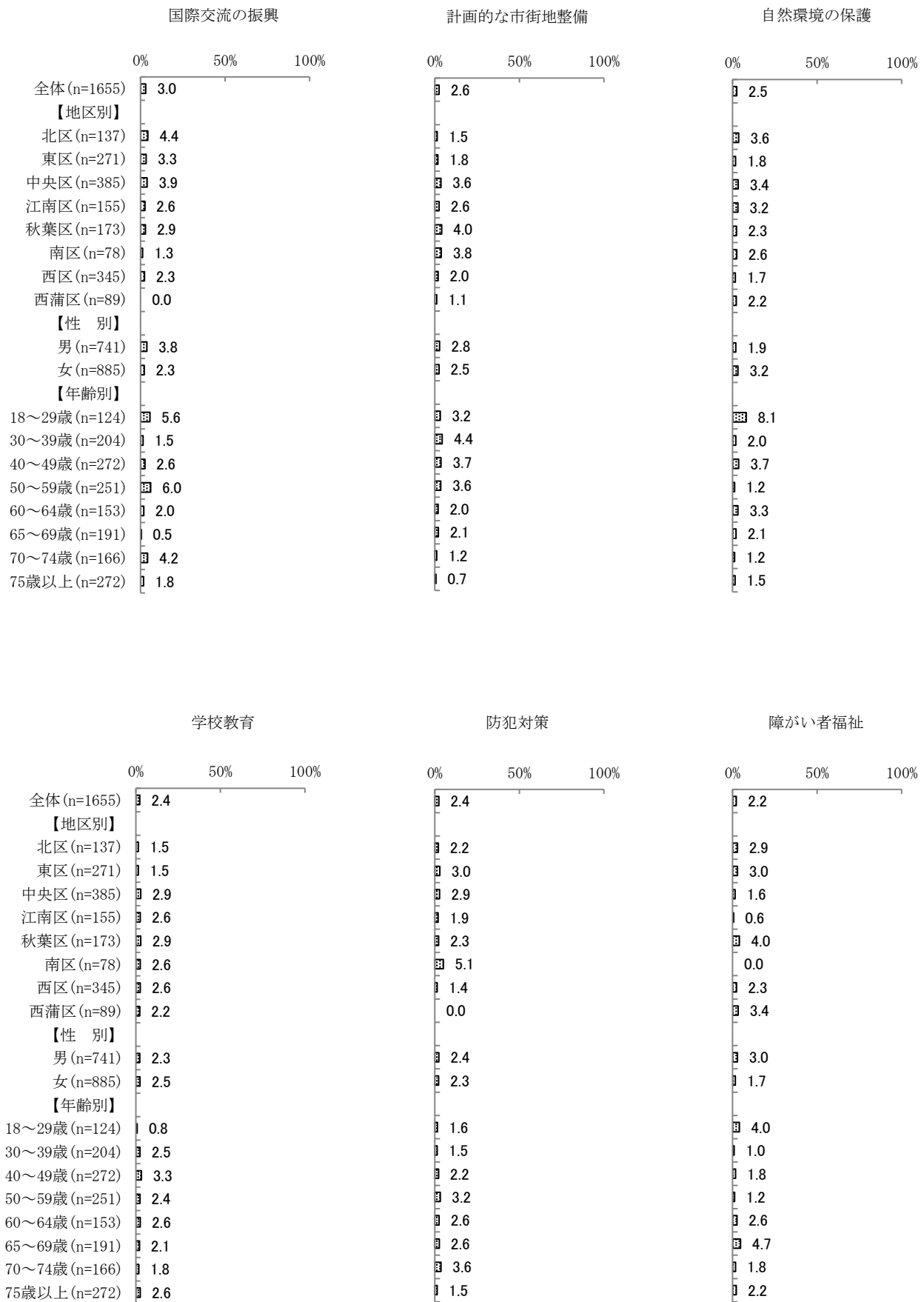


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

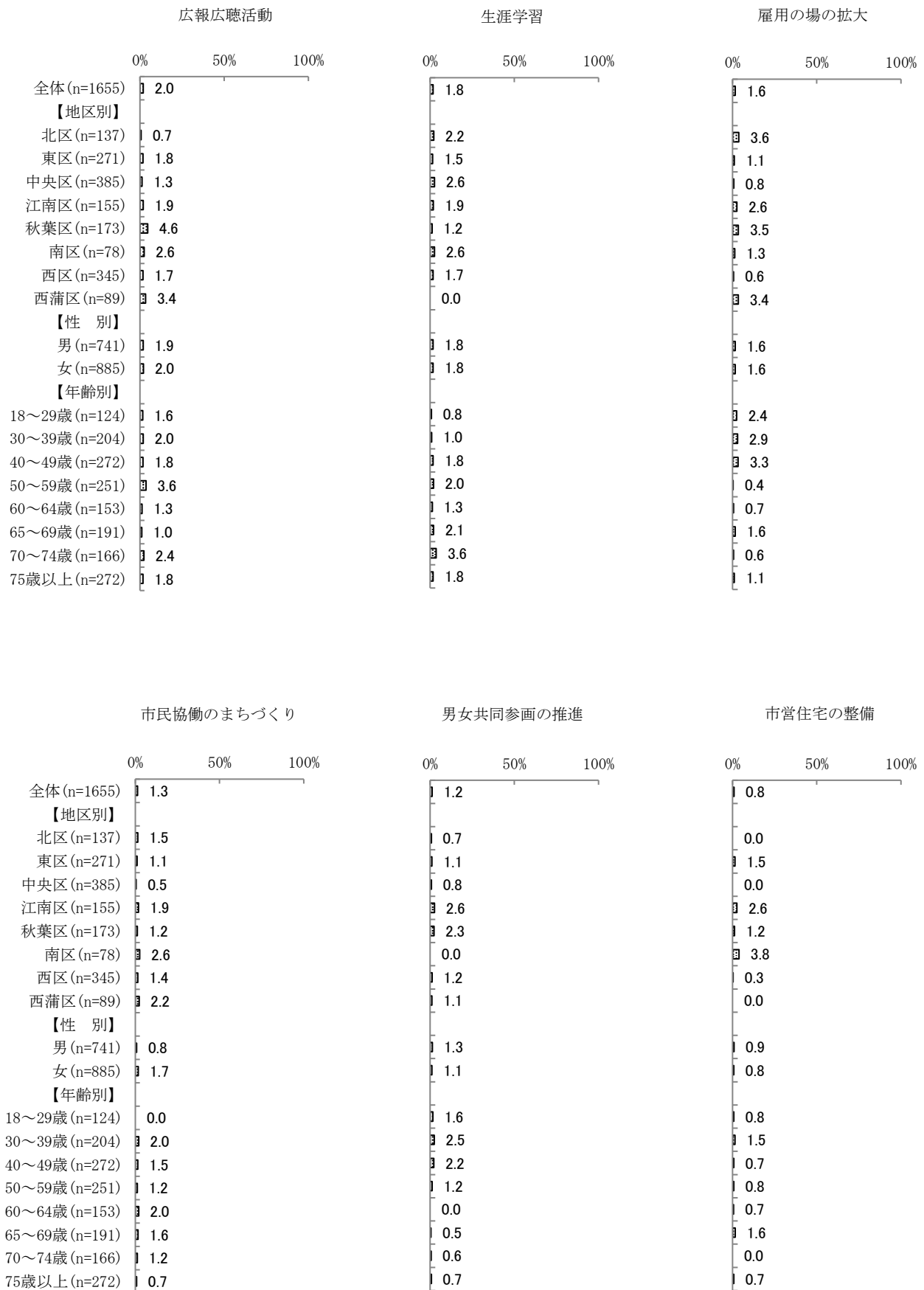
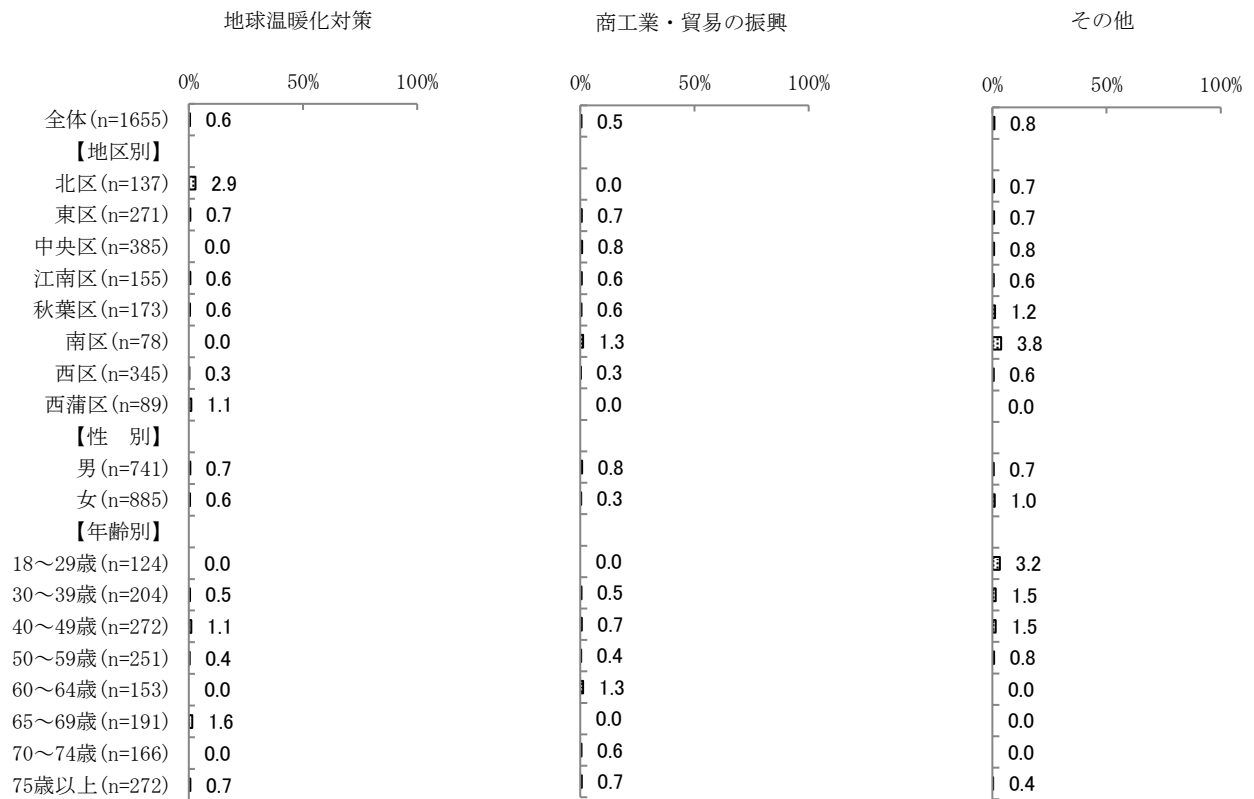
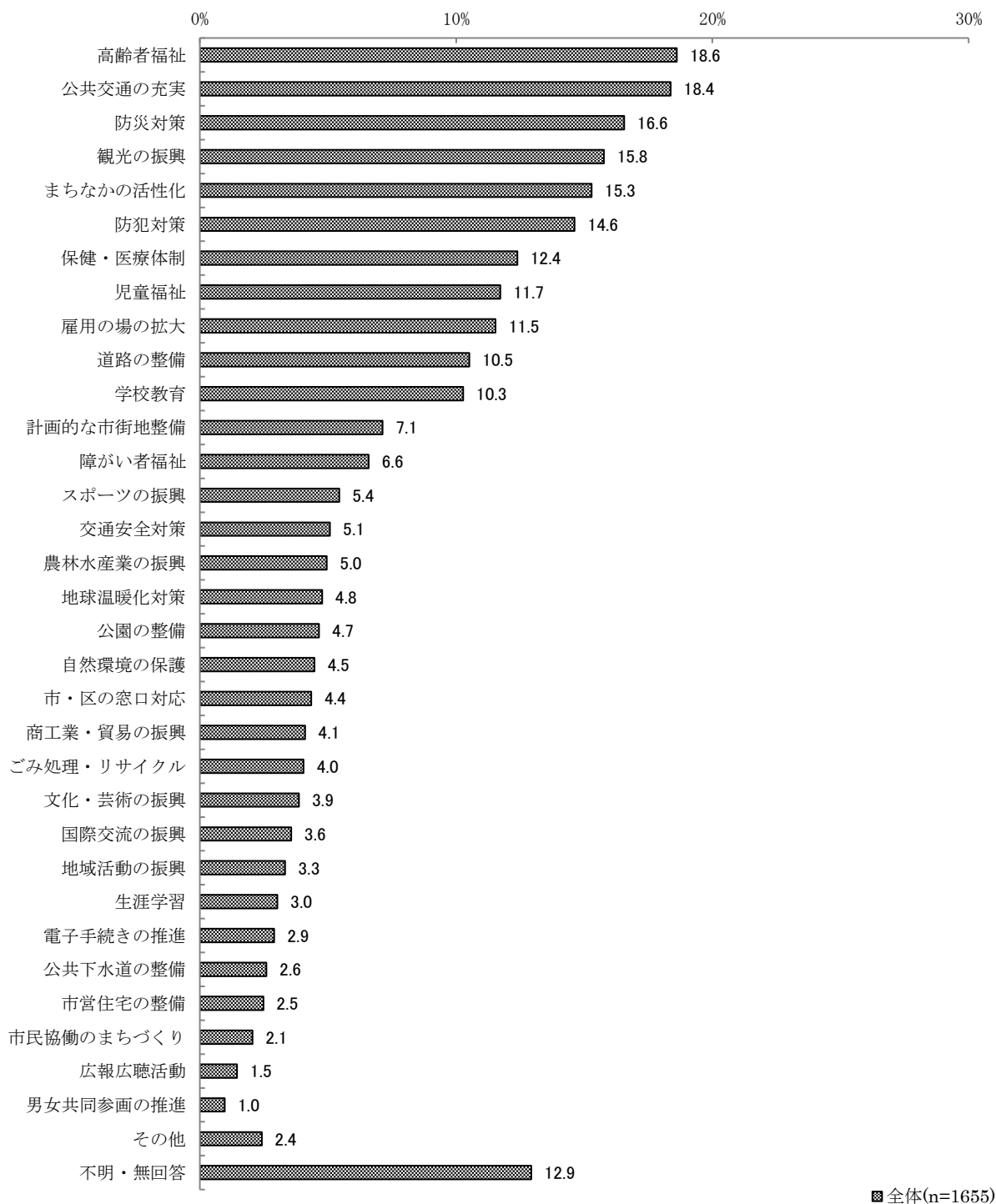


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



## (2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

問23 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
 ②「新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



## — 約2割が「高齢者福祉」「公共交通の充実」を要望 —

### 【全体結果】

新潟市として今後もっと力を入れてほしいものは、「高齢者福祉」(18.6%)、「公共交通の充実」(18.4%)の順で割合が高く、約2割という結果となった。以下、「防災対策」(16.6%)、「観光の振興」(15.8%)、「まちなかの活性化」(15.3%)の順に続く。

### 【属性別結果】(図5-2参照)

#### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「高齢者福祉」は、南区(25.6%)の割合が最も高く、約4人に1人の割合となった。東区、中央区、江南区では、「公共交通の充実」(各21.4%、22.3%、16.1%)と答えた割合が最も高い。北区では、「防犯対策」(22.6%)と答えた割合が最も高く、他の地区と比べて割合が高い。西蒲区では、「農林水産業の振興」(10.1%)が約1割となり、他の地区と比べて割合が高い。

#### ②性別

「保健・医療体制」「児童福祉」は、男性(各9.9%、9.2%)と比べて女性(各14.7%、14.1%)で割合が高い。

#### ③年齢別

「高齢者福祉」は、概ね高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。「公共交通の充実」は、40代(21.0%)、50代(23.5%)で2割を超えた。18歳~29歳で「観光の振興」(21.0%)、「まちなかの活性化」(20.2%)と回答した割合が高く、2割を超えた。「観光の振興」は、概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。30代で「児童福祉」(23.0%)と答えた割合が最も高い。「学校教育」では、30代(15.7%)、40代(18.0%)の割合が他の年齢と比べて高い。

図 5-2 新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

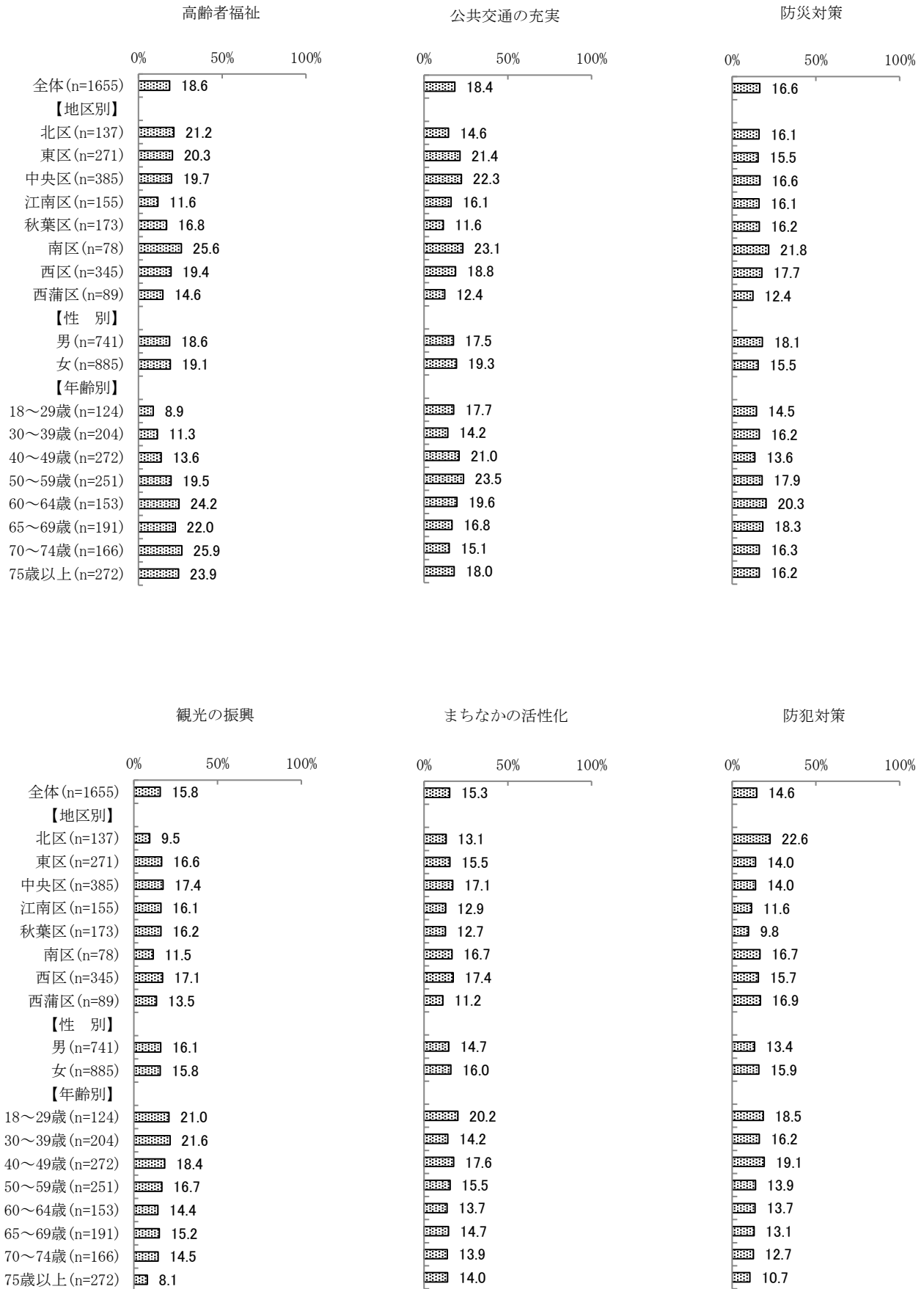


図 5-2 新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

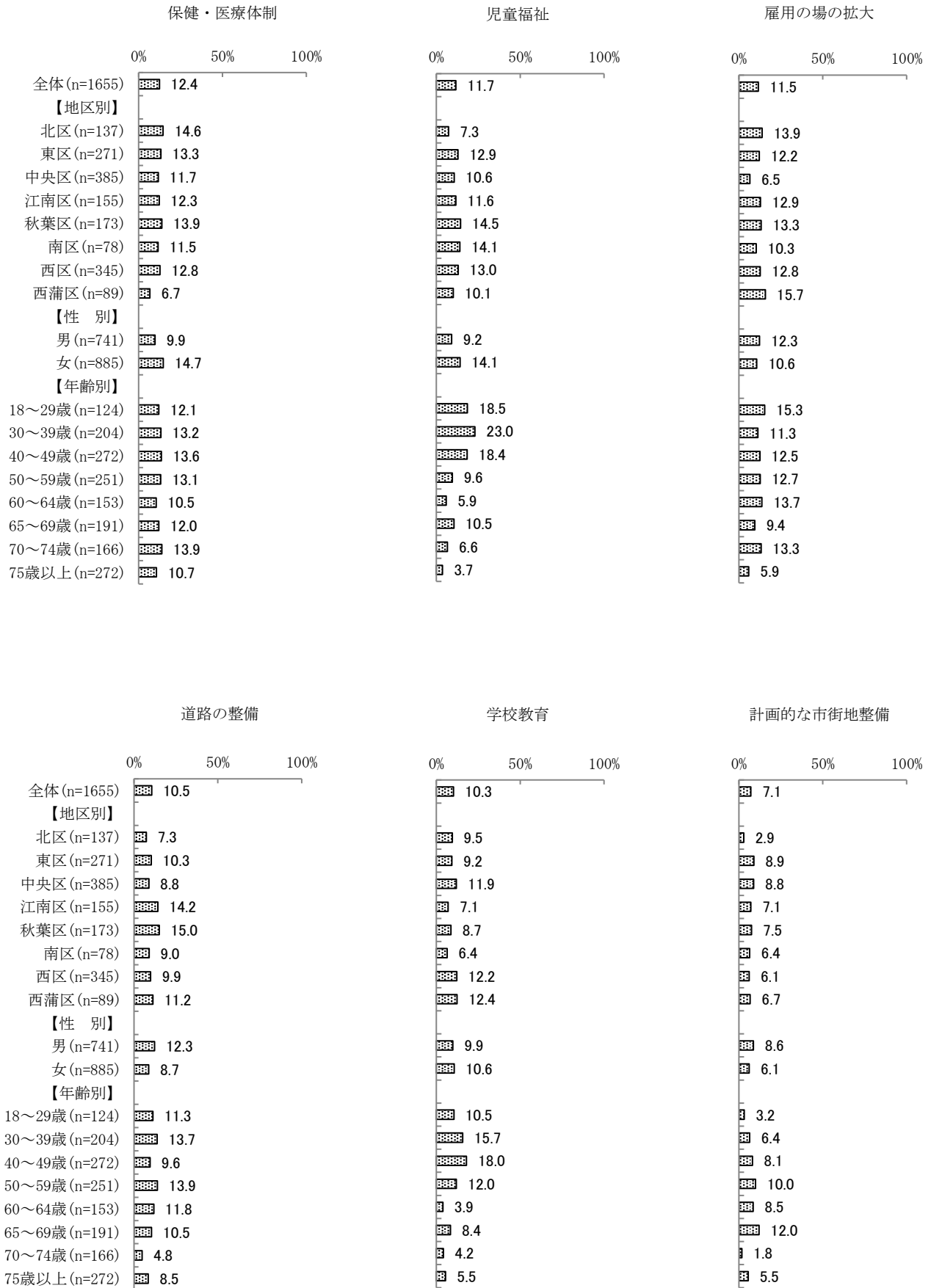




図 5-2 新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

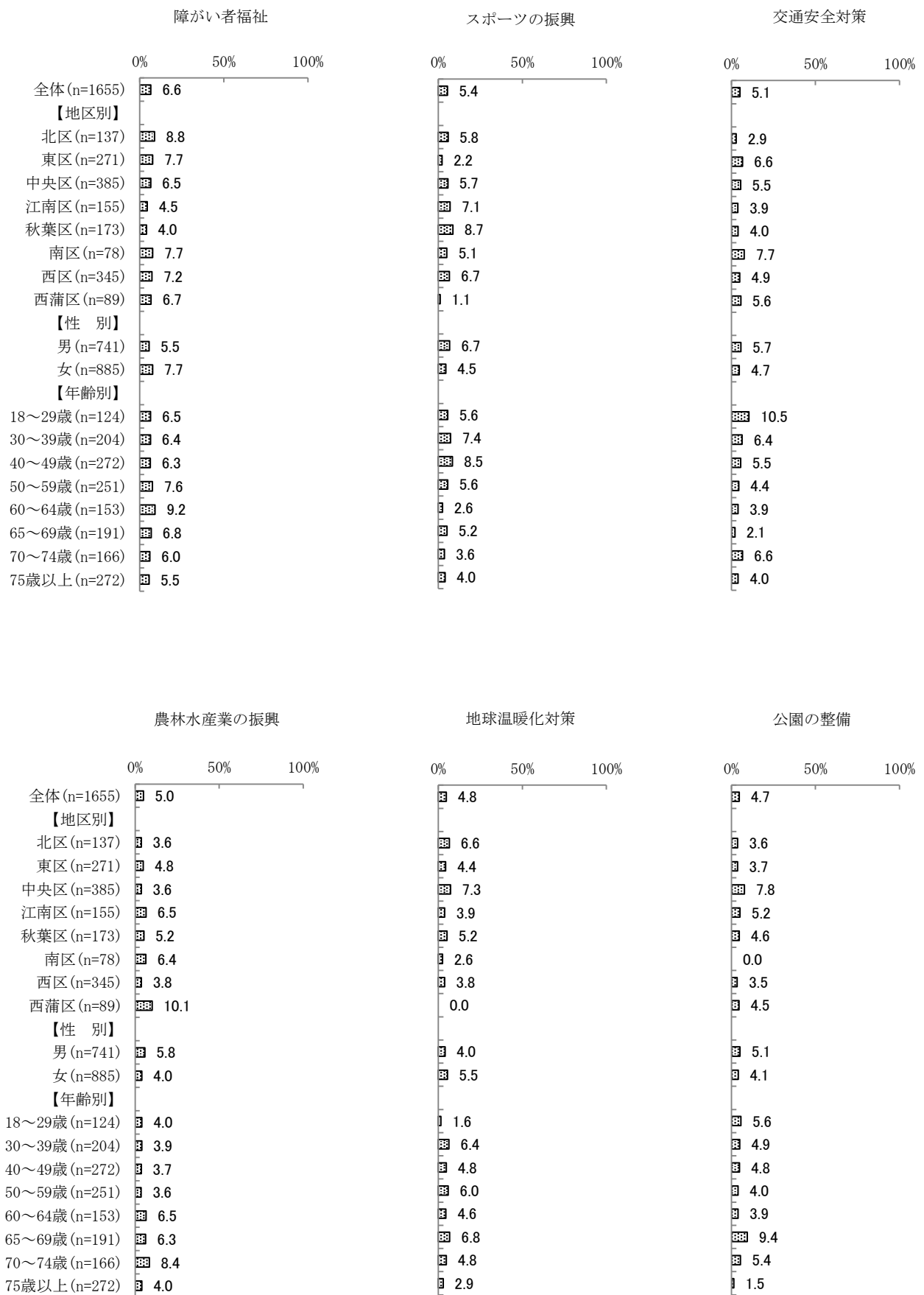


図 5-2 新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

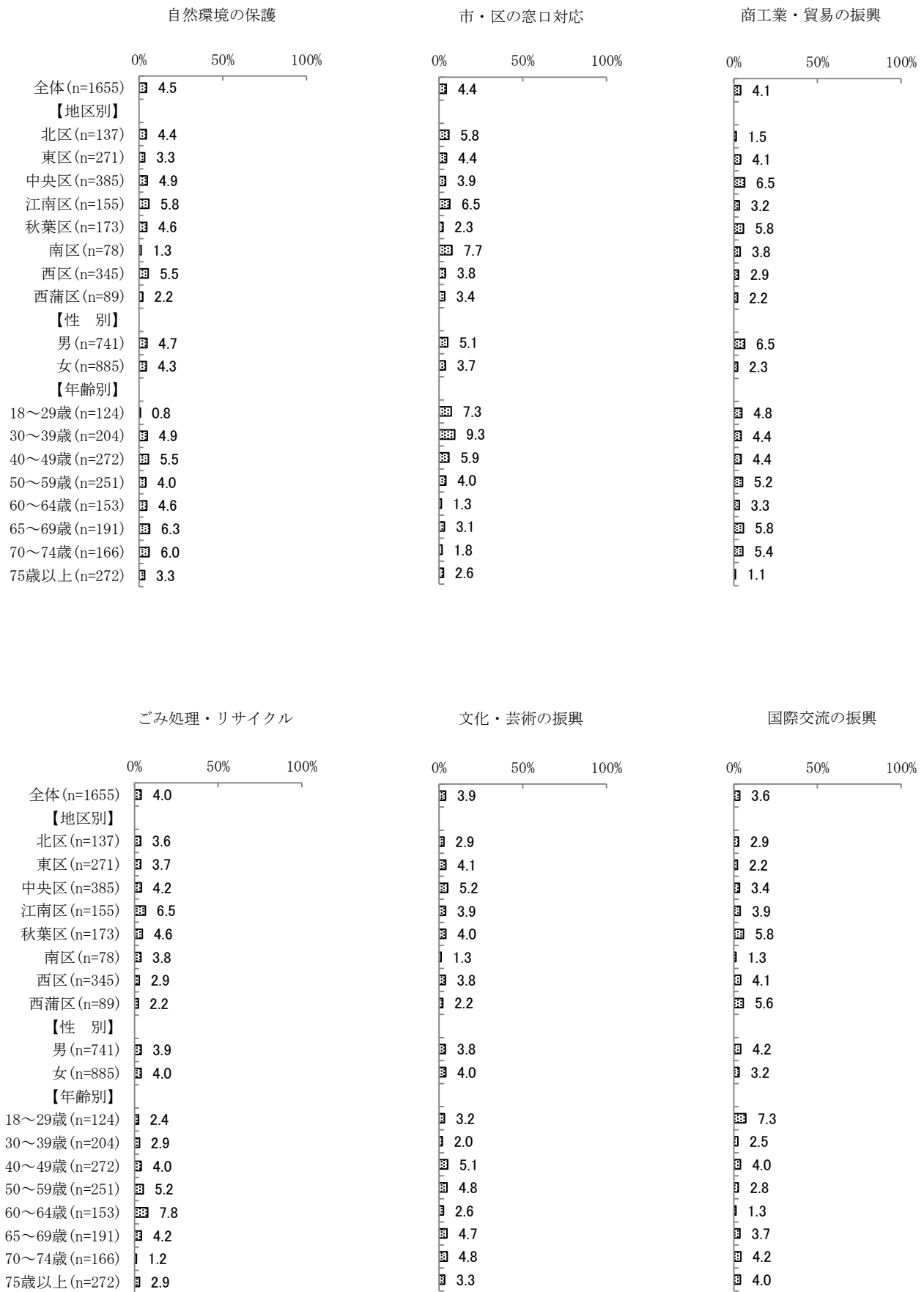


図 5-2 新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

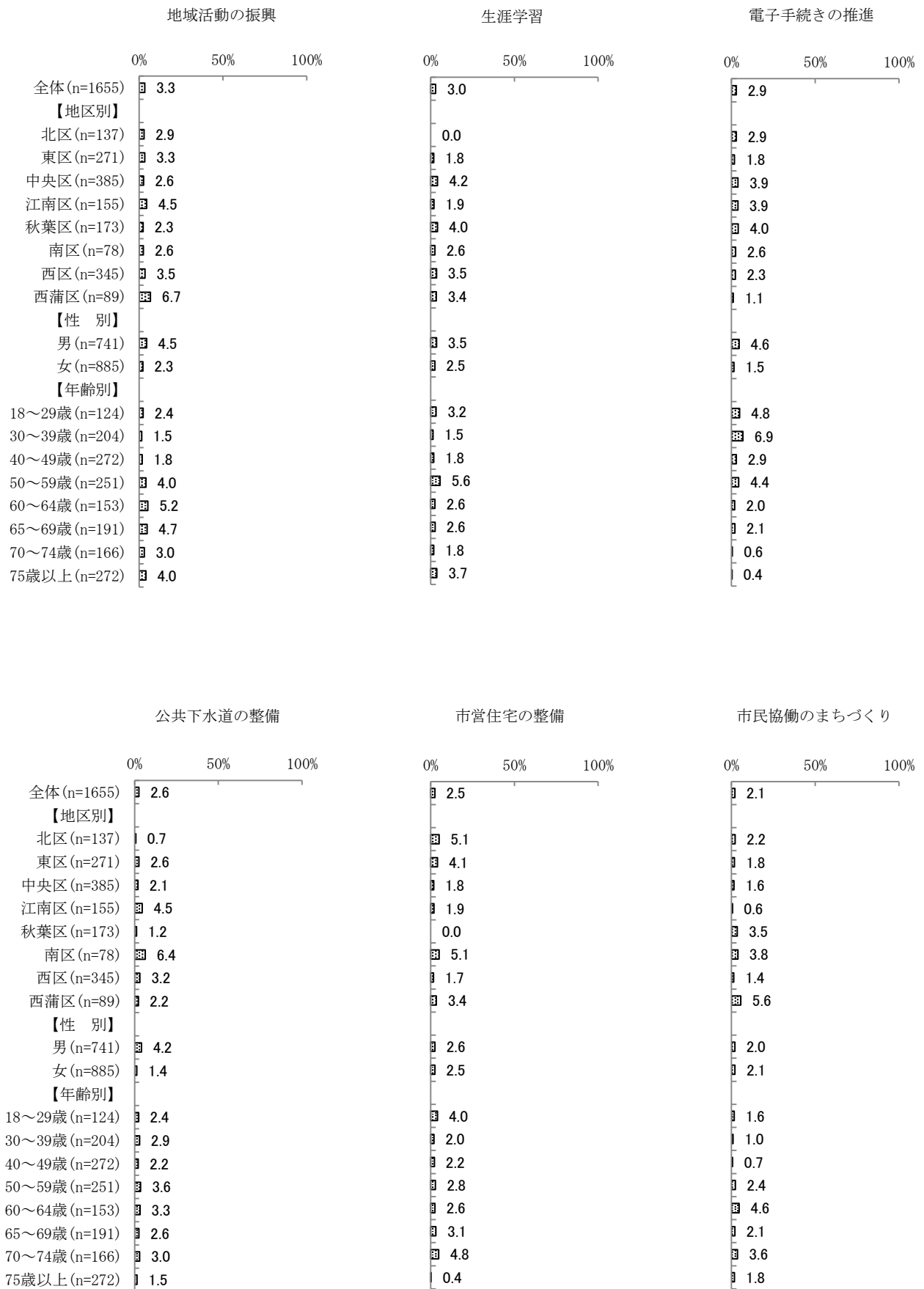
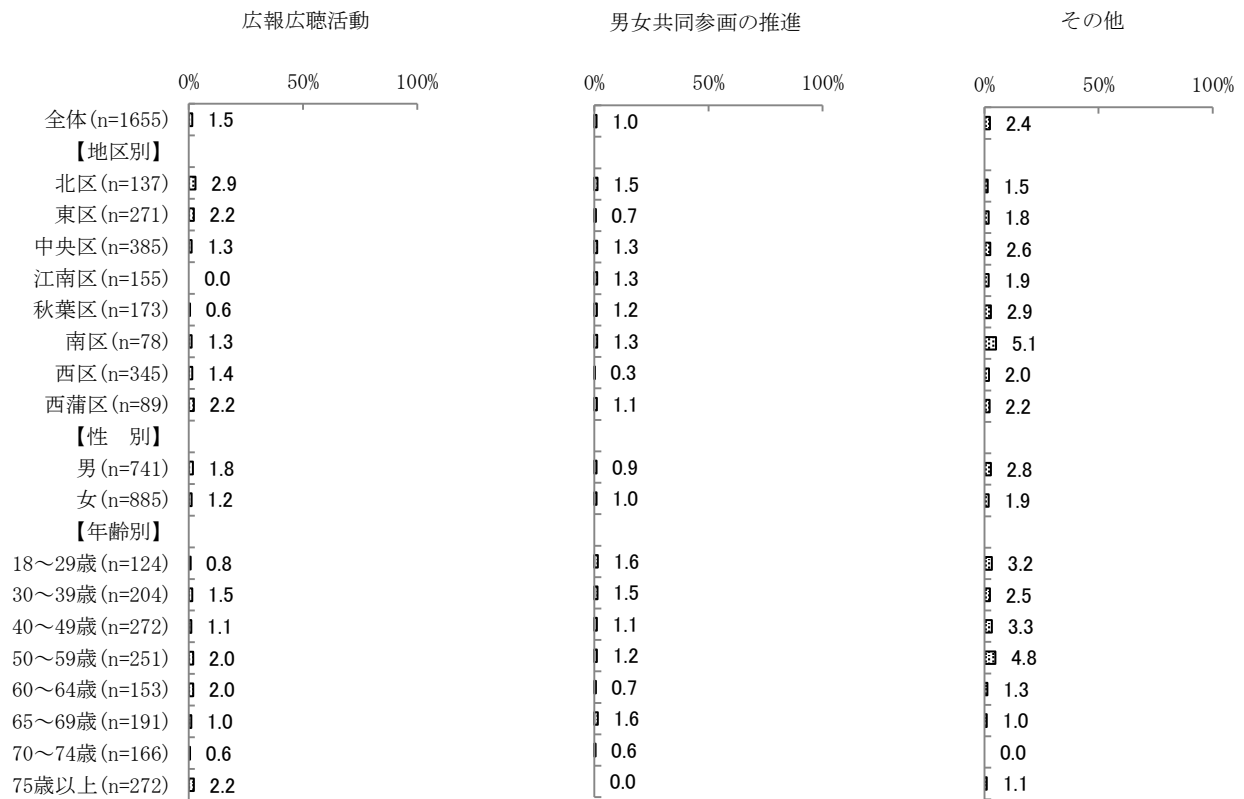
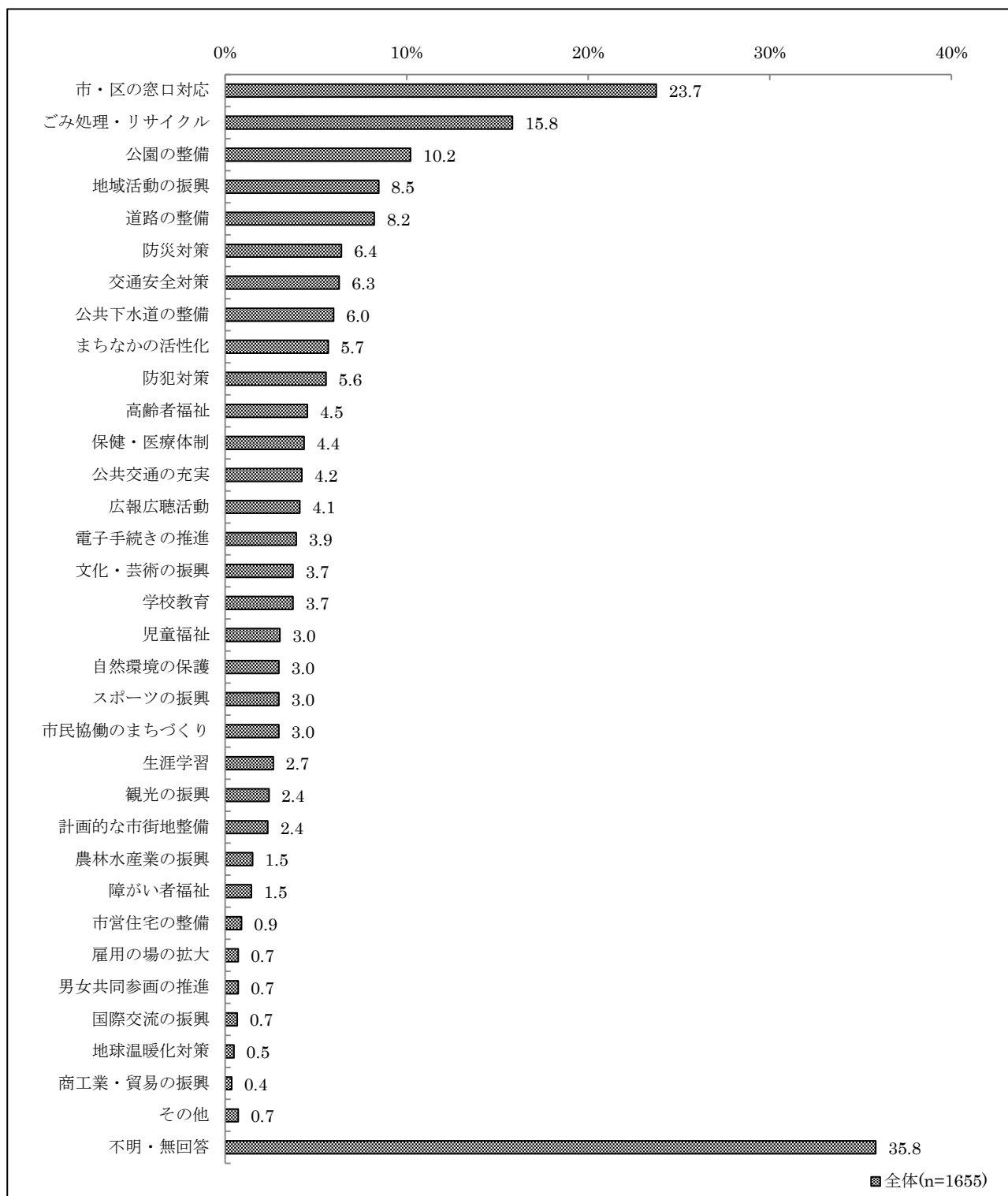


図 5-2 新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



### (3) 区として良くなっているもの

問23 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
 ③「区として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄  
 に番号(1~33)をご記入ください。



## — 2割強が「市・区の窓口対応」を評価 —

### 【全体結果】

区として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(23.7%)の割合が最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」(15.8%)、「公園の整備」(10.2%)の順に続く。

### 【属性別結果】(図5-3参照)

#### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「市・区の窓口対応」は、西区(28.1%)の割合が最も高く、西蒲区を除いた全ての区で2割を超えている。「ごみ処理・リサイクル」は、南区(23.1%)で2割を超え、他の地区と比べて割合が高い。「文化・芸術の振興」では、秋葉区(12.7%)の割合が1割を超え、他の地区と比べて割合が高い。

#### ②性別

「市・区の窓口対応」、「公園の整備」、「道路の整備」は、女性(各22.3%、8.8%、6.6%)と比べて男性(各26.0%、12.1%、10.3%)で割合がやや高い。

#### ③年齢別

すべての年齢で「市・区の窓口対応」と回答した割合が最も高い。65～69歳(31.9%)では3割を超えた。「ごみ処理・リサイクル」は、65～69歳(19.9%)、70～74歳(19.3%)では2割弱で、他の年齢と比べて割合がやや高い。59歳以下の年齢で「道路の整備」と回答した割合が1割を超え、60歳以上と比べて割合が高い。65歳～69歳では、「公共下水道の整備」(12.0%)が、他の年齢に比べ割合が高い。

図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

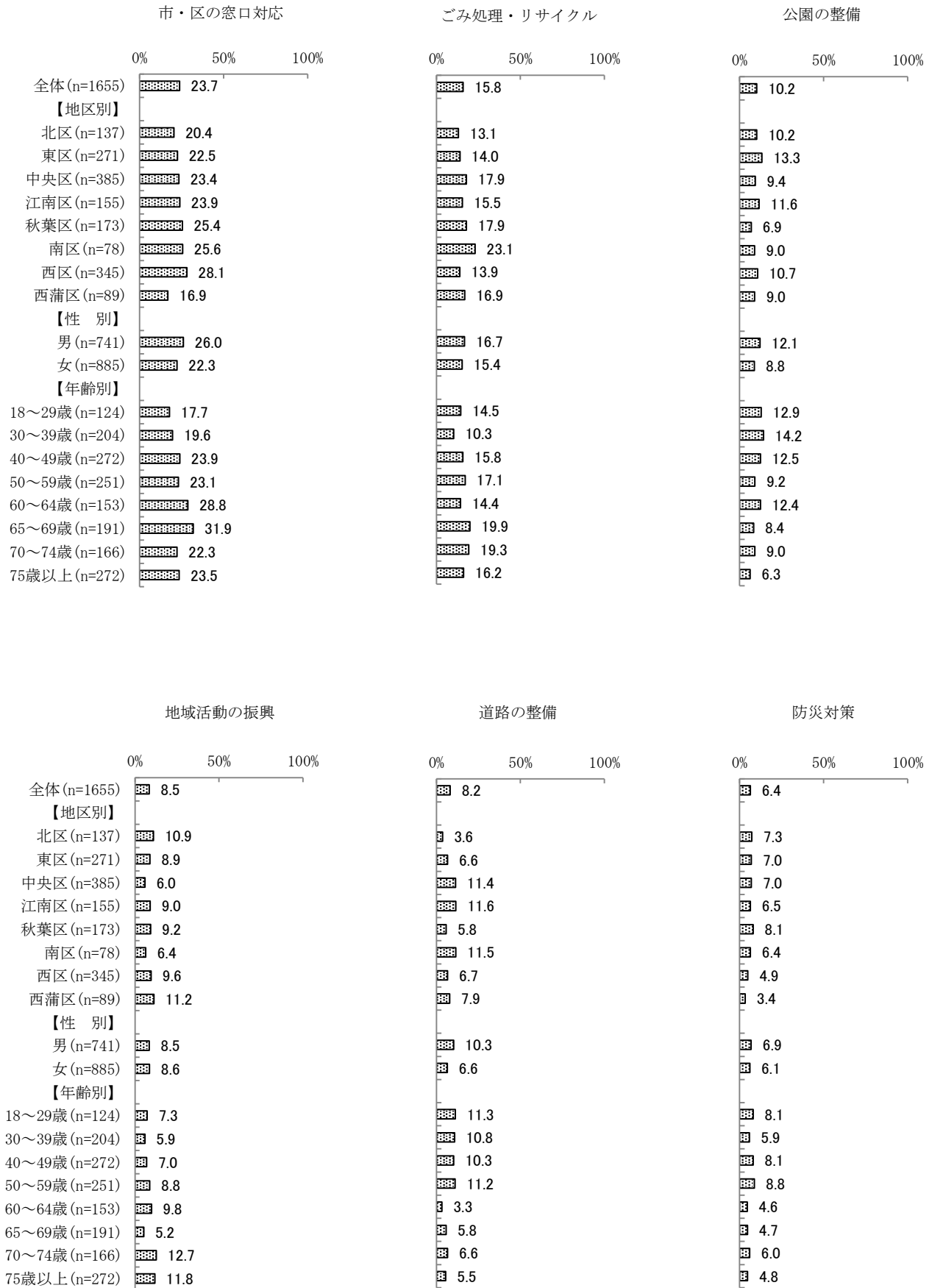


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

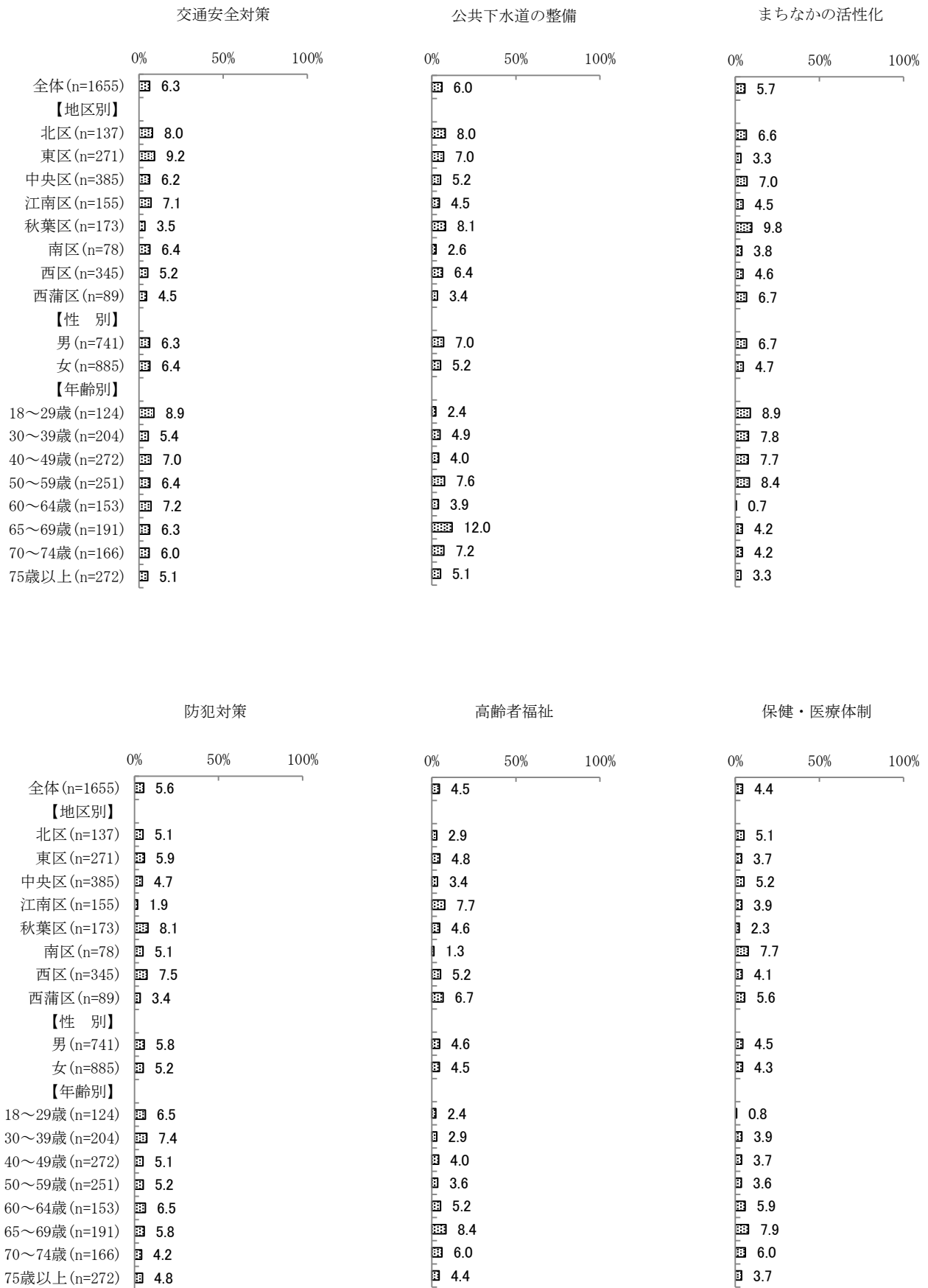




図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

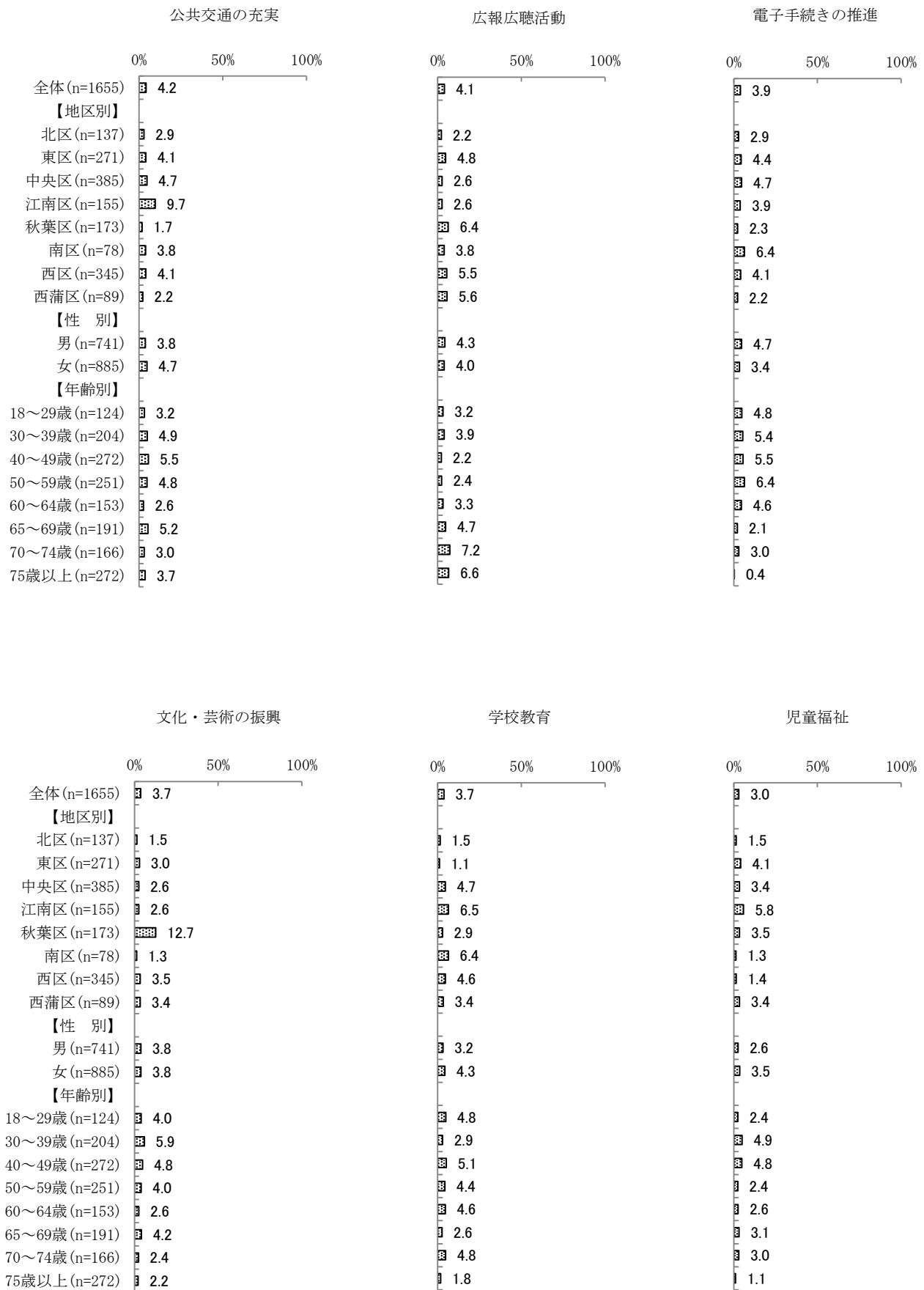


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

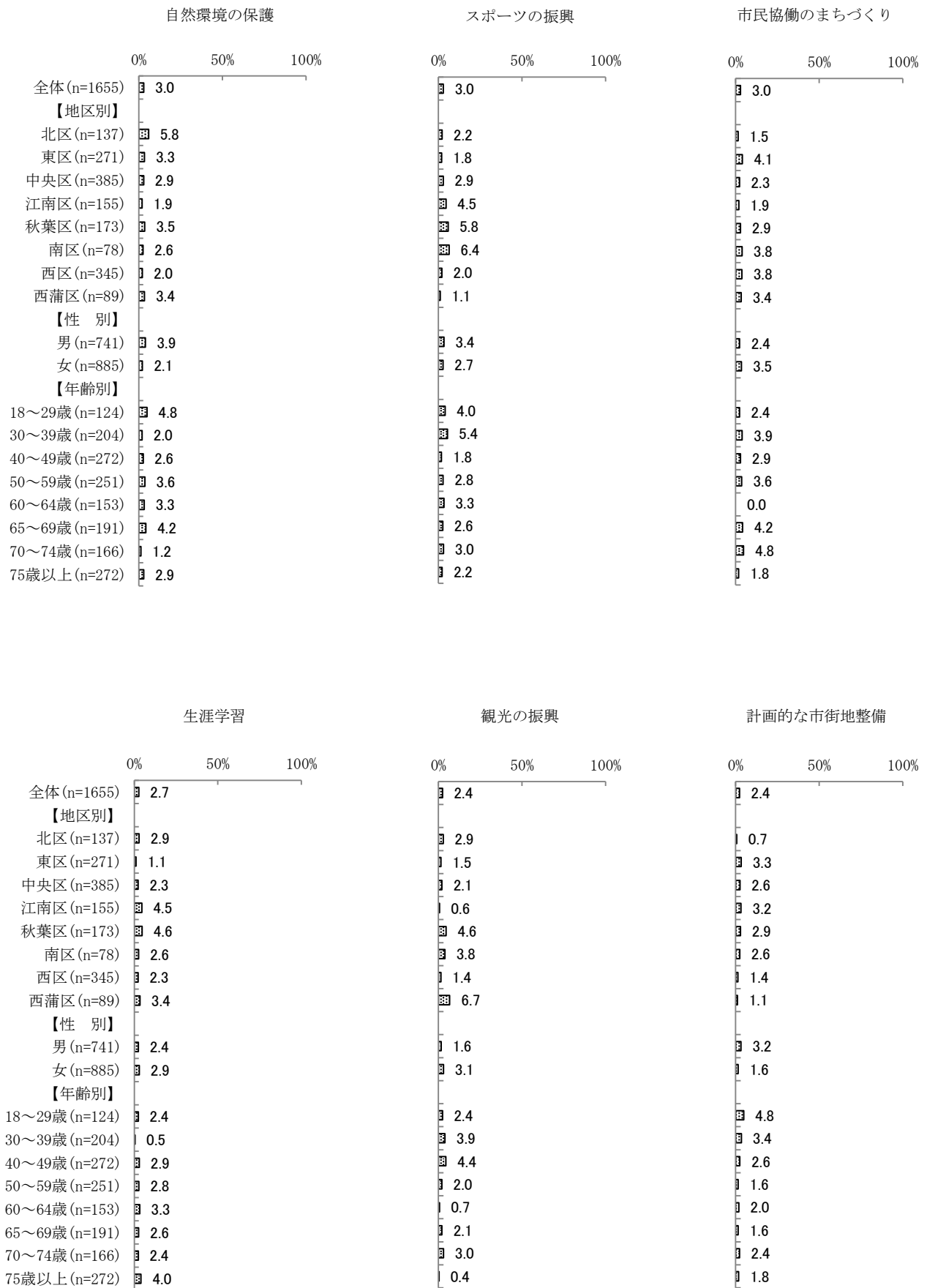


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

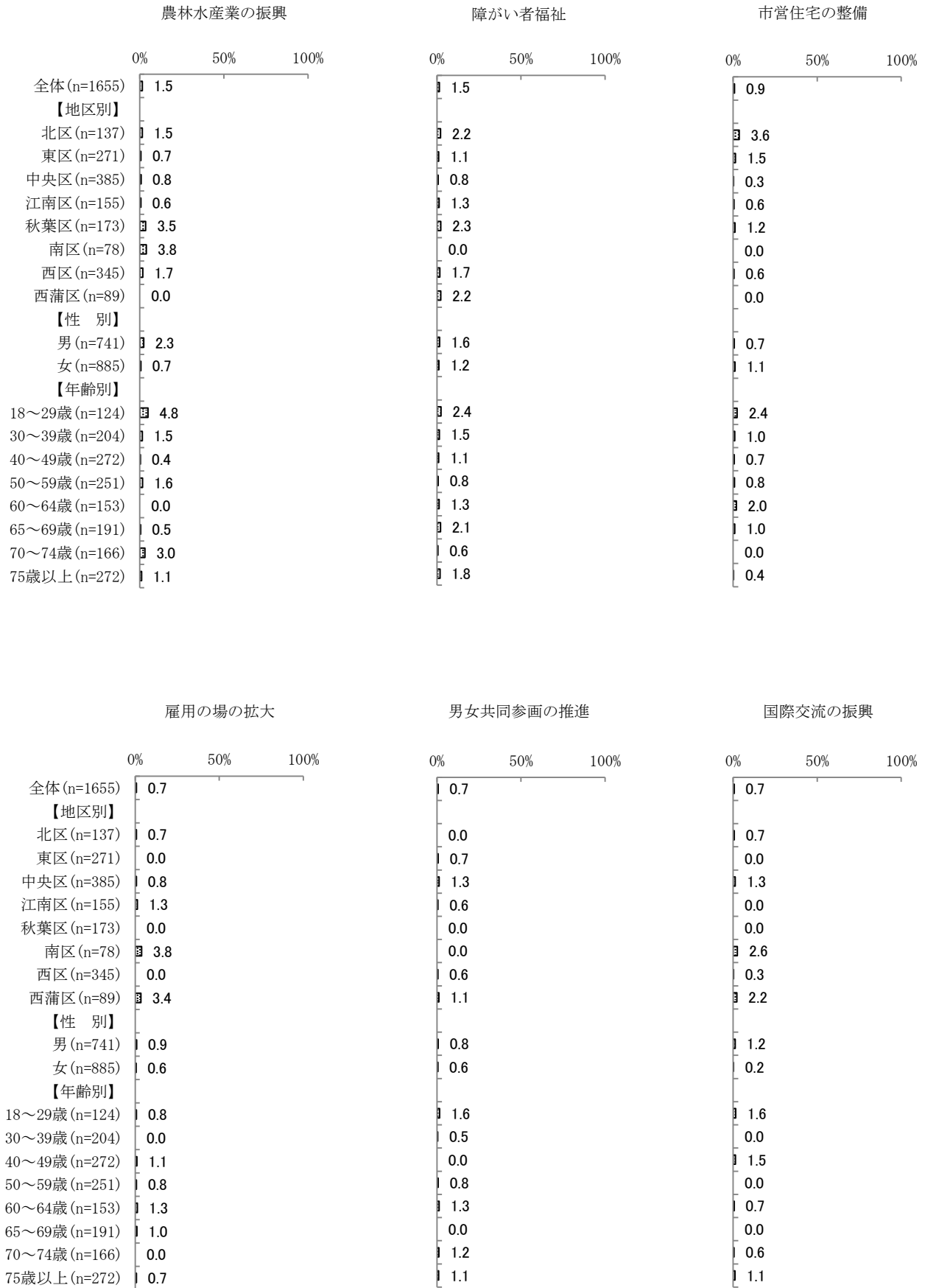
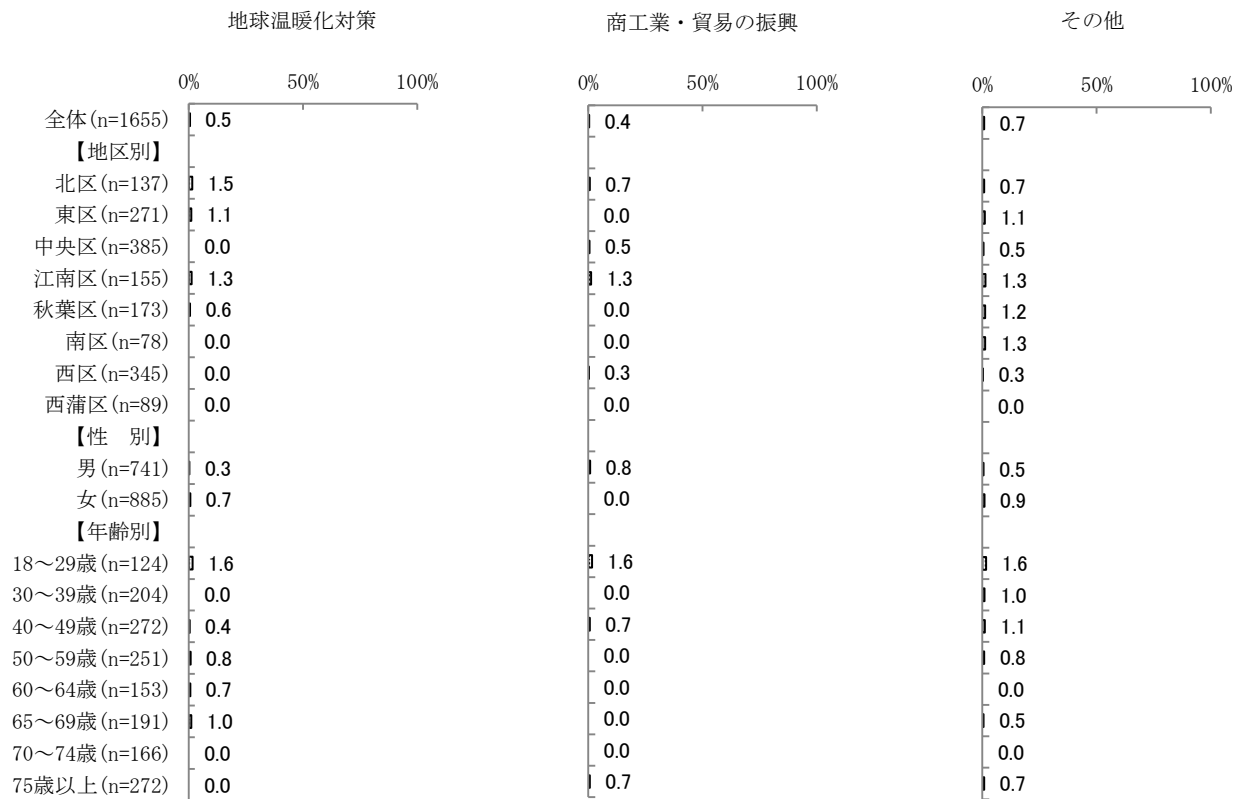
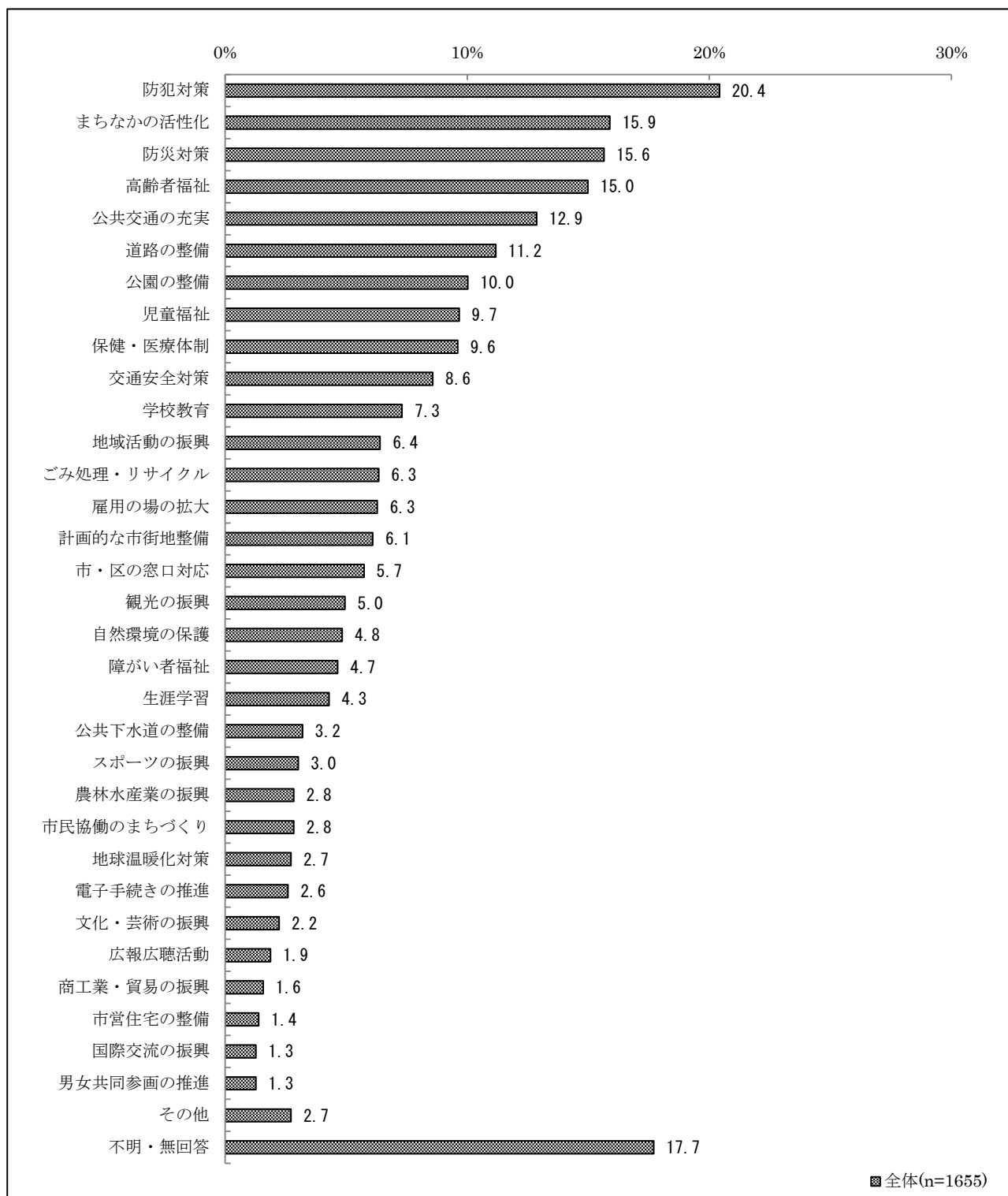


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



#### (4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの

問23 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
 ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



## — 「防犯対策」が約2割でトップ —

### 【全体結果】

区として今後もっと力を入れてほしいものは、「防犯対策」(20.4%)の割合が最も高い。以下、「まちなかの活性化」(15.9%)、「防災対策」(15.6%)、「高齢者福祉」(15.0%)、「公共交通の充実」(12.9%)、「道路の整備」(11.2%)、「公園の整備」(10.0%)の順で続く。

### 【属性別結果】(図5-4参照)

#### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「防犯対策」は、西区(27.8%)では3割弱で、他の地区と比べて割合が高い結果となった。北区(16.8%)、東区(22.1%)でも最も割合が高い項目となっている。中央区と西蒲区では、「防犯対策」と共に「まちなかの活性化」(各19.7%、20.2%)と答えている。秋葉区では、「まちなかの活性化」(26.0%)、南区では、「まちなかの活性」「公共交通の充実」(各19.2%)、江南区は「公共交通の充実」(19.4%)と答えた割合が最も高く、他の地区と比べて割合が高い。

#### ②性別

性別による差は、ほとんどみられない。あえて挙げるとすると、「計画的な市街地整備」で男性(8.5%)が女性(4.3%)を上回っている。

#### ③年齢別

40代、50代、65～69歳は「防犯対策」(各30.1%、22.3%、23.0%)の割合が最も高い。特に40代では約3割を占めた。18～29歳は「まちなかの活性」(25.8%)、30代では「児童福祉」(24.5%)の割合が最も高く、他の年齢と比べて割合が高い。60～64歳、70～74歳、75歳以上は「高齢者福祉」(各22.2%、19.9%、15.4%)と回答した割合が最も高い。「公園の整備」、「学校教育」は、30代(各13.7%、15.7%)と40代(各12.1%、14.0%)で割合が1割を超え、他の年齢と比べて差がみられる。

図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

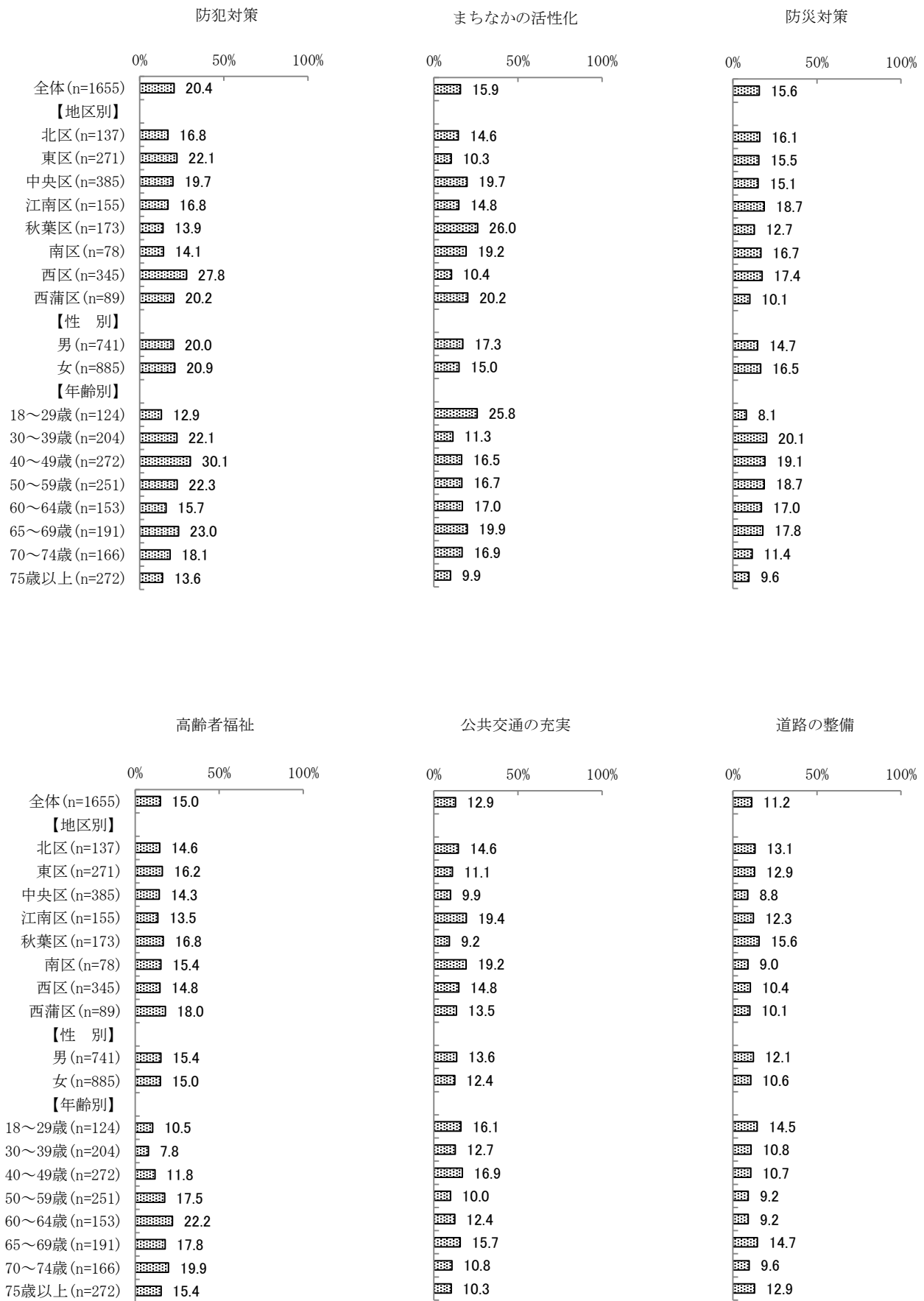


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

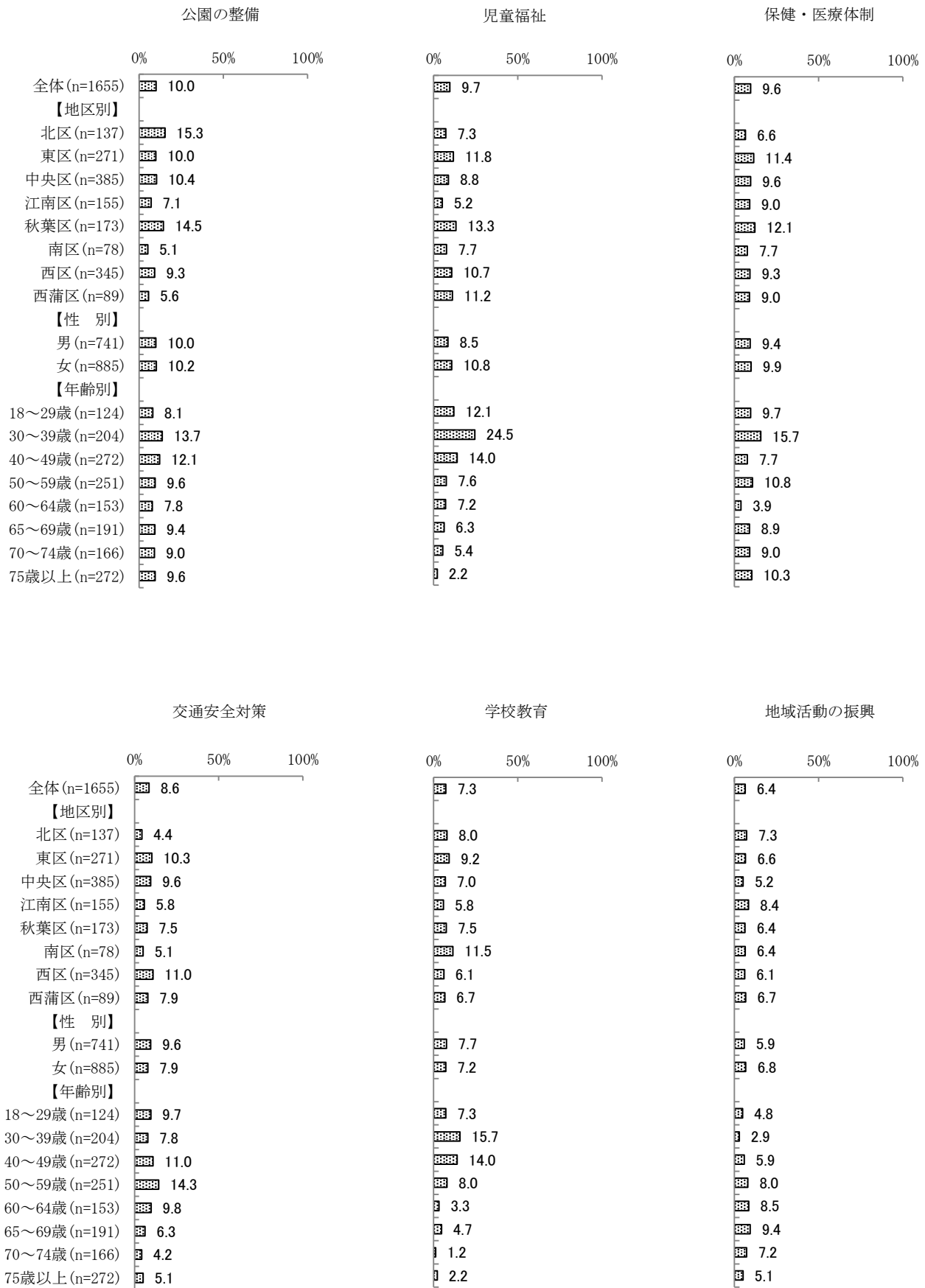




図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

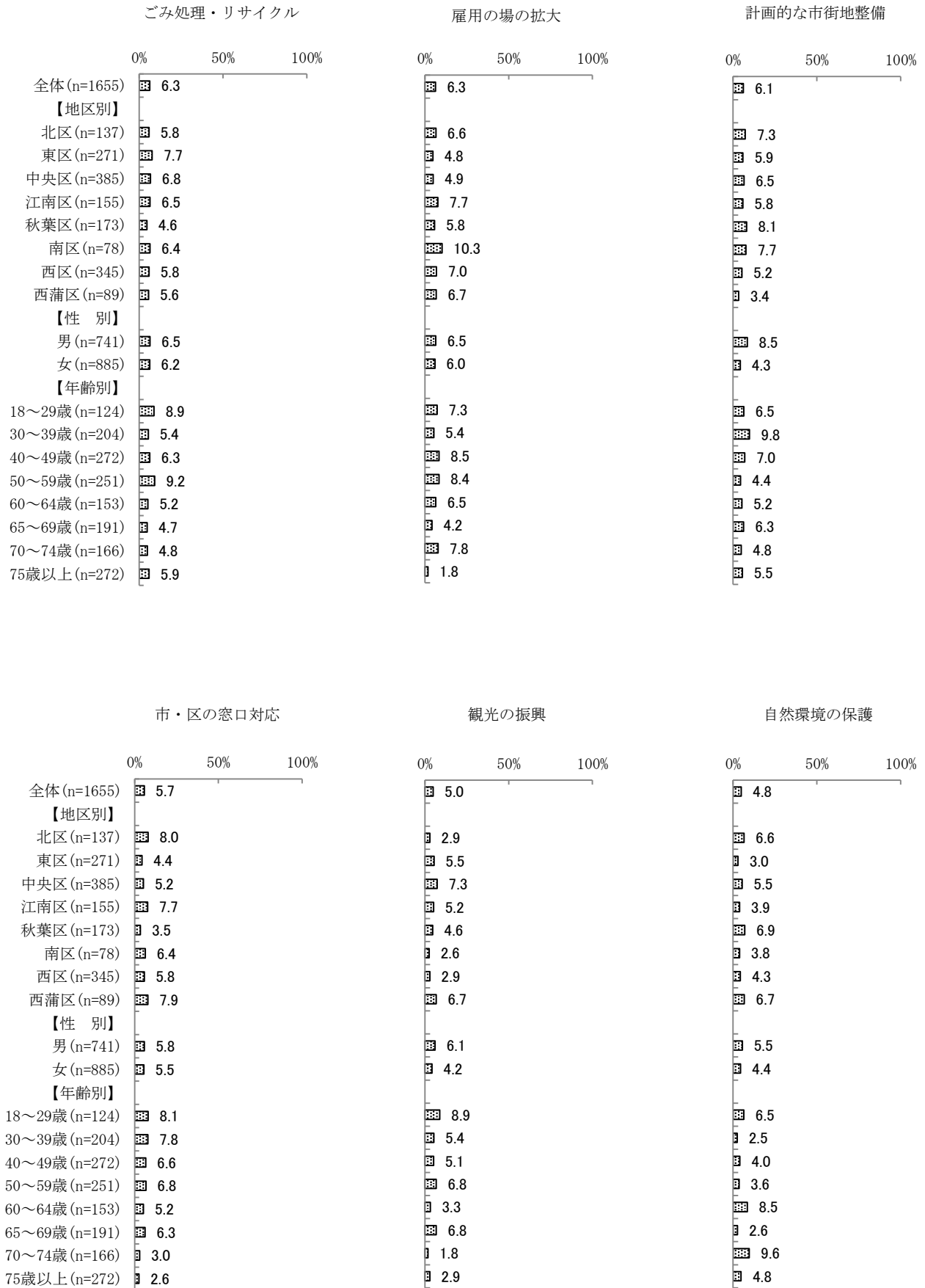


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

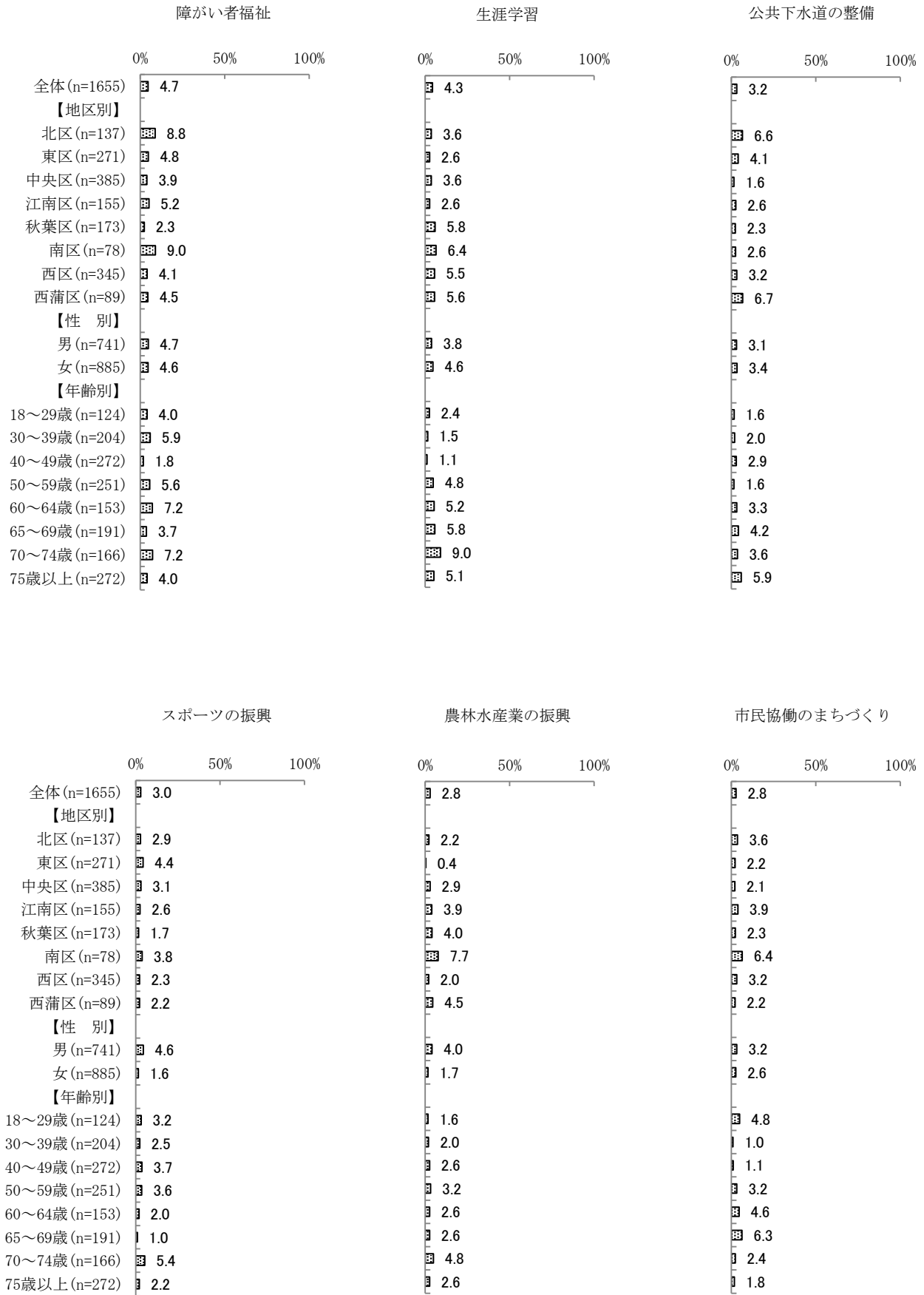


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

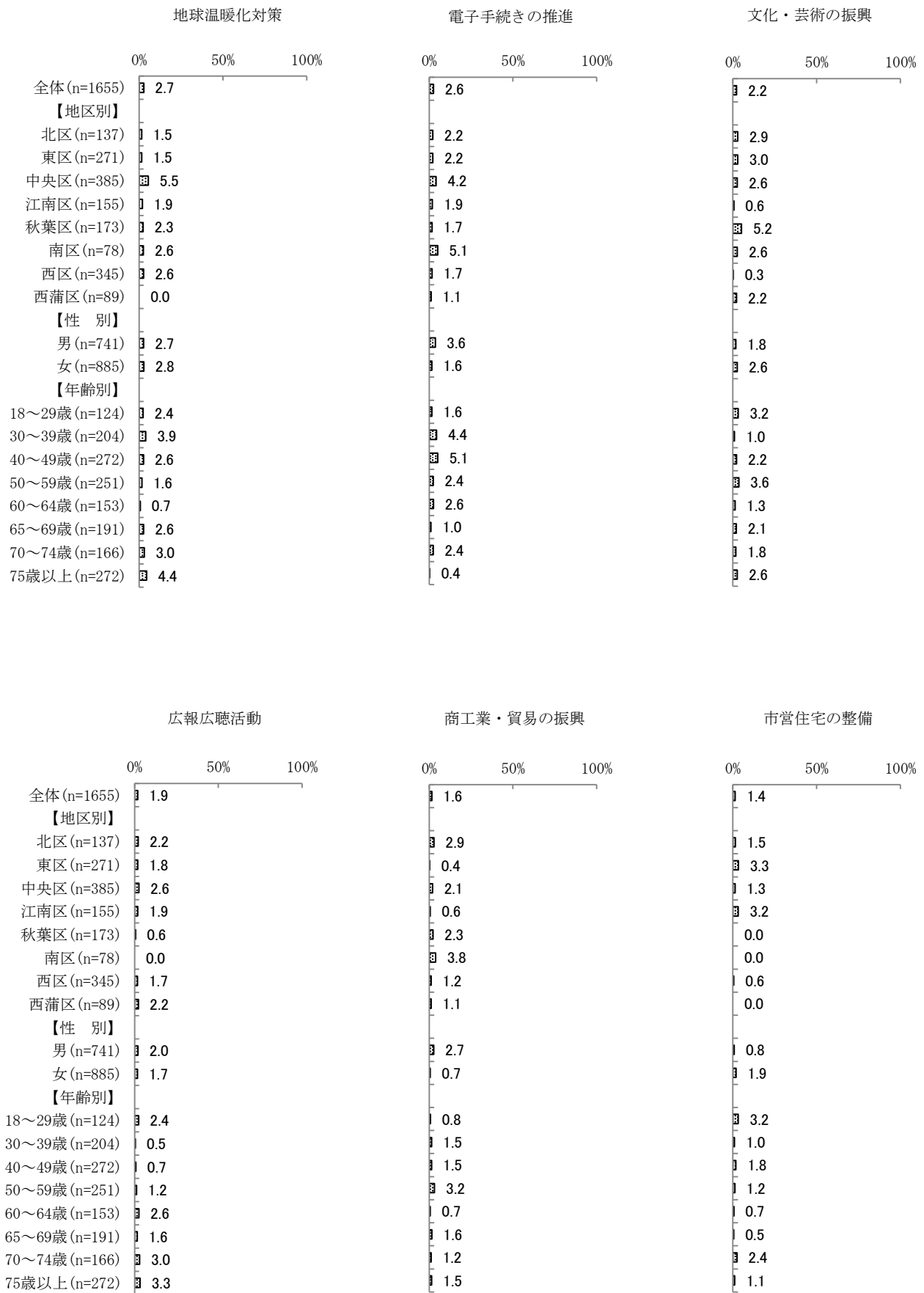
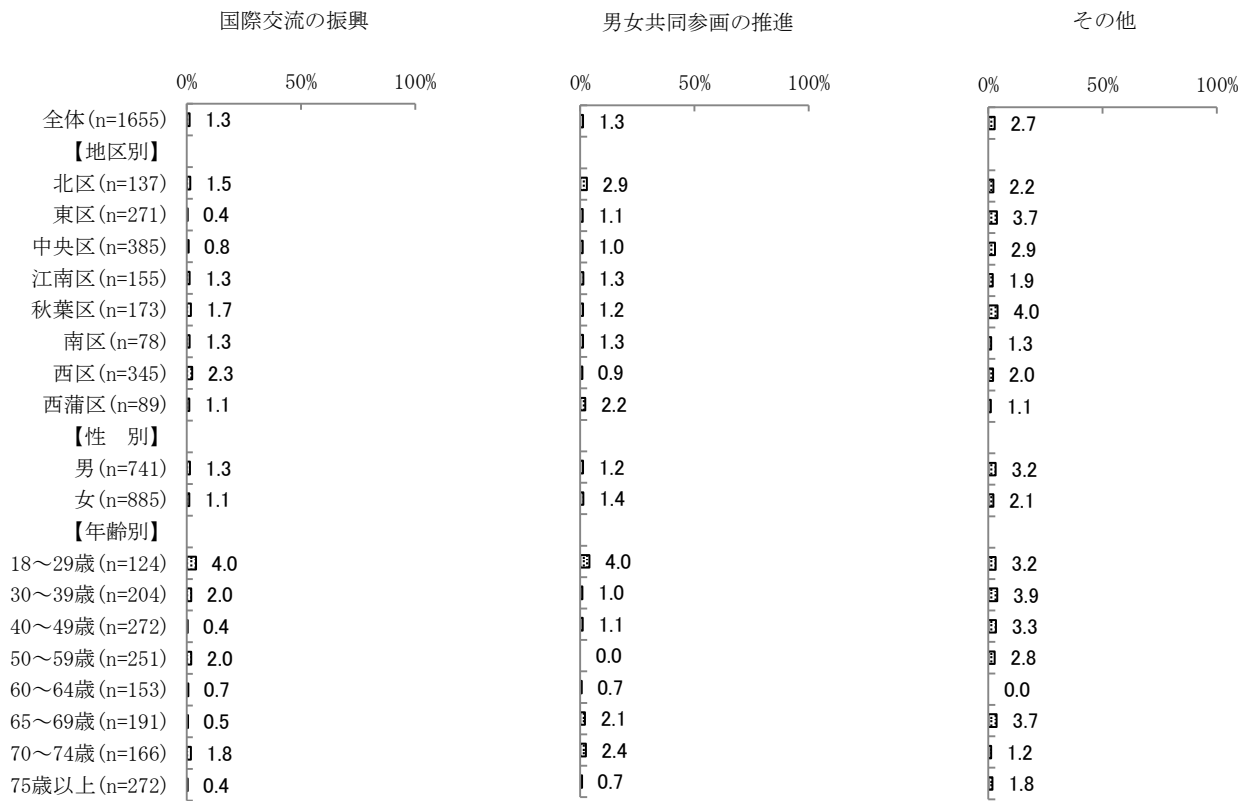


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



## 6. 市の取り組みについて

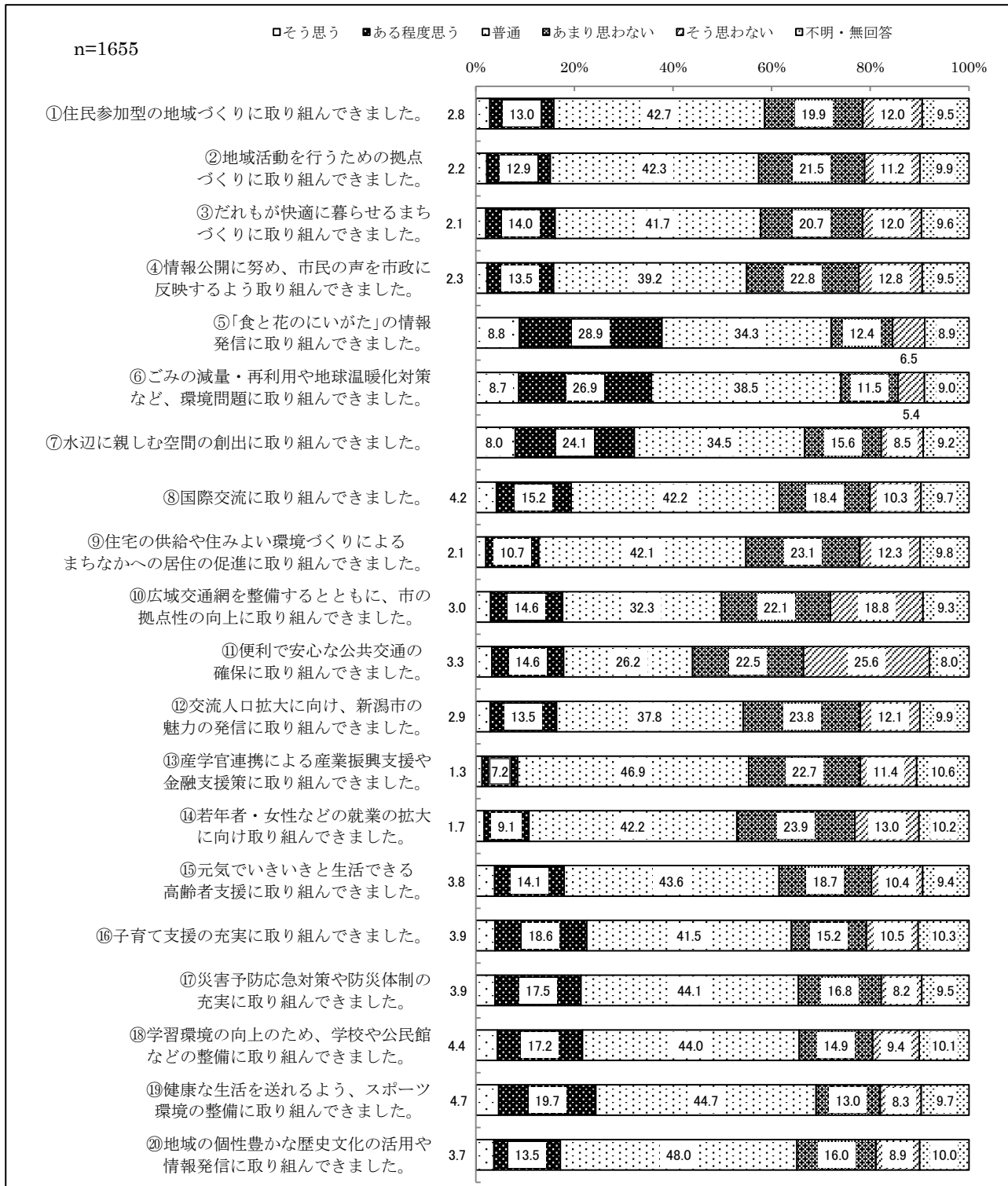
### (1) 取り組みへの感想

問 24 本市の総合計画である「にいがた未来ビジョン」に基づき進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。

また、これらの取り組みについての満足度をお聞かせください。

それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。

【取り組みへの感想】



### 【全体結果】

市の取り組み状況への評価（感想）について、「そう思う」の割合は、「⑤「食と花のいいた」の情報発信に取り組んできました。」（8.8%）で最も高い。以下、「そう思う」の割合は、「⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んできました。」（8.7%）、「⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んできました。」（8.0%）の順で高くなっている。

一方、「そう思わない」の割合は、「⑪便利で安心な公共交通の確保に取り組んできました。」（25.6%）が最も高い。以下、「⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んできました。」（18.8%）、「⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んできました。」（13.0%）、「④情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んできました。」（12.8%）、「⑨住宅の供給や住みよい環境づくりによるまちなかへの居住の促進に取り組んできました。」（12.3%）の順で高くなっている。

評価（感想）について、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合、及び、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、「⑤「食と花のいいた」の情報発信に取り組んできました。」（37.8%）の割合が最も高くなっている。以下、「⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んできました。」（35.6%）、「⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んできました。」（32.1%）と続き、3割以上となっている。

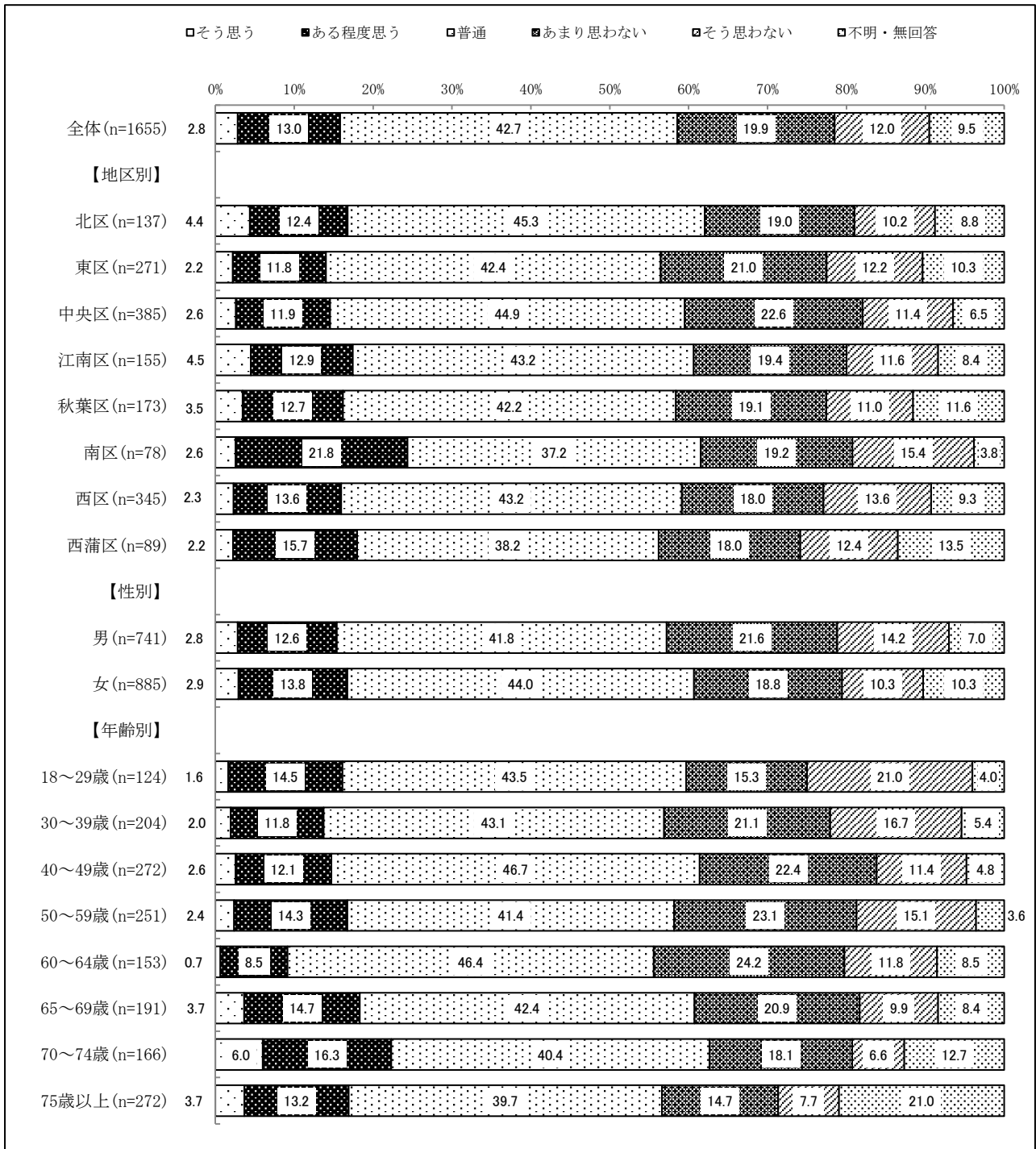
また、「⑨健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んできました。」（24.4%）、「⑩子育て支援の充実に取り組んできました。」（22.5%）、「⑬学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んできました。」（21.6%）、「⑰災害予防応急対策や防災体制の充実に取り組んできました。」（21.3%）が2割台で続いている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、「⑪便利で安心な公共交通の確保に取り組んできました。」（48.0%）が最も高い。以下、「⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んできました。」（40.8%）、「⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んできました。」（36.9%）、「⑫交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んできました。」（35.9%）、「④情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んできました。」（35.6%）、「⑨住宅の供給や住みよい環境づくりによるまちなかへの居住の促進に取り組んできました。」（35.3%）の順に続く。

### 【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

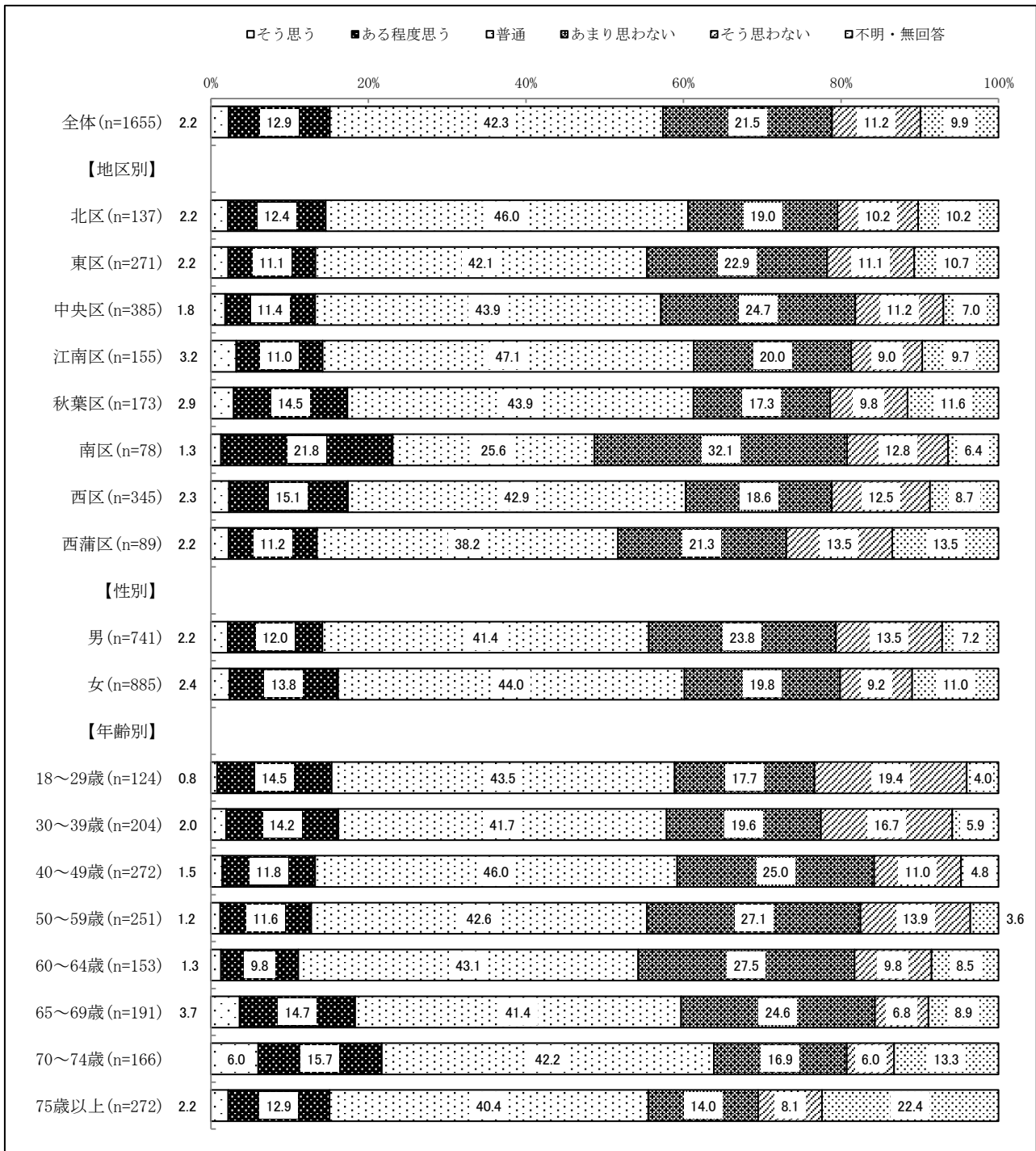
①住民参加型の地域づくりに取り組んできました。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（24.4%）で最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、70～74歳（22.3%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（34.6%）が最も高い。性別では、男性（35.8%）が女性（29.0%）を上回り、年齢別では、50代（38.2%）で最も高い。

②地域活動を行うための拠点づくりに取り組んできました。

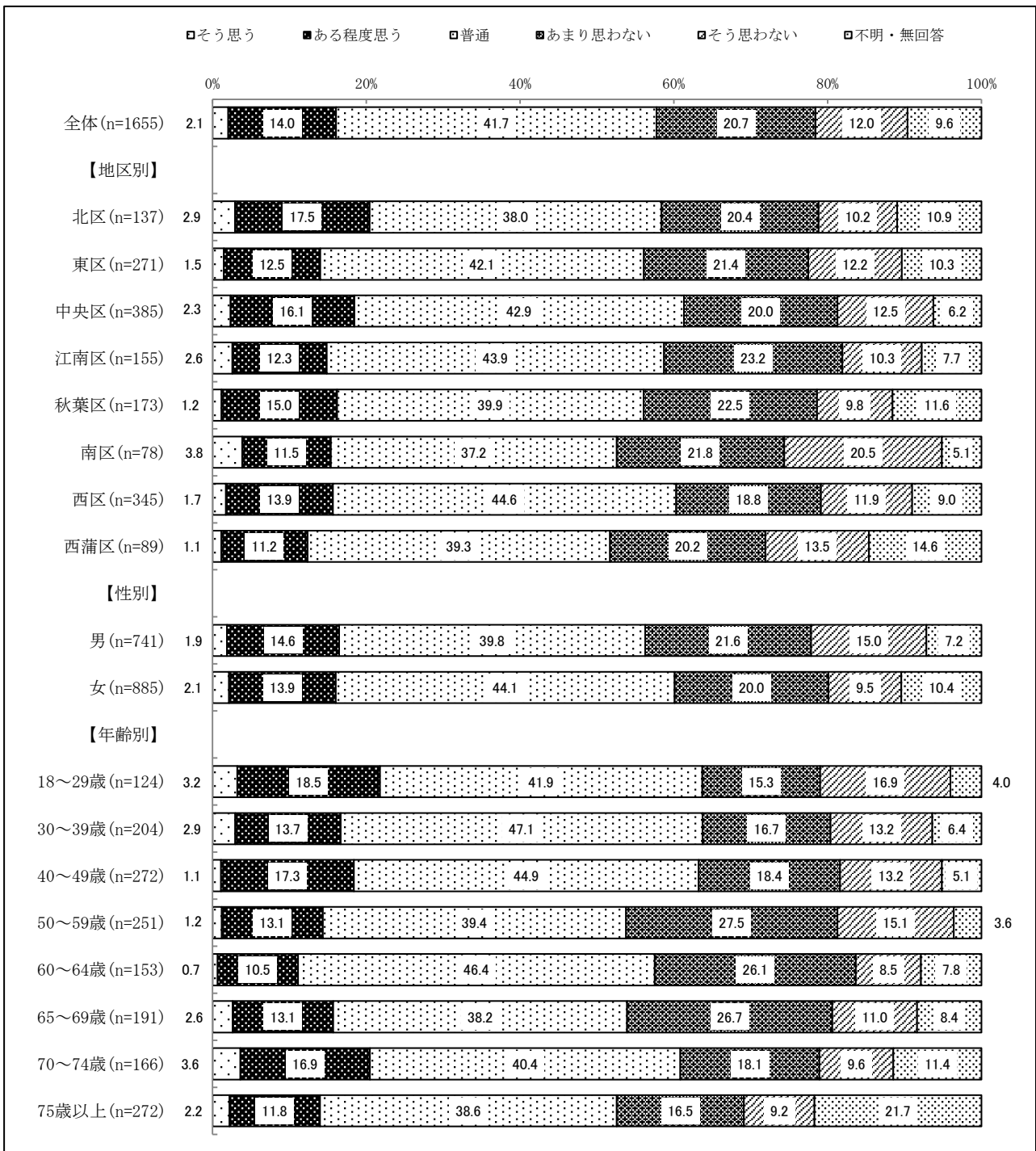


「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（23.1%）で最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、70～74歳（21.7%）で最も高い。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（44.9%）で高くなっている。性別では、女性（28.9%）より男性（37.2%）で高く、年齢別では、50代（41.0%）で最も高い。



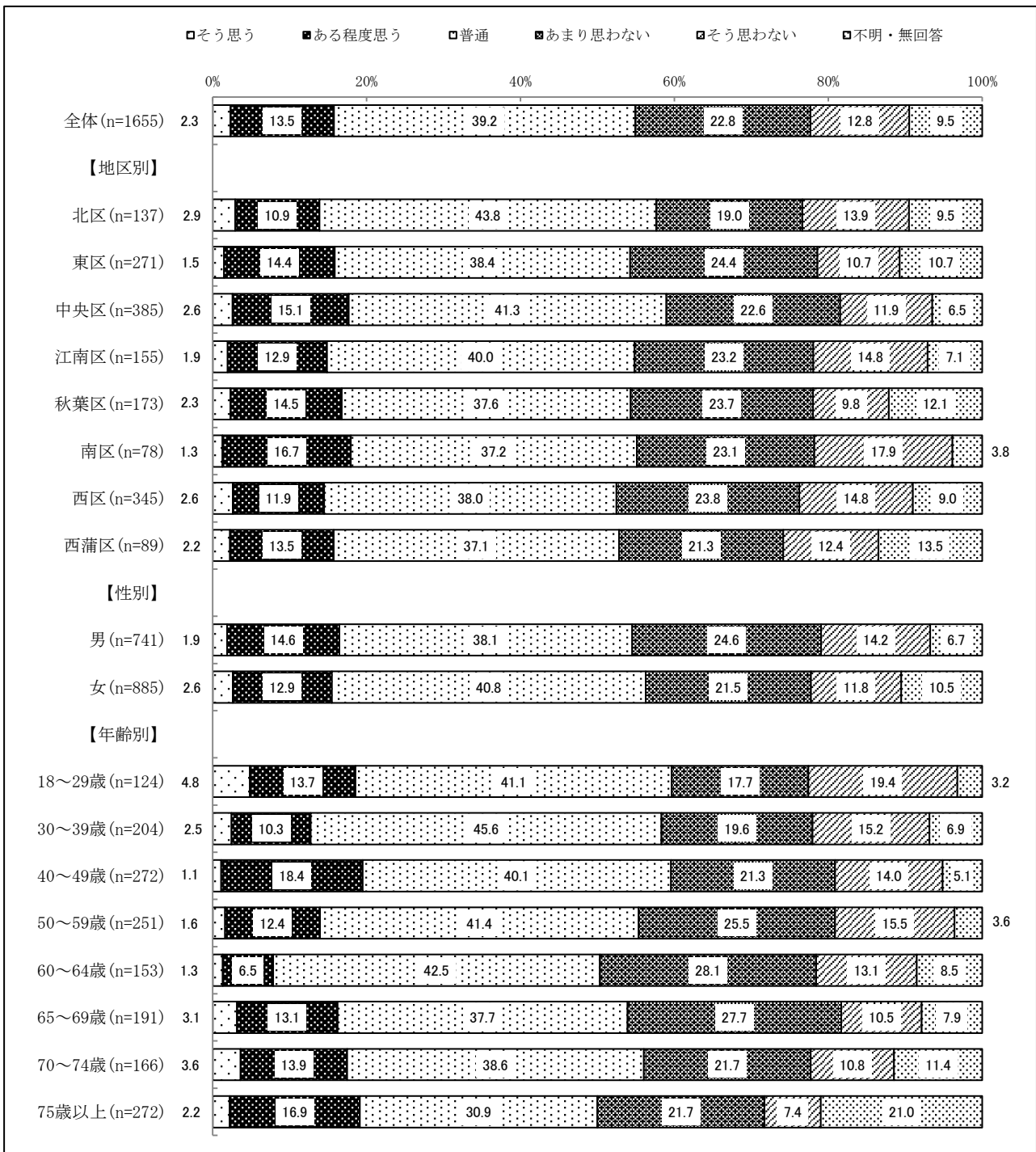
③だれもが快適に暮らせるまちづくりに取り組んできました。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（20.4%）で最も高い。性別による差はない。年齢別では、18～29歳（21.8%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（42.3%）で最も高く、その他の地区で3割を超えている。性別では、女性（29.5%）より男性（36.6%）で高く、年齢別では、50代（42.6%）で最も高い。

④情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んできました。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では南区（17.9%）で最も高い。性別による差は、ほぼない。年齢別では、40代（19.5%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（41.0%）で最も高く、その他の地区で3割を超えている。性別では、女性（33.2%）より男性（38.7%）で高く、年齢別では、50代（41.0%）、60～64歳（41.2%）で4割を超えた。

⑤「食と花のいがた」の情報発信に取り組んできました。

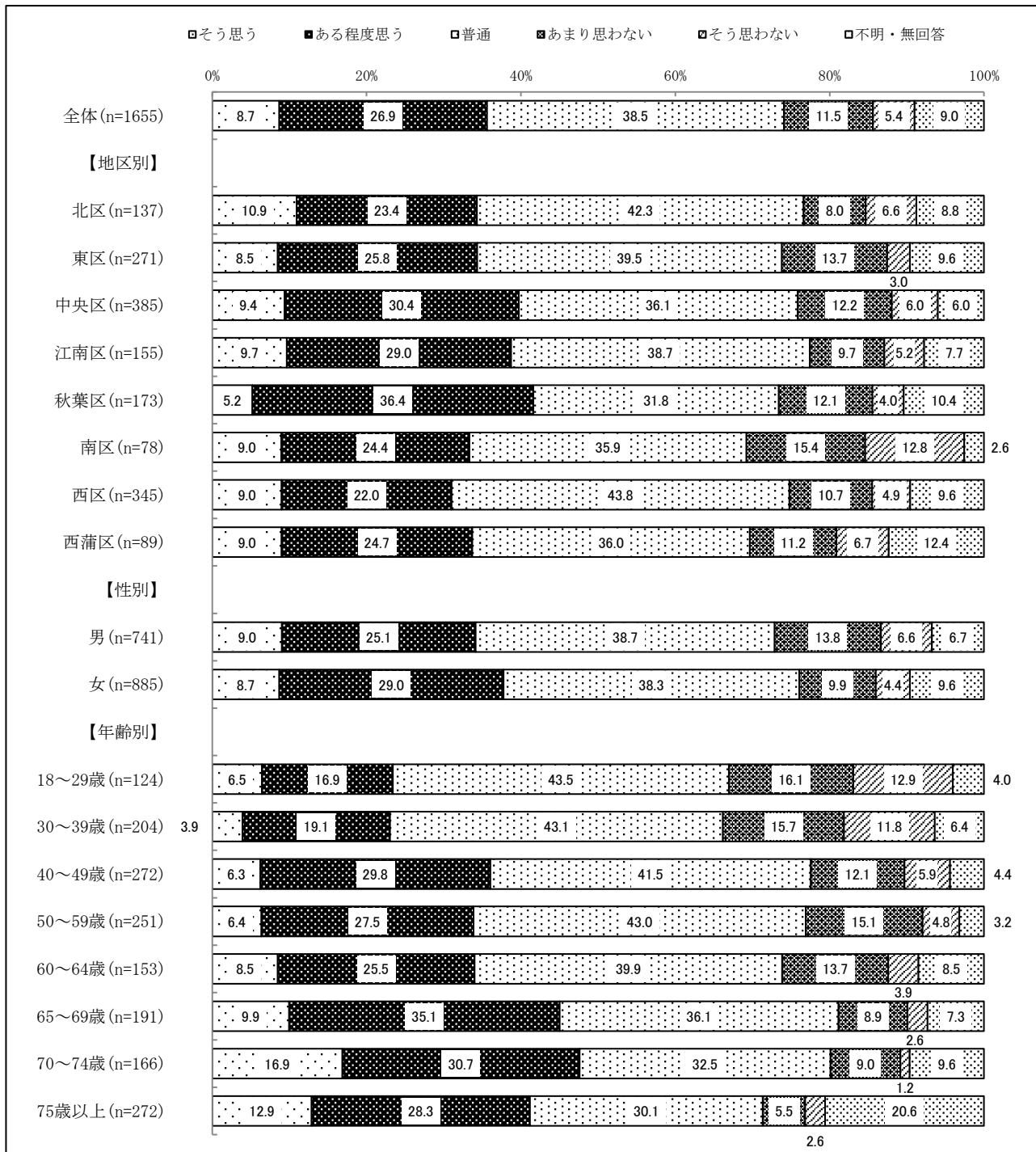


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（40.9%）、中央区（41.0%）で4割を超えた。年齢別では、40代（48.2%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（25.6%）で最も高い。性別では、女性（16.9%）より男性（21.6%）で高く、年齢別では、70～74歳（22.9%）で最も高かった。

⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んできました。

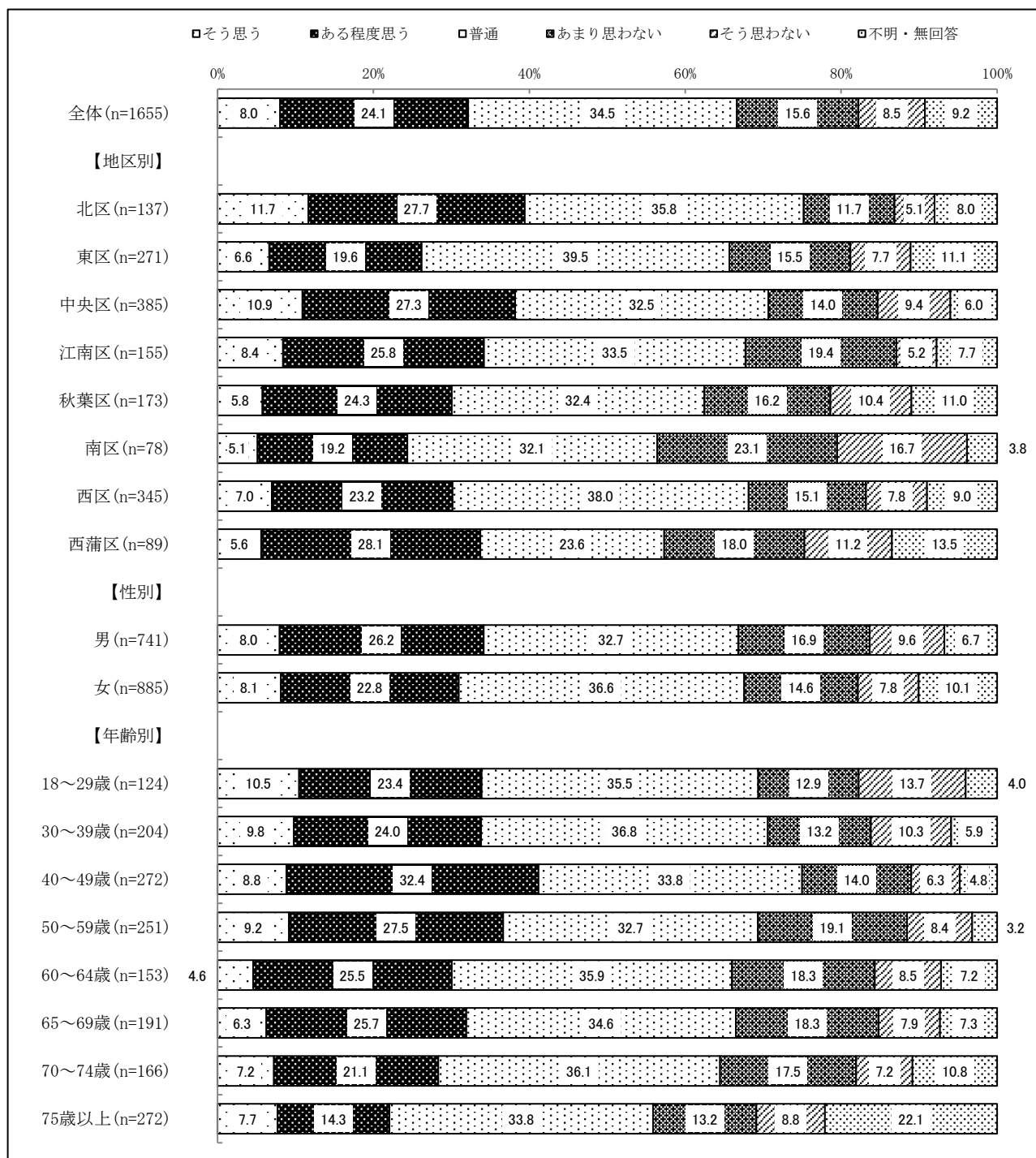


18～19歳、30代を除く属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（41.6%）で最も高い。性別では、男性（34.1%）と比べて女性（37.7%）でやや高い。年齢別では、40代以上で3割を超え、65歳以上で4割を超えた。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では南区（28.2%）、年齢別では18～29歳代（29.0%）で最も高い。性別では、男性（20.4%）が女性（14.4%）を上回った。

⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んできました。

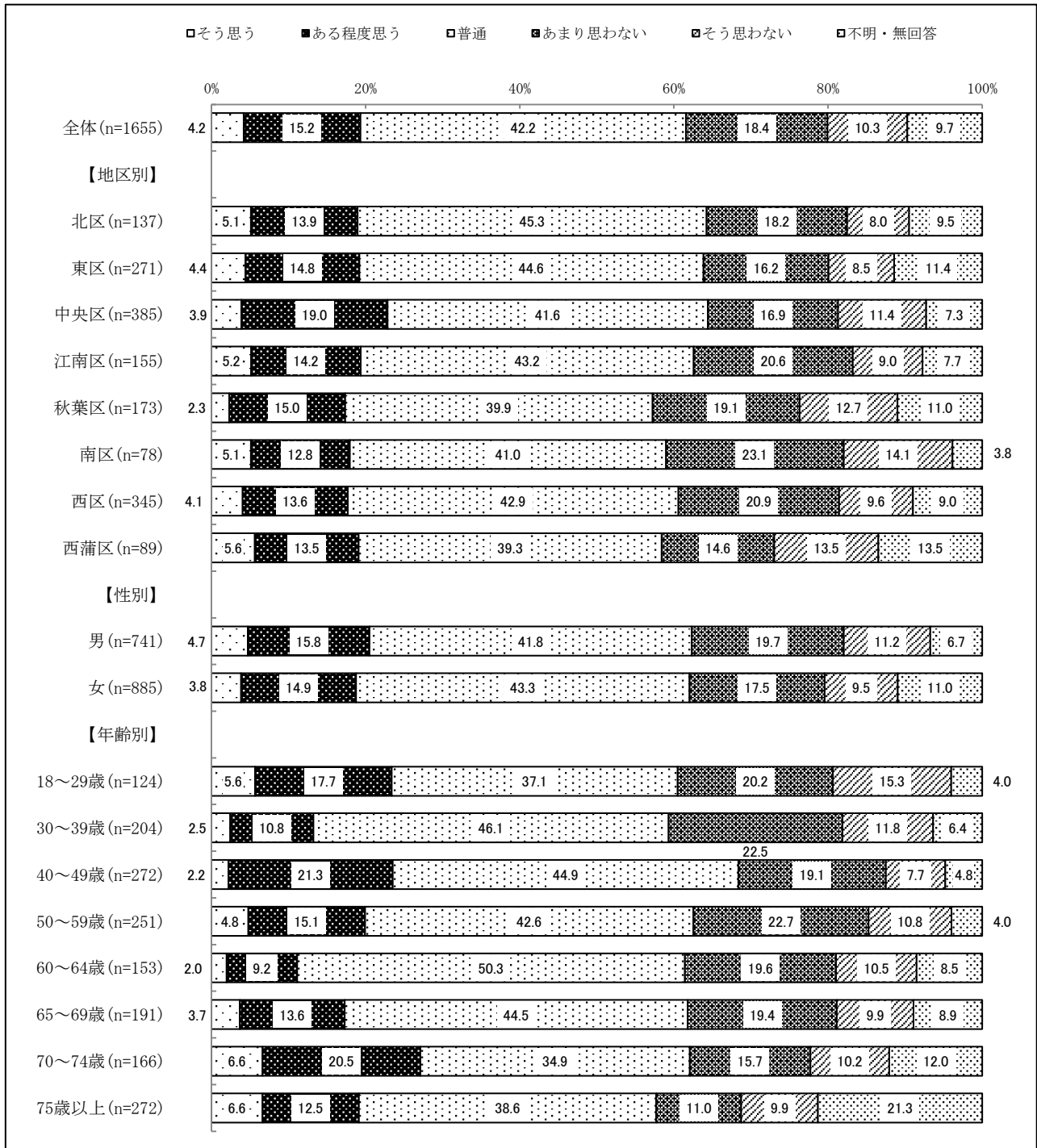


地区別・性別・年齢別のほぼすべての属性で、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、東区（26.2%）、南区（24.4%）を除く地区で3割を超えている。性別では、女性（31.0%）と比べて男性（34.1%）でやや高い。年齢別では、40代（41.2%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では南区（39.7%）、年齢別では50代（27.5%）で最も高い。性別では、男性（26.5%）が女性（22.4%）を上回った。

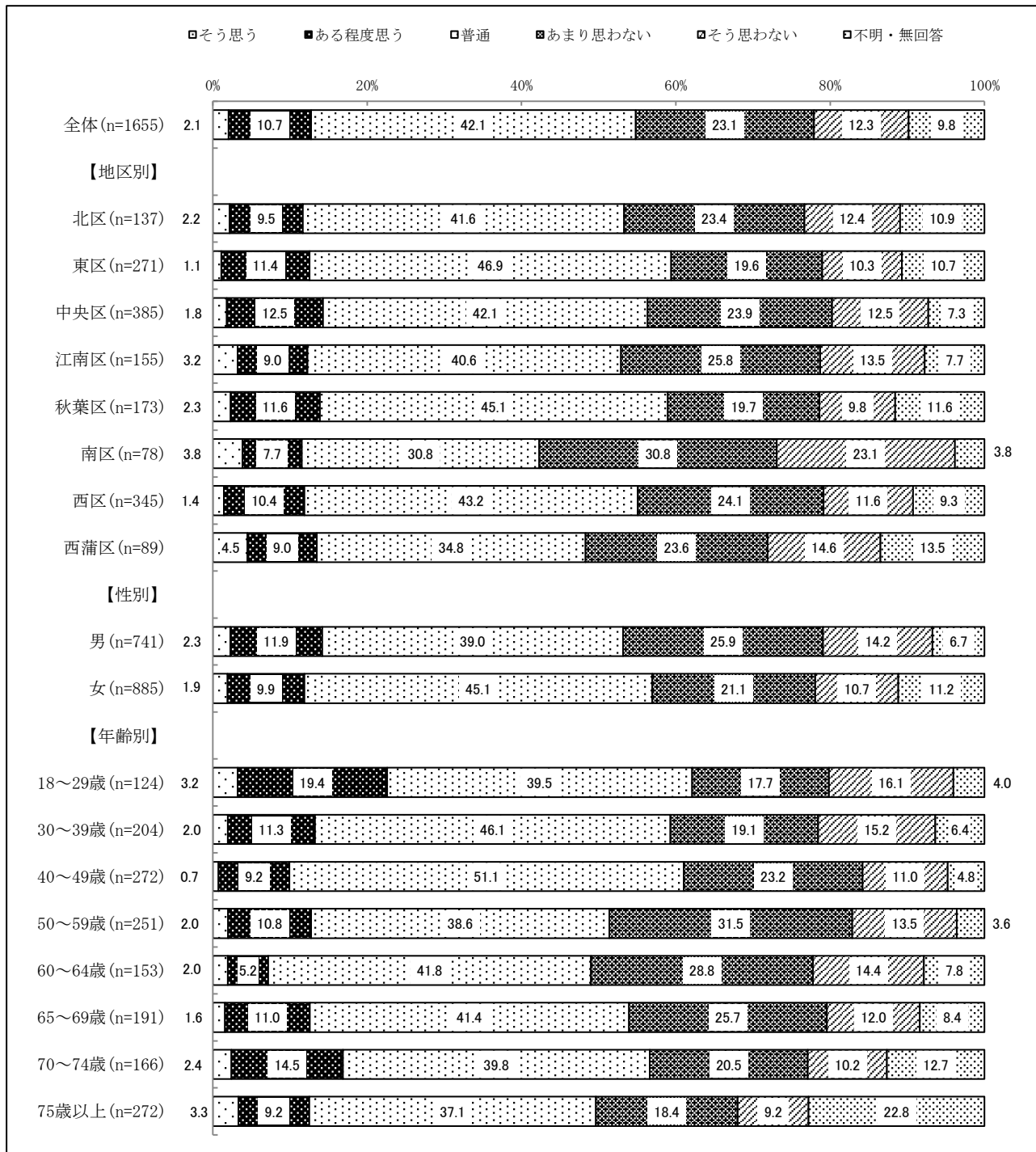
⑧国際交流に取り組んできました。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（22.9%）で最も高い。性別による差は、ほぼみられない。年齢別では、70～74歳（27.1%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では南区（37.2%）が最も高い。年齢別では18～29歳、30代、50代、60～64歳（それぞれ35.5%、34.3%、33.5%、30.1%）で3割を超えた。性別では、男性（30.9%）が女性（27.0%）を上回った。

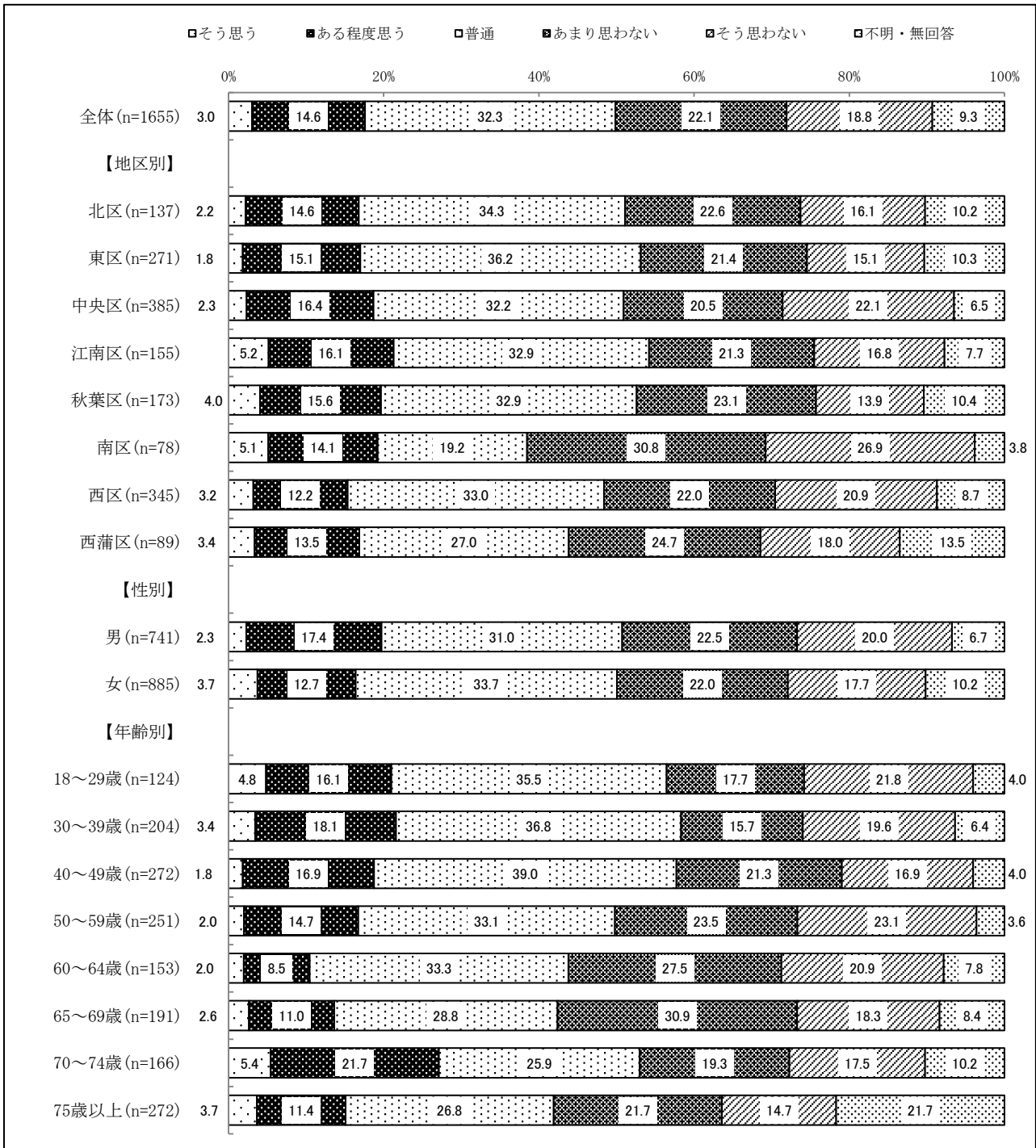
⑨住宅の供給や住みよい環境づくりによるまちなかへの居住の促進に取り組んできました。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、全ての地区で2割を下回った。性別では、男性（14.2%）が女性（11.9%）をやや上回り、年齢別では、18～29歳（22.6%）が最も高い。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（53.8%）で5割を超え、他の地区と比べて割合が高い。性別では、男性（40.1%）で4割を超え、女性（31.9%）と比べて割合が高い。年代別では、50代（45.0%）、60～64歳（43.1%）で4割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。

⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んできました。

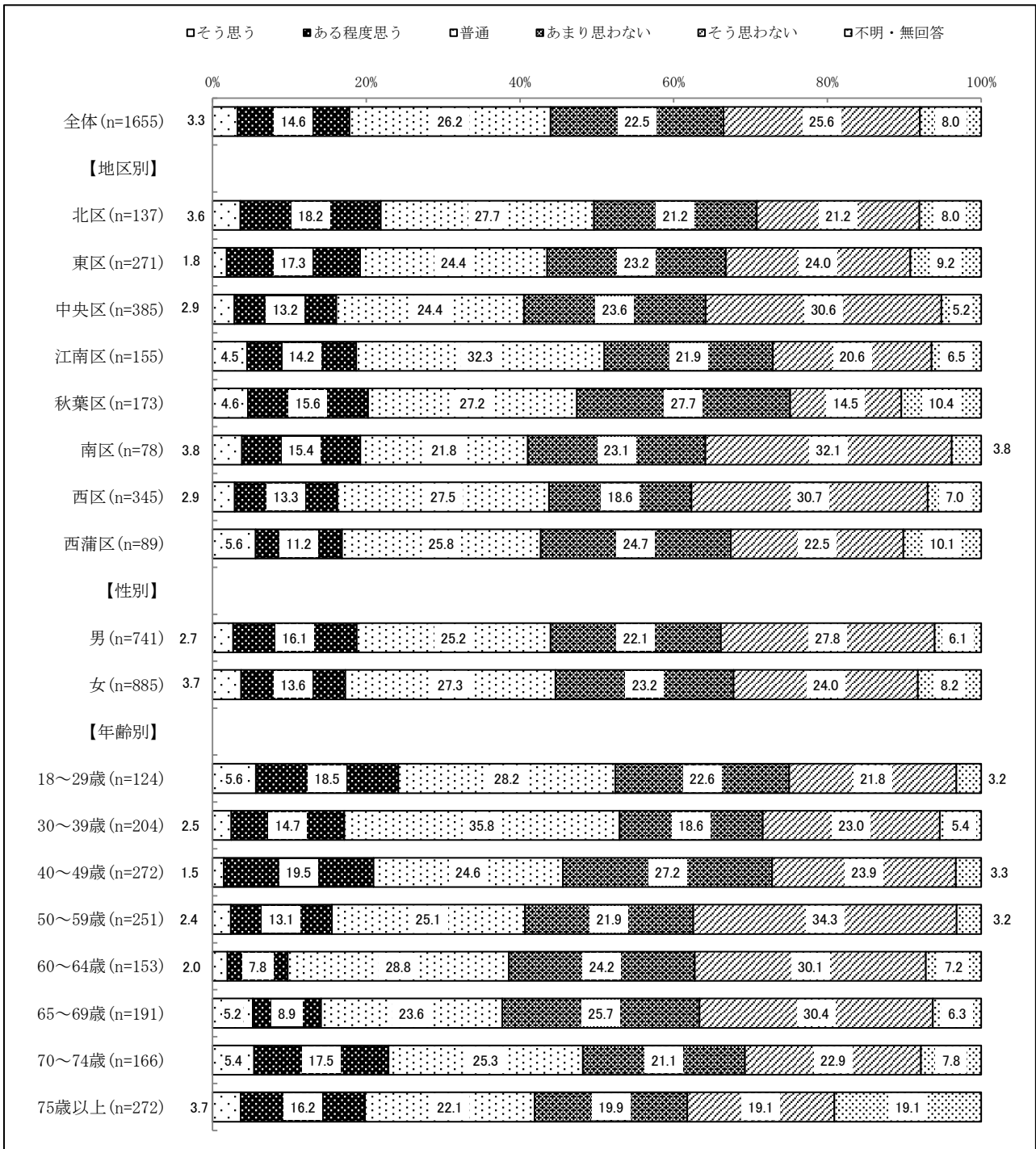


「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、江南区（21.3%）で最も高く、年齢別では、70～74歳（27.1%）で最も高い。性別では、女性（16.4%）と比べて男性（19.7%）で割合がやや高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（57.7%）で6割弱となった。年齢別では、50～69歳で4割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。



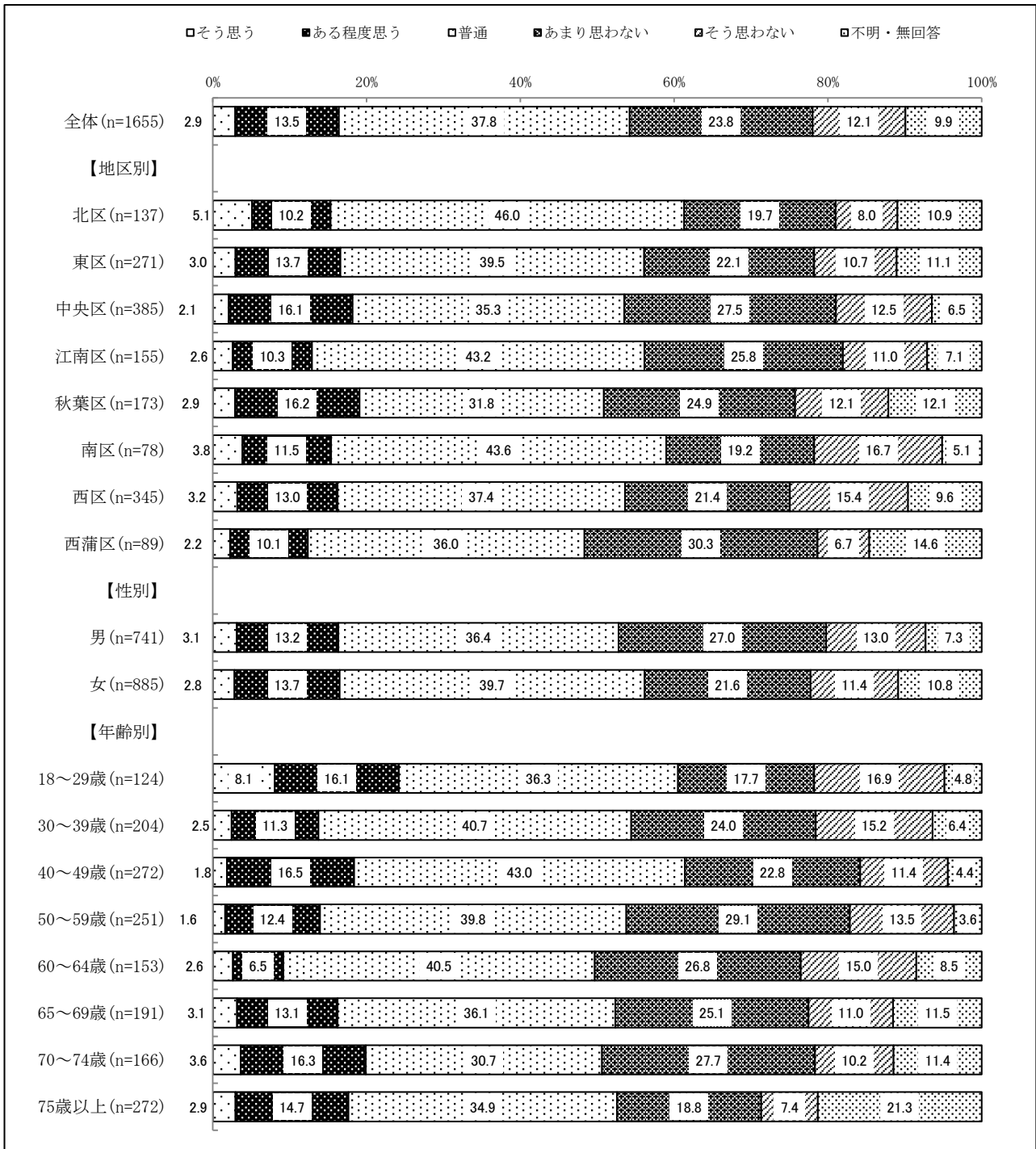
⑪便利で安心な公共交通の確保に取り組んできました。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では北区（21.9%）、年齢別では18～29歳（24.2%）で最も高い。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（54.3%）南区（55.1%）で5割を超え、その他の地区でも4割を超えた。年齢別では、40代（51.1%）、50代（56.2%）、60～64歳（54.2%）、65～69歳（56.0%）で5割を超えた。

⑫交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んできました。

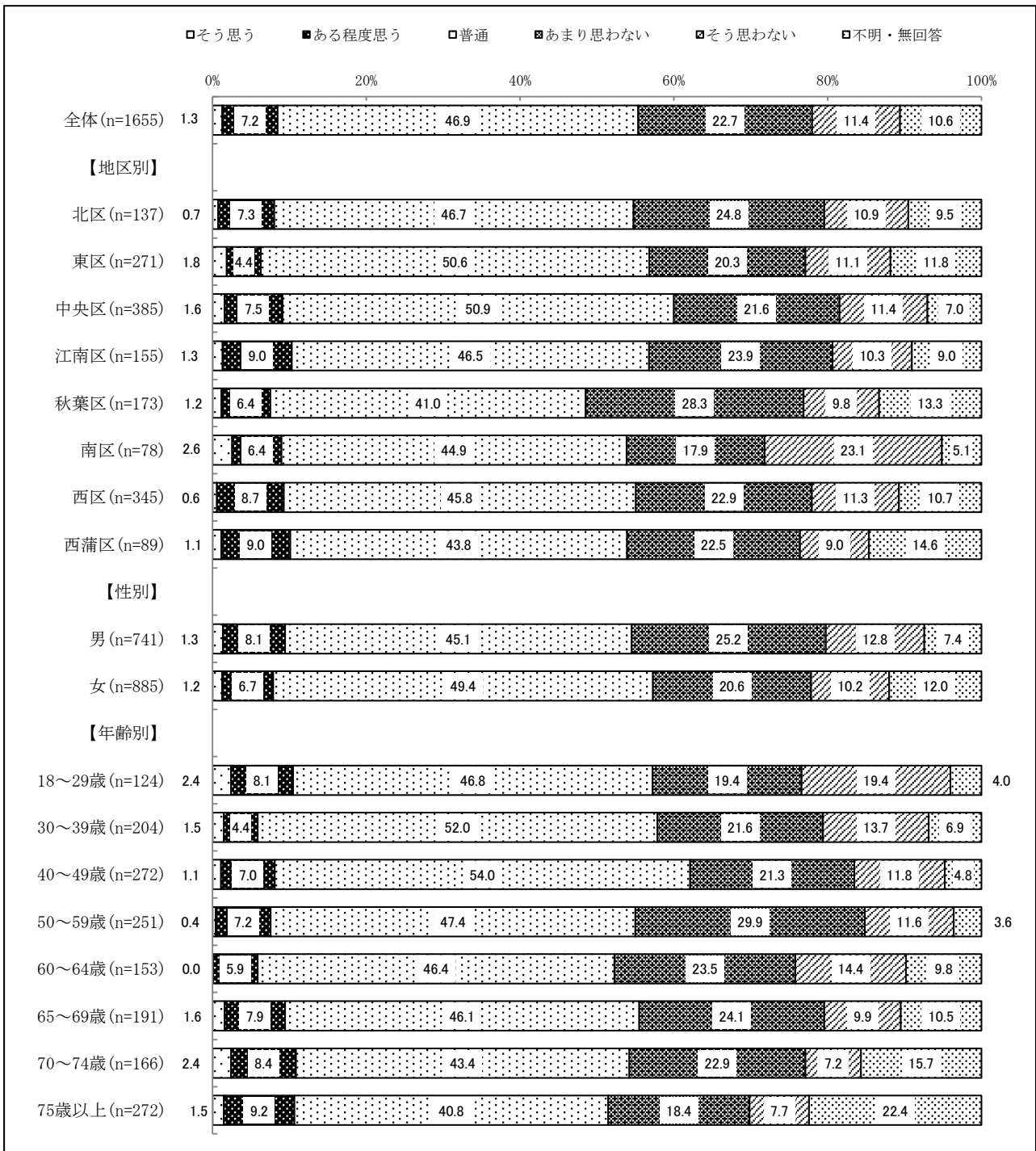


すべての属性で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（40.0%）で最も高く、性別では、女性（33.0%）と比べて男性（39.9%）で割合が高い。年齢別は、50代（42.6%）、60～64歳（41.8%）で4割を超えた。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（19.1%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（24.2%）で最も高かった。

⑬産学官連携による産業振興支援や金融支援策に取り組んできました。

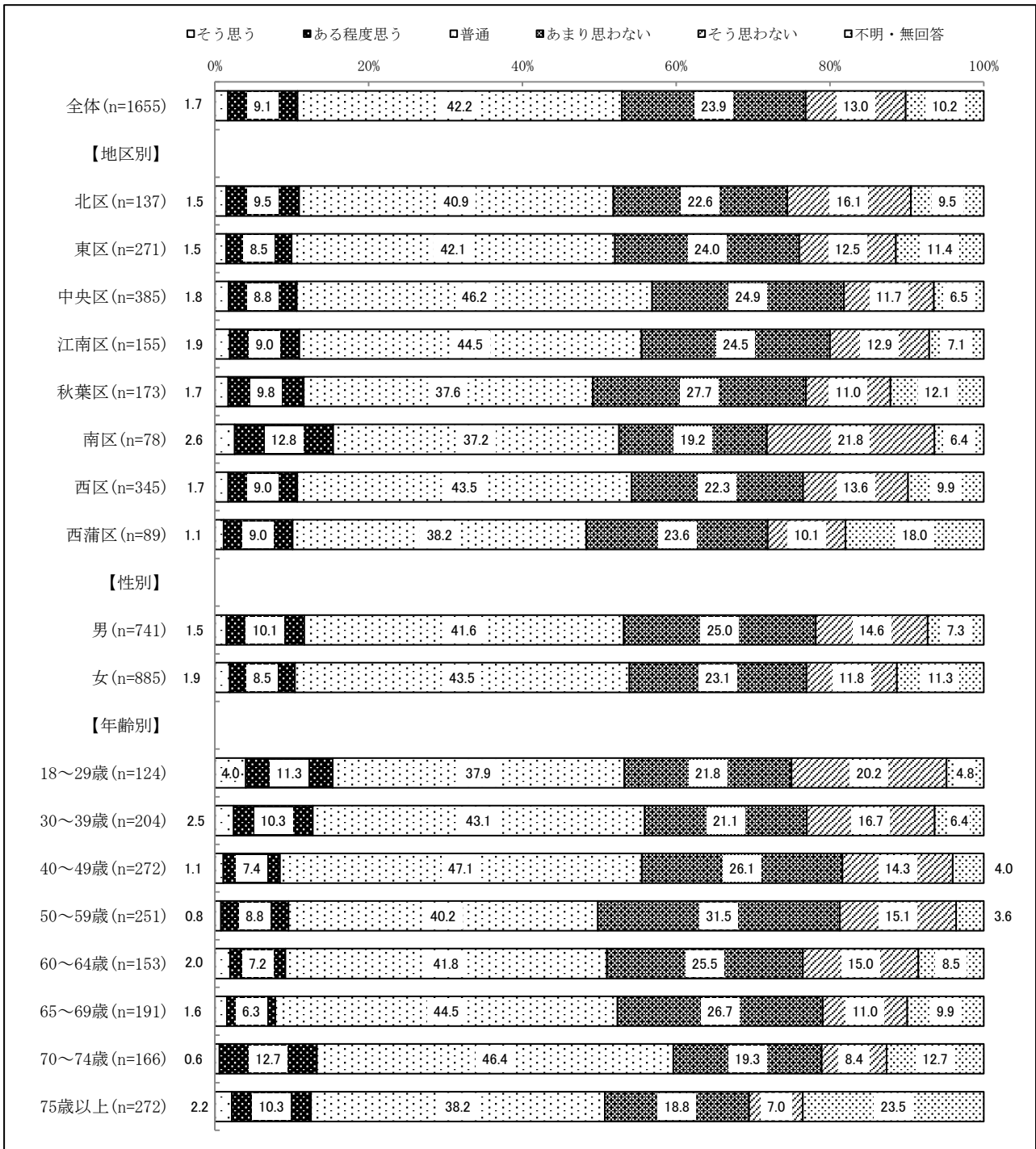


すべての属性で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（41.0%）で最も高く、4割を超えた。性別では、女性（30.7%）と比べて男性（38.1%）で割合が高い。年齢別では、50～59歳（41.4%）で最も高い。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、多くの属性で1割未満となった。1割を超えたものは、地区別では、江南区（10.3%）と西蒲区（10.1%）、年齢別では、18～29歳（10.5%）、70～74歳（10.8%）、75歳以上（10.7%）のみとなった。

⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んできました。

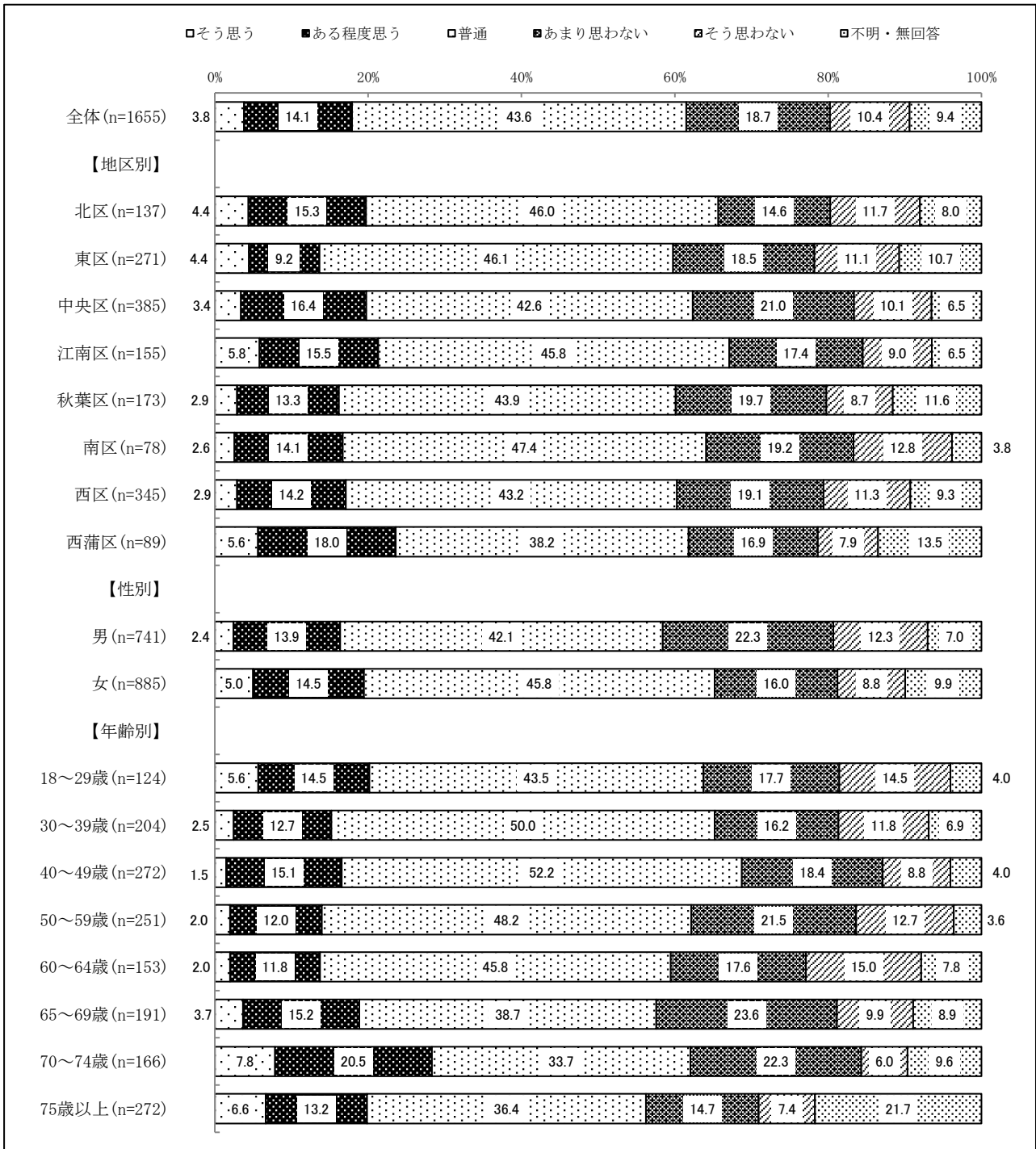


すべての属性で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（41.0%）で最も高く、4割を超えた。性別では、女性（34.8%）と比べて男性（39.5%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（41.9%）、40代（40.4%）、50代（46.6%）、60～64歳（40.5%）で4割を超えた。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（15.4%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（15.3%）で最も高い。

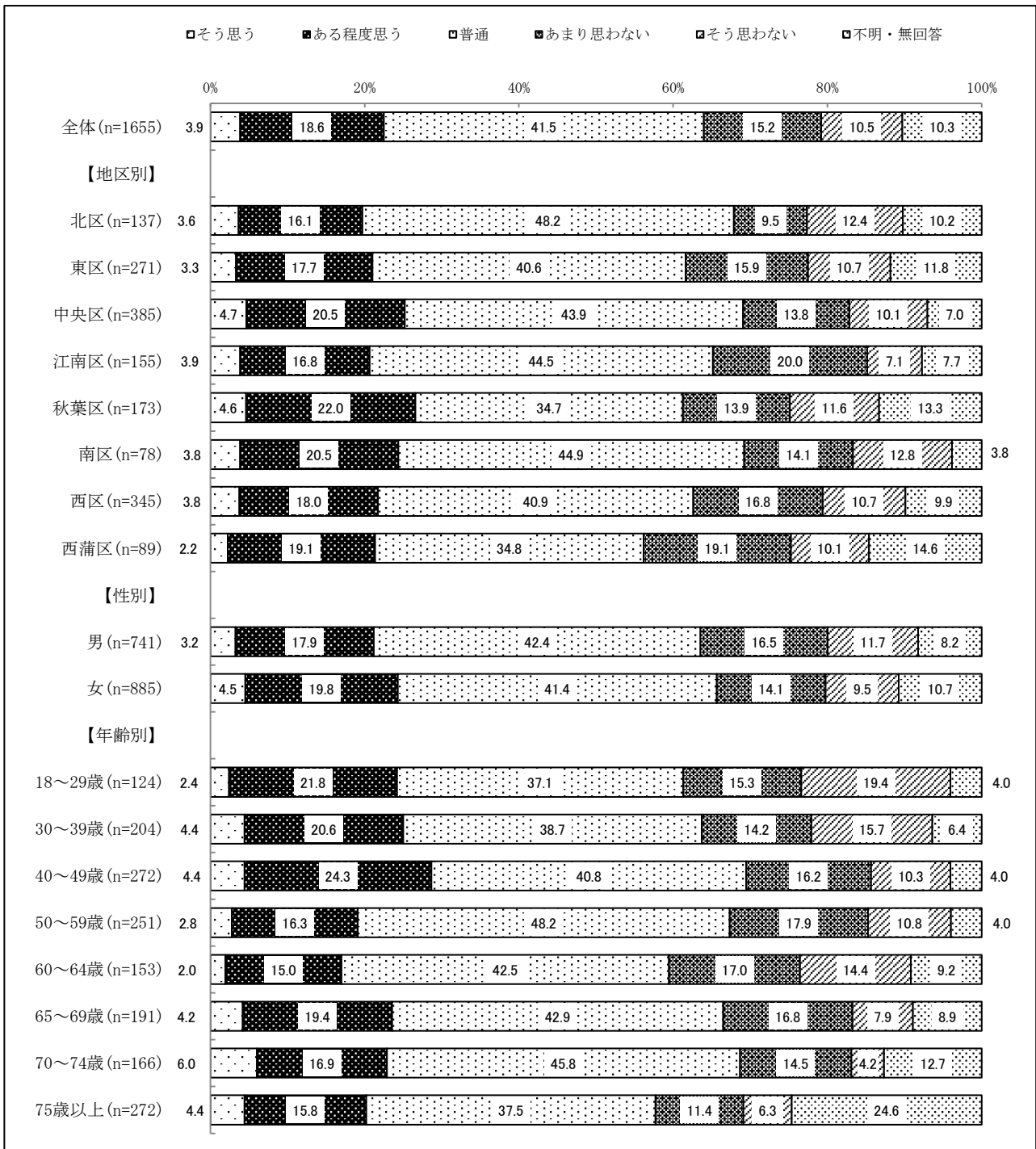
⑮元気でいきいきと生活できる高齢者支援に取り組んできました。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（23.6%）で最も高く、年齢別では、70～74歳（28.3%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（31.2%）、南区（32.1%）、西区（30.4%）で3割を超えた。性別では女性（24.9%）と比べて男性（34.5%）で割合が高い。年齢別では、50代（34.3%）で最も高い。

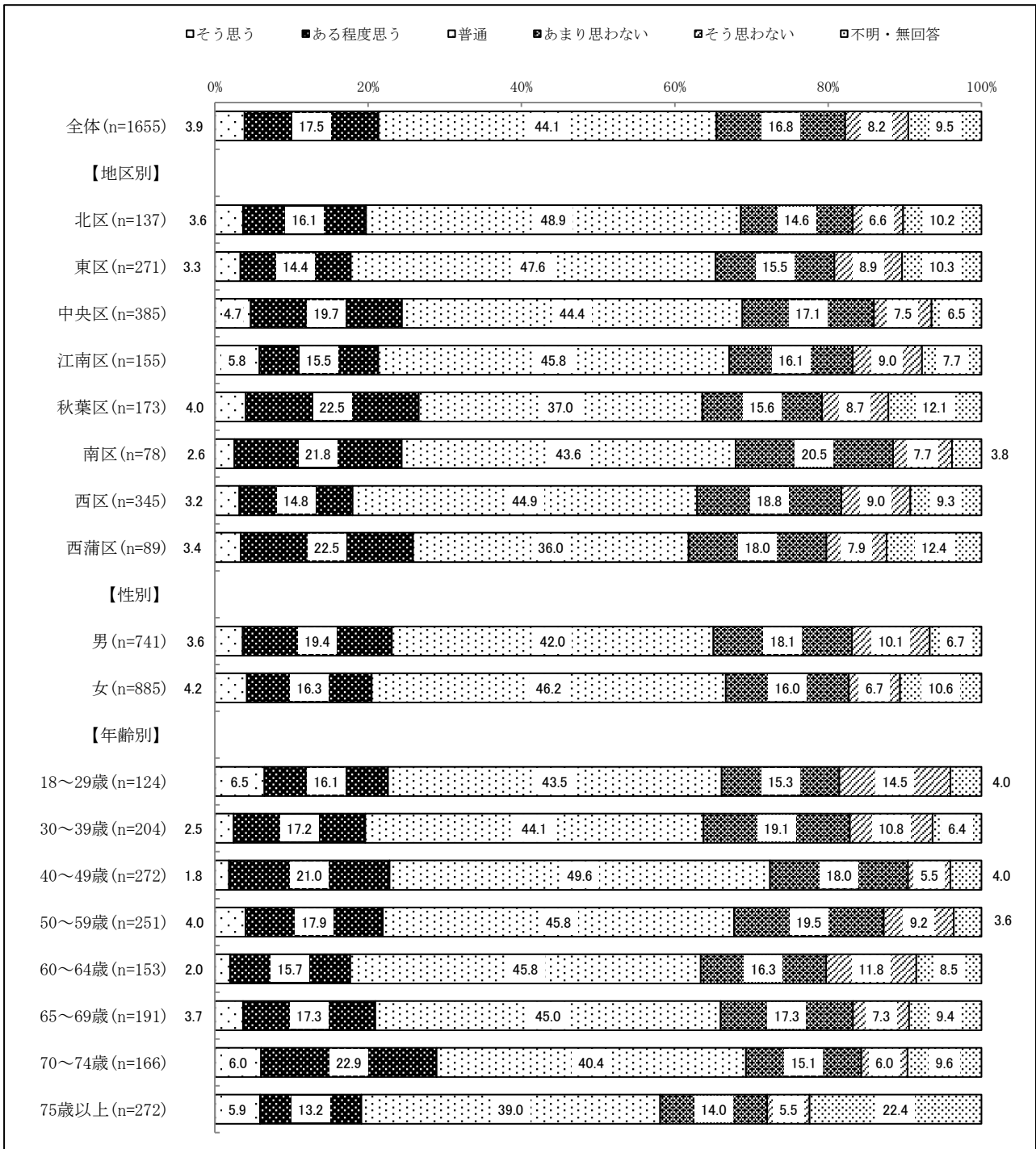
⑩子育て支援の充実に取り組んできました。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（26.6%）で最も高く、年齢別では、40代（28.7%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（29.2%）で最も高い。性別では、女性（23.6%）と比べて男性（28.2%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（34.7%）で最も高く、3割を超えた。

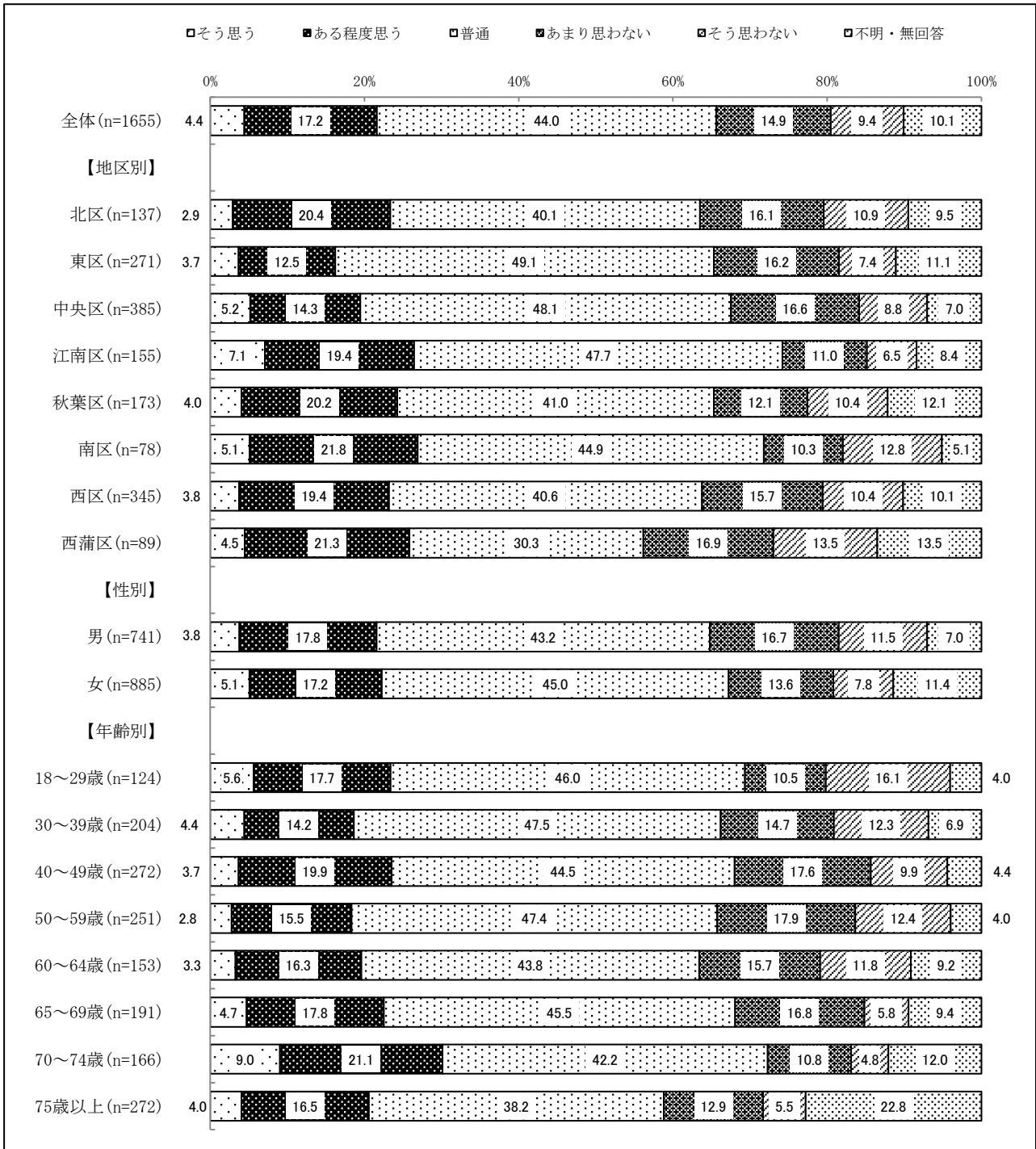
⑰災害予防応急対策や防災体制の充実に取り組んできました。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（26.6%）で最も高く、年齢別では、70～74歳（28.9%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（28.2%）で最も高い。性別では、男性（28.2%）が女性（22.7%）を上回っている。年齢別では、18～29歳（29.8%）、30代（29.9%）、50代（28.7%）、60～64歳（28.1%）で3割弱となった。

⑱学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んできました。

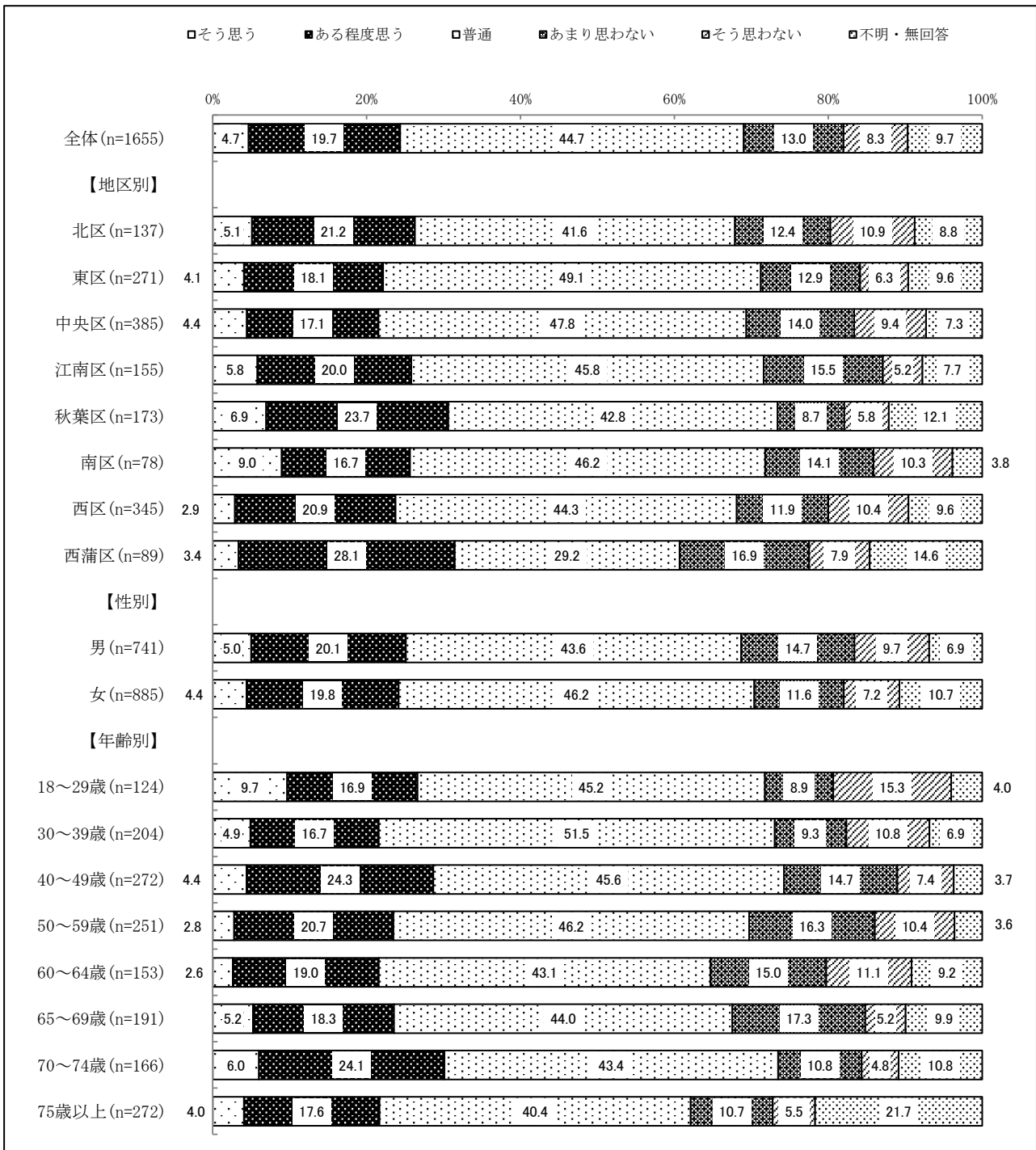


「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（26.9%）で最も高い。年齢別では、70～74歳（30.1%）で他の年齢と比べて割合が高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（30.3%）で最も高い。性別では、男性（28.2%）が女性（21.4%）を上回った。年齢別では、50代（30.3%）で3割を超えた。



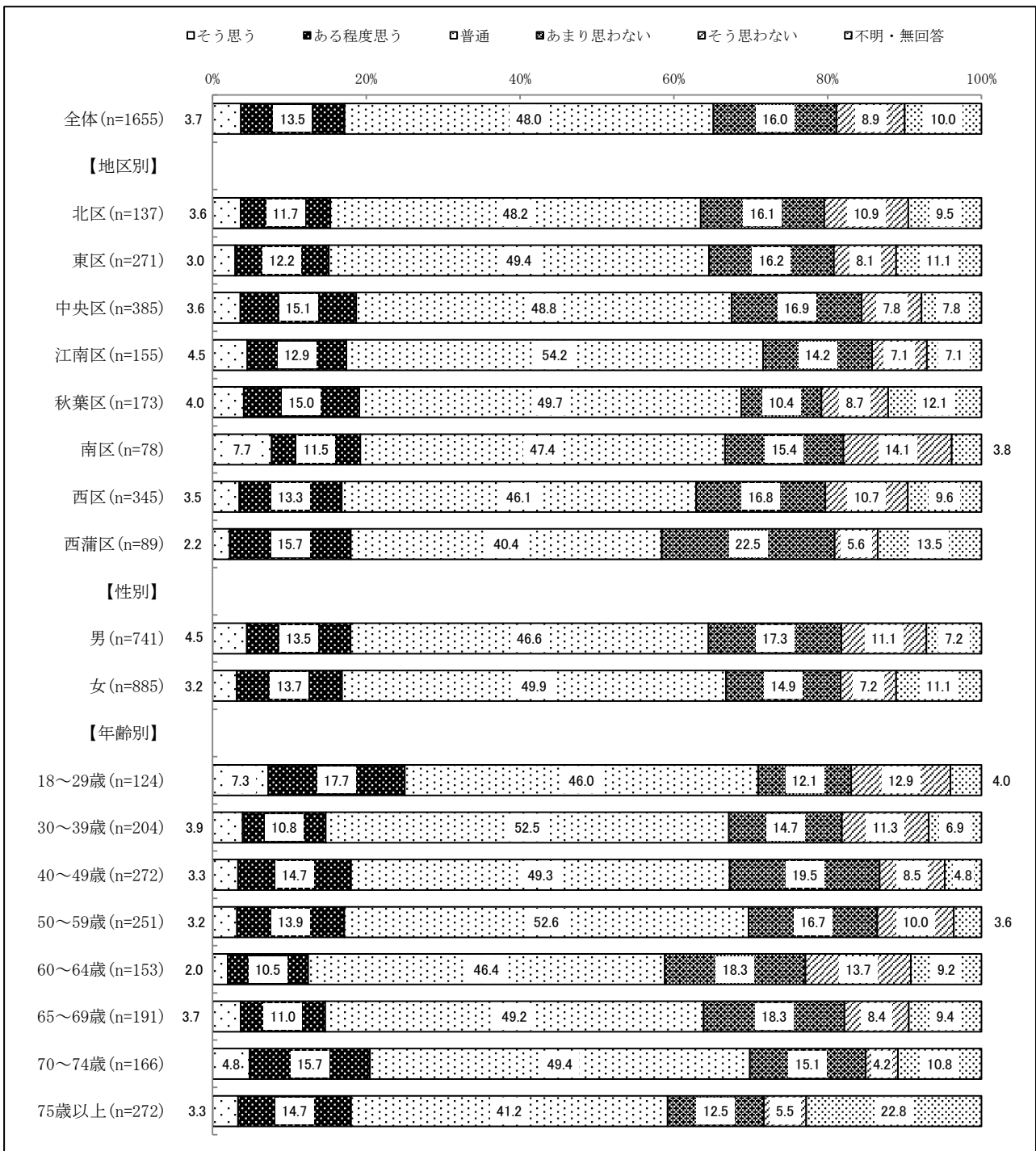
⑱健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んできました。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区 (31.5%)、秋葉区 (30.6%) で割合が高い。年齢別では、70～74歳 (30.1%) で3割を超えた。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区 (24.7%) で最も高い。性別では、男性 (24.4%) が女性 (18.9%) を上回った。年齢別では、50代 (26.7%)、60～64歳 (26.1%) で割合が高い。

⑳地域の個性豊かな歴史文化の活用や情報発信に取り組んできました。



秋葉区、18～29歳、70～74歳、75歳以上を除く属性で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。秋葉区、18～29歳、75歳以上は、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合と「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が同じ割合（各19.1%、25.0%、18.0%）となった。

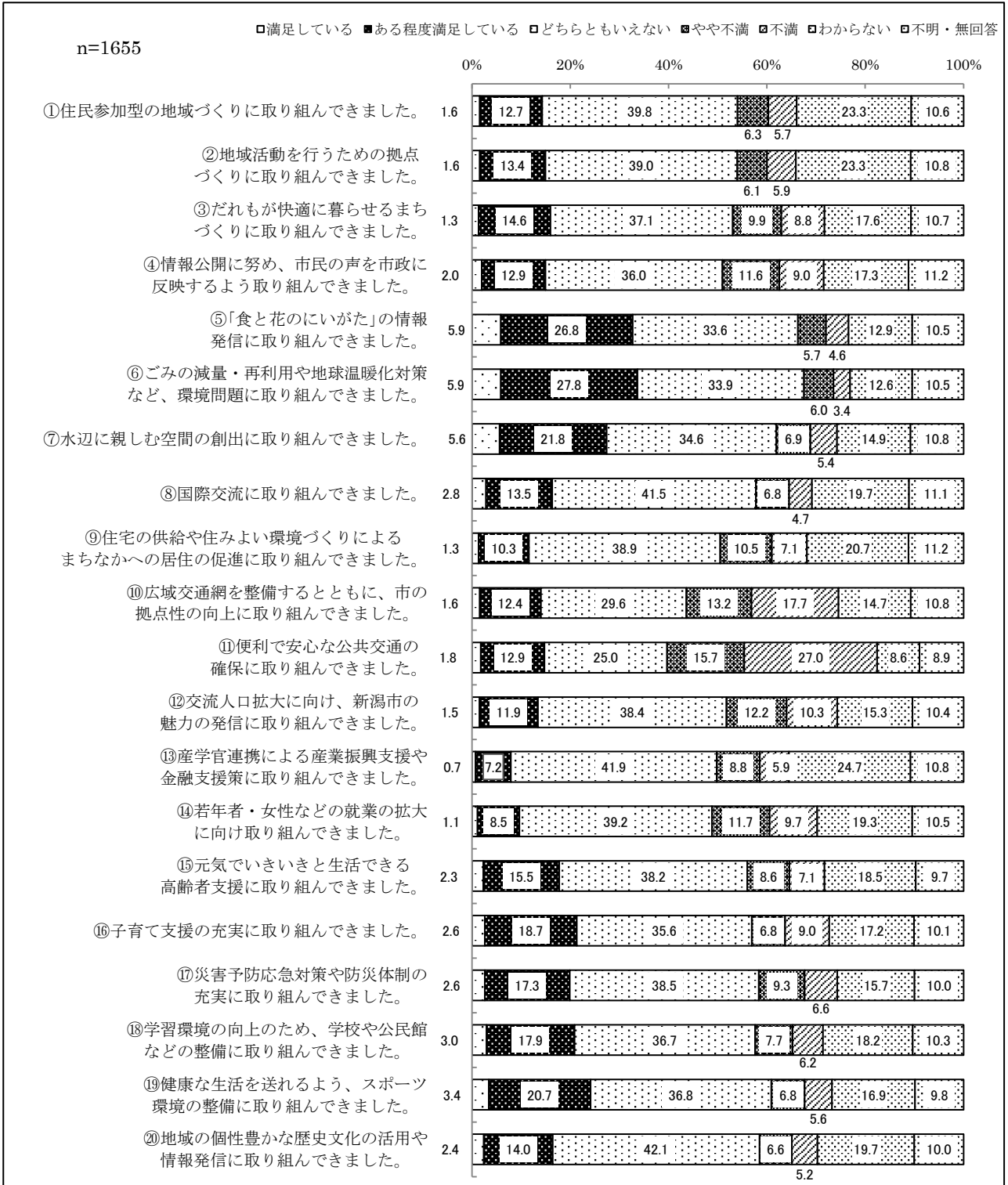
「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別・性別では、あまり差が見られない。年齢別では、18～29歳（25.0%）で他の年齢と比べて割合が高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（29.5%）、で、年齢別では、60～64歳（32.0%）で最も高い。性別では男性（28.3%）が女性（22.1%）を上回った。

(2) 取り組みへの満足度

問 24 本市の総合計画である「にいがた未来ビジョン」に基づき進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。  
 また、これらの取り組みについての満足度をお聞かせください。  
 それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。

【取り組みへの満足度】



### 【全体結果】

『市の取り組み状況』への満足度について、「満足している」の割合は、「⑤「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んできました。」と「⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んできました。」がいずれも5.9%で最も高い。以下、「満足している」の割合は、「⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んできました。」(5.6%)、「⑨健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んできました。」(3.4%)の順で高くなっている。

一方、「不満」の割合は、「⑪便利で安心な公共交通の確保に取り組んできました。」(27.0%)が最も高い。以下、「⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んできました。」(17.7%)、「⑫交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んできました。」(10.3%)、「⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んできました。」(9.7%)の順で高くなっている。

満足度について、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合、及び、「やや不満」と「不満」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、「⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んできました。」(33.7%)の割合が最も高くなっている。以下、「⑤「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んできました。」(32.7%)が3割強となっている。

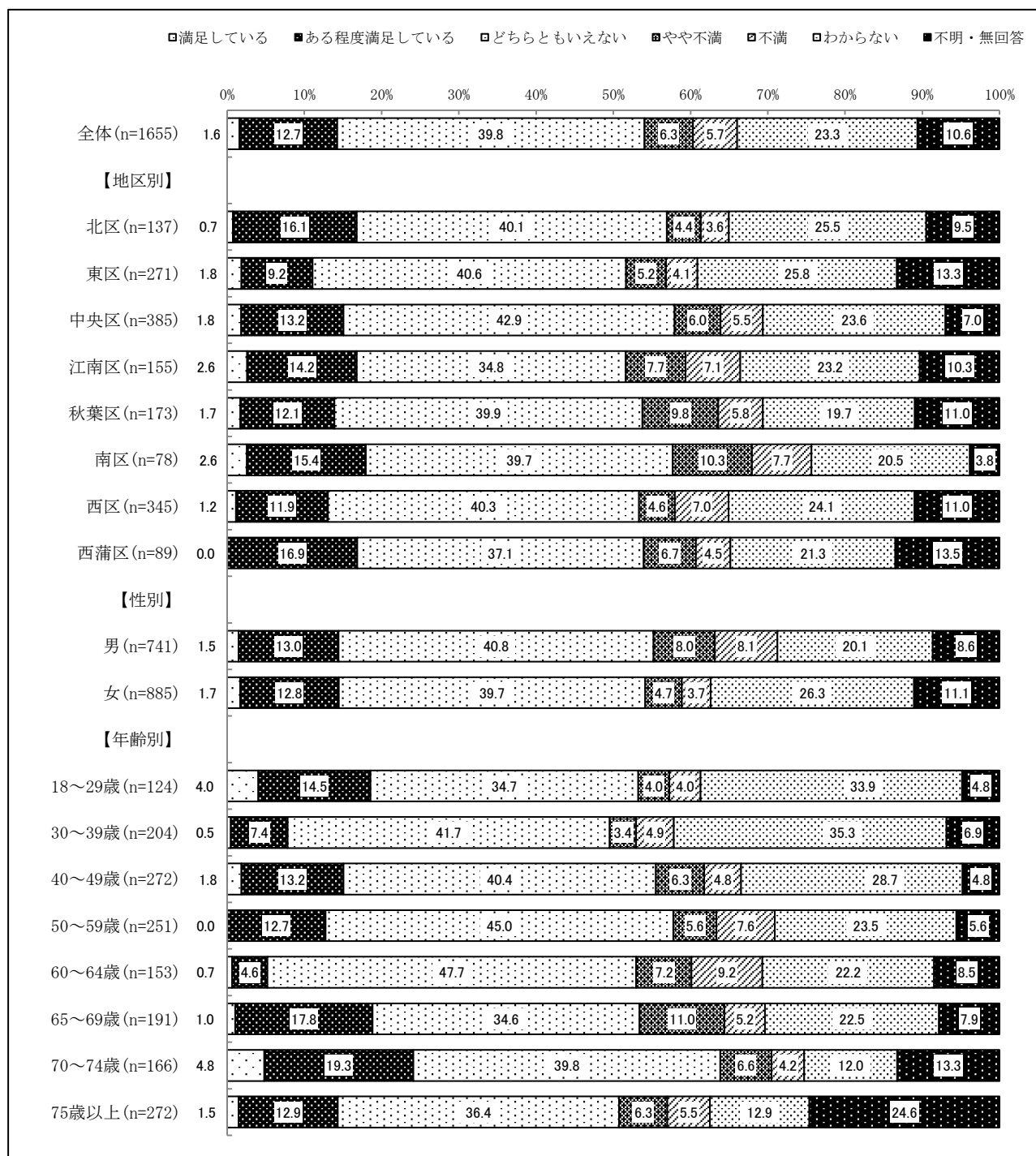
また、「⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んできました。」(27.4%)、「⑨健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んできました。」(24.1%)、「⑯子育て支援の充実に取り組んできました。」(21.3%)、「⑱学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んできました。」(20.8%)が2割台で続いている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合についてみると、「⑪便利で安心な公共交通の確保に取り組んできました。」(42.7%)が最も高い。以下、「⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んできました。」(30.9%)が約3割、「⑫交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んできました。」(22.5%)、「⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んできました。」(21.4%)、「④情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んできました。」(20.6%)が2割台で続いている。

### 【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

①住民参加型の地域づくりに取り組んできました。

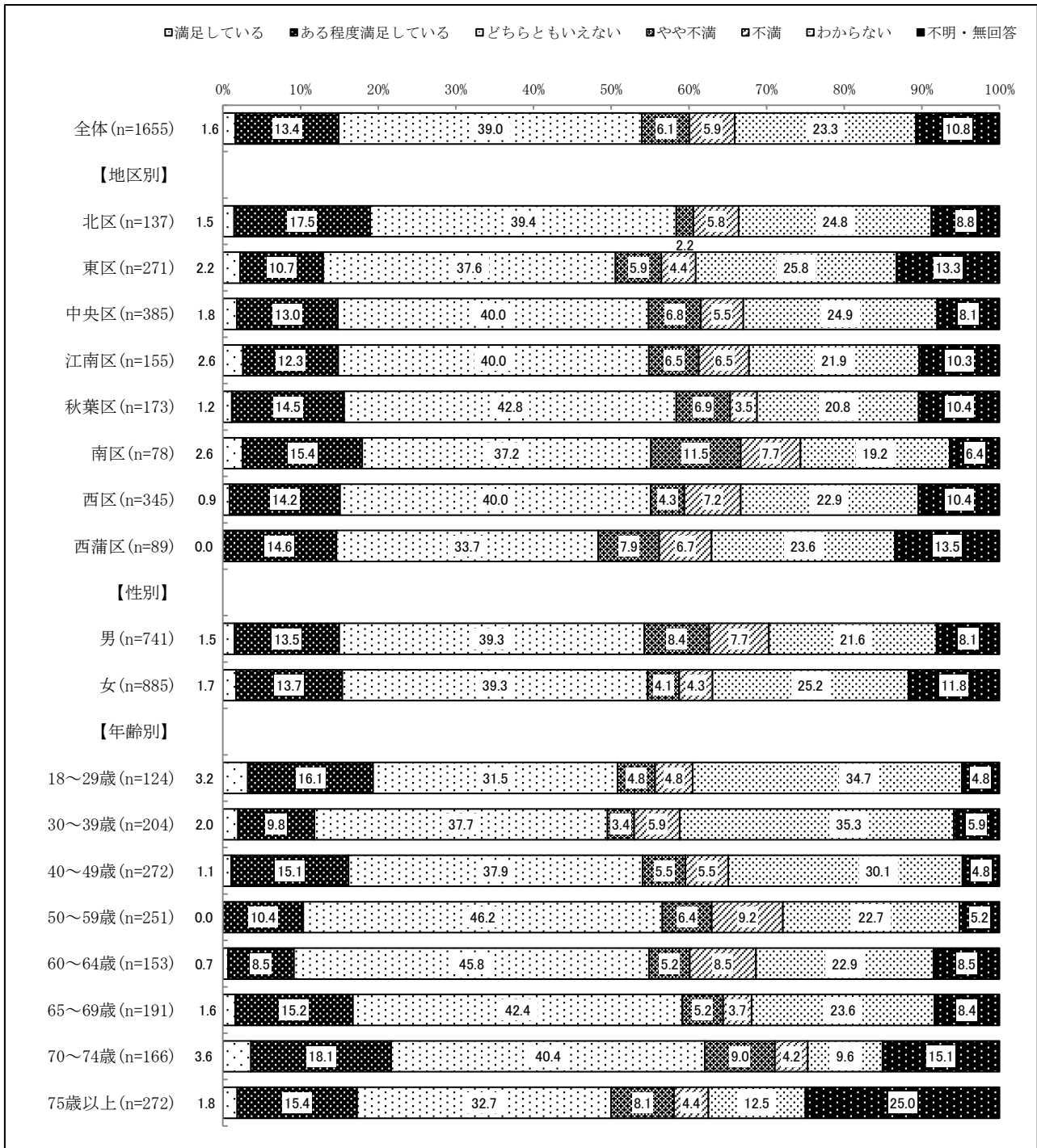


70～74歳を除き、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が2割に満たなかった。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（17.9%）で最も高い。年齢別では70～74歳以上（24.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（17.9%）で最も高い。性別では男性（16.1%）が女性（8.5%）を上回っている。年齢別では、60～64歳（16.3%）、65～69歳（16.2%）で割合が高い。

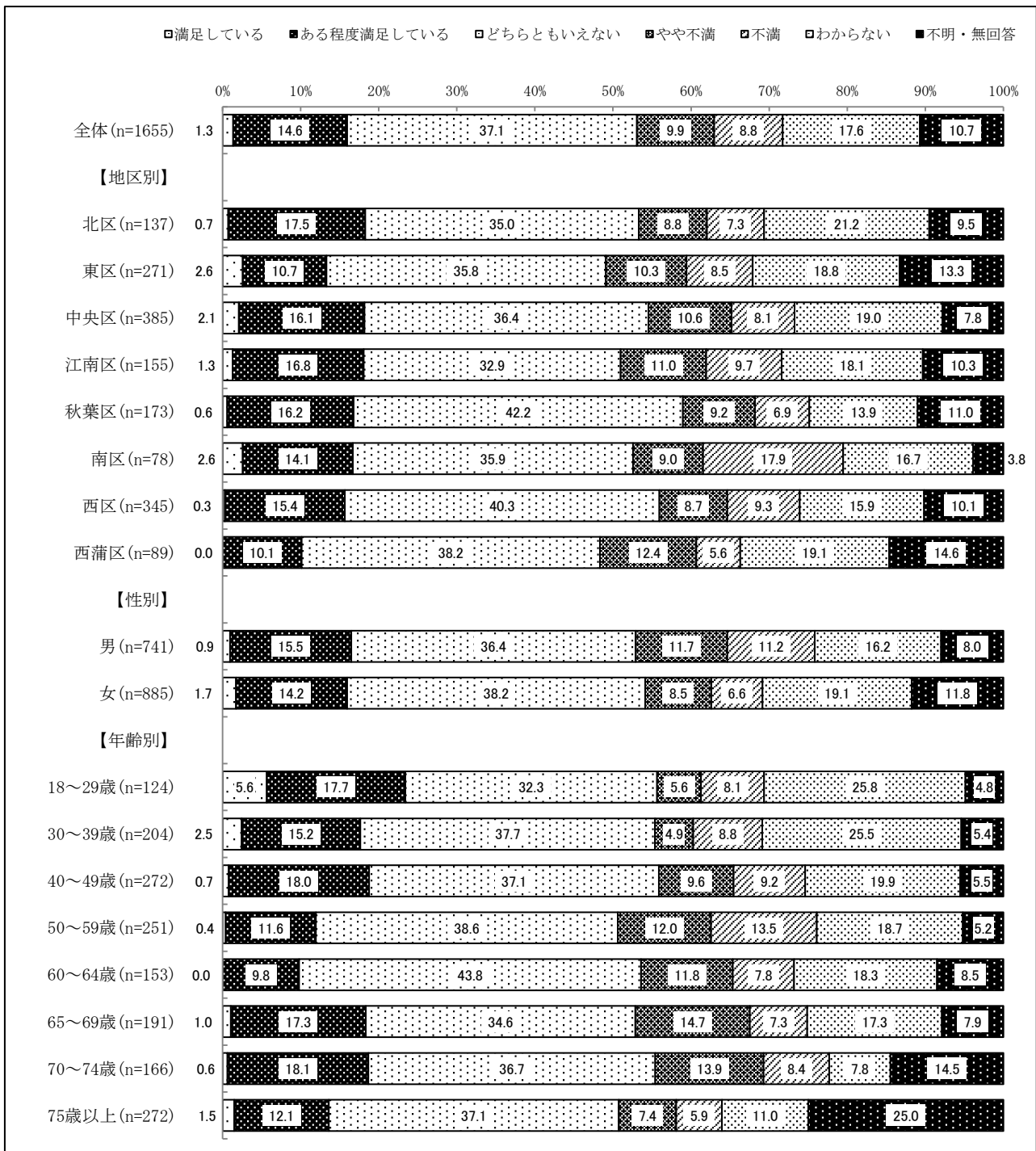
②地域活動を行うための拠点づくりに取り組んできました。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（19.0%）で最も高く、年齢別では、70～74歳（21.7%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（19.2%）で最も高い。性別では、男性（16.1%）が女性（8.4%）を上回った。年齢別では50代（15.5%）で最も高い。

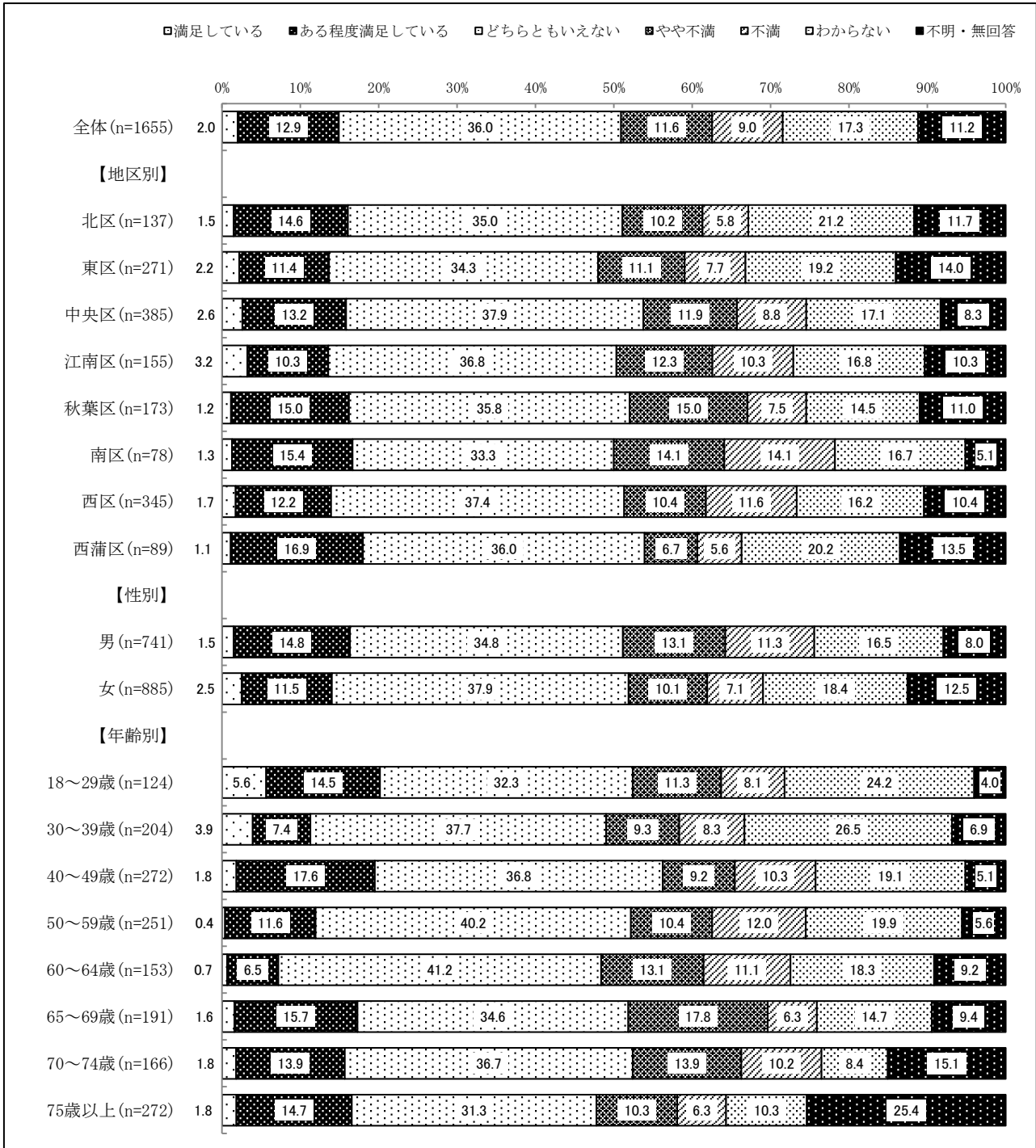
③だれもが快適に暮らせるまちづくりに取り組んできました。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区、中央区（共に18.2%）、江南区（18.1%）の割合が高い。年齢別では、18～29歳（23.4%）で割合が最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では南区（26.9%）で最も高い。性別では、男性（22.9%）が女性（15.0%）を上回った。年代別では、50代（25.5%）で最も高い。

④情報公開に努め、市民の声を市政に反映できるよう取り組んできました。

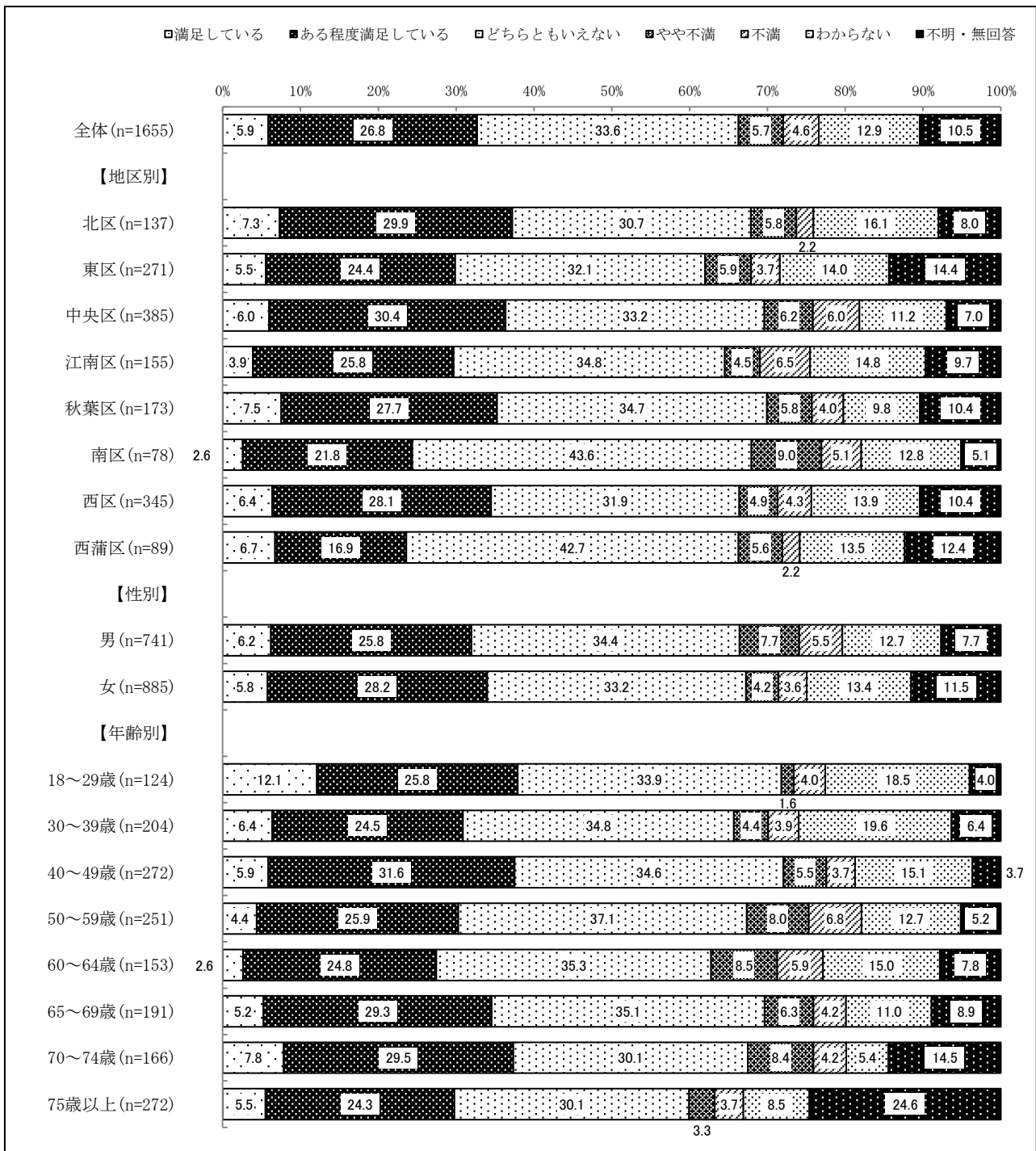


「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（18.0%）で最も高い。西蒲区だけが、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回った。年齢別では、18～29歳（20.2%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（28.2%）で最も高い。性別では、男性（24.4%）が女性（17.2%）を上回った。年齢別では、50～74歳で2割を超えた。



⑤「食と花のいがた」の情報発信に取り組んできました。

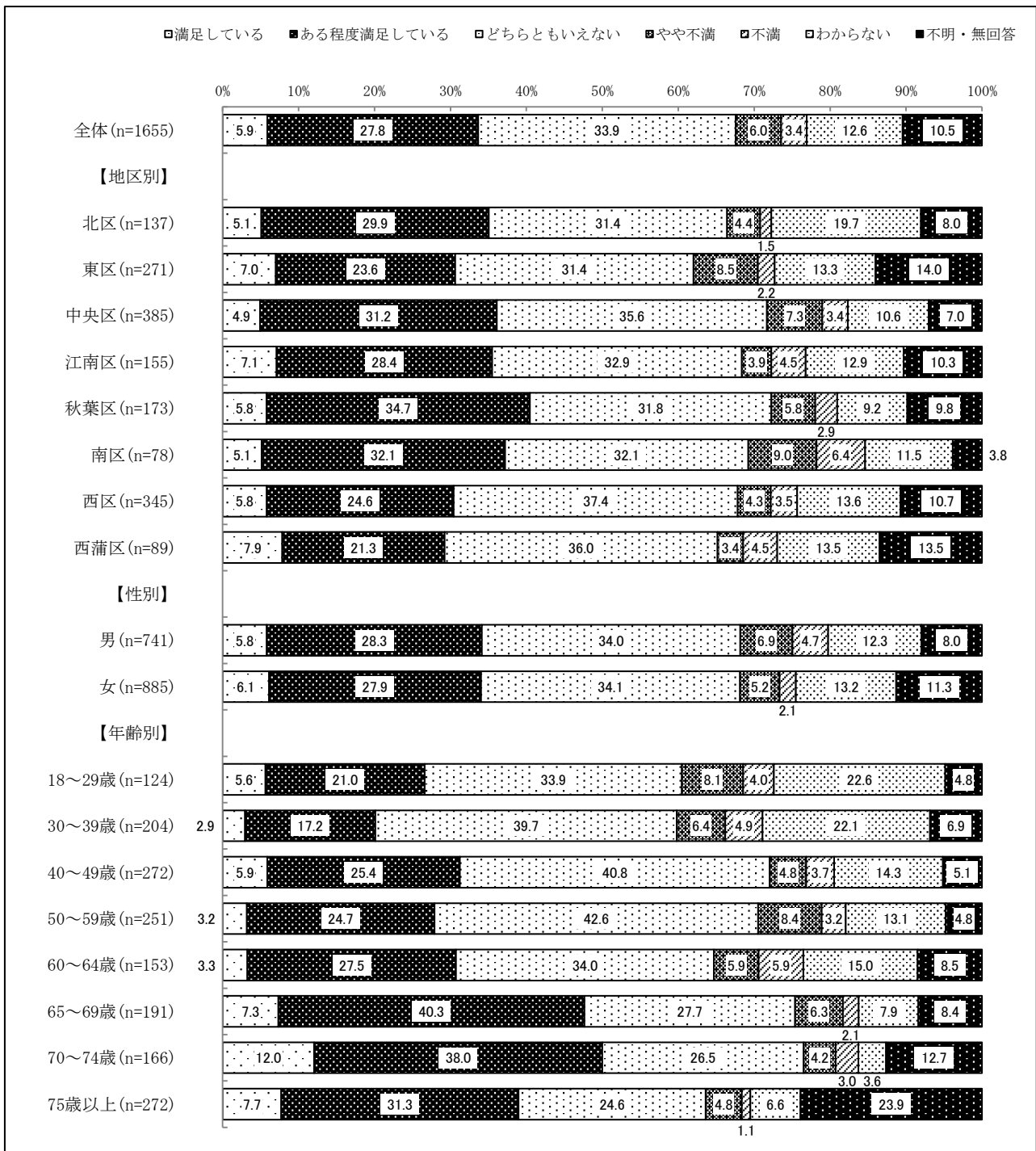


すべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区 (37.2%)、中央区 (36.4%)、秋葉区 (35.3%)、西区 (34.5%) で3割を超えた。年齢別では、18～29歳 (37.9%)、40～49歳 (37.5%)、70～74歳 (37.3%) で割合が高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区 (14.1%) で最も高い。性別では、女性 (7.8%) と比べて男性 (13.2%) で割合が高い。年齢別では、50～59歳 (14.7%)、60～64歳 (14.4%) で他の年齢と比べて割合が高い。

⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んできました。

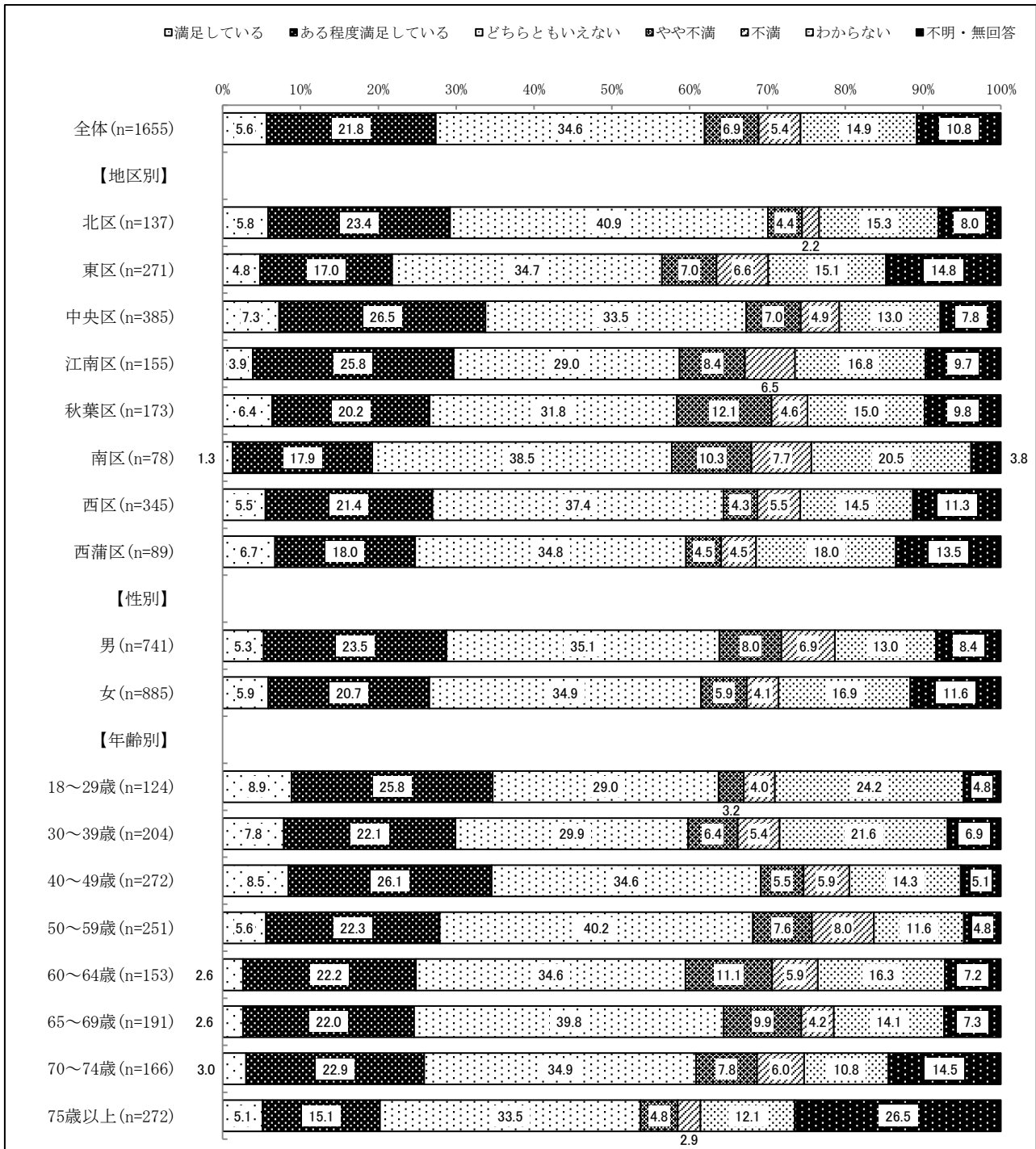


すべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別は、秋葉区（40.5%）で最も高い。年齢別では、70～74歳（50.0%）で割合が高く、半数を占めた。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（15.4%）で他の地区と比べて割合が高い。性別では、男性（11.6%）が女性（7.3%）をやや上回った。年齢別では、18～29歳（12.1%）で最も割合が高い。

⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んできました。

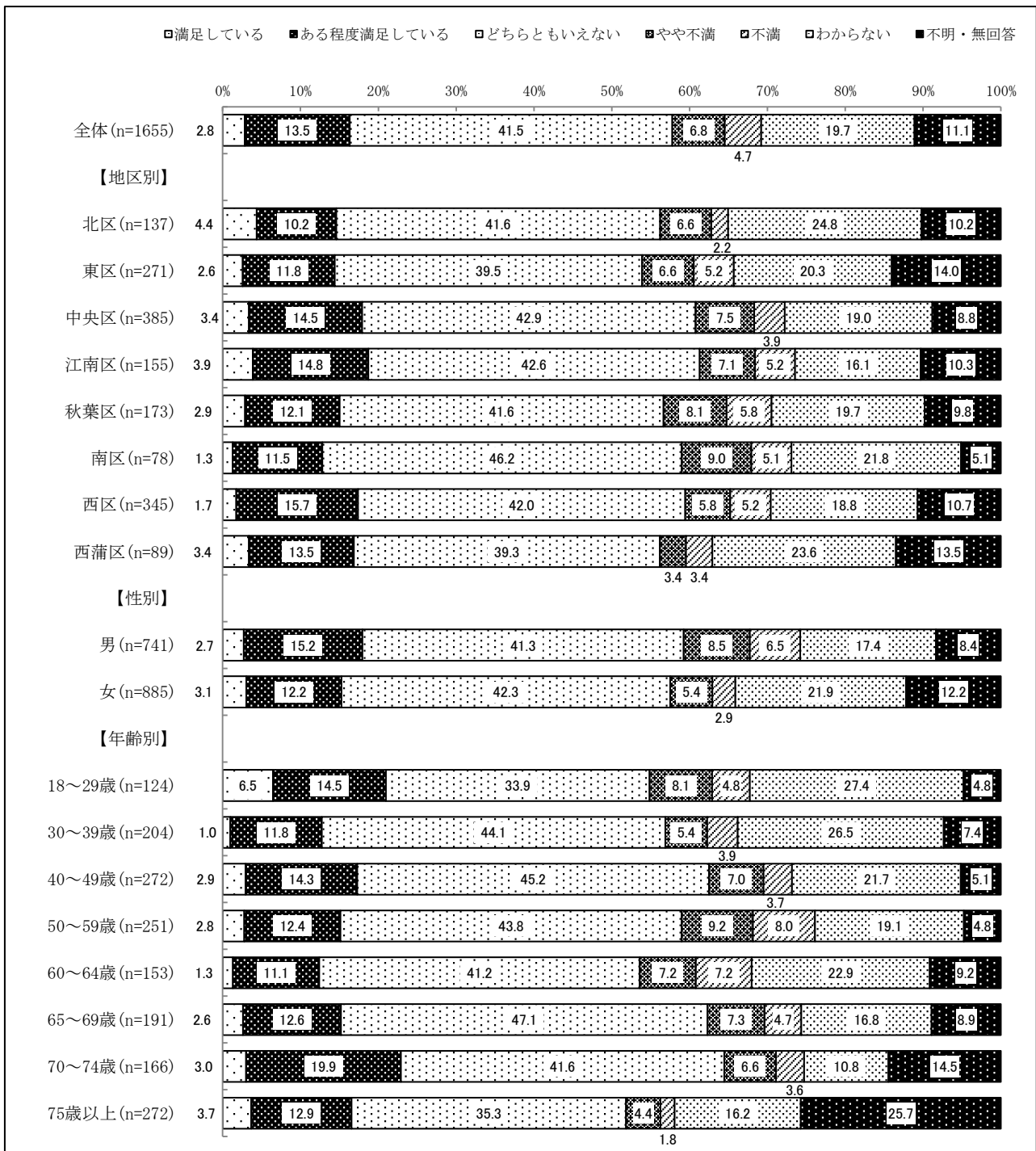


すべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区（33.8%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（34.7%）、40代（34.6%）で3割を超えた。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（17.9%）で最も高い。性別では、女性（9.9%）と比べて男性（14.8%）で割合が高い。年齢別では、60～64歳（17.0%）で最も高い。

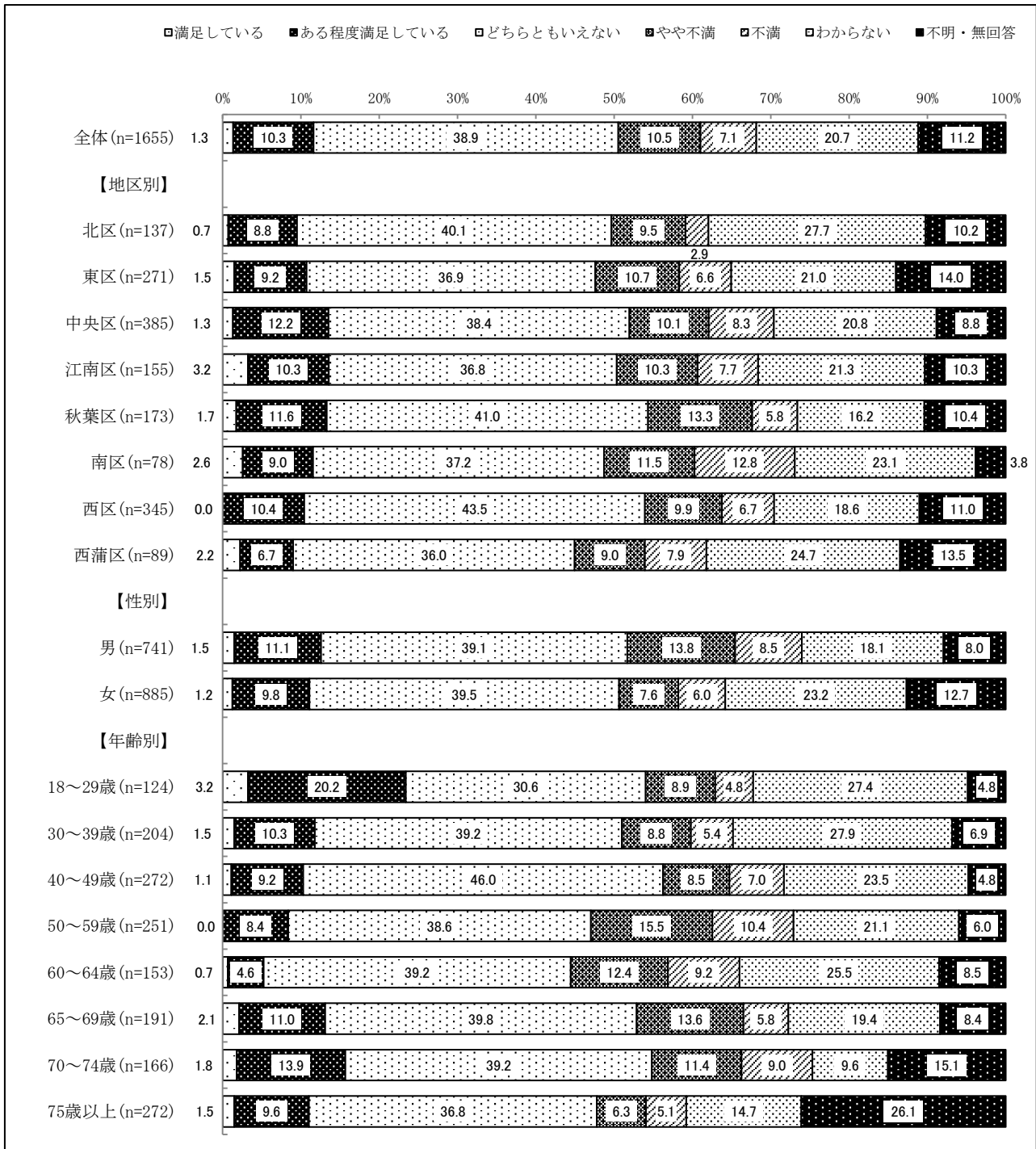
⑧国際交流に取り組んできました。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、江南区（18.7%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（21.0%）、70～74歳（22.9%）で割合が高く、2割を超えた。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（14.1%）で最も高い。性別では、女性（8.4%）と比べて男性（15.0%）で割合が高い。年齢別では、50代（17.1%）で最も高い。

⑨住宅の供給や住みよい環境づくりによるまちなかへの居住の促進に取り組んできました。



18～29歳を除くすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区、江南区（共に13.5%）、秋葉区（13.3%）で他の地区と比べてやや高い。年齢別では、18～29歳（23.4%）で2割を超え、突出している。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（24.4%）で最も高い。性別では、男性（22.3%）が女性（13.6%）を上回った。年齢別では、50代（25.9%）で最も高い。

⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んできました。

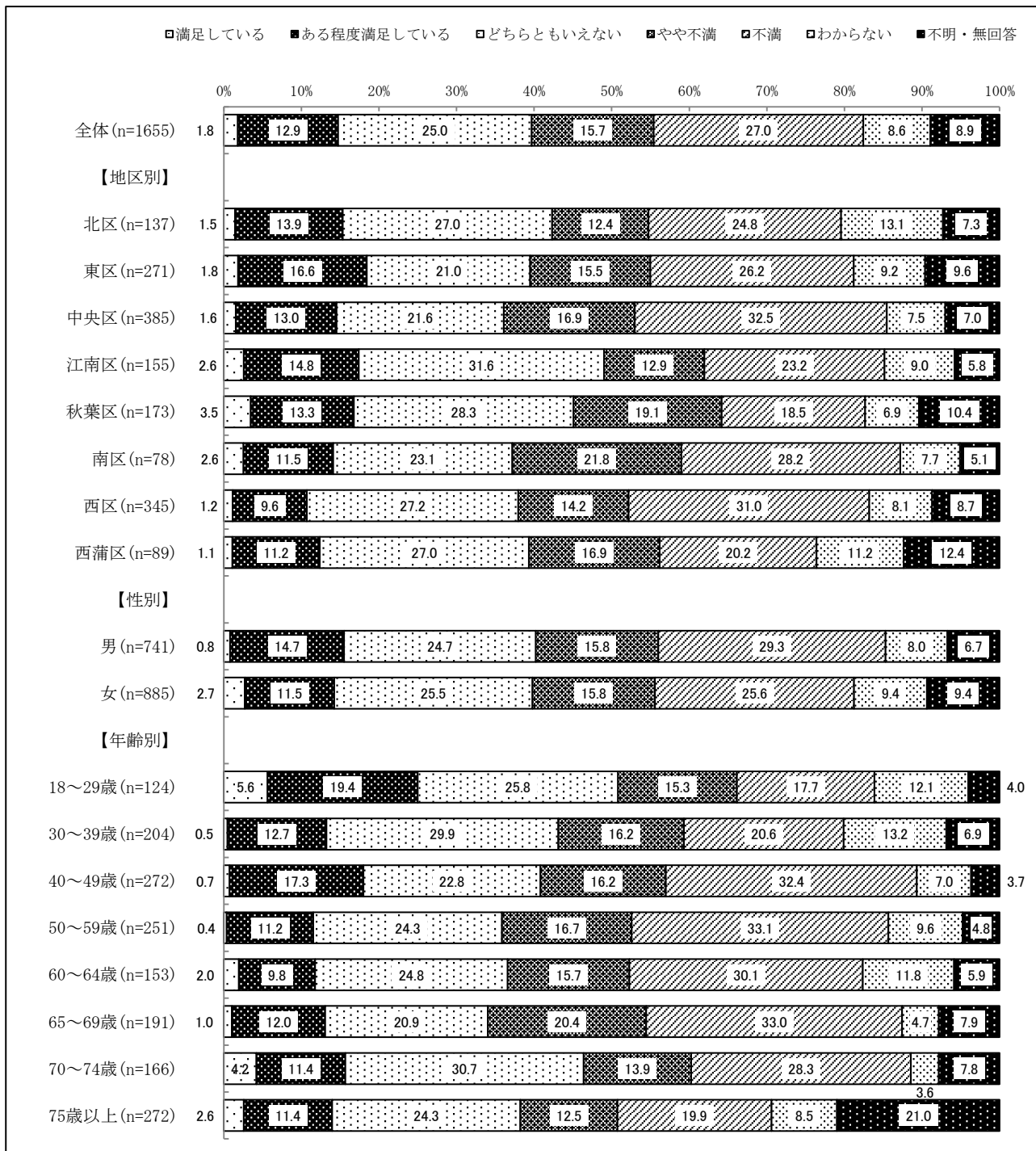


18～29歳を除くすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（38.5%）が最も高い。性別では、女性（28.6%）と比べて男性（33.9%）で割合が高い。年齢別では、65～69歳（36.6%）で最も高い。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では江南区（19.4%）で最も高く、年齢別では、18～29歳（22.6%）で最も高い。その他の属性では、2割未満となっている。

⑪便利で安心な公共交通の確保に取り組んできました。

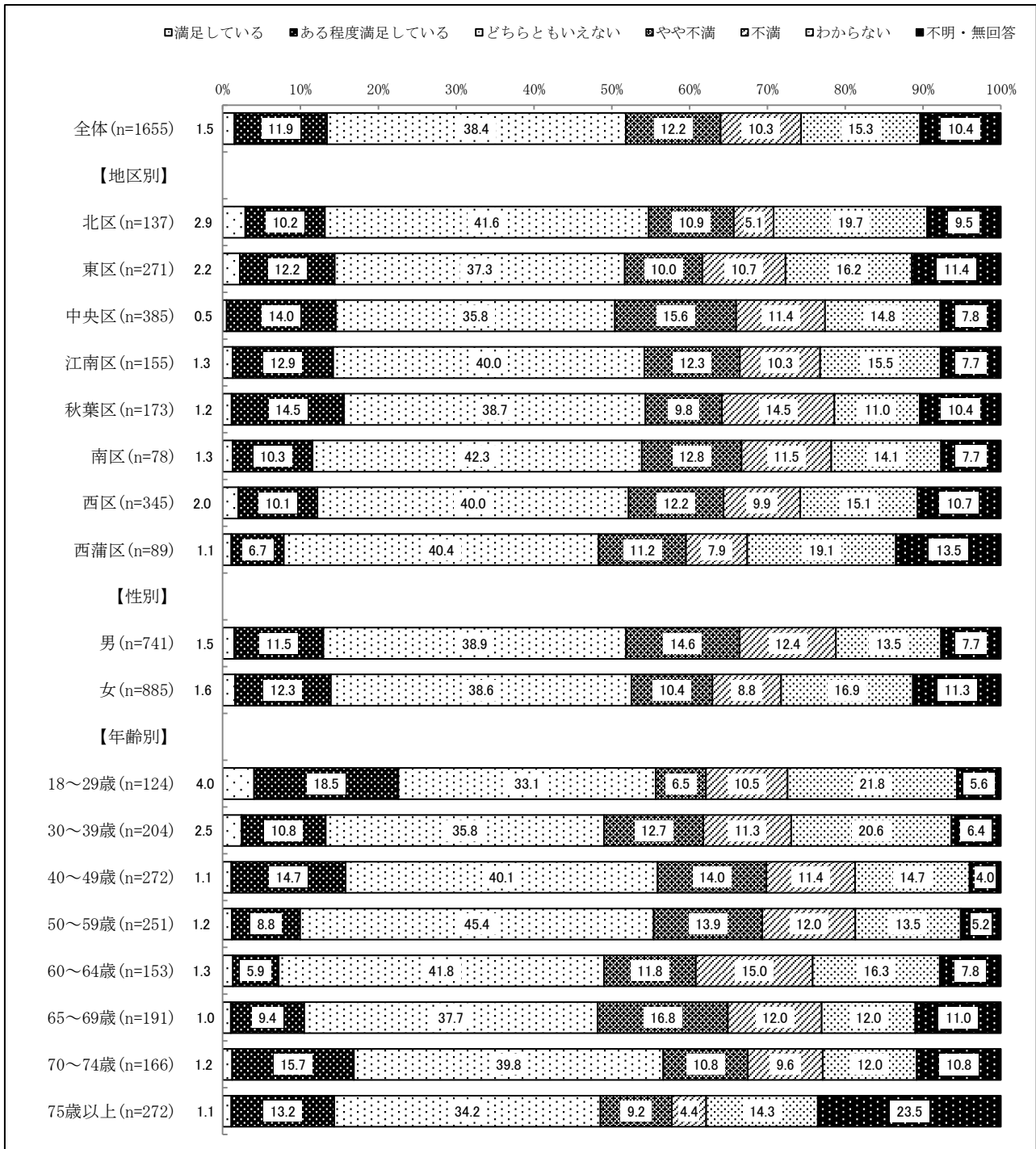


全ての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、東区（18.5%）で最も高い。年齢別では、18～29歳以上（25.0%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（50.0%）で半数を占めた。性別では、女性（41.5%）と比べて男性（45.1%）で割合がやや高い。年齢別では、65～69歳（53.4%）で半数を超えた。

⑫交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んできました。



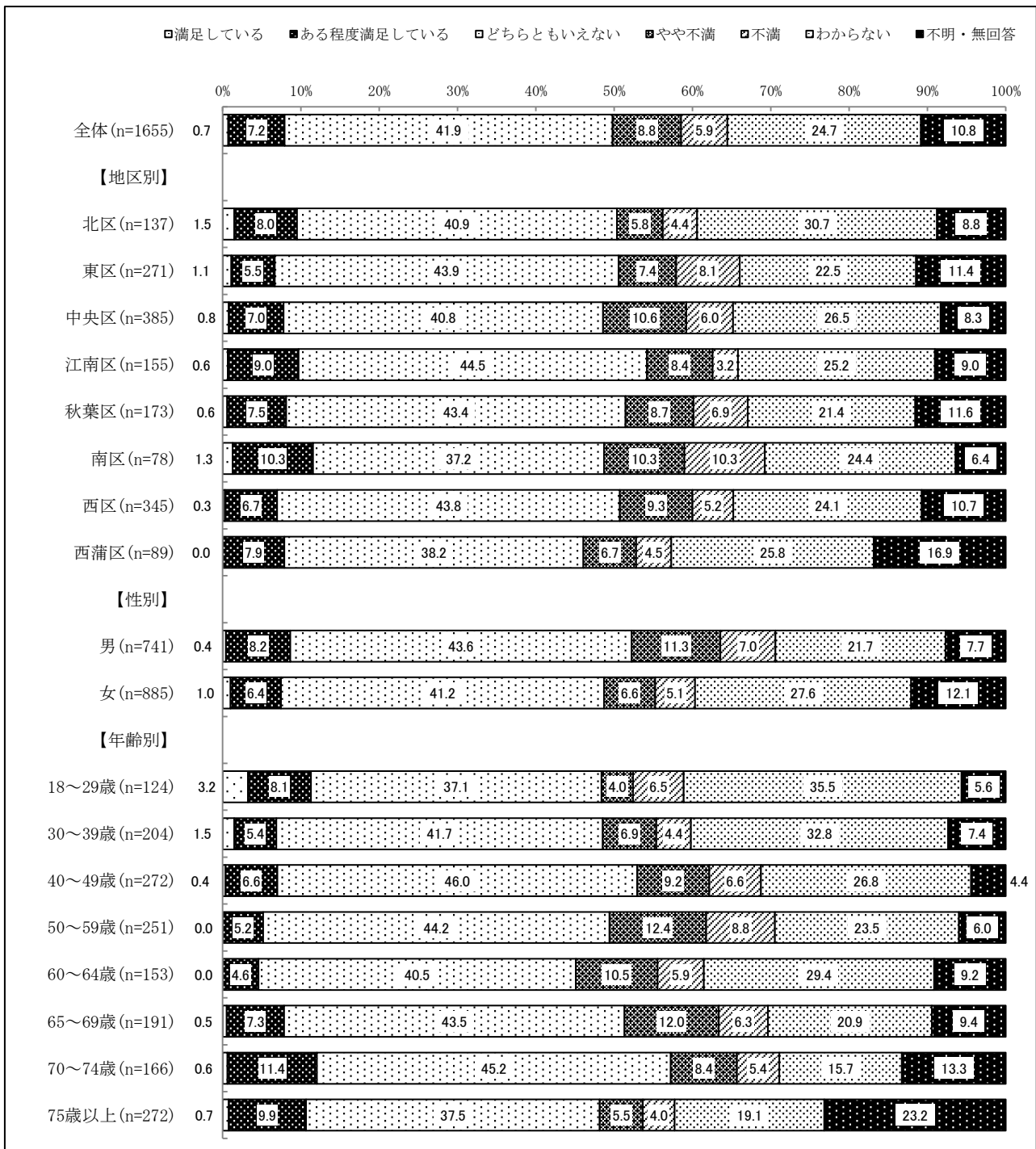
18～29歳、75歳以上を除くすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区（27.0%）で最も高い。性別では男性（27.0%）が女性（19.2%）を上回った。年齢別では、65～69歳（28.8%）で最も高い。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（7.9%）で1割に満たなかった。年齢別では、18～29歳（22.6%）で最も高く、2割台となっている。



⑬産学官連携による産業振興支援や金融支援策に取り組んできました。

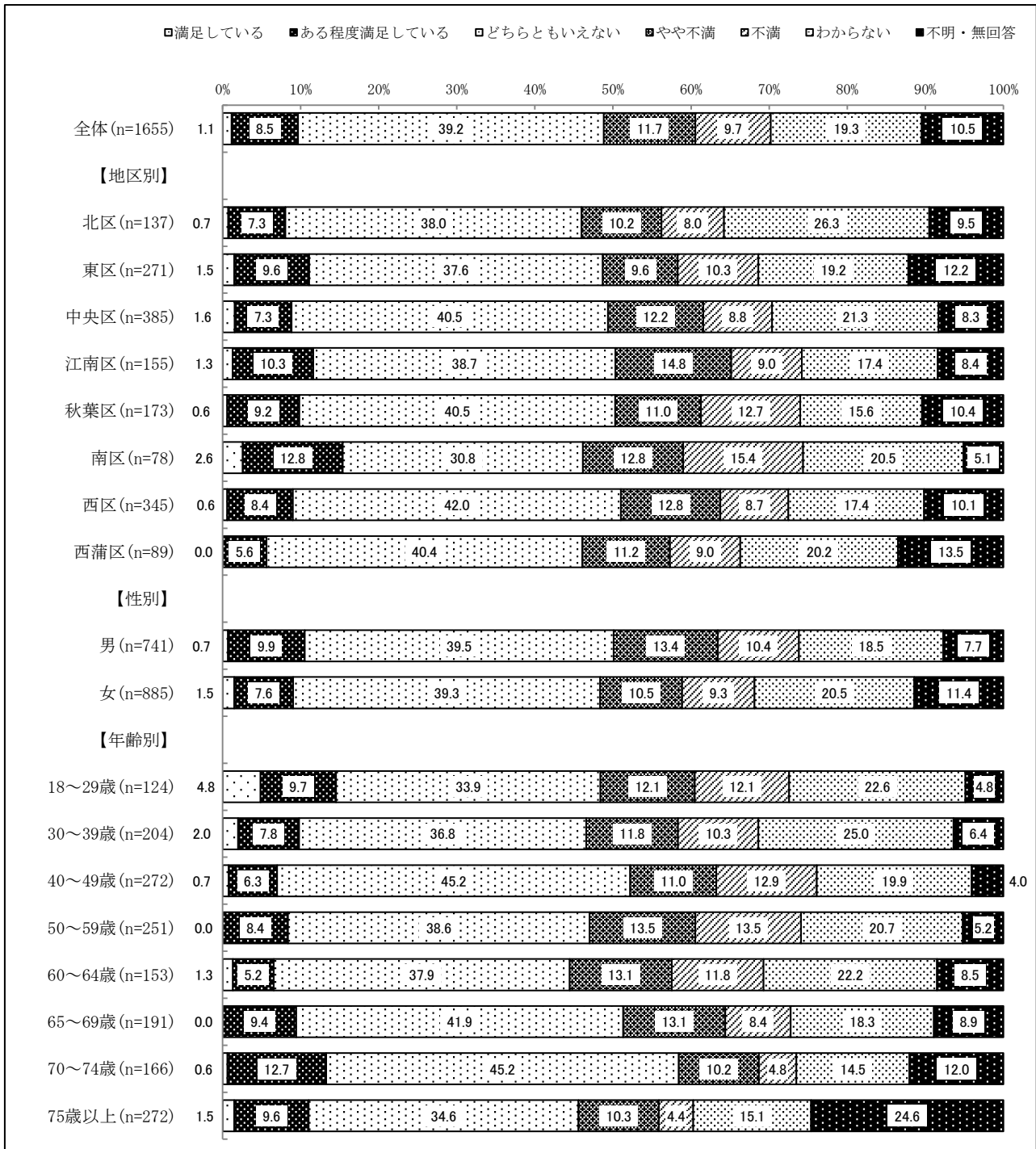


18～29歳、75歳以上を除くすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（11.5%）で最も高く、その他の地区は1割に満たない。年齢別では、70～74歳（12.0%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（20.5%）で最も高い。性別では、男性（18.4%）が女性（11.6%）を上回った。年齢別では、50代（21.1%）で最も高い。

⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んできました。

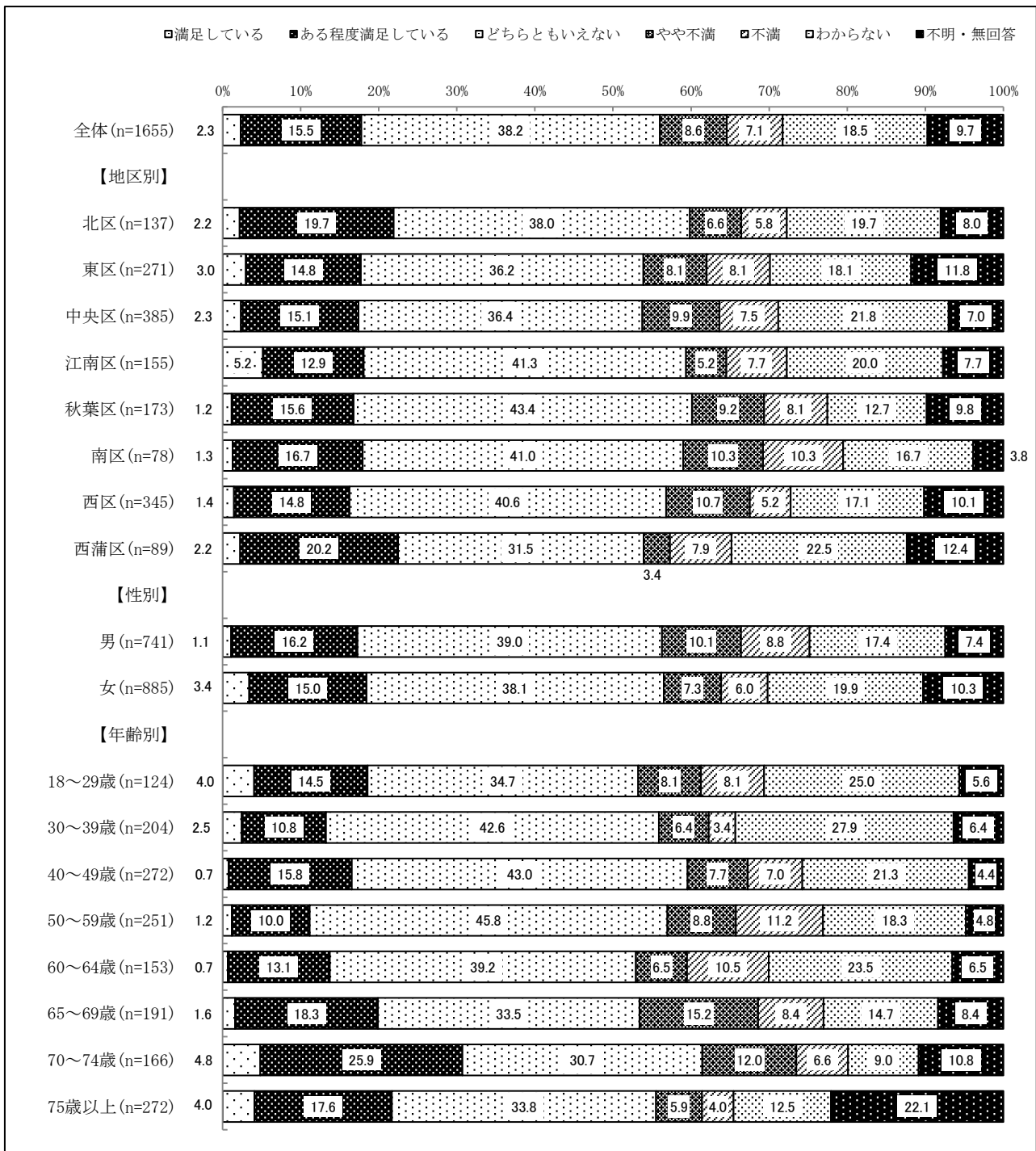


すべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区 (28.2%) で最も高い。性別では、女性 (19.8%) と比べて男性 (23.8%) で割合がやや高い。年齢別では、50代 (27.1%) で最も高い。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区 (15.4%) で最も高く、年齢別では、18～29歳 (14.5%) で最も高い。

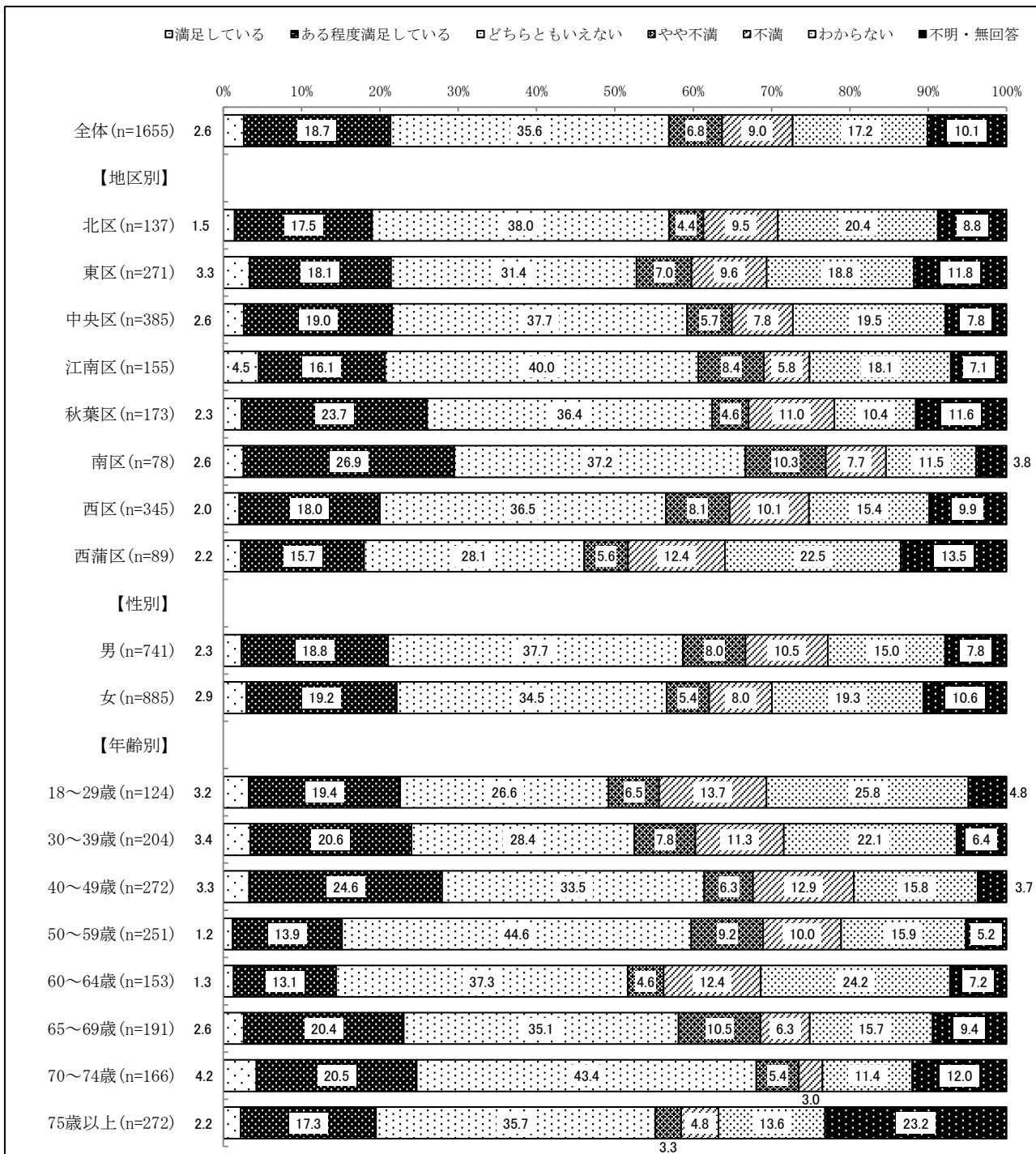
⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取りでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（22.5%）で最も高い。年齢別では、70～74歳（30.7%）で他の年齢と比べて割合が高く、3割を超えた。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（20.5%）で最も高い。性別では、男性（18.9%）が女性（13.3%）を上回った。年齢別では、65～69歳（23.6%）で最も高い。

⑩子育て支援の充実に取り組んできました。

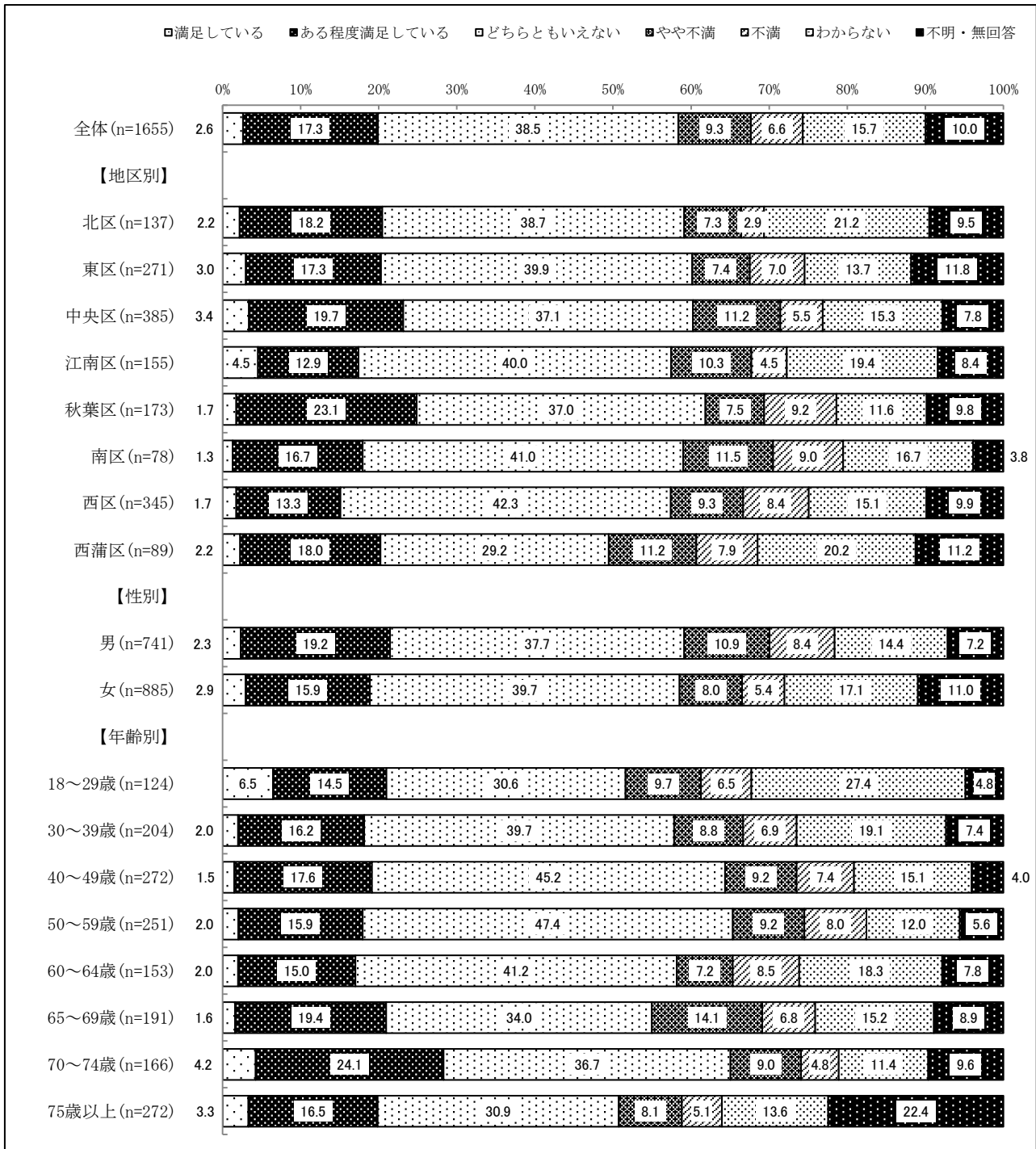


西蒲区、50代、60～64歳を除くすべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。西蒲区では共に 18.0% で、同じ割合となった。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区 (29.5%) で最も高く、年齢別では、40代 (27.9%) で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、差はあまりみられない。性別では、女性 (13.4%) と比べて男性 (18.5%) で割合が高い。年齢別では、18～29歳 (20.2%) で最も高く、2割を超えた。

⑰災害予防応急対策や防災体制の充実に取り組んできました。

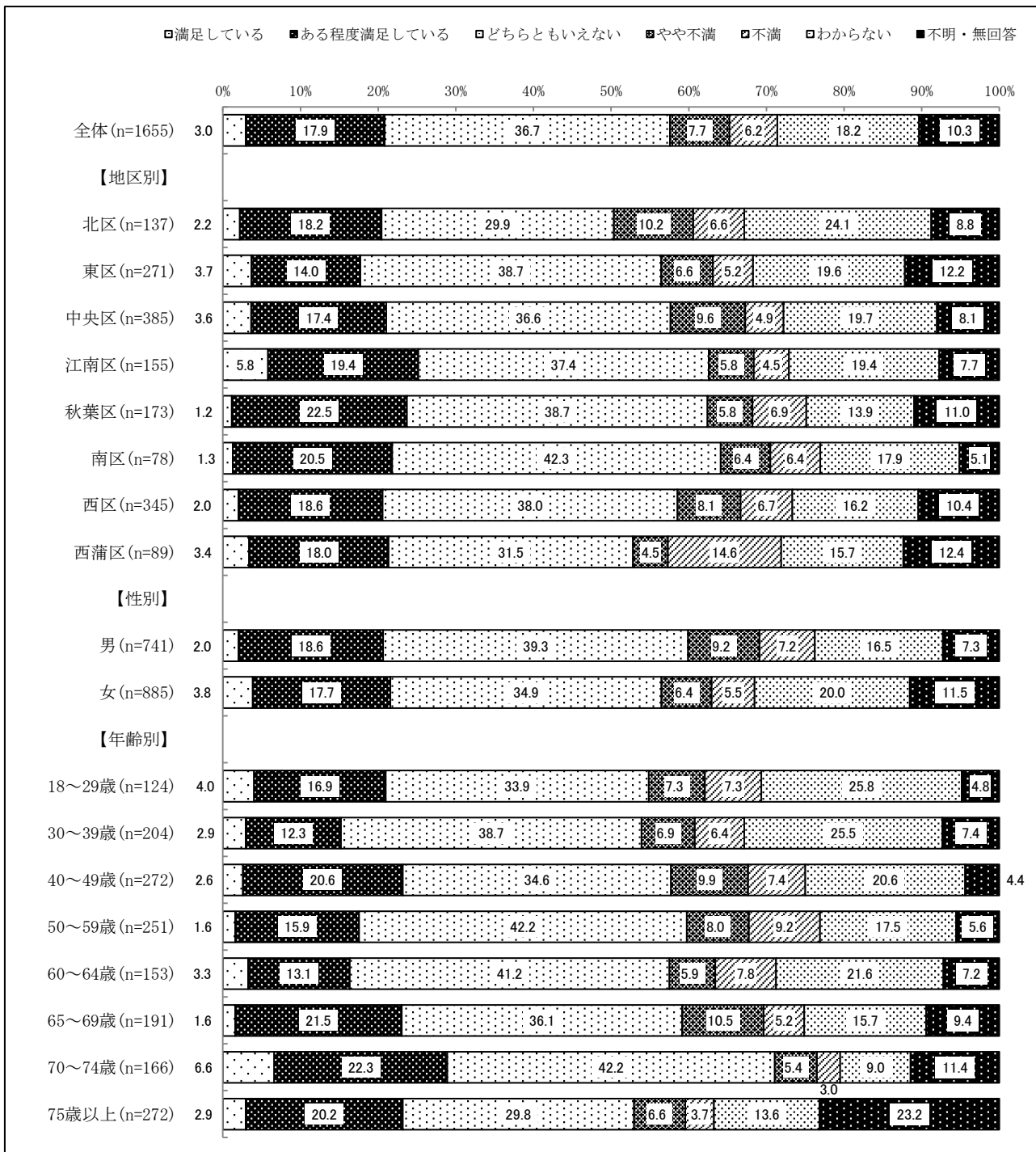


南区、西区で「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区 (23.1%)、秋葉区 (24.9%) で他の地区と比べてやや高い。年齢別では、70～74歳 (28.3%) で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区 (20.5%) で最も高い。性別では、女性 (13.4%) と比べて男性 (19.3%) で割合が高い。年齢別では、65～69歳 (20.9%) で最も高く、約2割を占めた。

⑱学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んできました。

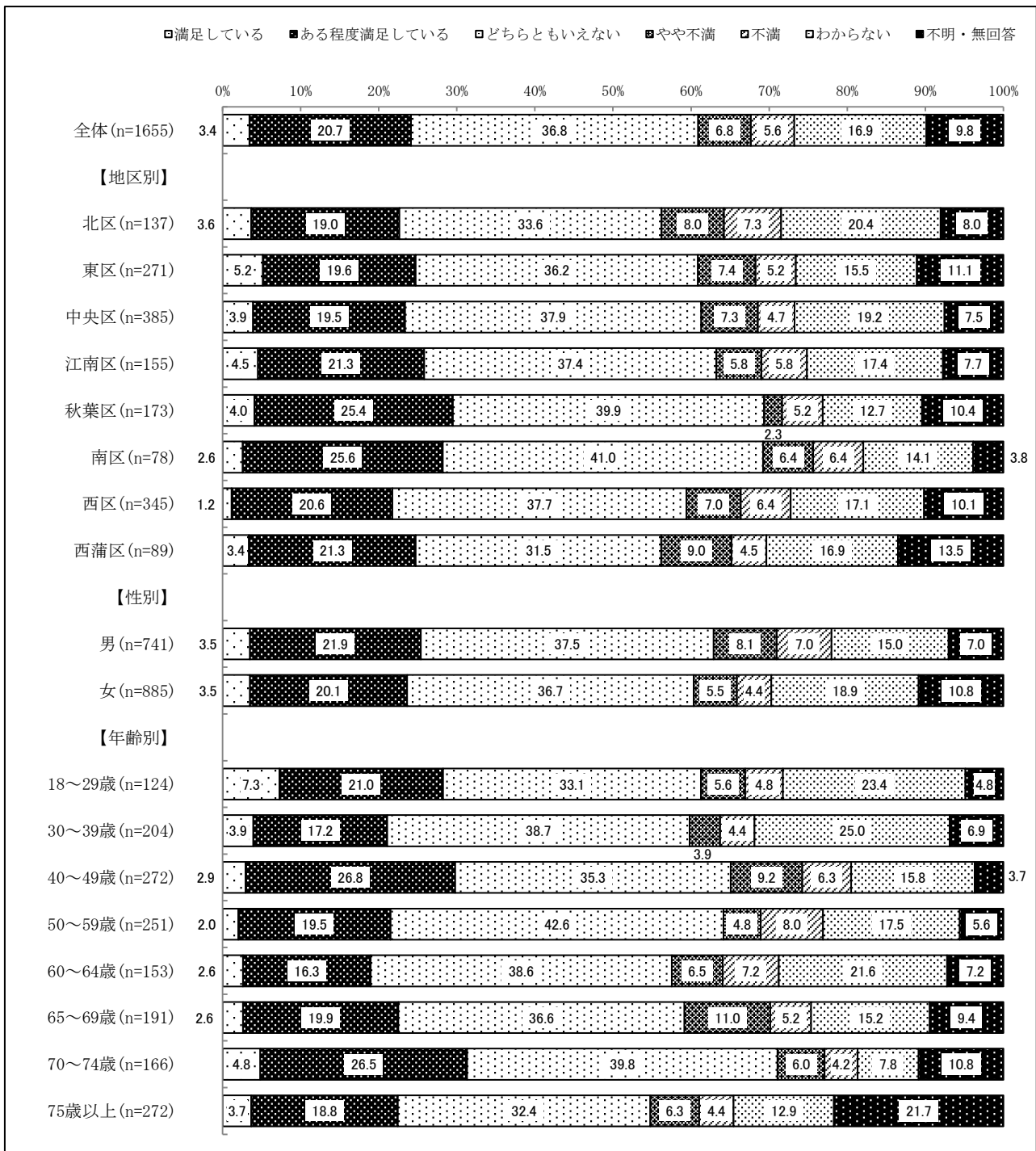


すべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、江南区（25.2%）で最も高い。年齢別では、70～74歳（28.9%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（19.1%）で最も高い。性別では、女性（12.0%）と比べて男性（16.3%）で割合がやや高い。年齢別では、70～74歳（8.4%）を除き、1割台となっている。

⑱健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んできました。

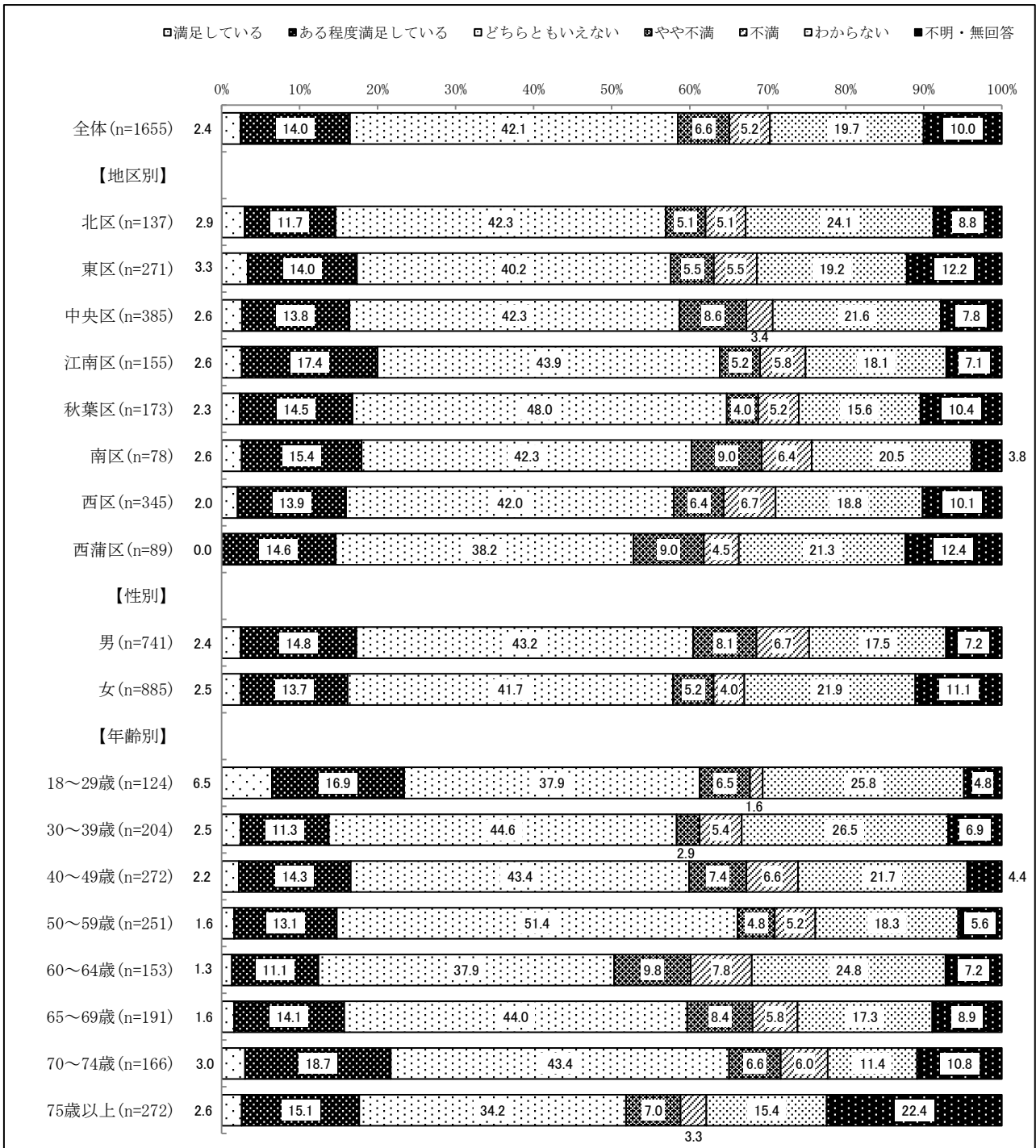


すべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（29.5%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（28.2%）、40代（29.8%）、70～74歳（31.3%）で約3割を占め、他の年齢と比べて割合が高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（7.5%）を除き、1割台となっている。性別では、女性（9.9%）と比べて男性（15.1%）で割合が高い。年齢別では、40代（15.4%）、65～69歳（16.2%）で他の年齢と比べて割合がやや高い。

⑳地域の個性豊かな歴史文化の活用や情報発信に取り組んできました。



60～64歳を除き、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、江南区（20.0%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（23.4%）、70～74歳（21.7%）で2割を超え、他の年齢と比べて割合が高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（15.4%）で最も高い。性別では、女性（9.2%）と比べて男性（14.8%）で割合が高い。年齢別では、60～64歳（17.6%）で最も高い。



### Ⅲ 調査票様式



# 平成30年度 第45回市政世論調査

## 「新潟市政に関する世論調査」ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃より市政に対してのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

新潟市では、市民の皆さまが日常生活の中で市政に対しどのようなお考えやご要望をお持ちになっているかを伺い、市政の参考としていくために「市政世論調査」を実施しております。

この調査は、新潟市内にお住まいの満18歳以上の方の中から無作為に4,000人の方をお選びし、実施するもので、このたびあなた様をお願いすることになりました。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人のお名前、ご住所などが公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、この調査票にご記入のうえ、返信用封筒で **平成30年8月3日（金）まで** にご投函いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成30年7月17日

新潟市長 篠田 昭

### ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、**あて名のご本人**がご記入ください。  
(無記名式ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。  
該当者にだけお答えいただく質問もあります。その場合は、案内が示してありますので、それに従ってお答えください。
3. 回答は、あてはまる項目の**番号に○**をつけてください。  
「その他」を選んだ場合には具体的な内容をご記入ください。
4. 質問文の後に**(○は1つだけ)** **(○は3つまで)** などのことわり書きがあります。これはお答えいただく数を意味します。
5. この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりません。万一、ご病気などでお答えいただけない場合は、回答の必要はございません。
6. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。  
新潟市 市民生活部 広聴相談課 電話025-226-2094 (直通)

ご記入がおわりましたら…



◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **平成30年8月3日（金）** までご投函ください。切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。

**【1 新潟市に対する誇りや愛着についてお聞きします。】**

問1 あなたは次の24の項目に対して、どの程度誇りや愛着を感じていますか。  
それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

	1 ある	2 ある 程度 ある	3 どちらとも いえない	4 あまり ない	5 ない
① 農産物	1	2	3	4	5
② 海産物	1	2	3	4	5
③ 料理	1	2	3	4	5
④ 酒	1	2	3	4	5
⑤ 花・花木	1	2	3	4	5
⑥ 食・農体験	1	2	3	4	5
⑦ 日本海	1	2	3	4	5
⑧ 河川	1	2	3	4	5
⑨ 田園	1	2	3	4	5
⑩ 湯	1	2	3	4	5
⑪ 気候	1	2	3	4	5
⑫ 湊町の歴史、風土、街並み	1	2	3	4	5
⑬ 文化芸術	1	2	3	4	5

(次のページへつづく)

	1 ある	2 ある 程度 ある	3 ど ちら と も い え な い	4 あ ま り な い	5 な い
⑭ ポップカルチャー	1	2	3	4	5
⑮ スポーツ	1	2	3	4	5
⑯ まつり・イベント	1	2	3	4	5
⑰ 観光スポット	1	2	3	4	5
⑱ 政令指定都市	1	2	3	4	5
⑲ 新潟港、新潟空港	1	2	3	4	5
⑳ 大学、短期大学、専門学校	1	2	3	4	5
㉑ 繁華街、街の中心部、特定の商業エリア	1	2	3	4	5
㉒ ものづくり	1	2	3	4	5
㉓ 著名人	1	2	3	4	5
㉔ その他 ( )	1	2	3	4	5

**問2** 上記で「ある」と回答した項目のうち、特に誇りや愛着を感じているものを上位3つまでお答えください。

--	--	--



## 【2 消費生活についてお聞きします。】

問3 あなたは、どのような消費者問題に関心がありますか。次のうちから選んでください。  
(○は1つだけ)

1. 食品の安全性（偽装表示等）	5. 資源、エネルギー（食品ロス等）
2. 商品などの欠陥や不具合等による事故	6. 多重債務（消費者金融等）
3. 悪質、詐欺商法（振り込め詐欺等）	7. その他（ ）
4. インターネット（通信販売等）	8. 消費者問題に関心がない

問4 あなたは、購入した商品や利用したサービスから経済的または身体的な被害を受けたことや、何らかの不安を感じたことはありますか。最近1年間（平成29年1月～平成29年12月）に購入した「商品」と利用した「サービス」別に教えてください。  
(○はいくつでも)

【商品】	1. 食品	【サービス】	1. 外食
	2. 家電製品		2. 通信
	3. 衣料品		3. 交通
	4. 身の回りの品		4. 金融・保険
	5. 電話・通信機器		5. 電気・ガス・水道
	6. その他（ ）		6. その他（ ）
	7. 被害や不安は、なかった		7. 被害や不安は、なかった

(問4の【商品】【サービス】のいずれかあるいは両方で、

「1～6」(被害や不安があった)と答えた方は問5へ

【商品】【サービス】の両方で、「7」(被害や不安は、なかった)と答えた方は問7へ)

《問4で「1～6」(被害や不安があった)と答えた方》

問5 あなたは、購入した商品・サービスからの被害や不安を誰に相談しましたか。  
(○は1つだけ)

1. 消費生活センター	7. 自治会役員
2. 家族	8. 民生委員
3. 友人	9. 地域包括支援センター
4. 職場の人	10. その他
5. 警察	( )
6. 区役所、市役所	11. だれにも相談していない

(「2～10」(消費生活センター以外に相談した)と答えた方は問6へ

「1」(消費生活センターに相談した)または

「11」(だれにも相談していない)と答えた方は問7へ)

《問5で「2～10」（消費生活センター以外に相談した）と答えた方》

問6 あなたが消費生活センターに相談しなかった理由を教えてください。

（○は1つだけ）

1. 時間がなかったから	4. 相談しても仕方がないと思ったから
2. 相談できると思わなかったから	5. その他（ ）
3. 相談したくなかったから	6. わからない

（問7へ）

《ここからはすべての方へ》

問7 あなたは、消費生活の被害や不安解消のために、年代別にどのような「消費者教育(※)」活動がもっとも必要だと思いますか。

（各年代それぞれに○は1つだけ）

	1 食の安全	2 選び方・安全な商品の	3 対処方法の手口と	4 お金の使い方	5 スマートフォン・インターネット等に関する注意点
① 幼児期	1	2	3	4	5
② 小学生	1	2	3	4	5
③ 中学生	1	2	3	4	5
④ 高校生	1	2	3	4	5
⑤ 成人（18歳～39歳）	1	2	3	4	5
⑥ 成人（40歳～69歳）	1	2	3	4	5
⑦ 高齢者（70歳～）	1	2	3	4	5

【※消費者教育とは】

消費者の自立を支援するために行われる、消費生活に関する教育およびこれに準ずる活動（具体的な事例）

- ・消費者トラブルとその対処法（悪質商法、多重債務等）
- ・消費生活に関する知識（契約の基礎知識、インターネットを安全に利用するための知識等）
- ・「持続可能な社会」への貢献（環境へ配慮した商品・サービスの選択、地産地消等）

**問 8** あなたが消費者教育を行う場として重要だと思うものはどれですか。  
(○は2つまで)

- |            |                               |
|------------|-------------------------------|
| 1. 家庭      | 6. 大学、専門学校                    |
| 2. 幼稚園、保育園 | 7. 職場                         |
| 3. 小学校     | 8. 国、県、市                      |
| 4. 中学校     | 9. 地域（町内会、PTAなど）              |
| 5. 高校      | 10. その他（                    ） |

**問 9** あなたは、地域等における消費者教育活動に関心がありますか。  
(○は1つだけ)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 関心があるので、活動に参加してみたい        |
| 2. 関心があるが、時間がない              |
| 3. 関心があるが、どうしていいかわからない       |
| 4. 関心がない                     |
| 5. その他（                    ） |
| 6. わからない                     |

**問 10** あなたは、消費生活の安定や向上のために、市にどのような取り組みを期待していますか。  
(○は2つまで)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実      |
| 2. 事業者への指導、取り締まりの強化                |
| 3. 消費者被害の未然防止のための啓発活動の充実           |
| 4. 消費生活センターの相談体制の強化                |
| 5. 市政への消費者の声の反映                    |
| 6. 高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化 |
| 7. 消費者団体への活動支援                     |
| 8. その他（                    ）       |
| 9. わからない                           |



問 11 あなたが、今後心がけたいと思う消費行動はありますか。

(○は1つだけ)

1. 環境に配慮した商品やサービスの選択
2. 省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用
3. フェアトレード（開発途上国の生産者に公正な労働を保証している貿易の仕組み）製品等の購入
4. 地産地消（地域で生産したものを地域で消費する）
5. 食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減
6. 表示や説明を確認し、内容を理解したうえでの商品、サービスの選択
7. その他（ ）
8. 特にない

問 12 あなたは「エシカル消費（※）」を知っていますか。

(○は1つだけ)

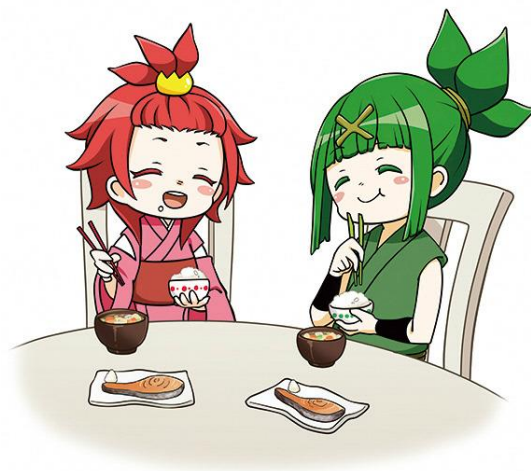
- |                      |           |
|----------------------|-----------|
| 1. 知っている             | 3. 知らない   |
| 2. 名前は知っているが、内容は知らない | 4. その他（ ） |

【※エシカル消費とは】

人、社会、環境、地域に配慮したさまざまな消費活動の総称

(具体的な事例)

- ・マイバッグ、マイ箸等の利用
- ・省エネ
- ・地産地消
- ・フェアトレード商品の購入



### 【3 新潟市の公共施設のこれからについてお聞きします。】

問13 あなたは、新潟市が所有する公共施設（建物等）について、最近1年間（平成29年1月～平成29年12月）に何回くらい利用しましたか。

また、公共施設へは主にどのような交通手段で行きましたか。

（〇はそれぞれ1つずつ）

施設種類	年間の利用回数					おもな交通手段 ※年間の利用回数で 「5」（利用していない） と答えた方は記入不要				
	1 ほぼ 毎日	2 週に 2～3 回	3 月に 数回	4 年に 数回	5 利用 してい ない	1 車・ バイク	2 徒歩 ・自 転車	3 バス	4 電車	5 タク シー
① コミュニティ施設 市民会館・コミュニティセンター コミュニティハウス・地区公民館・公民館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 文化会館 りゅーとびあ・区の文化会館など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 美術館 新潟市美術館・新津美術館など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 博物館・資料館 歴史博物館・燕喜館・新津鉄道資料館など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 図書館・図書室	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 生涯学習施設 生涯学習センター（クロスパル） 新津地域学園・潟東ゆう学館など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ スポーツ施設 体育館・プール・野球場・サッカー場など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ 観光施設 食育・花育センター・ビュー福島潟など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 学校教育系施設（学校開放） 小中学校の体育館・グラウンドなど	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 子育て支援施設 児童館・子育て支援センターなど	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪ 老人憩の家	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫ 保健福祉センター・健康センター （予防接種、集団検診などの利用を含む）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬ 本庁舎 本庁舎（本館・分館）・白山浦庁舎など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭ 各区役所	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑮ 各区出張所	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑯ 各区連絡所	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

**問 14** 新潟市では、市が保有する土地や公共施設といった財産の利用やコスト、老朽化の状況などの現状と課題を示した財産白書を作成し、公表しています。

あなたは、新潟市の現状について聞いたことがありますか。

(○はそれぞれ1つつ)

項目	1 あ 聞 い た こ と が	2 な 聞 い た こ と が
<p>① 人口1人あたりの公共施設面積が政令指定都市で最大である</p> <p>※ 公共施設面積：公営住宅を除く行政財産面積 新潟市 = 2.91㎡/人 政令市平均 = 2.22㎡/人 H29年度 財産白書より</p>	1	2
<p>② 昭和50年代に集中して整備された施設が一斉に更新時期を迎える</p> <p>※ 昭和50年代整備 約82万㎡（全体の約1/3） 市所有施設面積 約268万㎡ H25年度 財産白書より</p>	1	2
<p>③ 公共施設を現状のまま維持すると多大な費用が必要である</p> <p>※ 今後50年間で公共施設を現状のまま維持すると約1兆2,233億円の費用が必要となり、年間にすると約245億円の費用が必要とされる。現在は年間約121億円の費用がかかっており、後は年間約124億円の不足が見込まれる。 H25年度 財産白書より</p>	1	2
<p>④ 新潟市の人口が今後30年間で大幅に減少する</p> <p>※ 2015年 約81万人 ⇒ 2045年 約68万9千人 今後30年間で約12万1千人（約15%）減少する。 H30年 国立社会保障・人口問題研究所 公表資料より</p>	1	2
<p>⑤ 公共施設は使用・利用料金だけでは運営できない</p> <p>※ 【施設種別でみたコスト状況について】 例：コミュニティ施設（119施設）では平成28年度の維持管理費などの支出合計が約18億7,500万円、使用・利用料金などの収入合計が約8,700万円となっており、収入ではまかなえない約17億8,800万円（約95%）を市が負担している。 H29年度 財産白書より</p>	1	2

「新潟市財産白書」参考 HP: <http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/zaisan/zaikeikisoshiryo/hakusyo25.html>

**問 15** 新潟市では、今後の施設の在り方を考え、施設の最適化等により公共施設の総量削減をしつつサービス機能の維持をしていくことを目指し、平成27年に「新潟市財産経営推進計画」を策定し、以下の①～⑥の項目について取り組んでいます。

一方、今ある施設を維持してほしいという意見も存在します。

今後、新潟市の公共施設を維持していくために、どのように取り組んでいくべきだと思いますか。各項目について、あなたの考えにもっとも近いものを番号で選んでください。

(○はそれぞれ1つずつ)

	1 そう 思う	2 そ ど ち ら か と い え ば	3 そ ど ち ら わ か な い い え ば	4 そ う 思 わ な い	5 わ か ら な い
取り組み例					
① 施設の建替え時には、多機能化・複合化を進め、利便性を向上させつつ、数の最適化をはかる	1	2	3	4	5
② 利用料金を増やすなど使用料の見直しをして施設を維持する	1	2	3	4	5
③ 利用の少ない施設は廃止し、売却貸与することで財政に役立てる	1	2	3	4	5
④ 民間施設を格安で利用できるような制度をつくり、民間施設を活用する	1	2	3	4	5
⑤ 定期的にメンテナンスを行い、施設を長く使えるようにする	1	2	3	4	5
⑥ 今ある施設は、他の予算を削ってでも維持する	1	2	3	4	5

「 財 産 推 進 経 営 計 画 」 参 考 H P :

<http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/zaisan/zaikeisuishin/suishinkeikaku.html>



**問 16** 市では、地域の公共施設の現状と財産経営推進計画について、広く市民の皆さまにご理解いただくため、平成 28 年度から地域の皆さまに説明会を実施しています。あなたは、こうした説明会に参加したことがありますか。  
(○は1つだけ)

1. 参加したことがある	2. 参加したことがない
--------------	--------------

「2」(参加したことがない) と答えた方は問 17 へ  
「1」(参加したことがある) と答えた方は問 18 へ

《問 16 で「2」(参加したことがない) と答えた方》

**問 17** あなたは、このような説明会に参加したいと思いますか。  
(○は1つだけ)

1. ぜひ参加してみたい	2. 機会があれば参加してみたい	3. 参加したいと思わない
--------------	------------------	---------------

《ここからはすべての方へ》

**問 18** 市では、学校の統廃合が決定した地域や区役所などの主要な施設の建替えなどがある地域から先行して、中学校区を基本に地域の公共施設の再編を行っています。公共施設の再編を行う際には、ワークショップを開催するなど、地域の皆さまと協働で検討することとしており、平成 27 年度からこれまでに 3 地域で公共施設の再編に着手したところです。また、今後は、地域の要望があれば近いうちに公共施設の建替えなどがなくても、前倒して公共施設の再編に着手したいと考えています。

① あなたがお住まいの地域でも、再編の検討に着手すべきと思いますか。  
(○は1つだけ)

1. 思う	2. 思わない
-------	---------

② その理由をご記入ください。  
(記載欄)

--

③ ワークショップなどが開催される場合、あなたは参加してみたいと思いますか。  
(○は1つだけ)

1. ぜひ参加してみたい	2. 機会があれば参加してみたい	3. 参加したいと思わない
--------------	------------------	---------------

④ 差し支えなければ、お住まいの中学校区をご記入ください。

	中学校区
--	------

「地域別実行計画」参考 HP：<http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/zaisan/zaikeitorikumi/jikkei.html>



## 【4 新潟市のコミュニティについてお聞きします。】

問 19 あなたは、「地域コミュニティ協議会（※）」について知っていますか。  
（○は1つだけ）

- |                  |              |         |
|------------------|--------------|---------|
| 1. 名前も活動内容も知っている | 2. 名前だけ知っている | 3. 知らない |
|------------------|--------------|---------|

（問 19 で「1」（名前も活動内容も知っている）または「2」（名前だけ知っている）と答えた方は問 20 へ  
「3」（知らない）と答えた方は問 21 へ）

【※地域コミュニティ協議会とは】

市と協働して地域のまちづくりやその他の諸課題に取り組んでいる組織です。小学校区または中学校区を基本とし、自治会、町内会を中心に、PTA、青少年育成協議会、老人クラブ、婦人会、民生・児童委員協議会など地域のさまざまな団体で構成されています。

《問 19 で「1」（名前も活動内容も知っている）または「2」（名前だけ知っている）と答えた方》

問 20 あなたは、地域コミュニティ協議会についての情報を何から入手しましたか。  
（○はいくつでも）

- |               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| 1. 市報にいがた     | 5. 地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ |
| 2. 区役所だより     | 6. 自治会・町内会等、地域の会合             |
| 3. テレビ・ラジオ・新聞 | 7. その他                        |
| 4. 市のホームページ   | ( )                           |

《ここからはすべての方へ》

問 21 あなたは、「区自治協議会（※）」について知っていますか。  
（○は1つだけ）

- |                  |              |         |
|------------------|--------------|---------|
| 1. 名前も活動内容も知っている | 2. 名前だけ知っている | 3. 知らない |
|------------------|--------------|---------|

（問 21 で「1」（名前も活動内容も知っている）または「2」（名前だけ知っている）と答えた方は問 22 へ  
「3」（知らない）と答えた方は問 23 へ）

【※区自治協議会とは】

地域コミュニティ協議会の代表者などで構成され、区全体の大きな視点で多様な意見の調整や取りまとめを行う地域の審議機関です。

《問 21 で「1」（名前も活動内容も知っている）または「2」（名前だけ知っている）と答えた方》

問 22 あなたは、区自治協議会についての情報を何から入手しましたか。  
（○はいくつでも）

- |               |                          |
|---------------|--------------------------|
| 1. 市報にいがた     | 5. 区自治協議会の広報紙・チラシ・ホームページ |
| 2. 区役所だより     | 6. 自治会・町内会等、地域の会合        |
| 3. テレビ・ラジオ・新聞 | 7. その他                   |
| 4. 市のホームページ   | ( )                      |

## 【5 市政全般と区政についてお聞きします。】

《ここからはすべての方へ》

問 23 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

- ①「新潟市として良くなっているもの」
- ②「新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの」
- ③「区として良くなっているもの」
- ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を

次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号（1～33）をご記入ください。

1. 市・区の窓口対応	13. スポーツの振興	25. 交通安全対策
2. 電子手続きの推進	14. 文化・芸術の振興	26. 学校教育
3. 地域活動の振興	15. 農林水産業の振興	27. 生涯学習
4. 防災対策	16. 商工業・貿易の振興	28. 市営住宅の整備
5. 防犯対策	17. 雇用の場の拡大	29. 広報広聴活動
6. 児童福祉	18. 観光の振興	30. 国際交流の振興
7. 高齢者福祉	19. まちなかの活性化	31. 市民協働のまちづくり
8. 障がい者福祉	20. 公共交通の充実	32. 男女共同参画の推進
9. 保健・医療体制	21. 計画的な市街地整備	33. その他
10. ごみ処理・リサイクル	22. 公園の整備	( )
11. 地球温暖化対策	23. 道路の整備	
12. 自然環境の保護	24. 公共下水道の整備	

回答欄 （1～33までの番号を記入してください）

① 新潟市として良くなっているもの			
② 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの			
③ 区として良くなっているもの			
④ 区として今後もっと力を入れてほしいもの			

## 【6 市の取り組みについてお聞きします。】

問 24 本市の総合計画である「にいがた未来ビジョン」に基づき進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。

また、これらの取り組みについての満足度をお聞かせください。

それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。

(○は①～⑩の市の取り組みへの感想1～5と満足度A～Fにそれぞれ1つずつ)

	取り組みへの感想					取り組みへの満足度					
	1 そう 思う	2 ある 程度 思う	3 普通	4 あまり 思わ ない	5 そう 思わ ない	A 満足 して いる	B ある 程度 満足 して いる	C どち らと もい えな い	D やや 不 満	E 不 満	F わか らな い
① 住民参加型の地域づくりに取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
② 地域活動を行うための拠点づくりに取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
③ だれもが快適に暮らせるまちづくりに取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
④ 情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑤ 「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑥ ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑦ 水辺に親しむ空間の創出に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑧ 国際交流に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑨ 住宅の供給や住みよい環境づくりによるまちなかへの居住の促進に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑩ 広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F

(次のページへつづく)



(○は①～⑳の市の取り組みへの感想1～5と満足度A～Fにそれぞれ1つずつ)

	取り組みへの感想					取り組みへの満足度					
	1 そう思う	2 ある程度思う	3 普通	4 あまり思わない	5 そう思わない	A 満足している	B ある程度満足している	C どちらともいえない	D やや不満	E 不満	F わからない
⑪ 便利で安心な公共交通の確保に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑫ 交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑬ 産学官連携による産業振興支援や金融支援策に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑭ 若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑮ 元気でいきいきと生活できる高齢者支援に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑯ 子育て支援の充実に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑰ 災害予防応急対策や防災体制の充実に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑱ 学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑲ 健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑳ 地域の個性豊かな歴史文化の活用や情報発信に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F



## <最後にご自身のことについてお聞かせください>

調査結果を統計的に分析するために必要なことをお伺いします。

問1 あなたのお住まいは何区ですか。

1. 北区	2. 東区	3. 中央区	4. 江南区
5. 秋葉区	6. 南区	7. 西区	8. 西蒲区

問2 あなたの性別を教えてください。

1. 男	2. 女
------	------

問3 あなたの年齢を教えてください。

1. 18～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳
4. 50～59歳	5. 60～64歳	6. 65～69歳
7. 70～74歳	8. 75歳以上	

問4 あなたのご職業を教えてください。

※複数の職業をお持ちの方は、主なものを1つだけお選びください。

1. 勤め人（パートも含む）	2. 自営業
3. 農林水産業	4. 学生
5. 専業主婦（夫）	6. 無職（学生、専業主婦（夫）を除く）
7. その他（ ）	

問5 あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれにあたりますか。

1. 単身	2. 夫婦のみ	3. 2世代世帯（親と子）
4. 3世代世帯（親と子と孫）	5. その他（ ）	



調査は以上で終了です  
ご協力ありがとうございました



◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて平成30年8月3日（金）まで、郵便ポストにご投函ください。切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



平成 30 年度 第 45 回市政世論調査

発 行 平成 30 年 10 月

調査主体 新潟市市民生活部広聴相談課  
新潟市中央区学校町通一番町 602 番地 1  
電話 025-228-1000 (代表)

調査実施 株式会社スピードリサーチ  
新潟市東区小金町 1 丁目 7-1  
電話 025-270-3800